

総務省

我が国における青少年のインターネット 利用に係るペアレンタルコントロールの 効果的な啓発に関する調査

報告書

2023年7月

【委託先】 学校法人国際大学

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

総務省

我が国における青少年のインターネット
利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査

2023年7月

【委託先】

学校法人国際大学



目次

本編.....	11
1. はじめに：調査の実施方針等	12
1. 1. 調査の背景と目的.....	12
1. 2. 調査事項.....	12
1. 2. 1. ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者に対する効果的な啓 発コンテンツ及びその伝達方法の検討.....	13
1. 2. 2. 低年齢層の子供（未就学児）を持つ保護者に対する効果的な啓発コンテン ツ及びその伝達方法の検討.....	13
1. 2. 3. 効果的な啓発方法の実証.....	13
1. 3. 調査内容.....	13
1. 3. 1. ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者に対する効果的な啓 発コンテンツ及びその伝達方法の検討.....	14
1. 3. 2. 低年齢層の子供（未就学児）を持つ保護者に対する効果的な啓発コンテン ツ及びその伝達方法の検討.....	16
1. 3. 3. 効果的な啓発方法の実証.....	16
2. 青少年のスマートフォン利用に関するアンケート調査分析.....	18
2. 1. 青少年のスマートフォン利用に関する基礎データ.....	18
2. 1. 1. 青少年のインターネットに接続しているスマートフォン利用状況.....	18
2. 1. 2. 保護者の青少年のスマートフォン利用に関するリテラシー.....	22
2. 1. 3. 子供とのコミュニケーション状況.....	24
2. 2. 青少年のスマートフォン利用のペアレンタルコントロールに関する保護者の関心	26
2. 2. 1. スマートフォンのペアレンタルコントロールに関する保護者の関心.....	26
2. 2. 2. スマートフォンのペアレンタルコントロールに関心を持った理由・持たな い理由.....	27
2. 2. 3. 何があればスマートフォンのペアレンタルコントロールに関心を持つか	31
2. 3. 青少年のスマートフォン利用に関するペアレンタルコントロールの実施状況.....	34
2. 3. 1. スマートフォンのペアレンタルコントロールの実施状況.....	34
2. 3. 2. スマートフォンのペアレンタルコントロールを実施している理由・実施し てない理由.....	37
2. 3. 3. 何があればスマートフォンのペアレンタルコントロールをしたいと思うか	44

2. 3. 4. どのような手段でスマートフォンのペアレンタルコントロールについて知りたいか	47
2. 3. 5. スマートフォンのペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験	51
2. 4. 青少年のスマートフォン利用に関するトラブルの遭遇とペアレンタルコントロールの実施	54
2. 4. 1. 青少年のスマートフォンでのトラブル遭遇状況	54
2. 4. 2. スマートフォンのトラブルにどのように対応したか	58
2. 4. 3. 子供がインターネット上のトラブルに巻き込まれた時に相談しないことがあると思うか	60
3. 青少年の学習用端末利用に関するアンケート調査分析	62
3. 1. 青少年の学習用端末利用に関する基礎データ	62
3. 1. 1. 青少年の学習用端末利用状況	62
3. 1. 2. 学習用端末のフィルタリングサービスによって起こった問題	63
3. 2. 青少年の学習用端末利用の家庭内でのペアレンタルコントロールに関する保護者の関心	65
3. 2. 1. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関する保護者の関心	65
3. 2. 2. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関心を持った理由・持たない理由	66
3. 2. 3. 何があれば学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関心を持つか	70
3. 3. 青少年の学習用端末利用に関する家庭内でのペアレンタルコントロールの実施状況	73
3. 3. 1. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールを実施している理由・実施していない理由	73
3. 3. 2. 何があれば学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールをしたいと思うか	79
3. 3. 3. どのような手段で学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて知りたいか	81
3. 3. 4. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験	85
3. 4. 保護者が認識している青少年の学習用端末利用に関するトラブルの遭遇と家庭内でのペアレンタルコントロールの実施	88
3. 4. 1. 保護者が認識している青少年の学習用端末でのトラブル遭遇状況	88
4. 青少年のスマートフォン利用・学習用端末利用に関する啓発資料の作成と実験的調査	

.....	93
4. 1. 青少年のスマートフォン利用に関する啓発コンテンツの効果.....	93
4. 1. 1. コンテンツの効果.....	93
4. 1. 2. コンテンツへの評価.....	96
4. 2. 青少年の学習用端末利用に関する啓発コンテンツの効果.....	99
4. 2. 1. コンテンツの効果.....	99
4. 2. 2. コンテンツへの評価.....	102
4. 3. コンテンツ全体への評価.....	104
5. 青少年のスマートフォン利用・学習用端末利用に関する保護者インタビュー調査...	108
5. 1. 保護者インタビュー調査の概要.....	108
5. 2. ペアレンタルコントロールの関心・実施の背景.....	109
5. 3. ペアレンタルコントロール伝達手段へのニーズ.....	111
5. 4. ペアレンタルコントロール伝達コンテンツへのニーズ.....	112
5. 5. ペアレンタルコントロールに関するストーリー.....	113
【ストーリー1】親の目を意識させることが抑止力になる.....	113
【ストーリー2】早くから利用を習慣化する.....	114
【ストーリー3】教育の一環として使う.....	115
【ストーリー4】中高生の場合、保護者自身がコントロールを抑制.....	116
【ストーリー5】ペアレンタルコントロールは親の責任.....	116
【ストーリー6】学習用端末ではペアレンタルコントロールを全く行っていない....	117
【ストーリー7】身近な人からの情報を参考にしてルール・機能設定のカスタマイズを 行う.....	118
【ストーリー8】何が正しくて何が良いのかという基本が分からない.....	119
【ストーリー9】子どもにトラブル、困りごとの認識が薄い.....	120
【ストーリー10】子ども本人が危ない体験を体験すると、同じ間違いをしないように学 べるようになる.....	121
5. 6. ペアレンタルコントロールに関するニーズ.....	122
【ニーズ1】家庭や子どもに合った設定をするための基本的に設定すべき機能やルール のガイドラインが欲しい.....	122
【ニーズ2】スマートフォンのメリット・デメリットを教育的・IT面・心理面で把握し たい、エビデンスを知りたい.....	123
【ニーズ3】未就学児に特化した情報を知りたい.....	123
【ニーズ4】子どもに知られずに使い方や行動を管理したい.....	124
【ニーズ5】親自身のリテラシーを高めたい、ペアレンタルコントロールや機種・ルー ルの設定等の経験がなく知識を持っていないという思いも強い.....	126
【ニーズ6】ニュースにならないような身近なトラブル事例を知りたい。具体的な身近	

な事例のほうが理解しやすく、関心・危機感を持ちやすい.....	126
【ニーズ7】機種やルールでの設定が難しいリスクへの対応を行いたい。公式アプリや ゲームでもウイルス感染等の危険性がある	127
5. 7. 保護者インタビュー個別データ (全 21 件)	128
5. 7. 1. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施していない」】	128
5. 7. 2. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施していない」】	130
5. 7. 3. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施している」】	132
5. 7. 4. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施している」】	134
5. 7. 5. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施している」】	135
5. 7. 6. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施している」】	138
5. 7. 7. 【未就学児／女児／「関心はある」かつ「実施している」】	140
5. 7. 8. 【未就学児／女児／「関心はある」かつ「実施している」】	142
5. 7. 9. 【未就学児／女児／「関心はある」かつ「実施している」】	144
5. 7. 10. 【未就学児／女児／「関心はある」かつ「実施している」】	146
5. 7. 11. 【未就学児／女児／「関心はある」かつ「実施している」】	148
5. 7. 12. 【未就学児／女児／「関心はある」かつ「実施している」】	151
5. 7. 13. 【小学校低学年／男児／「関心はある」かつ「実施していない」】 ..	153
5. 7. 14. 【小学校低学年／女児／「関心はある」かつ「実施していない」】 ..	155
5. 7. 15. 【小学校高学年／男児／「関心はある」かつ「実施している」】	157
5. 7. 16. 【小学校高学年／女児／「関心はない」かつ「実施していない」】 ..	160
5. 7. 17. 【中学生／男児／「関心はある」かつ「実施していない」】	162
5. 7. 18. 【中学生／女児／「関心はない」かつ「実施していない」】	164
5. 7. 19. 【高校生／男児／「関心はない」かつ「実施していない」】	166
5. 7. 20. 【高校生／男児／「関心はない」かつ「実施していない」】	168
5. 7. 21. 【高校生／女児／「関心はない」かつ「実施していない」】	170
6. 示唆	173
6. 1. スマートフォンのペアレンタルコントロールに関する示唆	173
6. 1. 1. 未就学からペアレンタルコントロールの啓発を推進するとともに、特に中 学1年生・高校1年生の保護者を対象に啓発を強化することが効果的	173
6. 1. 2. ペアレンタルコントロールの実施なし・関心なしの保護者の家庭では、青 少年が高いリスクにさらされており、重点的な啓発が必要	173
6. 1. 3. スマートフォン利用のポジティブ・ネガティブ影響について調査を行い、 エビデンスベースで啓発することが必要	174
6. 1. 4. 未就学児や年齢の高い青少年であってもスマートフォントラブルに巻き込 まれるリスクがあることを啓発することが必要	174
6. 1. 5. ペアレンタルコントロールの啓発手段としては、インターネット、テレビ・	

本・パンフレットが有効であり、特に低年齢層には学校や保育園での説明も効果的	174
6. 1. 6. トラブルへの対応方法としては、ルールの厳格化をうまく実施する方法、 スマートフォン利用の一時禁止をうまく実施する方法、フィルタリングサービスの有 効性と導入方法の啓発が必要	175
6. 1. 7. ペアレンタルコントロールを現在実施していない保護者には、実際に起こ る青少年のトラブルやその影響、具体的なペアレンタルコントロール手法と効果、コミ ュニケーションの重要性について、インターネット、テレビ・本・パンフレット、学校 や保育園での説明で啓発することが効果的	175
6. 2. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関する示唆	176
6. 2. 1. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールの啓発を推進するこ とが必要.....	176
6. 2. 2. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて、学校での説 明をより拡充すると同時に、保護者の相談に応える機会を設定することも必要	177
6. 2. 3. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールの啓発資料として、イ ンターネットコンテンツを拡充することが必要	178
6. 2. 4. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールの啓発に当たっては、 適切な学校と保護者の指導の連携・分担の方法、学習用端末のトラブルの子どもへの影 響、ルールを子どもが破った時の適切な対応の仕方などを盛り込むことが効果的 ..	178
6. 3. スマートフォン・学習用端末のペアレンタルコントロールに関する啓発全般につ いて	178
6. 3. 1. 啓発資料は手軽さ・分かりやすさを重視して作成することが効果的 ..	178
6. 3. 2. 青少年向けのスマートフォン・学習用端末利用に関する啓発資料を拡充さ せることが必要	179
6. 3. 3. ペアレンタルコントロールの実施なし・関心なしの保護者へは啓発コンテ ンツだけでなく、強制参加の説明会などで丁寧なコミュニケーションが必要	179
A 1. アンケート調査票	180
A 2. 実験的調査における提供資料・追跡調査票	237
A 2. 1. 提供資料（啓発フライヤー資料）	237
A 2. 2. 追跡調査票	237
A 3. 保護者インタビュー調査票の概要	252

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

本編

1. はじめに：調査の実施方針等

1. 1. 調査の背景と目的

「青少年が安全に安心してインターネットを利用できるようにするための施策に関する基本的な計画（第5次）」における特に留意すべき取組の観点として、次の3点が定められている。①法改正を踏まえたフィルタリング利用率向上のための取組の更なる推進、②青少年のインターネットを適切に活用する能力の向上促進、③ペアレンタルコントロール¹による対応の推進。

青少年のインターネット利用環境の急速な変化を踏まえると、フィルタリングの利用促進のみならず、青少年がインターネット上のサービスを利用することを前提としたサービス・コンテンツ利用に関する取組を進める必要がある。以上の認識の下、総務省の「新たな課題及び対策」に基づき、総務省からの委託を受けて学校法人国際大学が実施した「令和3年度 我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールに関する調査」の調査結果では、今後の取組の方向性として、(1)青少年トラブルを減らすためには、フィルタリングサービスの導入促進と家庭内ルールの啓発を共に行うこと、(2)低年齢層への啓発をより充実させることへの示唆が示された。

以上を踏まえ、本調査においては①ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法の検討、②低年齢層の子供（未就学児）を持つ保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法の検討、③①及び②を踏まえた効果的な啓発方法の実証について、文献調査、インタビュー調査、アンケート調査分析、実験的調査、有識者ヒアリングを行う。そして、保護者が子供の成長やICT利用状況に即した適切なペアレンタルコントロールを行うことができるよう、官民の取組の促進に資することを目的とする。

1. 2. 調査事項

青少年がインターネットを利用することを前提としたペアレンタルコントロールの取組の促進を行うため、その効果的な啓発に資する取組を検討すべく、以下の①から③までを含む事項について調査する。青少年とは、18歳未満の者を指すものとする。

- ① ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法の検討

¹ 本稿では、ペアレンタルコントロールの定義として、特に青少年のインターネット利用に関して、親が行う管理全般のことを指す。フィルタリングサービスなどの機能にとどまらず、家庭内ルールの作成なども含む。

- ② 低年齢層の子供（未就学児）を持つ保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法の検討
- ③ ①及び②を踏まえた効果的な啓発方法の実証

1. 2. 1. ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法の検討

特にペアレンタルコントロールの取り組みに関心が無い（小さい）保護者にフォーカスし、文献調査、インタビュー調査、アンケート調査分析、有識者ヒアリングから、効果的な啓発コンテンツの内容とその伝達方法について、定量的・定性的に明らかにする。ただし、「ペアレンタルコントロールに関心を持つようになり得る（又はなった）要因も探る必要がある。そのため、ペアレンタルコントロールの取組に関心がある保護者も調査対象とする。

1. 2. 2. 低年齢層の子供（未就学児）を持つ保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法の検討

特に低年齢層の子供（未就学児）を持つ保護者にフォーカスし、文献調査、インタビュー調査、アンケート調査分析、有識者ヒアリングから、効果的な啓発コンテンツの内容とその伝達方法について、定量的・定性的に明らかにする。

1. 2. 3. 効果的な啓発方法の実証

2. 1. と 2. 2. の調査結果を踏まえ、とりわけペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者や未就学児を持つ保護者に対して効果的な啓発コンテンツを開発する。コンテンツはフローチャートかリーフレット等とし、実験という性質を踏まえた構成になるように工夫して作成する。また実験的手法を使って、それらの属性に合致する保護者に対して実際にコンテンツを提供し、どれくらいペアレンタルコントロールの取組に関心を抱くようになるか、どれくらいペアレンタルコントロールを実際に実施しようと思うか、定量的に明らかにする。

1. 3. 調査内容

文献調査、インタビュー調査、アンケート調査、実験的調査、有識者ヒアリング調査を取り入れた、次の調査を執り行う。

1. 3. 1. ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法の検討

文献調査：文献調査によって、ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者が、啓発コンテンツの内容や手段として何を望んでいると考えられるか調査する。調査内容はアンケート調査、インタビュー調査、実験的手法の設計に生かされる。

インタビュー調査：20名の保護者を対象としたインタビュー調査で、特にペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者を重点的にインタビューを行い、保護者がペアレンタルコントロールに関心を持たない要因、希望する啓発コンテンツの内容、希望する啓発コンテンツの媒体、これまでに利用した啓発コンテンツの媒体、青少年がインターネットを利用する中で遭遇したトラブル、各トラブル発生時の対応などについて調査する。ただし、関心を持ったきっかけの経験を調査したり、比較調査したりするため、「ペアレンタルコントロールに関心はあるが、取組をしていない」「ペアレンタルコントロールに関心があり、取組もしている」といった保護者にも調査を行う。必要に応じて企業インタビュー調査も行う。調査手法の詳細は第5章を参照されたい。

アンケート調査分析：アンケート調査分析では青少年の属性に偏りが出ないように割り付けを行い、6,275名のサンプルサイズを確保する。調査対象としたのは、調査会社並びに提携会社の保有する、20歳～69歳の登録モニタである。調査はインターネットで行う。まずはスクリーニング調査を実施し、以下の条件に合う保護者を抽出した。

- 子供と同居しており、且つ、長子の属性が未就学児（3歳～6歳）、小学1年生～高校3年生のいずれかである。
- 長子がインターネットに接続しているスマートフォンを利用している。ただし、利用とは専用に限らず、兄弟との共同での利用なども含まれる。

調査時期は2023年1月19日～26日である。長子年齢によって1学年ずつ均等に200名ずつ取得することを目標に、93,712名に調査票を配信し、6,400名の回答を得た。さらにデータクリーニングをした結果、最終的なサンプルサイズは6,275件となった。データクリーニングの基準は、「ストレート回答（マトリクス設問で全て同じ選択肢を選んでいる）が複数存在している」「回答の矛盾」である。最終的なサンプルサイズは図表1.1のとおり。

図表 1.1 サンプルサイズ

学齢	男	女	合計
3歳	194	190	384
4歳	195	193	388
5歳	194	196	390
6歳で未就学	195	192	387
小学1年生	190	197	387
小学2年生	197	195	392
小学3年生	195	196	391
小学4年生	198	200	398
小学5年生	197	197	394
小学6年生	196	198	394
中学1年生	198	198	396
中学2年生	198	197	395
中学3年生	197	197	394
高校1年生	199	198	397
高校2年生	197	195	392
高校3年生	196	200	396
合計	3136	3139	6275

ただし、スクリーニングの段階で各学年（未就学含む）に応じて均等割り付けを行っているため、実社会に比べて歪んだサンプルの分布となっている。つまり、本研究では「スマートフォンでインターネットを利用している長子を持つ保護者」を対象としているわけだが、図表 1.1 のような割り付けは実際の長子のスマートフォン利用率と大きく異なる。これをそのままに分析を行うと、未就学児の説明力が過剰に高くなってしまふ。そこで、誤った結果を導くのを防ぐため、実際の分析に当たっては各年齢・性別におけるスマートフォン利用率に応じたウェイトバックを行った。ウェイトバックとは、元の構成に合わせて重み付けをして分析する手法である。

そして、保護者を「ペアレンタルコントロールに関心がなく、取組もしていない」「ペアレンタルコントロールに関心がなく、取組はしている」「ペアレンタルコントロールに関心があるが、取組をしていない」「ペアレンタルコントロールに関心があり、取組もしている」の 4 つに分類する。そして、保護者がペアレンタルコントロールに関心を持たない要因、関心を持つようになり得る（持った）要因、希望する啓発コンテンツの内容、希望する啓発コンテンツの媒体、これまでに利用した啓発コンテンツの媒体、青少年がインターネットを利用する中で遭遇したトラブル、各トラブル発生時の対応などについて定量的な調査分析を行う。さらに、プライベートで利用しているスマートフォンと GIGA スクールで配布された学習用端末を区別して分析する。

有識者会議:7名からなる有識者を構成員とした検討会を実施し、意見を収集・整理する。調査前においては、効果的な調査結果を得るための調査項目や調査手法などの意見を聴取する。調査後においては、調査結果の分析、解釈、ヒアリング結果を踏まえ、適切なペアレンタルコントロールをするための効果的な方策を聴取する。得られた結果を基に、ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法について示唆を得る。

1. 3. 2. 低年齢層の子供（未就学児）を持つ保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法の検討

文献調査:文献調査によって、ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者が、啓発コンテンツの内容や手段として何を望んでいると考えられるか調査する。調査内容はアンケート調査、インタビュー調査、実験的手法の設計に生かされる。

インタビュー調査:20名の保護者を対象としたインタビュー調査で、特に未就学の子供を持つ保護者に対して重点的にインタビューを行い、保護者がペアレンタルコントロールに関心を持たない要因（あるいは持った要因）、希望する啓発コンテンツの内容、希望する啓発コンテンツの媒体、これまでに利用した啓発コンテンツの媒体、青少年がインターネットを利用する中で遭遇したトラブル、各トラブル発生時の対応などについて調査する。

アンケート調査分析:アンケート調査分析では6,275名のサンプルサイズを確保して分析するが、とりわけ未就学児の保護者にフォーカスした詳細な分析も行う。未就学児の保護者がペアレンタルコントロールに関心を持たない要因、関心を持つようになり得る（持った）要因、希望する啓発コンテンツの内容、希望する啓発コンテンツの媒体、これまでに利用した啓発コンテンツの媒体、青少年がインターネットを利用する中で遭遇したトラブル、各トラブル発生時の対応などについて、定量的な調査分析を行い、未就学児の保護者に特化した含意を得る。

有識者会議:7名からなる有識者を構成員とした検討会を実施し、意見を収集・整理する。調査前においては、効果的な調査結果を得るための調査項目や調査手法などの意見を聴取する。調査後においては、調査結果の分析・解釈、ヒアリング結果を踏まえ、適切なペアレンタルコントロールをするための効果的な方策を聴取する。得られた結果を基に、未就学の子どもを持つ保護者に対する効果的な啓発コンテンツ及びその伝達方法について示唆を得る。

1. 3. 3. 効果的な啓発方法の実証

文献調査、保護者インタビュー調査、アンケート調査分析、有識者ヒアリングから、特に

ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者や未就学の子供を持つ保護者に効果的と考えられる啓発コンテンツを作成する。

啓発コンテンツの作成に当たっては、実験という性質を踏まえた構成にするよう工夫する。具体的には、文言・内容・コンテンツ形式については文献調査、保護者インタビュー調査、アンケート調査分析、有識者ヒアリング等の結果を踏まえるだけでなく、保護者に伝えることに長けた監修者や、必要に応じてデザイナー・イラストレーターを起用することにより、一般の保護者が理解しやすい内容とする。

実験的手法を取り入れた調査では、ペアレンタルコントロールを実施していない 500 名以上の青少年保護者を対象に、子どもの成長や ICT 利用状況に応じたペアレンタルコントロールを学べる啓発コンテンツ（ウェブページ）を提供したうえで、その後の保護者のペアレンタルコントロールに対する認識の変化や影響について調査分析する。調査期間は 2023 年 3 月 3 日～3 月 9 日である。実際には 624 名を対象として調査を行い、スマートフォンにおいてペアレンタルコントロールを 1 つも実施していない保護者を 371 名、学習用端末においてペアレンタルコントロールを 1 つも実施していない保護者を 310 名対象とした。また、啓発コンテンツがスマートフォンで閲覧することを前提として作られているため、スマートフォンでの回答者のみを取得した。サンプルサイズは以下のとおり。

図表 1.2 実験的調査のサンプルサイズ

年齢	スマートフォンの調査	学習用端末の調査
未就学	105	
小学低学年	63	97
小学高学年	45	90
中学	71	123
高校	87	

分析に当たってはコンテンツの啓発効果の検証が中心となるが、コンテンツそのものに対する評価・改善してほしい点も収集し、それらを踏まえて、啓発コンテンツに修正すべき箇所があれば、反映する。実験的手法においても、ペアレンタルコントロールの取組に関心が無い保護者の分析においては、プライベートで利用しているスマートフォンと GIGA スクールで配布された学習用端末を区別して分析する。

※本調査における学習用端末に関する分析は、青少年保護者がペアレンタルコントロールにどういった認識・知識を持っているか等に基づいている箇所である。こうした箇所については、各自治体等の実際の実施状況等とは完全に一致しない場合がある。

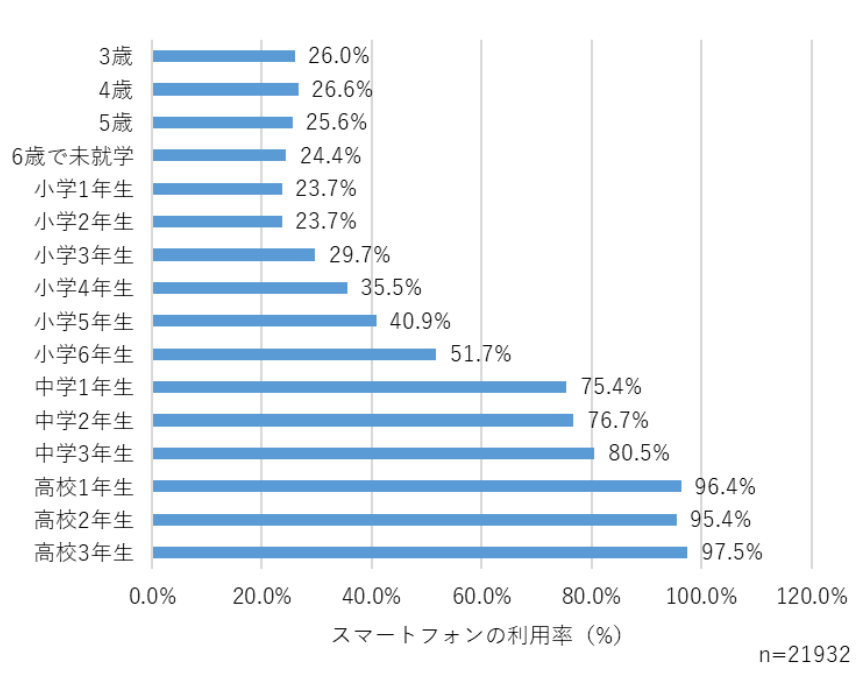
2. 青少年のスマートフォン利用に関するアンケート調査分析

2. 1. 青少年のスマートフォン利用に関する基礎データ

2. 1. 1. 青少年のインターネットに接続しているスマートフォン利用状況

まず、スクリーニング調査において未就学（3～6歳）～高校3年生までで、インターネットに接続しているスマートフォン利用率がどのようになっているか示したものが図表 2.1 である。尚、ここでいう利用とは、「そのお子様専用のものを持っており、それを利用している」「兄弟姉妹で共用のものを持っており、それを利用している」「親の機器を用いて、親が見ている前でのみ利用している」「親の機器を用いて、一人で利用することがある」「その他の形態で利用している」「わからない」のいずれかに該当することを指す。

図表 2.1 を見ると、未就学（3～6歳）ではおよそ 25%と少ない利用率であり、高校3年生では 95%を超えていることが分かる。また、小学校高学年から増加し、中学1年生、高校1年生といった節目で大きく変化する。



図表 2.1 青少年のインターネットに接続しているスマートフォン利用率（年齢別）

続けて、スマートフォン利用者について利用形態を調査した結果が図表 2.2 である。尚、以降、未就学とは 3～6歳の未就学児を指す。青少年の年齢によって専用の機器を持つ割合が増加し、その一方で親の機器を用いる割合が減少していくのが分かる。小学生以降では専用の機器を持つ割合が最多であり、特に中学生になると 9 割を超える。未就学では「親の機器を用いて、親が見ている前でのみ利用している」が最も多く、「親の機器を用いて、一人

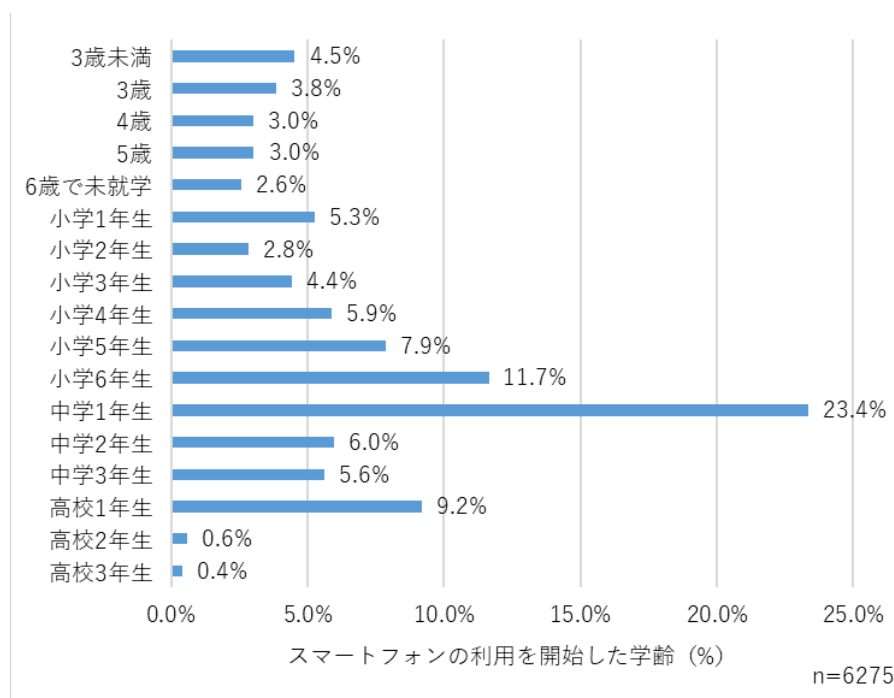
で利用することがある」と合計すると 73.7%となる。しかしこれは高校生になるとわずか 0.6%である。

図表 2.2 青少年のスマートフォン利用形態

スマートフォン利用形態	未就学	小学		中学	高校
		低学年	高学年		
そのお子様専用のものを持っており、それを利用している	13.5%	47.2%	73.5%	94.7%	97.9%
兄弟姉妹で共用のものを持っており、それを利用している	2.3%	5.3%	4.0%	0.8%	0.4%
親の機器を用いて、親が見ている前でのみ利用している	52.7%	27.1%	9.6%	1.5%	0.3%
親の機器を用いて、一人で利用することがある	21.0%	16.0%	9.8%	2.3%	0.3%
その他の形態で利用している	4.2%	2.4%	1.8%	0.3%	0.2%
わからない	6.3%	2.0%	1.3%	0.4%	0.8%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

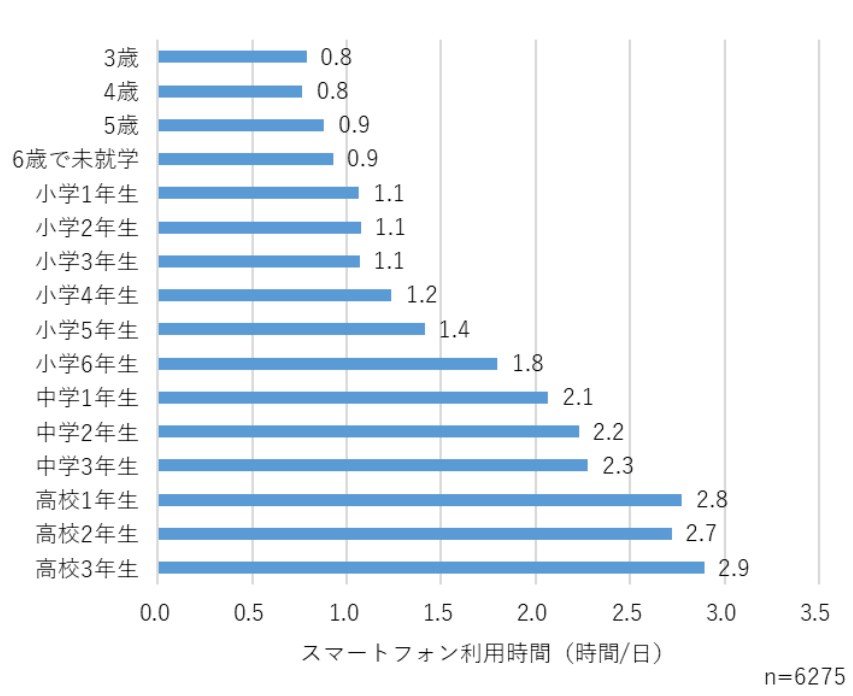
青少年がスマートフォンの利用を開始した時期を見ると（図表 2.3）、中学 1 年生が最も多く（23.4%）、次いで小学 6 年生（11.7%）、高校 1 年生（9.2%）となっている。ここでも小学 1 年生、中学 1 年生、高校 1 年生の節目でスマートフォン利用が始まる傾向が見られる。3 歳未満が 4.5%と少なくなく、子育て中に親の機器を利用するケースが多いと考えられる。また、中学 1 年生までに利用を開始している青少年が 8 割弱となっている。



図表 2.3 青少年のスマートフォン利用開始時期

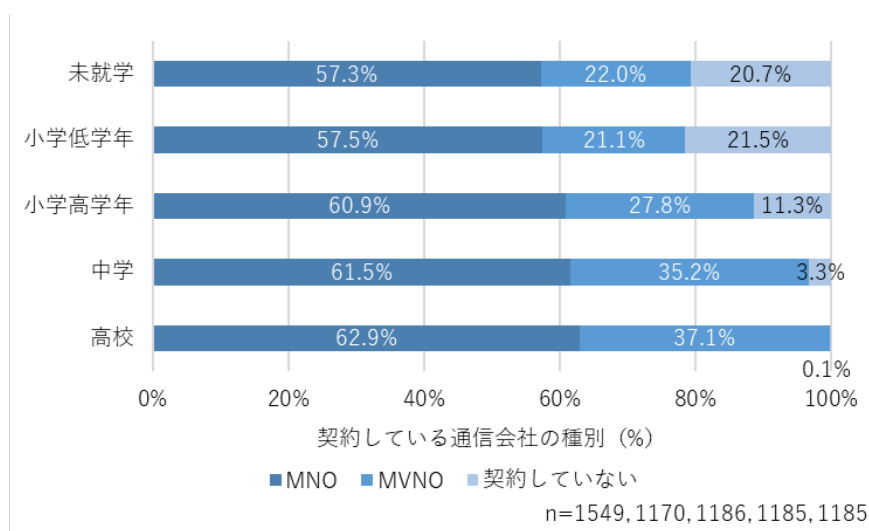
図表 2.4 は青少年が家で 1 日にスマートフォンを利用する時間を示している。未就学でも 1 時間近く利用していて、中学生になると増加して 2 時間以上になる。高校生になるとさら

に3時間近くまで増加する。



図表 2.4 青少年が家でスマートフォンを利用する時間

図表 2.5 は青少年のスマートフォンで契約している通信事業者の種別を示している。未就学、小学校低学年では「契約していない」が約 20%であり、年齢が低いときは契約していないことが多い。本調査はインターネットに接続しているスマートフォンについての調査であるため、年齢が低い時は Wi-Fi でインターネットに接続していると考えられる。



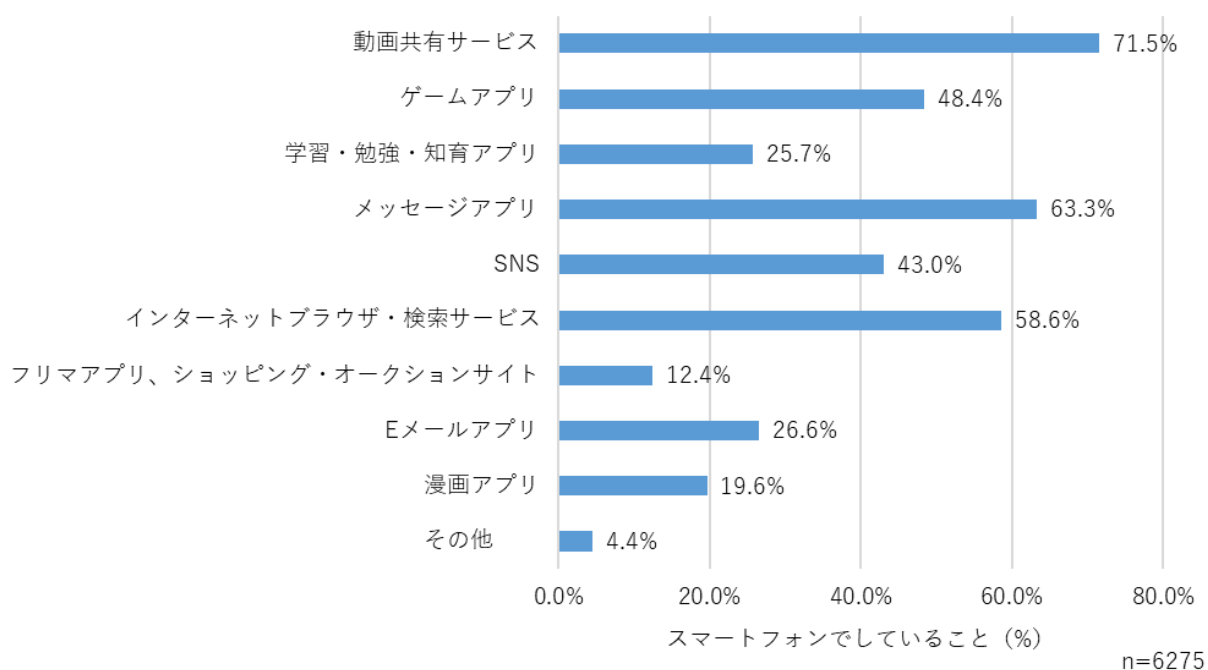
図表 2.5 青少年のスマートフォンで契約している通信事業者 (年齢別)

青少年がスマートフォンで何をしているかを示したのが図表 2.6 と図表 2.7 である。調査

項目については、内閣府（2020）²及び総務省（2021）³を参考とした。

まず全体（図表 2.6）を見ると、最多は「動画共有サービス」（71.5%）であり、次点で「メッセージアプリ」（63.6%）、その次が「インターネットブラウザ・検索サービス」（58.6%）と続いている。

図表 2.7 は年齢別に見たものであり、各年齢分類の上位 3 つのものに色付けをしている（縦に上位 3 つ）。いずれの年齢でも「動画共有サービス」は最多になっている。未就学と小学低学年では「ゲームアプリ」、「学習・勉強・知育アプリ」が多いが、小学高学年からは「メッセージアプリ」と「インターネットブラウザ・検索サービス」が多い。代表的な「メッセージアプリ」である LINE の推奨年齢は 12 歳以上であり、フィルタリングサービスでは中学生まで制限されていることが多いことに反して、実態としては多くの小学生が利用していることがわかる。



図表 2.6 青少年がスマートフォンで利用しているもの

² 内閣府（2020）「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」,
<https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/jittai-html/index.html>

³ 総務省（2021）「インターネットトラブル事例集（2021 年度版）」,
https://www.soumu.go.jp/main_content/000805434.pdf

図表 2.7 青少年がスマートフォンで利用しているもの（年齢別）

スマートフォンでしていること	未就学	小学		中学	高校
		低学年	高学年		
動画共有サービス	67.7%	62.7%	63.8%	72.5%	77.9%
ゲームアプリ	27.0%	45.6%	48.3%	51.5%	54.2%
学習・勉強・知育アプリ	28.1%	26.0%	19.5%	21.1%	31.3%
メッセージアプリ	8.6%	30.4%	57.1%	79.1%	81.0%
SNS	8.0%	11.9%	24.2%	50.4%	65.8%
インターネットブラウザ・検索サービス	10.5%	30.8%	51.5%	70.9%	75.8%
フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト	4.4%	4.7%	3.2%	11.2%	22.3%
Eメールアプリ	5.2%	9.1%	10.8%	27.2%	45.1%
漫画アプリ	4.4%	5.6%	9.8%	23.0%	30.4%
その他	9.2%	6.5%	3.9%	2.8%	3.8%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

2. 1. 2. 保護者の青少年のスマートフォン利用に関するリテラシー

正しいと思うものを選択する形で、保護者の青少年のスマートフォン利用とペアレンタルコントロールに関する知識を調査した結果が図表 2.8 である。図表 2.8 中の項目は全て正しい内容であるが、それを正しいと選択した人がどの程度いたかを表している。

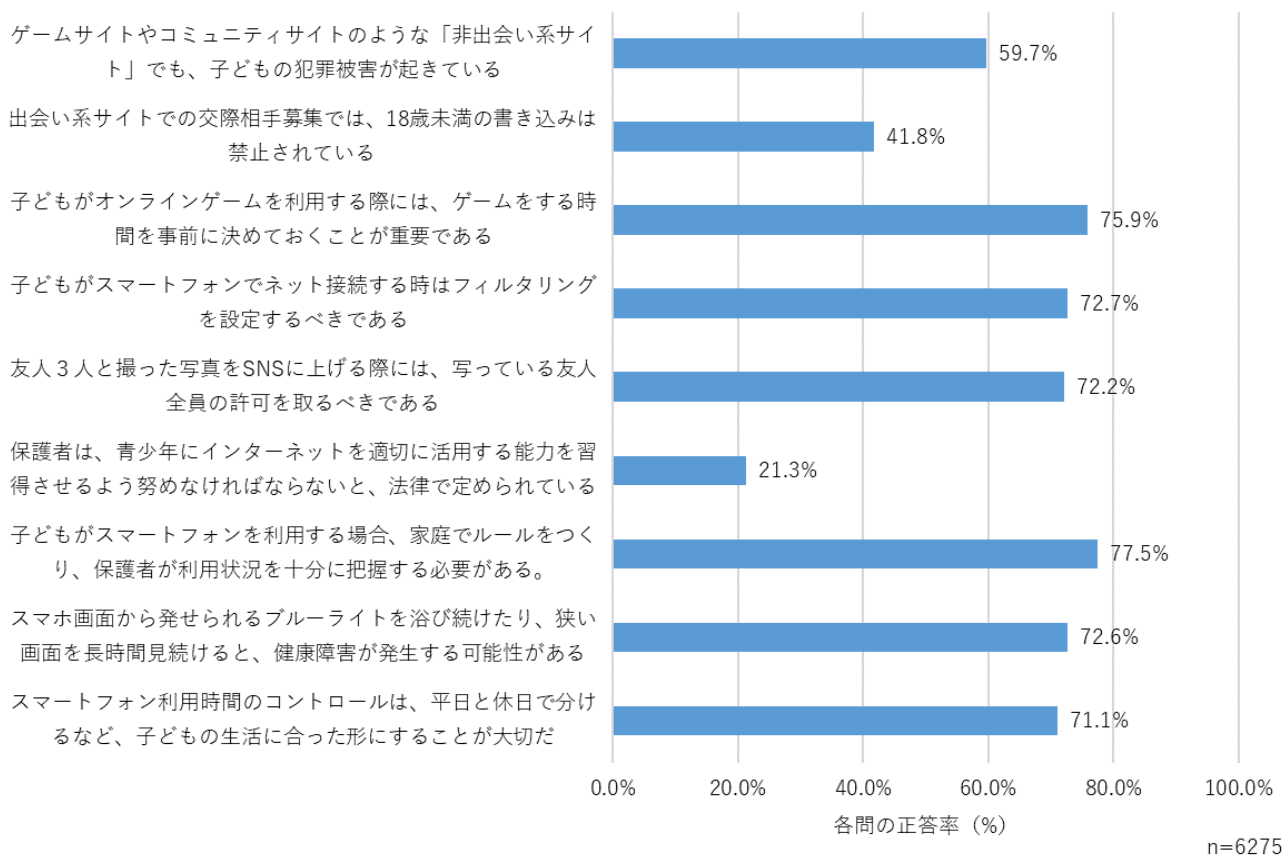
なお、この設問を作成するにあたり、一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会（2017）⁴の ILAS、茨城県青少年を取り巻く有害情報対策推進事業実行委員会⁵、Yahoo! JAPAN（2021）⁶の作成している問題を参考にした。

正答率が低いものとして、「出会い系サイトでの交際相手募集では、18 歳未満の書き込みは禁止されている」（41.8%）、「保護者は青少年がインターネットを適切に活用する能力を習得させることに努めなければならないことは、法律で定められている」（21.3%）がある。とりわけ法律の件は正答率が低く、「青少年が安全に安心してインターネットを利用できる環境の整備等に関する法律」は浸透していないといえる。

⁴ 一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会（2017）「安心協 I L A S テスト 解答&解説集」, <https://www.good-net.jp/files/original/2018061517573959458d61f61.pdf>

⁵ 茨城県青少年を取り巻く有害情報対策推進事業実行委員会「ケータイ安全利用ドリル」, http://www.ibaraki-ikusei.jp/keitai/quiz/quiz_a.php?kaitou.x=110&kaitou.y=9

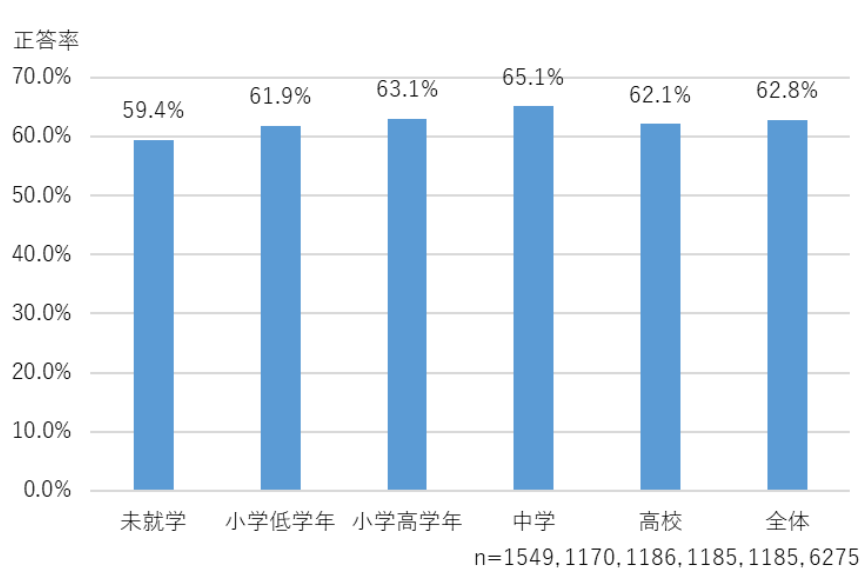
⁶ Yahoo! JAPAN（2021）「全国統一ネット常識力模試」, <https://net-literacy.yahoo.co.jp/>



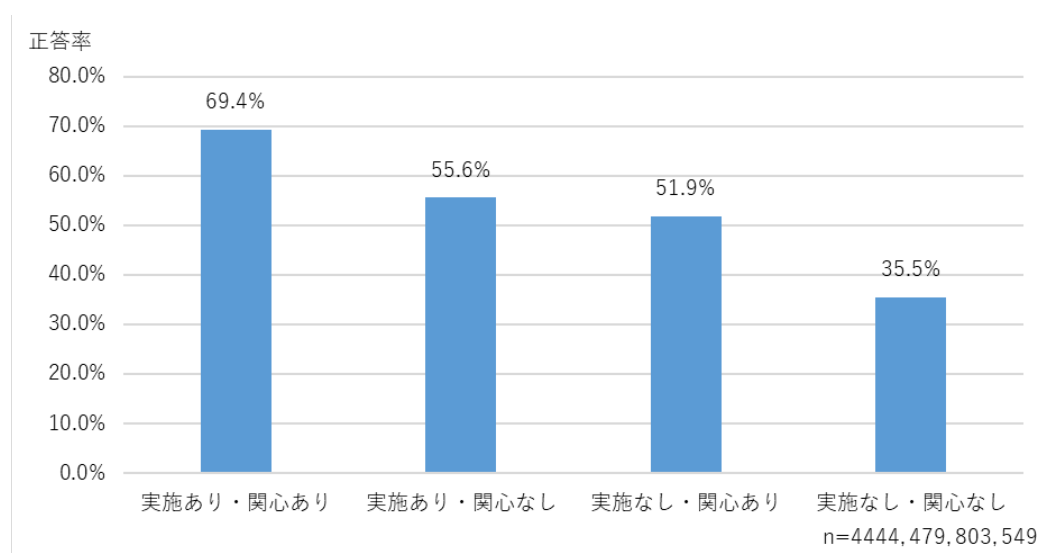
図表 2.8 ペアレンタルコントロールに関する保護者の各問正答率

子どもの年齢別に見ると（図表 2.9）、未就学保護者の正答率がやや低く、60%を下回っている。子どもの年齢によらず正答率は60%程度であり、リテラシーは高いとは言い難く、啓発の必要性が示唆される。

ペアレンタルコントロールの実施状況とペアレンタルコントロールに関する関心別に見る（図表 2.10）。詳細は第4章に記すが、ペアレンタルコントロールの実施があるかないかと、ペアレンタルコントロールに対する関心があるかないかで保護者を4分類している。ペアレンタルコントロールの実施あり・関心ありの人は正答率が高い（69.4%）のに対して、実施なし・関心なしでは正答率がかなり低い（35.5%）。スマートフォン利用に関する知識がなく、ペアレンタルコントロールについて実施していなくて関心もないということは、青少年がリスクにさらされている可能性が非常に高いことを意味するため、特に啓発が重要な保護者であるといえよう。



図表 2.9 ペアレンタルコントロールに関する保護者の各問正答率平均値（年齢別）



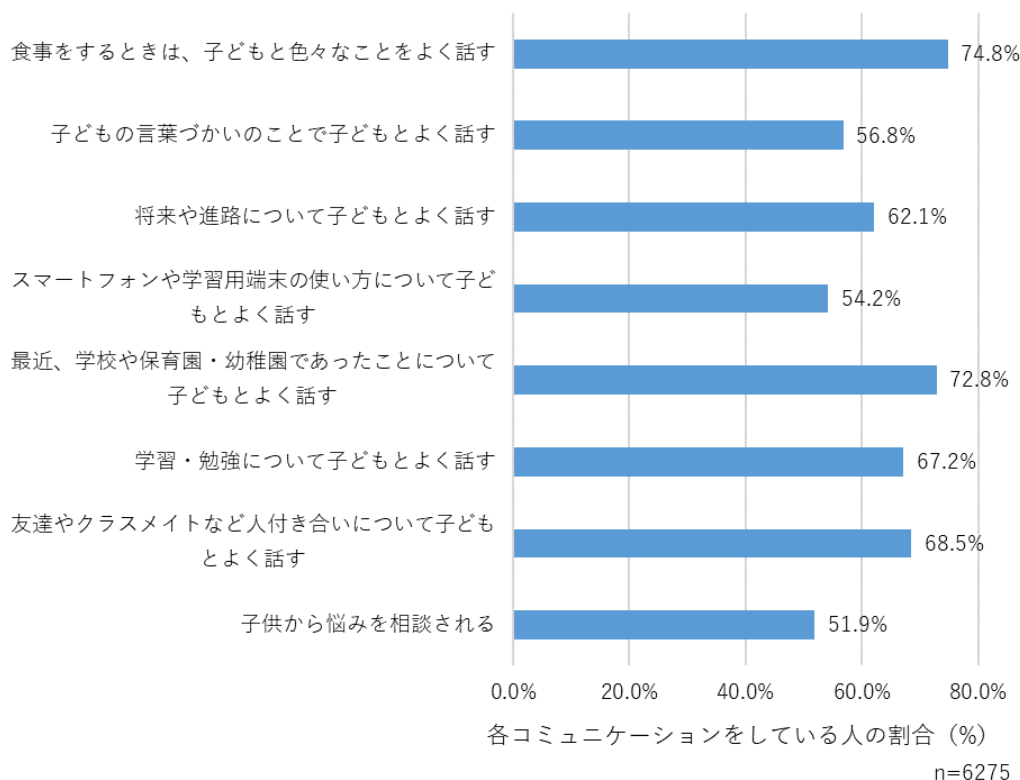
図表 2.10 ペアレンタルコントロールに関する保護者の各問正答率平均値（保護者 4 分類別）

2. 1. 3. 子供とのコミュニケーション状況

図表 2.11 は、青少年とのコミュニケーション状況についての調査結果である。質問項目は萩生田ほか (2012) の「日頃の親子のかかわり尺度⁷」を参考に作成した。「かなり当てはまる」～「ほとんど当てはまらない」の 4 段階で調査をし、「かなり当てはまる」または「す

⁷ 萩生田伸子, 脇田貴文, & 沢崎俊之. (2012). 「日頃の親子のかかわり」 尺度の簡易版作成の試み (2) < 人文・社会科学. 埼玉大学紀要. 教育学部, 61(2), 139-147.

こし当てはまる」を選択した人の割合を示している。全体的に過半数の人は当てはまるとしており、とりわけ「食事をするときは、子どもと色々なことをよく話す」が多い(74.8%)。一方、「スマートフォンや学習用端末の使い方について子どもとよく話す」(54.2%)や、「子供から悩みを相談される」(51.9%)は相対的に少なく、インターネットトラブルに直接関連するコミュニケーションは十分でないと考えられる。



図表 2.11 青少年とのコミュニケーション状況

これを子どもの年齢別に分析した結果(図表 2.12)、未就学と高校では平均が 60%未満であり、親子間のコミュニケーションが少ないことが分かった。

また、2. 1. 2. と同様に保護者の 4 分類で分析した結果(図表 2.13)、ペアレンタルコントロールについて実施あり・関心ありの保護者(平均 70.1%)に比べて、そうでない保護者は顕著にコミュニケーションが少ない。とりわけ実施なし・関心なしの保護者は平均 36.2%と、非常に少ないことが分かる。リテラシーが低く、子どもとのコミュニケーションも少ないということで、ここからも青少年が高いリスクにさらされていることが分かる。

図表 2.12 青少年とのコミュニケーション状況（年齢別）

子供とのコミュニケーション	小学		中学		
	未就学	低学年	高学年	高校	高校
食事をするときは、子どもと色々なことをよく話す	76.5%	80.0%	79.9%	74.6%	70.6%
子どもの言葉づかいのことで子どもとよく話す	69.2%	74.2%	68.2%	55.5%	44.0%
将来や進路について子どもとよく話す	34.7%	52.4%	60.1%	67.1%	71.1%
スマートフォンや学習用端末の使い方について子どもとよく話す	42.9%	61.4%	63.8%	59.0%	48.1%
最近、学校や保育園・幼稚園であったことについて子どもとよく話す	83.2%	85.1%	81.9%	69.7%	64.5%
学習・勉強について子どもとよく話す	48.0%	79.6%	75.1%	71.9%	63.3%
友達やクラスメイトなど人付き合いについて子どもとよく話す	72.6%	82.4%	78.9%	66.2%	60.8%
子供から悩みを相談される	41.1%	61.2%	58.7%	51.7%	50.4%
平均	58.5%	72.1%	70.8%	64.5%	59.1%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

図表 2.13 青少年とのコミュニケーション状況（保護者 4 分類別）

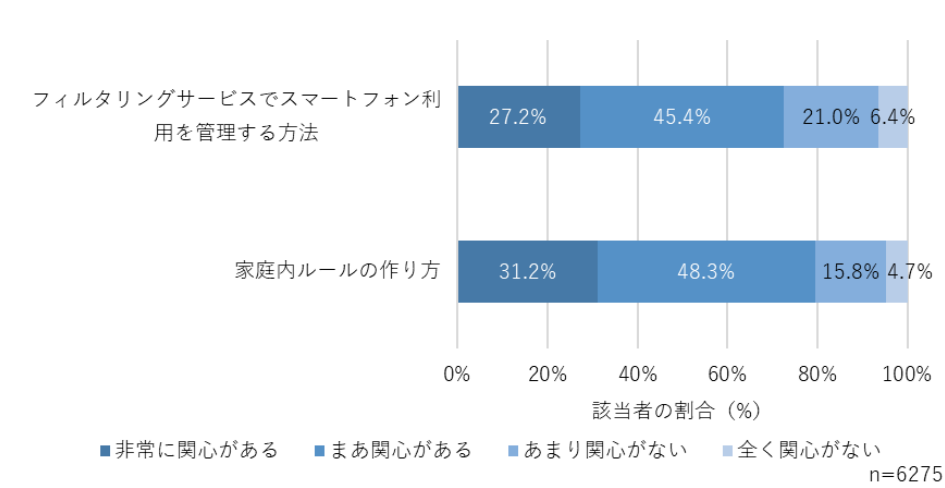
子供とのコミュニケーション	実施あり		実施なし	
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
食事をするときは、子どもと色々なことをよく話す	80.9%	66.4%	68.8%	46.1%
子どもの言葉づかいのことで子どもとよく話す	64.1%	37.8%	49.6%	30.3%
将来や進路について子どもとよく話す	67.5%	55.2%	55.3%	38.6%
スマートフォンや学習用端末の使い方について子どもとよく話す	62.1%	35.6%	45.4%	25.1%
最近、学校や保育園・幼稚園であったことについて子どもとよく話す	79.0%	60.9%	67.5%	46.2%
学習・勉強について子どもとよく話す	75.0%	54.8%	56.1%	36.7%
友達やクラスメイトなど人付き合いについて子どもとよく話す	74.9%	59.3%	62.1%	39.5%
子供から悩みを相談される	57.4%	42.0%	47.3%	27.2%
平均	70.1%	51.5%	56.5%	36.2%

n=4444, 479, 803, 549

2. 2. 青少年のスマートフォン利用のペアレンタルコントロールに関する保護者の関心

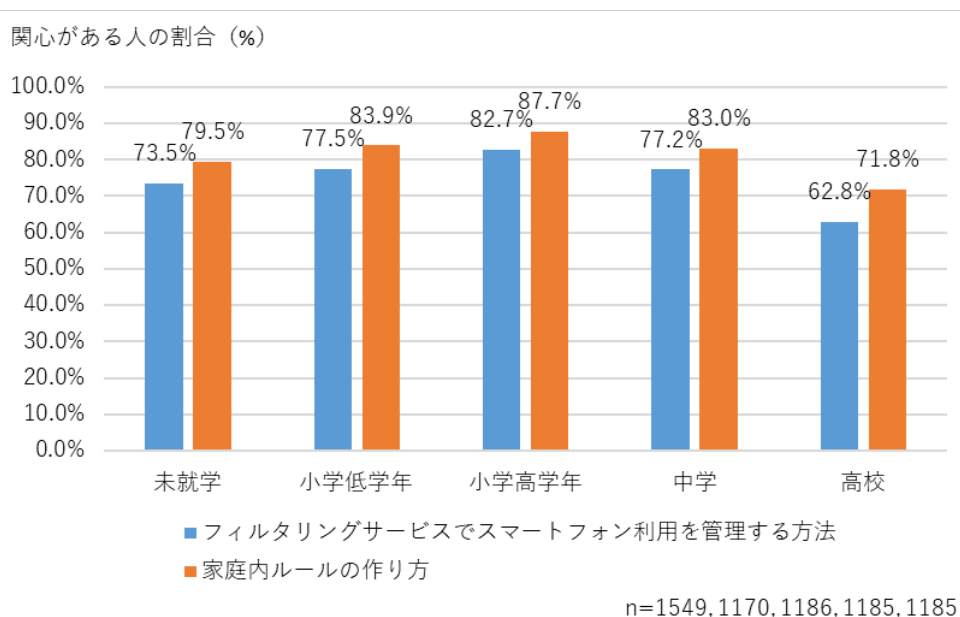
2. 2. 1. スマートフォンのペアレンタルコントロールに関する保護者の関心

図表 2.14 は、ペアレンタルコントロールへの関心について「非常に関心がある」～「全く関心がない」の 4 段階で調査した結果である。関心のある人（「非常に関心がある」＋「まあ関心がある」）が多いが、「フィルタリングサービスを使って子どものスマートフォンの利用を管理する方法」では 27.4%が、「適切なスマートフォン利用に関する家庭でのルールの作り方」では 20.5%が関心がない（「あまり関心がない」＋「全く関心がない」）ことがわかる。



図表 2.14 ペアレンタルコントロールに関心のある人

関心のある人（「非常に興味がある」＋「まあ興味がある」）の割合を年齢別に見ると（図表 2.15）、未就学と高校で低いことが分かる。未就学は親の機器を利用している割合が高いこと、高校は子ども本人に任せている保護者が多いことが理由と思われる。

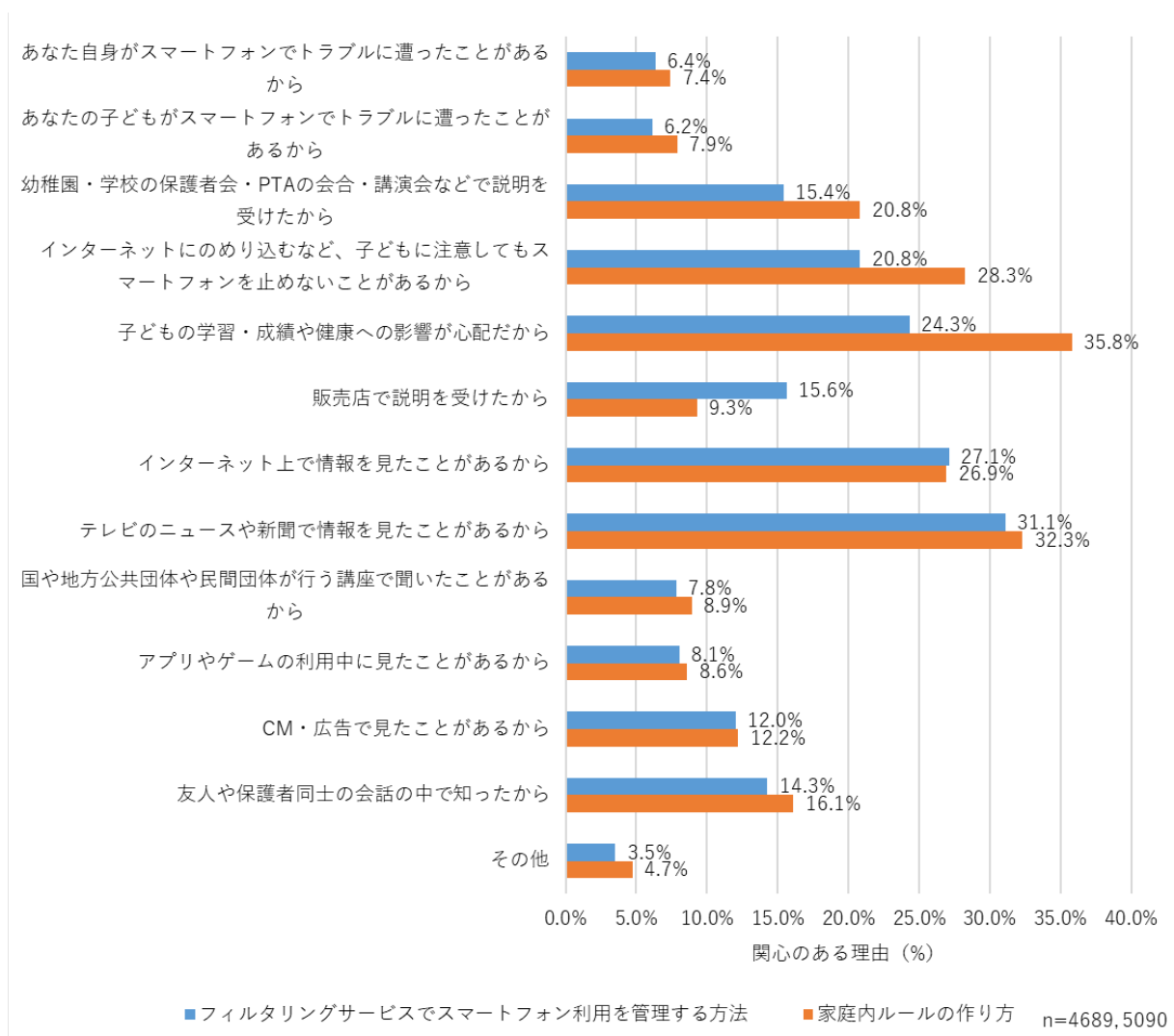


図表 2.15 ペアレンタルコントロールに関心のある人（年齢別）

2. 2. 2. スマートフォンのペアレンタルコントロールに関心を持った理由・持たない理由

図表 2.16 は、ペアレンタルコントロールに関心のある人を対象に、関心を持ったきっかけを調査した結果を示している。なお、質問項目は一般社団法人 安心ネットづくり促進協

議会（2020）⁸及び内閣府（2020）⁹を参考とした。「フィルタリングサービスを使って子どものスマートフォンの利用を管理する方法」については「テレビのニュースや新聞で情報を見たことがあるから」（31.1%）、「インターネット上で情報を見たことがあるから」（27.1%）が多い。「適切なスマートフォン利用に関する家庭でのルールの作り方」については、それらの他に、「子どもの学習・成績や健康への影響が心配だから」（35.8%）、「インターネットにのめり込むなど、子どもに注意してもスマートフォンを止めないことがあるから」（28.3%）などの直接子供とかかわる部分で関心を持っていることが分かる。



図表 2.16 ペアレンタルコントロールに関心を持ったきっかけ

さらに、これらを生児の年齢別に見たものが図表 2.17 と図表 2.18 である。年齢による大

⁸ 一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会（2020）「ペアレンタルコントロールに関する調査の結果報告」, https://www.soumu.go.jp/main_content/000710962.pdf

⁹ 内閣府（2020）「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」, <https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/jittai-html/index.html>

きな違いはなく、どの年齢においてもインターネットとマスメディアでの伝達が関心を持つのに寄与しているといえる。

図表 2.17 フィルタリングサービスに関心を持ったきっかけ（年齢別）

フィルタリングサービスに関心を持った理由	小学		小学		
	未就学	低学年	高学年	中学	高校
あなた自身がスマートフォンでトラブルに遭ったことがあるから	7.9%	7.1%	6.7%	5.9%	5.8%
あなたの子供がスマートフォンでトラブルに遭ったことがあるから	6.7%	6.1%	6.5%	6.2%	5.7%
幼稚園・学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたから	8.3%	12.3%	15.4%	17.6%	17.2%
子どもに注意してもスマートフォンを止めないことがあるから	22.0%	21.7%	21.7%	21.8%	18.6%
子どもの学習・成績や健康への影響が心配だから	23.8%	26.7%	26.9%	25.7%	20.9%
販売店で説明を受けたから	8.4%	8.5%	15.2%	18.5%	18.3%
インターネット上で情報を見たことがあるから	29.4%	30.6%	27.4%	29.3%	22.7%
テレビのニュースや新聞で情報を見たことがあるから	34.1%	31.0%	30.3%	31.5%	30.0%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で聞いたことがあるから	8.0%	7.8%	6.1%	7.9%	8.7%
アプリやゲームの利用中に見たことがあるから	9.8%	10.8%	8.7%	7.0%	7.1%
CM・広告で見たことがあるから	14.3%	11.6%	12.0%	11.1%	12.1%
友人や保護者同士の会話の中で知ったから	12.8%	14.5%	18.1%	13.4%	13.5%
その他	4.5%	4.7%	3.1%	3.0%	3.5%

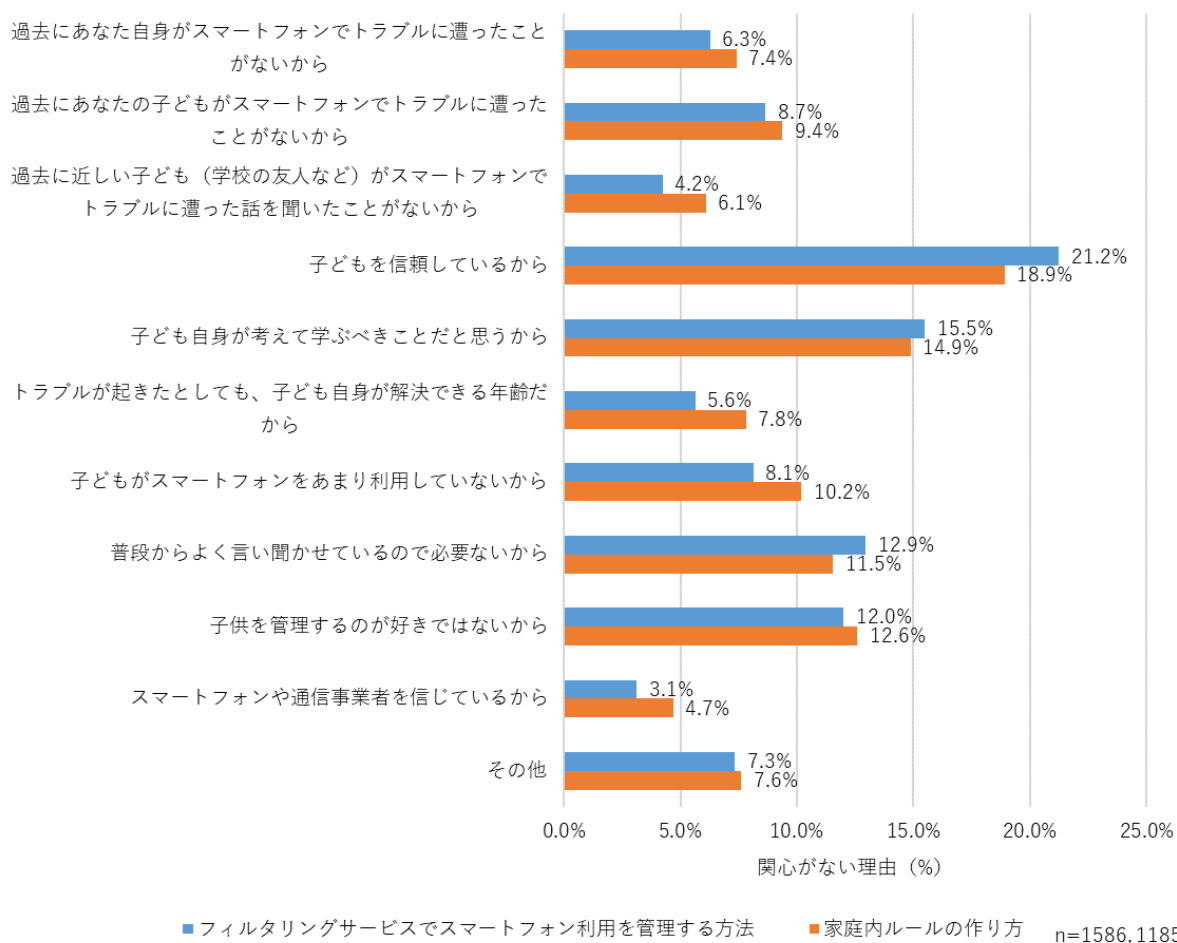
n=1139, 907, 983, 916, 744

図表 2.18 家庭内ルールに関心を持ったきっかけ（年齢別）

家庭内ルールに関心を持った理由	小学		小学		
	未就学	低学年	高学年	中学	高校
あなた自身がスマートフォンでトラブルに遭ったことがあるから	9.8%	8.4%	9.5%	6.2%	6.2%
あなたの子供がスマートフォンでトラブルに遭ったことがあるから	8.2%	8.1%	8.9%	7.2%	7.8%
幼稚園・学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたから	10.5%	16.5%	21.3%	23.7%	23.1%
子どもに注意してもスマートフォンを止めないことがあるから	31.0%	29.3%	30.6%	30.2%	23.9%
子どもの学習・成績や健康への影響が心配だから	33.4%	35.6%	37.7%	38.7%	33.0%
販売店で説明を受けたから	8.5%	6.7%	12.2%	8.7%	9.4%
インターネット上で情報を見たことがあるから	28.0%	28.5%	27.2%	27.7%	25.3%
テレビのニュースや新聞で情報を見たことがあるから	33.1%	28.4%	30.8%	31.6%	34.7%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で聞いたことがあるから	9.9%	8.9%	9.6%	9.3%	7.9%
アプリやゲームの利用中に見たことがあるから	10.0%	9.9%	9.8%	9.2%	6.5%
CM・広告で見たことがあるから	12.8%	11.4%	12.3%	12.9%	11.4%
友人や保護者同士の会話の中で知ったから	15.6%	16.7%	19.9%	15.7%	14.5%
その他	5.3%	4.3%	6.2%	4.6%	3.9%

n=1232, 983, 1040, 984, 851

図表 2.19 を見ると、ペアレンタルコントロールに関心がない理由としては、「子どもを信頼しているから」(21.2%)、「子ども自身が考えて学ぶべきことだと思うから」(15.5%)が多い。ただし 2021 年度調査研究の有識者会議では、「子どもを信頼しているから」というのは子どもを放任していることの言い訳にされているという指摘もあった。この検証については後述する。



図表 2.19 ペアレンタルコントロールに関心がない理由

これらを子どもの年齢別に見たものが図表 2.20 と図表 2.21 である。子どもが幼いときには「過去にあなたの子供がスマートフォンでトラブルに遭ったことがないから」と「子どもがスマートフォンをあまり利用していないから」が多く、「子どもを信頼しているから」というのは相対的に少ない。これまで遭ったことがなくてもリスクは十分にあることを啓発していくことが大切である。

図表 2.20 フィルタリングサービスに関心がない理由（年齢別）

フィルタリングサービスに関心のない理由	小学		中学	高校
	未就学	低学年		
過去にあなた自身がスマートフォンでトラブルに遭ったことがないから	6.5%	9.6%	4.9%	6.1%
過去にあなたの子どもがスマートフォンでトラブルに遭ったことがないから	8.8%	10.6%	9.5%	8.8%
過去に近しい子どもがスマートフォンでトラブルに遭った話を聞いたことがないから	5.1%	7.5%	4.4%	3.4%
子どもを信頼しているから	8.1%	9.1%	12.7%	28.8%
子ども自身が考えて学ぶべきことだと思うから	7.4%	11.0%	12.3%	18.2%
トラブルが起きたとしても、子ども自身が解決できる年齢だから	4.9%	4.4%	3.4%	7.3%
子どもがスマートフォンをあまり利用していないから	19.0%	16.5%	10.7%	4.3%
普段からよく言い聞かせているので必要ないから	6.6%	8.6%	16.5%	14.1%
子供を管理するのが好きではないから	4.7%	9.5%	10.4%	13.6%
スマートフォンや通信事業者を信じているから	3.9%	4.7%	2.4%	2.9%
その他	9.5%	6.1%	5.2%	7.0%

n=410, 263, 203, 269, 441

図表 2.21 家庭内ルールに関心がない理由（年齢別）

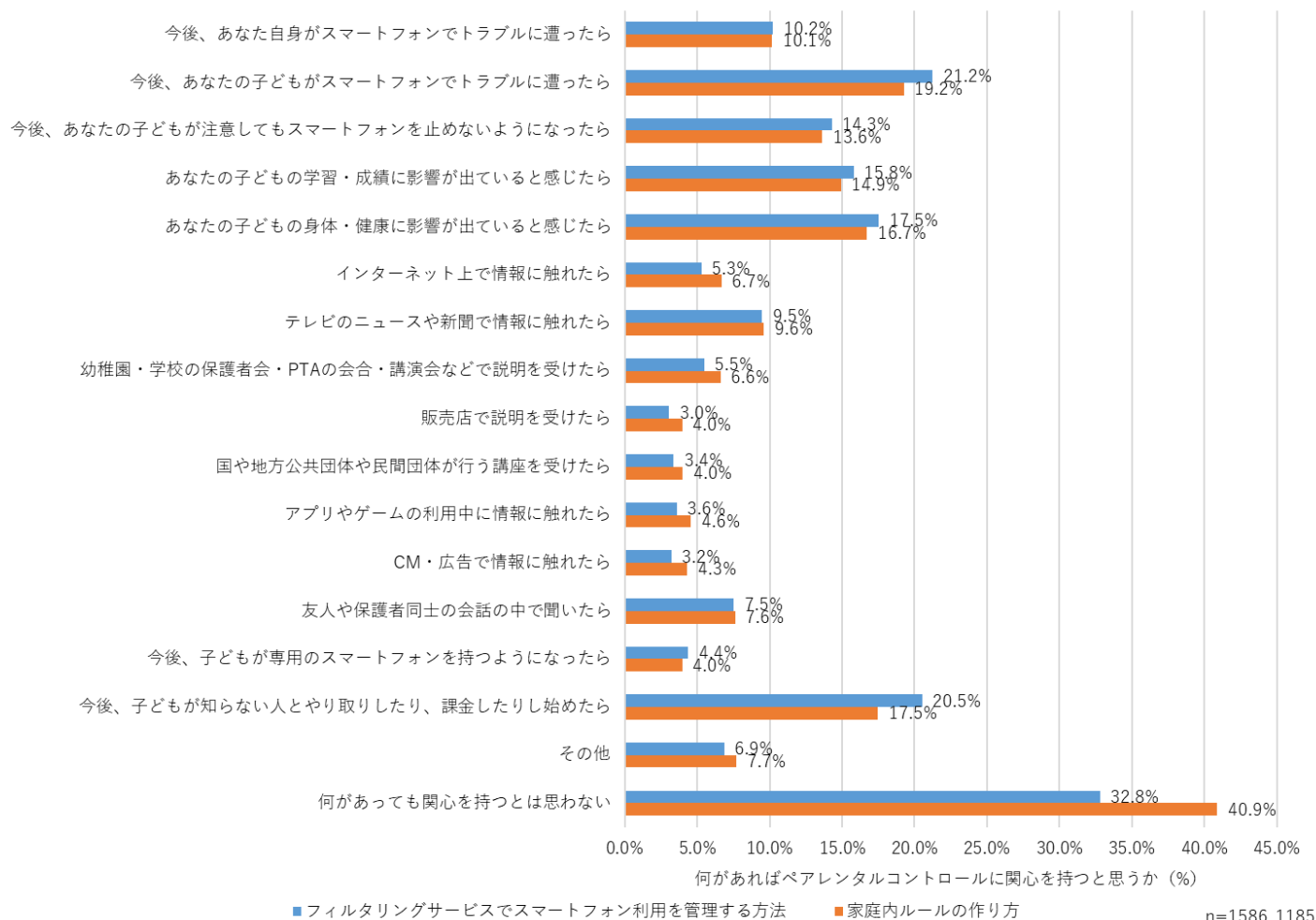
家庭内ルールに関心のない理由	小学		中学	高校
	未就学	低学年		
過去にあなた自身がスマートフォンでトラブルに遭ったことがないから	8.8%	12.4%	6.9%	6.0%
過去にあなたの子どもがスマートフォンでトラブルに遭ったことがないから	11.1%	12.8%	8.3%	8.0%
過去に近しい子どもがスマートフォンでトラブルに遭った話を聞いたことがないから	10.9%	11.1%	4.9%	3.6%
子どもを信頼しているから	7.9%	12.6%	14.2%	24.9%
子ども自身が考えて学ぶべきことだと思うから	9.8%	12.7%	14.4%	17.1%
トラブルが起きたとしても、子ども自身が解決できる年齢だから	7.9%	9.9%	5.9%	8.1%
子どもがスマートフォンをあまり利用していないから	20.8%	17.1%	7.9%	6.3%
普段からよく言い聞かせているので必要ないから	8.3%	12.6%	10.5%	11.7%
子供を管理するのが好きではないから	8.8%	10.7%	12.3%	13.8%
スマートフォンや通信事業者を信じているから	7.8%	7.3%	3.9%	2.7%
その他	11.6%	5.7%	8.0%	6.6%

n=317, 187, 146, 201, 334

2. 2. 3. 何があればスマートフォンのペアレンタルコントロールに関心を持つか

図表 2.22 は、関心のない人に対して、何があればペアレンタルコントロールに関心を持つか調査した結果を示している。「今後、あなたの子どもがスマートフォンでトラブルに遭ったら」、「あなたの子どもの身体・健康に影響が出ていると感じたら」のような、子供の身に何かが起こった時というものが多い。一方で、「説明を受けたら」や「情報に触れたら」などの外生的なものはほとんどきっかけにならないことが分かる。既に関心を持った人の多くは、インターネットやマスメディアの情報に触れたことをきっかけとして挙げるが、現在関心のない人はそれだけでは動かないことが読み取れる。情報の伝え方として、自身の子供がトラブルに遭う可能性や健康に影響が出る可能性を強調することが重要といえる。また、「何があっても関心を持つとは思わない」という人が最多であり、この岩盤層に関心を持ってもらうのは難しい。

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの効果的な啓発に関する調査 報告書



図表 2.22 何があればペアレンタルコントロールに関心を持つと思うか

これらの子供の年齢別に見たものが図表 2.23 と図表 2.24 である。全体で見たときと大きな傾向は変わらない。知らない人との交流が増える小学高学年以上だと、「今後、子どもが知らない人とやり取りしたり、課金したりし始めたら」の割合が高くなる。

図表 2.23 何があればフィルタリングサービスに関心を持つと思うか（年齢別）

何があればフィルタリングサービスに関心を持つと思うか	未就学	小学		中学	高校
		低学年	高学年		
今後、あなた自身がスマートフォンでトラブルに遭ったら	7.4%	14.1%	8.3%	9.9%	10.8%
今後、あなたの子どもがスマートフォンでトラブルに遭ったら	12.9%	16.9%	15.0%	20.6%	25.6%
今後、あなたの子どもが注意してもスマートフォンを止めないようになったら	14.6%	21.6%	15.2%	15.6%	12.2%
あなたの子どもの学習・成績に影響が出ていると感じたら	8.7%	18.9%	15.2%	17.2%	16.5%
あなたの子どもの身体・健康に影響が出ていると感じたら	12.0%	19.9%	16.5%	17.9%	18.6%
インターネット上で情報に触れたら	6.7%	8.7%	5.4%	4.1%	5.0%
テレビのニュースや新聞で情報に触れたら	6.3%	12.8%	13.4%	6.8%	10.2%
幼稚園・学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたら	9.5%	9.3%	7.9%	2.6%	4.8%
販売店で説明を受けたら	2.6%	6.0%	4.2%	2.9%	2.5%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座を受けたら	5.3%	3.9%	5.0%	1.9%	3.2%
アプリやゲームの利用中に情報に触れたら	6.6%	9.0%	4.9%	1.1%	2.9%
CM・広告で情報に触れたら	4.9%	3.4%	5.0%	2.6%	2.7%
友人や保護者同士の会話の中で聞いたら	8.7%	13.1%	12.9%	6.6%	5.6%
今後、子どもが専用のスマートフォンを持つようになったら	19.1%	14.4%	8.2%	0.0%	0.5%
今後、子どもが知らない人とやり取りしたり、課金したりし始めたら	14.0%	15.4%	17.1%	21.1%	23.3%
その他	10.0%	5.1%	6.6%	7.5%	6.1%
何があっても関心を持つとは思わない	33.4%	31.6%	29.5%	34.8%	32.5%

n=410, 263, 203, 269, 441

図表 2.24 何があれば家庭内ルールに関心を持つと思うか（年齢別）

何があれば家庭内ルールに関心を持つと思うか	未就学	小学		中学	高校
		低学年	高学年		
今後、あなた自身がスマートフォンでトラブルに遭ったら	9.4%	11.4%	14.2%	9.8%	9.5%
今後、あなたの子どもがスマートフォンでトラブルに遭ったら	11.9%	14.8%	21.3%	20.1%	21.0%
今後、あなたの子どもが注意してもスマートフォンを止めないようになったら	12.5%	13.1%	27.3%	12.4%	12.0%
あなたの子どもの学習・成績に影響が出ていると感じたら	10.5%	15.8%	18.2%	14.4%	15.5%
あなたの子どもの身体・健康に影響が出ていると感じたら	13.7%	12.9%	19.7%	16.9%	17.3%
インターネット上で情報に触れたら	6.6%	10.5%	14.5%	4.4%	5.7%
テレビのニュースや新聞で情報に触れたら	10.1%	10.5%	14.3%	8.4%	9.0%
幼稚園・学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたら	10.1%	11.2%	10.0%	4.5%	5.4%
販売店で説明を受けたら	7.5%	4.8%	10.0%	1.4%	3.0%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座を受けたら	5.3%	8.0%	6.8%	2.4%	3.3%
アプリやゲームの利用中に情報に触れたら	6.1%	10.3%	8.2%	3.9%	3.0%
CM・広告で情報に触れたら	6.2%	6.8%	7.6%	3.9%	3.0%
友人や保護者同士の会話の中で聞いたら	8.5%	11.2%	9.5%	7.4%	6.6%
今後、子どもが専用のスマートフォンを持つようになったら	17.7%	15.3%	5.8%	0.0%	0.3%
今後、子どもが知らない人とやり取りしたり、課金したりし始めたら	12.2%	12.0%	17.9%	18.3%	19.2%
その他	12.2%	8.5%	5.2%	6.5%	7.5%
何があっても関心を持つとは思わない	39.9%	41.1%	32.6%	42.2%	42.0%

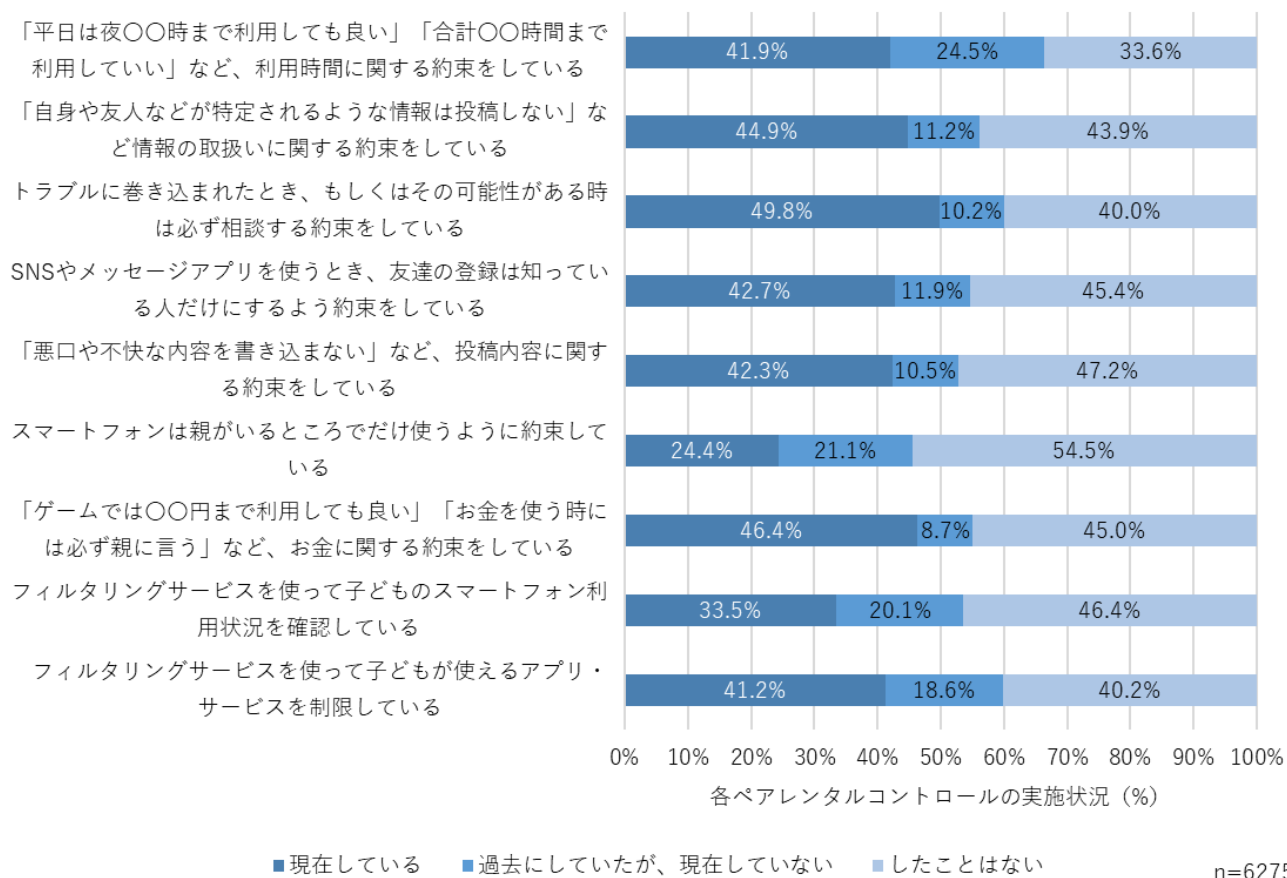
n=317, 187, 146, 201, 334

2. 3. 青少年のスマートフォン利用に関するペアレンタルコントロールの実施状況

2. 3. 1. スマートフォンのペアレンタルコントロールの実施状況

図表 2.25 は、ペアレンタルコントロールの実施状況について調査した結果を示している。なお、ペアレンタルコントロールの項目は一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会¹⁰を参考に作成した。「トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をしている」(49.8%)、「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「お金を使う時には必ず親に言う」など、お金に関する約束をしている」(46.4%)、「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取扱いに関する約束をしている」(44.9%)、「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」「合計〇〇時間まで利用していい」など利用時間に関する約束をしている」(41.9%)が多い。フィルタリングサービスについては、「フィルタリングサービスを使って子どもが使えるアプリ・サービスを制限している」が 41.2%、「フィルタリングサービスを使って子どものスマートフォン利用状況を確認している」は 33.5%にとどまっている。

¹⁰ 一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会 「保護者から子どもへ」家庭のルールのサンプル」, <https://www.good-net.jp/files/original/20190108094919707a5068f8d.pdf>



図表 2.25 ペアレンタルコントロールの実施状況

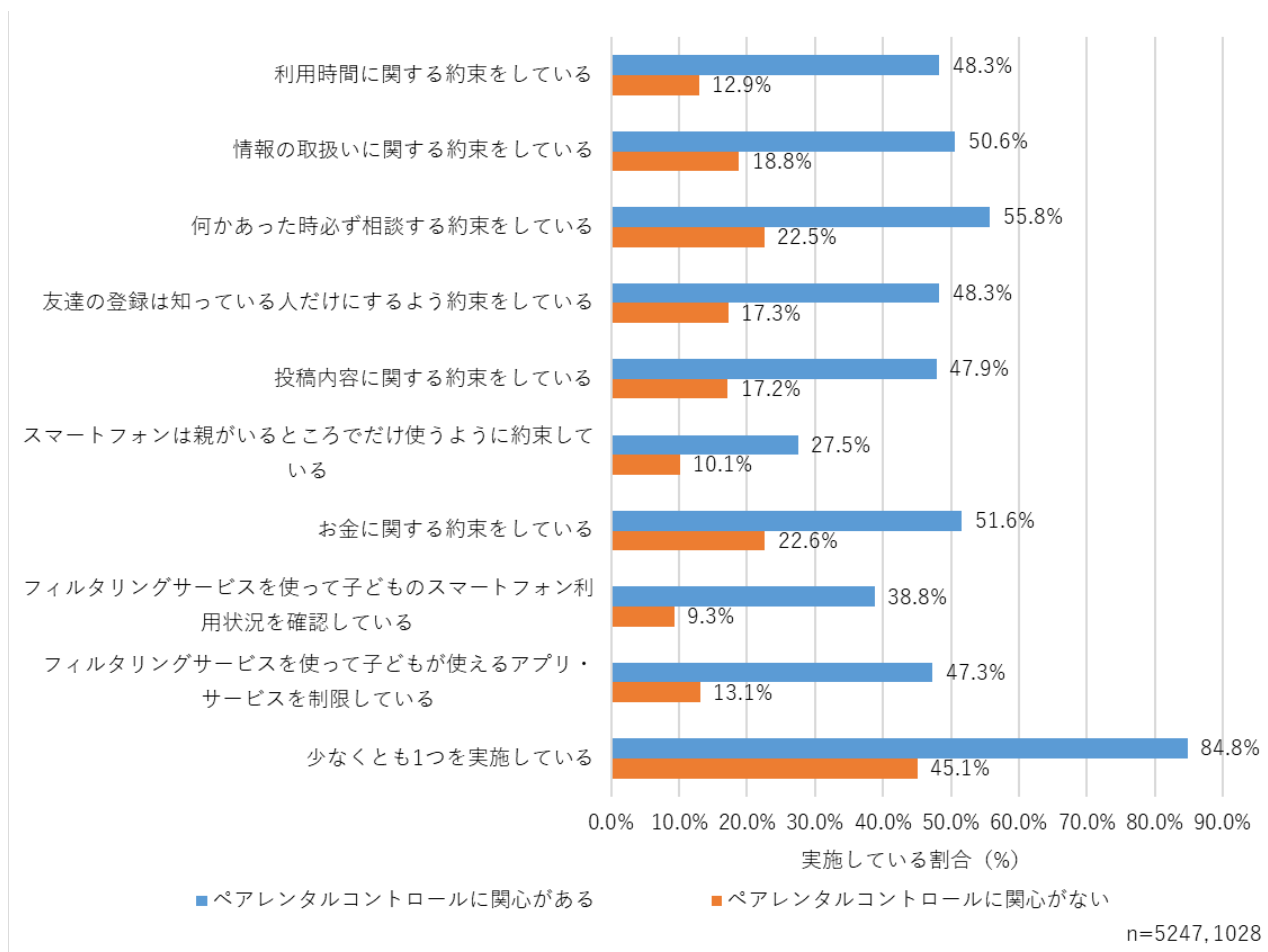
年齢別に見ると（図表 2.26）、低年齢では「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」「合計〇〇時間まで利用していい」など、利用時間に関する約束をしている」、「スマートフォンは親がいるところでだけ使うように約束している」が多いが、年齢が高くなると「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取扱いに関する約束をしている」や「トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をしている」が増える。年齢が上がるにつれて様々なサービスを利用するようになり、SNS 等も使うことが理由と考えられる。支払うことも多くなると見え、「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「お金を使う時には必ず親に言う」など、お金に関する約束をしている」も増加している。全体的な傾向では、未就学と高校の実施率が低い。

図表 2.26 ペアレンタルコントロールの実施状況（年齢別）

ペアレンタルコントロール	小学		中学	高校	
	未就学	低学年			
利用時間に関する約束をしている	44.5%	56.6%	59.9%	51.0%	21.9%
情報の取扱いに関する約束をしている	15.3%	33.9%	52.6%	60.5%	42.1%
何かあった時必ず相談する約束をしている	21.1%	42.6%	60.5%	61.2%	47.7%
友達の登録は知っている人だけにしよう約束をしている	14.8%	37.0%	59.5%	56.4%	35.5%
投稿内容に関する約束をしている	14.1%	31.4%	52.3%	57.0%	38.8%
スマートフォンは親がいるところだけで使うように約束している	55.0%	45.0%	30.6%	21.3%	7.9%
お金に関する約束をしている	17.6%	40.4%	54.0%	57.1%	45.9%
フィルタリングサービスを使って子どものスマートフォン利用状況を確認している	19.1%	37.4%	48.8%	46.3%	20.4%
フィルタリングサービスを使って子どもが使える アプリ・サービスを制限している	22.3%	46.2%	55.7%	55.3%	28.6%
少なくとも1つを実施している	71.1%	83.2%	86.9%	84.2%	69.2%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

さらにペアレンタルコントロールに関心があるかどうかで整理したものが図表 2.27 である。「ペアレンタルコントロールに関心がある」とは、2. 2. においてフィルタリングサービスか家庭内ルール of 少なくとも 1 つについて関心があると回答したことを意味する。関心がない人のペアレンタルコントロール実施率は極端に低く、「少なくとも 1 つを実施している」割合は関心がある人の 84.8%に対して関心がない人は 45.1%にとどまっている。



図表 2.27 ペアレンタルコントロールの実施状況（ペアレンタルコントロール関心別）

2. 3. 2. スマートフォンのペアレンタルコントロールを実施している理由・実施してない理由

ここでは、レビュー内に存在する名詞及び形容詞に注目し、保護者がペアレンタルコントロールを実施している・していない理由の要因分析を行う。分析方法としては、まず単語の出現頻度の分析とワードクラウドによる可視化を行う。加えて、共起ネットワークを用いたネットワーク分析とサンバーストチャートによる関連性の可視化を行う。なお、以下に説明する分析内容は3. 3. 2での学習用端末のペアレンタルコントロールを実施している理由・実施してない理由の分析についても同様である。

まず文字列データの基礎的なクリーニングを行い、今後の形態素解析の妨げとなるスペースや記号を削除する。表記揺れの多い単語については統一させるため、この時点で一度形態素解析及び文字列の出現頻度を確認し、上位50位以内に確認できた同義の単語を統一する。具体的には下記3単語：LINE/ライン、スマートフォン/スマホ/、ネット/インターネット、子供/子どもについて左側の表現に統一する。加えて、「なし」「特になし」等の適当回答

を削除するため、5文字以上の回答のみに限定して以降の分析を行う。

クリーニングの完了したデータについて、「MeCab¹¹」を用いて形態素解析を行う。「MeCab」は京都大学と日本電信電話株式会社の共同プロジェクトによって開発されたオープンソースの形態素解析エンジンであり、日本語を名詞・形容詞・助詞などの品詞ベースで分割することができることから、日本語のテキスト分析に広く用いられている。

MeCabにはプリセットとなっている辞書があるが、特に新語や固有表現を正しく分割できないことが知られている。この問題に対しては、山田他(2015)¹²を参考に、新語が定期的に更新されているmecab-ipadic-neologd¹³を用いることとする。

また、ワードクラウド以降の可視化については小川(2022)¹⁴を参考にpythonのライブラリである「nlplot¹⁵」を用いることとし、頻度上位50件までに出現した単語を用いて分析を行うこととする。「nlplot」にはstopwords、即ち除外する単語を設定でき、「これ」「それ」と言った指示語や「ため」など理由で頻出する単語を除外するのに用いる。これには日本で多く用いられているStopwordsのまとめられたSlothlib¹⁶を用いる。

それぞれの理由において、出現頻度上位10件の単語が図表2.28である。実施している理由の頻出単語1位は「トラブル(出現回数746回)」であり、実施していない理由の頻出単語1位は「子供(出現回数167回)」であった。

図表 2.28 各理由の自由回答の頻出上位10単語

順位	実施している理由		実施していない理由	
	単語	回数	単語	回数
1位	トラブル	746	子供	167
2位	子供	658	ない	166
3位	スマートフォン	643	スマートフォン	74

¹¹ MeCab: Yet Another Part-of-Speech and Morphological Analyzer, <https://taku910.github.io/mecab/>

¹² 山田達史, 松本和幸, 吉田稔, & 北研二. (2015, August). 分割誤りに頑健な新語のカテゴリ分類. In *IEICE Conferences Archives*. The Institute of Electronics, Information and Communication Engineers.

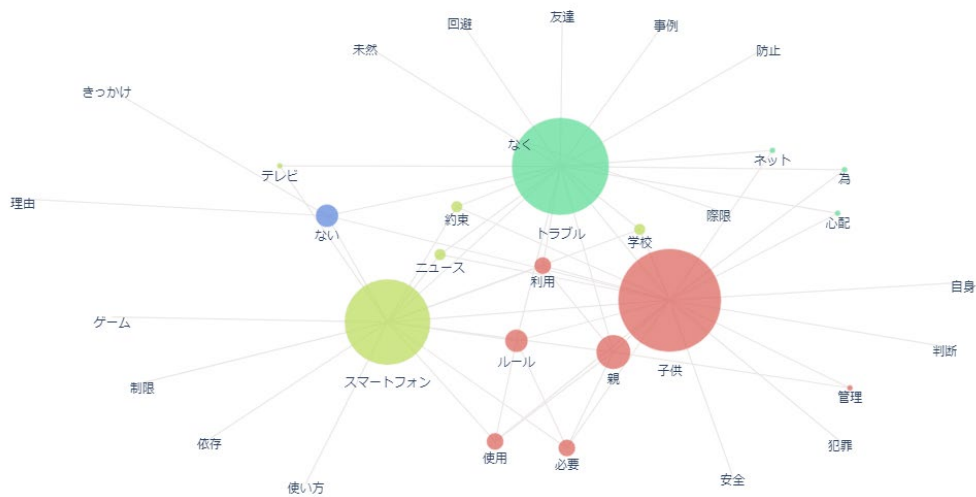
¹³ mecab-ipadic-NEologd: Neologism dictionary for MeCab, <https://github.com/neologd/mecab-ipadic-neologd>

¹⁴ 小川哲司. (2022). テキストマイニングとネットワーク分析を用いた映画評価の要因分析. *経済経営論集*, 29(2), 26-35.

¹⁵ nlplot, <https://github.com/takapy0210/nlplot>

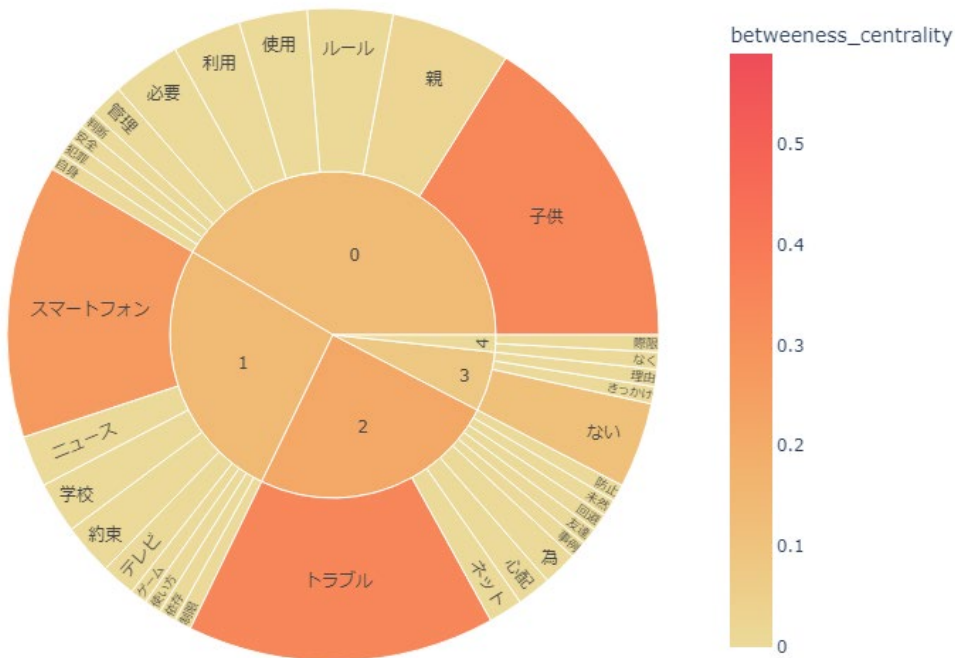
¹⁶ Slothlib, <http://svn.sourceforge.jp/svnroot/slothlib/CSharp/Version1/SlothLib/NLP/Filter/StopWord/word/Japanese.txt>

Co-occurrence network



図表 2.31 ペアレンタルコントロールを実施している理由の共起ネットワーク

All sentiment sunburst chart



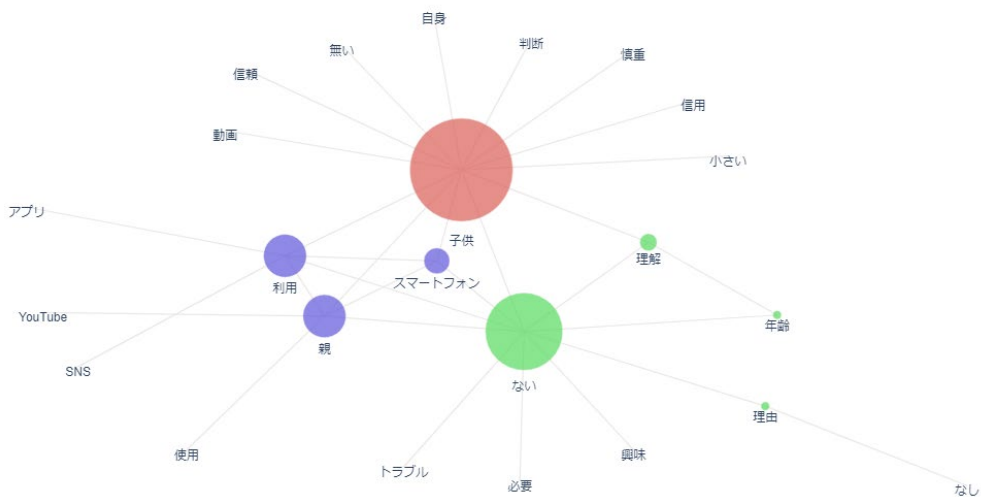
図表 2.32 ペアレンタルコントロールを実施している理由のサンバーストチャート

これらの共起ネットワークを確認すると、「子供」を中心として「親」「ルール」「使用」「必要」が共起するグループが最も大きい。この共起ネットワークからは、親としての責任感から子供のスマートフォン利用を管理する必要があると認識し、子供の自己管理に全て委ねずにペアレンタルコントロールを行う必要性を感じていると考えられる。実際の回答を参照しても、「管理するのは親の務めなので」や「自己管理をするのは難しい年齢なので」など、これらに類似した回答が多い。次いで、「スマートフォン」を中心として「ニュース」「学校」「約束」が共起するグループが大きい。ここからは、学校による呼びかけやニュースからペアレンタルコントロールを行う必要性を感じていることが考えられる。実際の回答を参照しても、「学校での注意喚起やテレビのニュースで見たから」などの学校の情報に起因して行っている場合が確認できる。最後に「トラブル」を中心として「ネット」「心配」「事前」「防止」が共起するグループが大きい。これらからは、子供に降りかかるトラブルを事前に回避したいなど、子供がトラブルに巻き込まれないか心配になっている心理が見える。実際の回答を参照しても、「トラブル防止の為」や「課金トラブルのニュースを見たから」など、子供をトラブルから守りたいとする趣旨の回答が多い。

つまり、スマートフォンのペアレンタルコントロールを実施している理由としては大きく3つあると考えられる。1つ目は、保護者としての責任感であり、子供の自己管理に全てを委ねるのではなく、ペアレンタルコントロールの必要性を感じているからである。外部情報などに起因して子供をトラブルから守りたいと考えているからである。2つ目は、学校やニュースによる呼びかけであり、これら外生的な注意喚起によって保護者はペアレンタルコントロールの必要性を感じている。3つ目は、漠然としたトラブルに対する不安であり、子供をトラブルから守りたいと考える保護者がペアレンタルコントロールを実施している。このトラブルには犯罪だけでなく、友人とのトラブル、過度な課金、依存症、身体や成績への影響も含まれる。

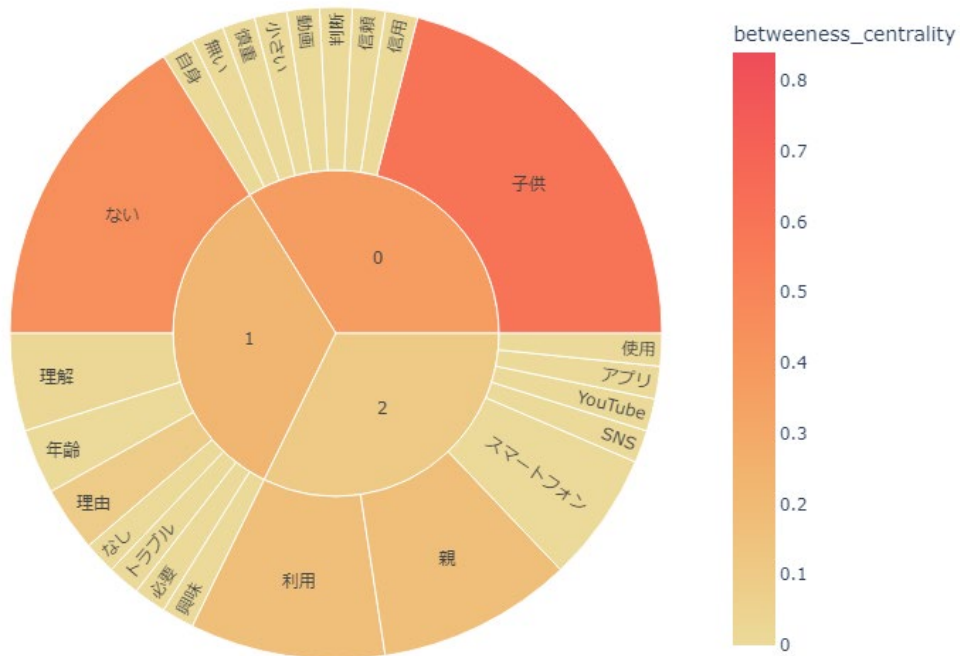
次に、ペアレンタルコントロールを実施していない理由の共起ネットワークを確認する。

Co-occurrence network



図表 2.33 ペアレンタルコントロールを実施している理由の共起ネットワーク

All sentiment sunburst chart



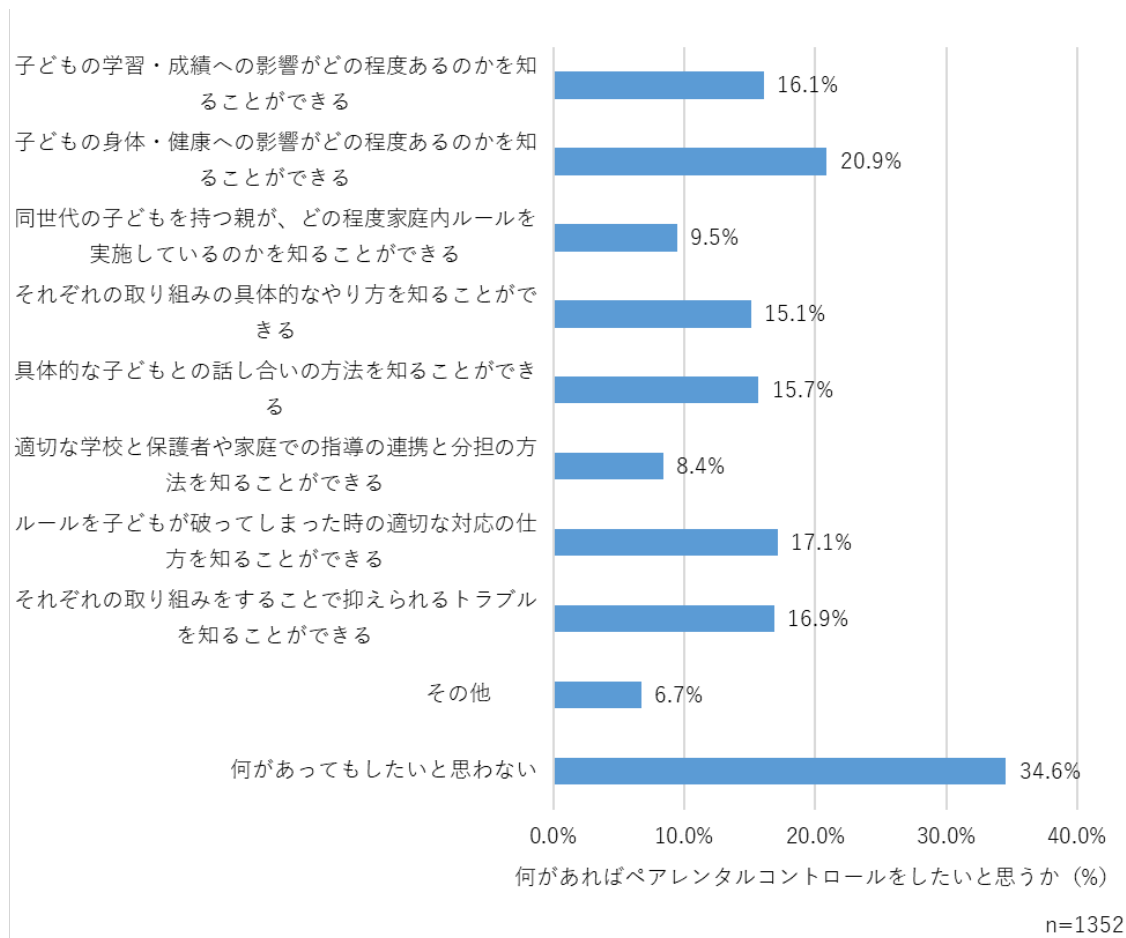
図表 2.34 ペアレンタルコントロールを実施している理由のサンバーストチャート

これらの共起ネットワークを確認すると、「子供」を中心として「信用」「信頼」「判断」が共起するグループの結びつきが強く大きい。ここからは、子供に対する信頼からペアレンタルコントロールを行っていない保護者の存在が確認できる。実際の回答を参照しても、「大丈夫だと子供を信頼しているから。」などが多い。次に、「ない」を中心として「年齢」「理由」「必要」「興味」が共起するグループがある。年齢に関する単語からは、「子供はまだ4歳でYouTubeのみしか見ていないので。」というように、子供が小さくトラブルに巻き込まれることはないと考えていることがわかる。「高校生」という単語については、ここでの共起は見られなかったが、子供のことを信頼しているパターンと、子供が親の管理を嫌がっていることもあり放任しているパターンが考えられる。実際の回答を参照しても、「高校生なので2年で成人ですしあまり親は関与しなくていいと思ってる。信頼している。」がある一方で、「高校生なので親の関与を嫌がる」との回答もあった。加えて、「ない」を中心としているため「興味」も共起しており、そもそもペアレンタルコントロールに興味がないため実施していないパターンもある。最後に、「利用」「親」を中心として「SNS」「使用」が共起するグループとなっている。「親」を中心としているグループの回答を確認すると、「親のスマホのため目の前で利用しているから」と安心してしているパターンと、「親があればこれ言うことではない」と放任しているパターンが存在した。

つまり、ペアレンタルコントロールを実施していない理由は大きく3つである。1つ目は、子供に対する信頼であり、まさか自分の子供に限ってトラブルに巻き込まれることはないだろうと放任しているからである。2つ目は、年齢であり、3歳や4歳が各種トラブルに巻き込まれることはないと考えているからである。一方で高校生は2パターンあり、信頼されているパターンと親の管理を嫌がるために行っていないパターンがある。3つ目は、確実に目の届く範囲での利用に限っているため安心してしているからである。これには親のスマートフォンを利用させているパターンも含まれる。

2. 3. 3. 何があればスマートフォンのペアレンタルコントロールをしたいと思うか

ここからペアレンタルコントロールを実施するきっかけなどについて調査する。何もペアレンタルコントロールを実施していない人に対して、何があればしたいと思うかを調査した結果を示したのが図表 2.35 である。きっかけと挙げられているものでは「子どもの身体・健康への影響がどの程度あるのかを知ることができる」が 20.9%で最多になっている。他にも「ルールを子どもが破ってしまった時の適切な対応の仕方を知ることができる」(17.1%) や「それぞれの取り組みをすることで抑えられるトラブルを知ることができる」(16.9%) などが高い。一方、「何があってもしたいと思わない」が 34.6%となった。この中では最も多いが、逆にいえば現在ペアレンタルコントロールを全くしてない保護者でも、65%以上はきっかけがあればする可能性がある。この 34.6% (全体の 7.7%) は岩盤層といえる。



図表 2.35 何があればペアレンタルコントロールをしたいと思うか

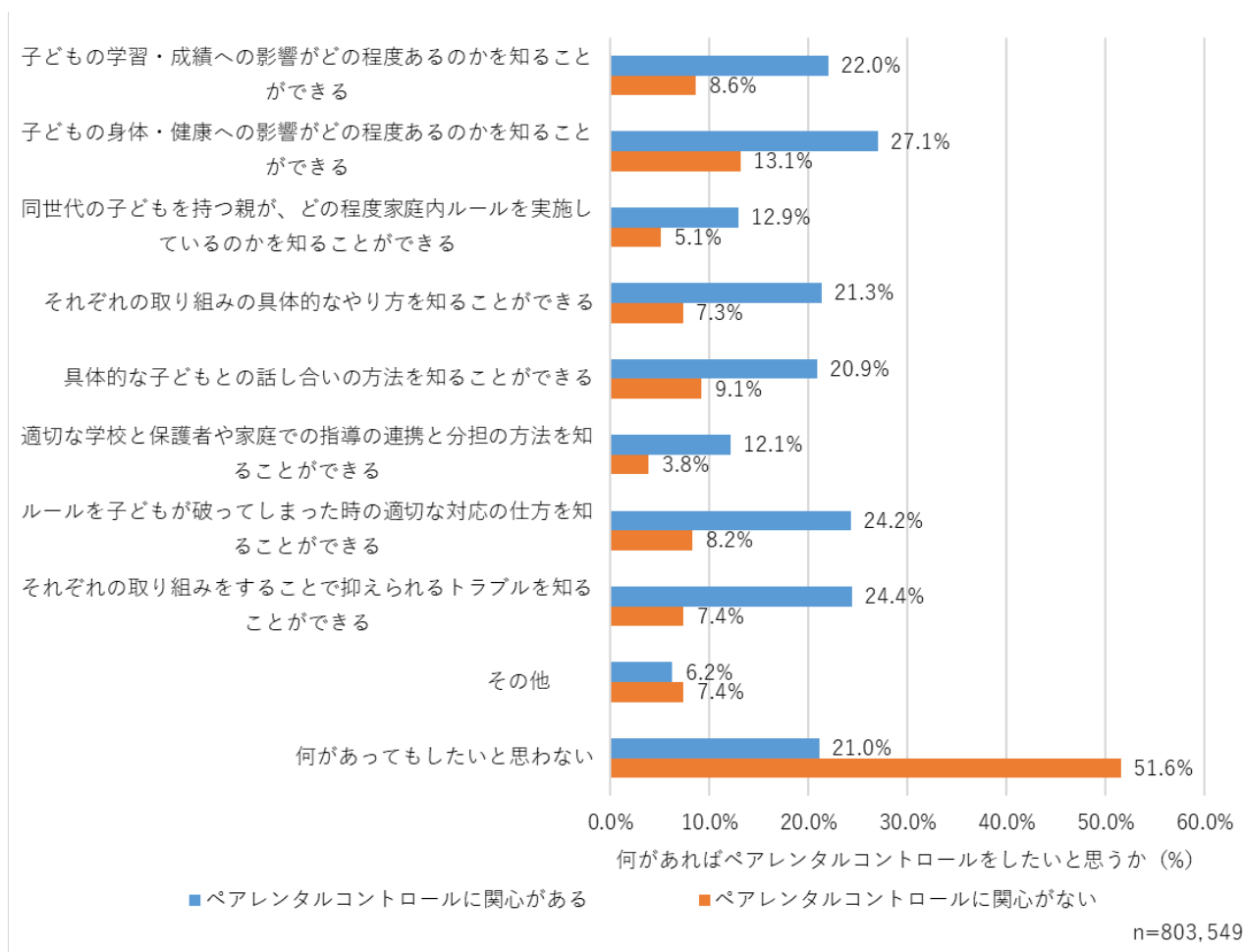
子供の年齢別に見ると（図表 2.36）、大きな傾向はない。未就学の場合は「何があってもしたいと思わない」人は相対的に少ない。また、低年齢層では「ルールを子どもが破ってしまった時の適切な対応の仕方を知ることができる」が多いが、小学高学年以降では「それぞれの取り組みをすることで抑えられるトラブルを知ることができる」を挙げる人が多かった。啓発の際は、低年齢層と小学高学年以降で伝え方を変えることも効果的と考えられる。

図表 2.36 何があればペアレンタルコントロールをしたいと思うか (年齢別)

何があればペアレンタルコントロールをしたいと思うか	小学		小学		
	未就学	低学年	高学年	中学	高校
子どもの学習・成績への影響がどの程度あるのかを知ることができる	15.6%	17.8%	18.0%	15.5%	15.9%
子どもの身体・健康への影響がどの程度あるのかを知ることができる	25.3%	18.7%	23.0%	16.7%	21.1%
同世代の子どもを持つ親が、どの程度家庭内ルールを実施しているのかを知ることができる	13.2%	8.3%	13.7%	8.0%	8.2%
それぞれの取り組みの具体的なやり方を知ることができる	17.2%	17.3%	19.3%	12.9%	14.2%
具体的な子どもとの話し合いの方法を知ることができる	21.3%	12.1%	17.0%	15.1%	14.3%
適切な学校と保護者や家庭での指導の連携と分担の方法を知ることができる	11.7%	8.1%	11.7%	4.8%	8.2%
ルールを子どもが破ってしまった時の適切な対応の仕方を知ることができる	24.8%	21.2%	19.1%	14.5%	14.8%
それぞれの取り組みをすることで抑えられるトラブルを知ることができる	17.2%	16.0%	19.7%	17.4%	16.1%
その他	12.8%	6.9%	3.0%	3.3%	6.9%
何があってもしたいと思わない	28.6%	37.8%	34.0%	42.4%	32.9%

n=447, 199, 155, 186, 165

さらにペアレンタルコントロールに関心があるかどうかで分けたものが図表 2.37 である。やはり関心がない人は「何があってもしたいと思わない」割合が高い (51.6%)。ただし、関心がない人に対しても「子どもの身体・健康への影響がどの程度あるのかを知ることができる」はきっかけとして最も多い (13.1%)。



図表 2.37 何があればペアレンタルコントロールをしたいと思うか（ペアレンタルコントロール関心別）

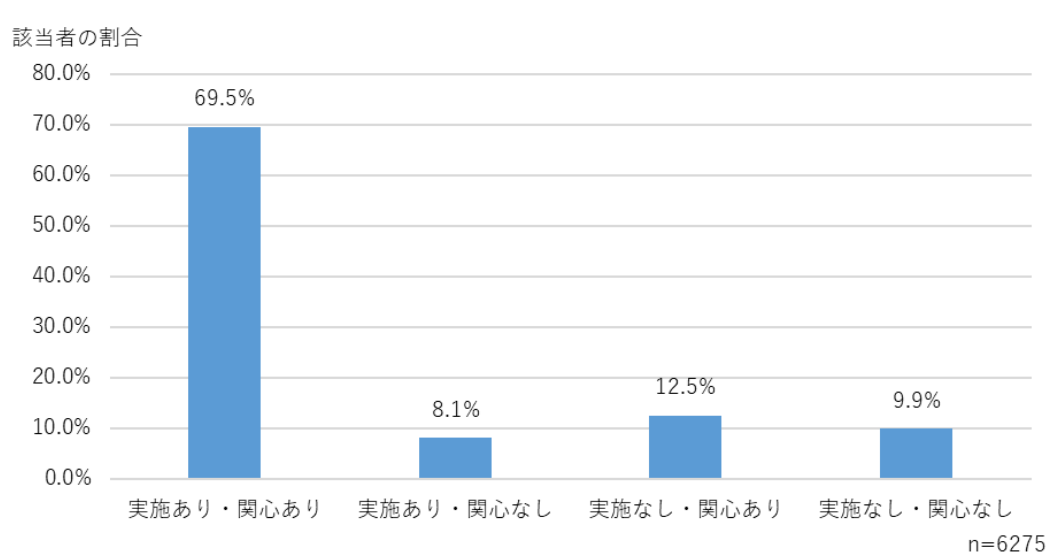
2. 3. 4. どのような手段でスマートフォンのペアレンタルコントロールについて知りたいか

続けてどのような手段でペアレンタルコントロールについて知りたいかを分析するが、その前に、2. 1. 2. でも取り上げた保護者の4分類の詳細を示す。2. 2. の関心、並びに2. 3. のペアレンタルコントロール実施状況を使って、保護者を4分類した。

実施あり・関心ありは、ペアレンタルコントロールを少なくとも1つ以上実施しており、かつ、フィルタリングサービスと家庭内ルールのどちらか1つ以上に関心がある保護者を指す。実施あり・関心なしは、ペアレンタルコントロールを少なくとも1つ以上実施しているが、フィルタリングサービスと家庭内ルールの両方に関心がない保護者を指す。実施なし・関心ありは、ペアレンタルコントロールを1つも実施していないが、フィルタリングサービスと家庭内ルールのどちらか1つ以上に関心がある保護者を指す。実施なし・関心なしは、ペアレンタルコントロールを1つも実施しておらず、かつ、フィルタリングサービスと

家庭内ルール両方に関心がない保護者を指す。

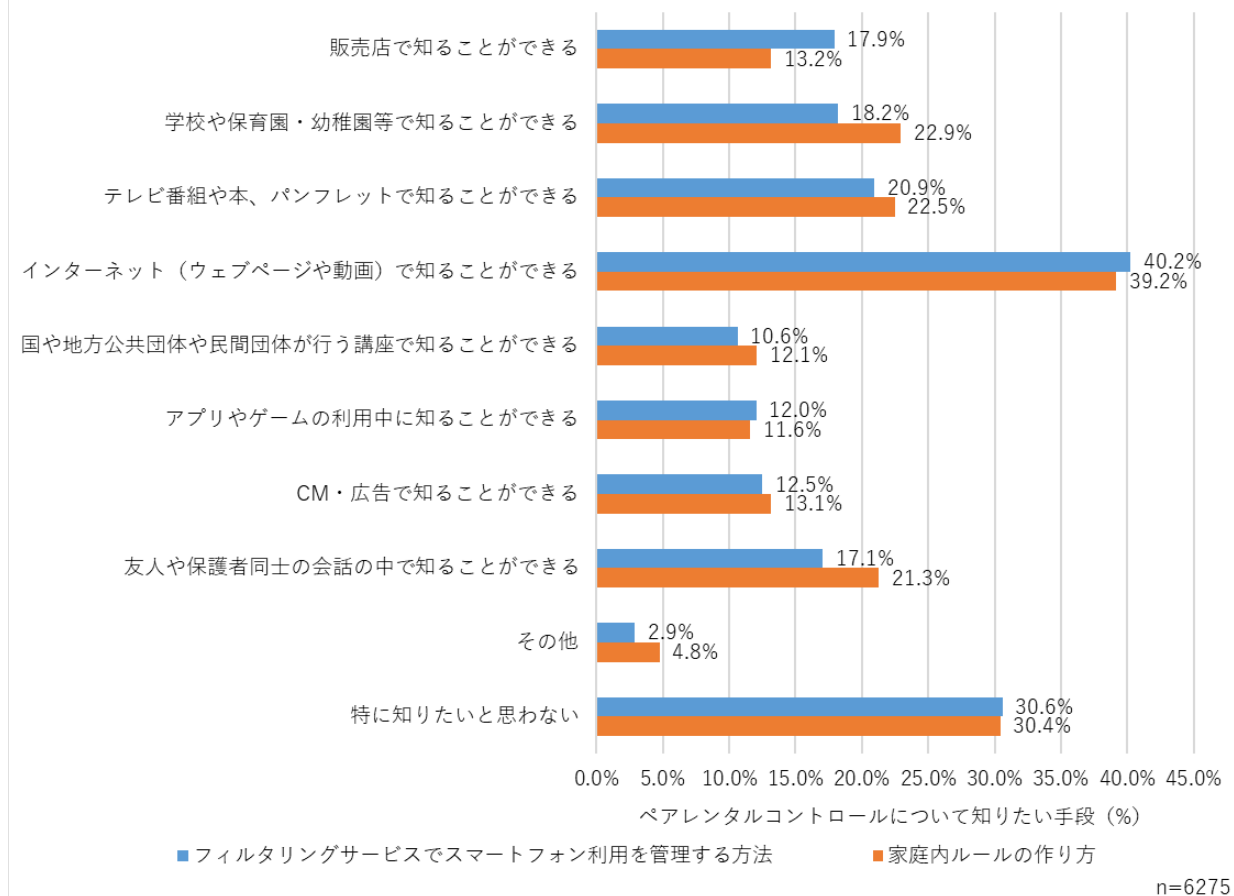
その割合を示したものが図表 2.38 である。条件が緩いため実施あり・関心ありが 70%弱を占めるものの、該当しない保護者も少なくない。実施なし・関心なしも 9.9%存在する。



図表 2.38 保護者の 4 分類

どのような手段でペアレンタルコントロールについて知りたいかを分析した結果を示したものが図表 2.39 である。なお、項目については内閣府の調査¹⁷を参考にした。「インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる」や「テレビ番組や本、パンフレットで知ることができる」といった、インターネットやメディアから知ることが多く望まれていることが分かる。一方で、「学校や保育園・幼稚園等で知ることができる」や「友人や保護者同士の会話の中で知ることができる」のように、日常生活の中のコミュニケーションで知ることも多く望まれており、ペアレンタルコントロールについて啓発する際にはこの 2 通りのアプローチが考えられる。

¹⁷ 内閣府「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」,
<https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/jittai-html/index.html>



図表 2.39 ペアレンタルコントロールについて知りたい手段

年齢別に見ると（図表 2.40、図表 2.41）、とりわけ年齢の低い未就学と小学低学年では「学校や保育園・幼稚園等で知ることができる」のニーズが高いことが分かる。低年齢層の保護者向けには特にそのような機関で啓発することが効果的であると考えられる。

図表 2.40 フィルタリングサービスについて知りたい手段（年齢別）

フィルタリングサービスについて何で知りたいか	小学		中学	高校
	未就学	低学年		
販売店で知ることができる	14.7%	15.4%	19.9%	17.0%
学校や保育園・幼稚園等で知ることができる	25.5%	23.3%	18.8%	13.4%
テレビ番組や本、パンフレットで知ることができる	21.8%	22.0%	21.5%	18.7%
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	38.2%	41.8%	44.8%	36.0%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	13.1%	14.1%	8.9%	9.8%
アプリやゲームの利用中に知ることができる	15.7%	14.9%	13.3%	7.7%
CM・広告で知ることができる	14.0%	15.0%	12.0%	11.1%
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	18.0%	20.3%	17.8%	14.2%
その他	3.4%	3.5%	2.9%	2.3%
特に知りたいと思わない	27.4%	24.4%	27.5%	38.9%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

図表 2.41 家庭内ルールについて知りたい手段（年齢別）

家庭内ルールについて何で知りたいか	年齢別				
	未就学	小学 低学年	小学 高学年	中学	高校
販売店で知ることができる	11.6%	11.7%	15.0%	13.3%	13.1%
学校や保育園・幼稚園等で知ることができる	29.6%	28.7%	24.7%	22.5%	18.6%
テレビ番組や本、パンフレットで知ることができる	24.5%	23.3%	23.8%	22.4%	21.1%
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	37.8%	38.5%	42.6%	42.4%	35.7%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	14.6%	13.5%	13.6%	9.3%	12.3%
アプリやゲームの利用中に知ることができる	14.9%	13.5%	14.0%	11.0%	9.4%
CM・広告で知ることができる	14.4%	14.2%	14.4%	11.9%	12.9%
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	22.5%	23.0%	26.7%	21.1%	18.1%
その他	5.4%	4.8%	5.8%	4.5%	4.3%
特に知りたいと思わない	27.8%	25.7%	24.8%	27.5%	37.4%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

さらに、これを保護者4分類別に見たものが図表 2.42 と図表 2.43 である。実施あり・関心ありだと「特に知りたいと思わない」が少ない。また、フィルタリングサービスについては、唯一「販売店で知ることができる」を期待する声上位に入っている（22.3%）。

その他、「インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる」や「テレビ番組や本、パンフレットで知ることができる」はどの分類でもニーズが高い他、特に実施なし・関心なしグループでは「学校や保育園・幼稚園等で知ることができる」のニーズが相対的に高い。ただし、「特に知りたいと思わない」も約 78%と非常に多い。

図表 2.42 フィルタリングサービスについて知りたい手段（保護者4分類別）

フィルタリングサービスについて何で知りたいか	保護者4分類別			
	実施あり 関心あり	実施あり 関心なし	実施なし 関心あり	実施なし 関心なし
販売店で知ることができる	22.3%	9.2%	10.7%	3.3%
学校や保育園・幼稚園等で知ることができる	22.2%	9.6%	12.6%	4.4%
テレビ番組や本、パンフレットで知ることができる	25.9%	11.6%	13.8%	2.4%
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	49.4%	20.7%	27.8%	7.2%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	13.1%	4.5%	7.0%	2.6%
アプリやゲームの利用中に知ることができる	14.7%	6.9%	8.4%	2.1%
CM・広告で知ることができる	15.1%	8.1%	9.1%	2.6%
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	20.5%	10.6%	12.5%	4.1%
その他	3.0%	3.4%	2.8%	1.8%
特に知りたいと思わない	18.8%	51.8%	45.0%	78.0%

n=4444, 479, 803, 549

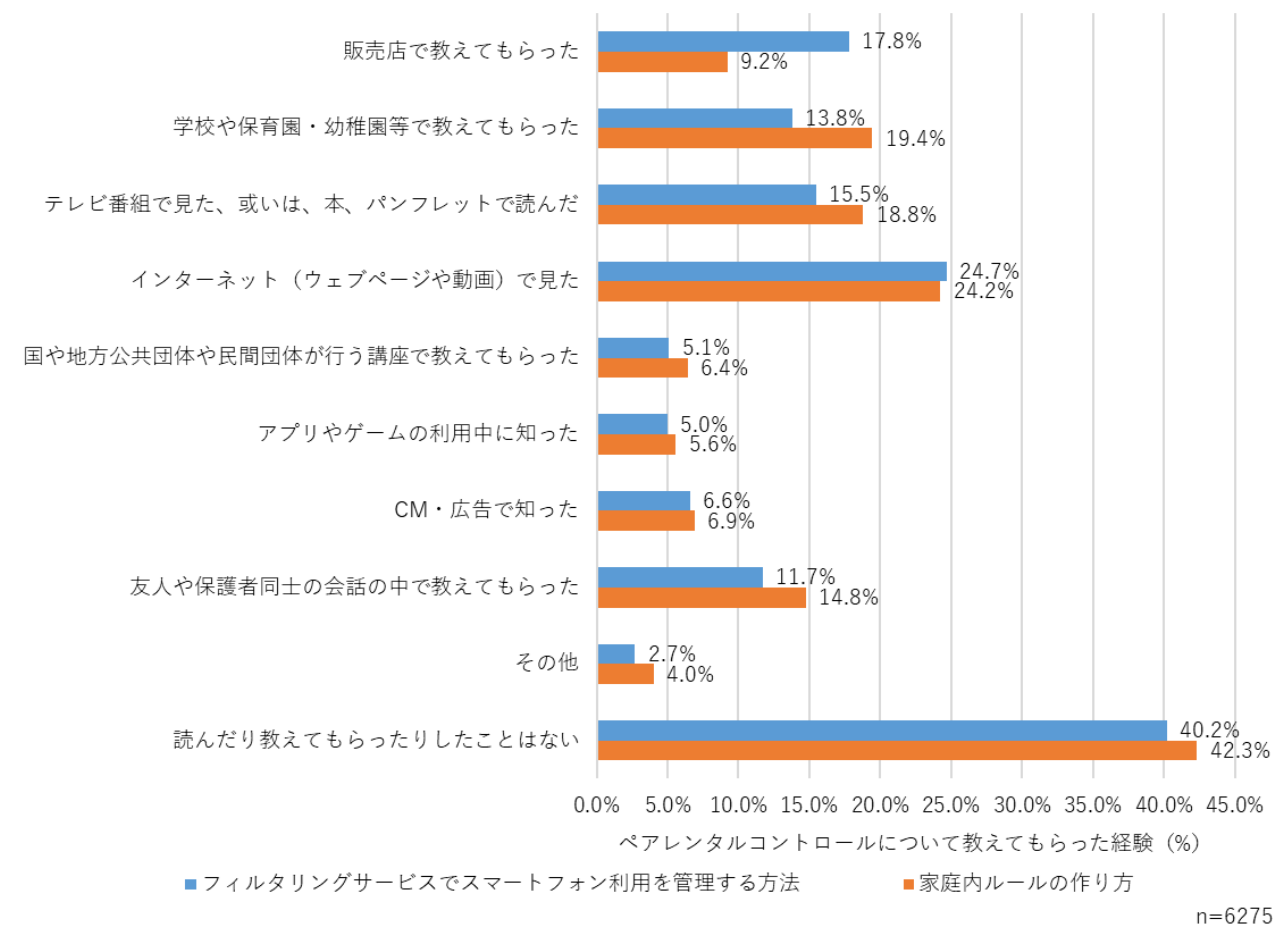
図表 2.43 家庭内ルールについて知りたい手段（保護者 4 分類別）

家庭内ルールについて何で知りたいか	実施あり	実施あり	実施なし	実施なし
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
販売店で知ることができる	15.8%	7.4%	10.0%	3.5%
学校や保育園・幼稚園等で知ることができる	27.8%	12.3%	16.4%	5.6%
テレビ番組や本、パンフレットで知ることができる	27.6%	14.8%	13.8%	4.2%
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	47.3%	21.7%	28.3%	9.8%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	14.6%	6.7%	8.2%	3.9%
アプリやゲームの利用中に知ることができる	13.6%	6.1%	9.7%	4.4%
CM・広告で知ることができる	15.6%	7.3%	11.0%	3.5%
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	25.3%	13.5%	16.2%	5.5%
その他	4.8%	5.7%	4.9%	3.2%
特に知りたいと思わない	18.9%	51.7%	43.3%	77.8%

n=4444, 479, 803, 549

2. 3. 5. スマートフォンのペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験

図表 2.44 は、ペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験の調査結果を示している。フィルタリングサービスを使って子どものスマートフォンの利用を管理する方法は「インターネット（ウェブページや動画）で見た」、「販売店で教えてもらった」、「テレビ番組で見た、或いは、本、パンフレットで読んだ」が多く、家庭内ルールの作り方は「インターネット（ウェブページや動画）で見た」、「学校や保育園・幼稚園等で教えてもらった」、「テレビ番組で見た、或いは、本、パンフレットで読んだ」が多い。一方「読んだり教えてもらったりしたことはない」が 40%以上で最多になっている。未だフィルタリングサービスや家庭内ルールについての啓発が行き届いていないことが示唆される。



図表 2.44 ペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験

これを年齢別に見たものが図表 2.45 と図表 2.46 である。フィルタリングサービスについては小学高学年以降では「販売店で教えてもらった」が多いが、小学低学年以下では少ない。低年齢時には親の機器を使わせている割合が高いことが要因と考えられる。「学校や保育園・幼稚園等で教えてもらった」については、家庭内ルールで中学以降は上位になっているものの、全体的には高くない。学生の多くがスマートフォンを利用していることを考慮すると、学校などでの啓発はより多くて良いだろう。

販売店はフィルタリングサービスの説明はしているようだが、家庭内ルールではどの年齢でも低い。販売店でフィルタリングサービスについての説明を行うと同時に、家庭内ルールの啓発をすることも手段として考えられる。

図表 2.45 フィルタリングサービスについて教えてもらった経験（年齢別）

フィルタリングサービスについて何で教えてもらったか	未就学	小学		中学	高校
		低学年	高学年		
販売店で教えてもらった	6.7%	12.5%	18.3%	21.7%	19.7%
学校や保育園・幼稚園等で教えてもらった	8.2%	11.9%	11.6%	16.0%	15.4%
テレビ番組で見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	15.1%	15.3%	14.5%	16.6%	15.2%
インターネット（ウェブページや動画）で見た	20.2%	24.5%	26.8%	28.5%	22.2%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	5.3%	6.0%	5.2%	4.7%	5.0%
アプリやゲームの利用中に知った	6.4%	6.9%	5.0%	5.3%	3.7%
CM・広告で知った	8.2%	7.3%	5.9%	6.0%	6.7%
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	11.0%	11.3%	14.2%	12.6%	10.2%
その他	2.9%	2.7%	3.4%	2.7%	2.4%
読んだり教えてもらったりしたことはない	52.9%	43.6%	37.6%	34.4%	40.7%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

図表 2.46 家庭内ルールについて教えてもらった経験（年齢別）

家庭内ルールについて何で教えてもらったか	未就学	小学		中学	高校
		低学年	高学年		
販売店で教えてもらった	6.4%	7.7%	11.6%	9.5%	9.4%
学校や保育園・幼稚園等で教えてもらった	10.6%	16.4%	18.2%	23.7%	20.5%
テレビ番組で見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	16.9%	17.7%	18.5%	20.6%	18.5%
インターネット（ウェブページや動画）で見た	21.1%	22.8%	26.8%	27.5%	22.0%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	6.8%	7.1%	7.3%	5.8%	6.2%
アプリやゲームの利用中に知った	7.1%	7.6%	7.7%	4.4%	4.5%
CM・広告で知った	9.1%	8.2%	9.0%	5.4%	6.1%
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	13.5%	14.3%	17.9%	16.0%	13.0%
その他	4.5%	4.0%	5.0%	3.6%	3.7%
読んだり教えてもらったりしたことはない	51.7%	44.6%	39.6%	36.6%	44.2%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

さらに保護者4分類別に見たものが図表 2.47 と図表 2.48 である。ここでも明確な差が存在し、実施なしや関心なしの人はそもそも全体的に教えてもらった経験が少ない。実施か関心がどちらかありでも、教えてもらった経験は多くない。教えてもらった経験がないから実施してない・関心がないという因果と、実施していなかったり関心がなかったりするから情報を摂取しようとしていないという因果の双方が考えられるが、いずれにせよ啓発される機会を増やすことは有効と考えられる。

図表 2.47 フィルタリングサービスについて教えてもらった経験（保護者4分類別）

フィルタリングサービスについて何で教えてもらったか	実施あり		実施なし	
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
販売店で教えてもらった	22.0%	10.4%	8.8%	5.2%
学校や保育園・幼稚園等で教えてもらった	17.0%	10.0%	6.9%	2.8%
テレビ番組で見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	19.0%	9.2%	8.9%	4.1%
インターネット（ウェブページや動画）で見た	30.9%	15.3%	11.9%	4.5%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	6.3%	3.1%	3.3%	0.6%
アプリやゲームの利用中に知った	5.9%	2.7%	4.8%	0.8%
CM・広告で知った	8.1%	3.0%	4.5%	2.1%
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	14.2%	7.9%	6.5%	3.4%
その他	3.2%	1.5%	2.0%	1.0%
読んだり教えてもらったりしたことはない	28.5%	57.7%	62.1%	80.4%

n=4444, 479, 803, 549

図表 2.48 家庭内ルールについて教えてもらった経験（保護者4分類別）

家庭内ルールについて何で教えてもらったか	実施あり		実施なし	
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
販売店で教えてもらった	10.9%	7.0%	6.7%	2.3%
学校や保育園・幼稚園等で教えてもらった	23.6%	14.0%	10.7%	5.7%
テレビ番組で見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	22.6%	14.8%	10.7%	5.4%
インターネット（ウェブページや動画）で見た	30.4%	16.0%	10.2%	5.7%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	7.7%	4.4%	4.0%	2.5%
アプリやゲームの利用中に知った	6.4%	4.3%	4.9%	1.9%
CM・広告で知った	8.1%	2.8%	6.0%	2.7%
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	18.3%	8.7%	7.9%	3.3%
その他	4.4%	3.9%	3.5%	2.0%
読んだり教えてもらったりしたことはない	30.7%	58.2%	64.6%	83.1%

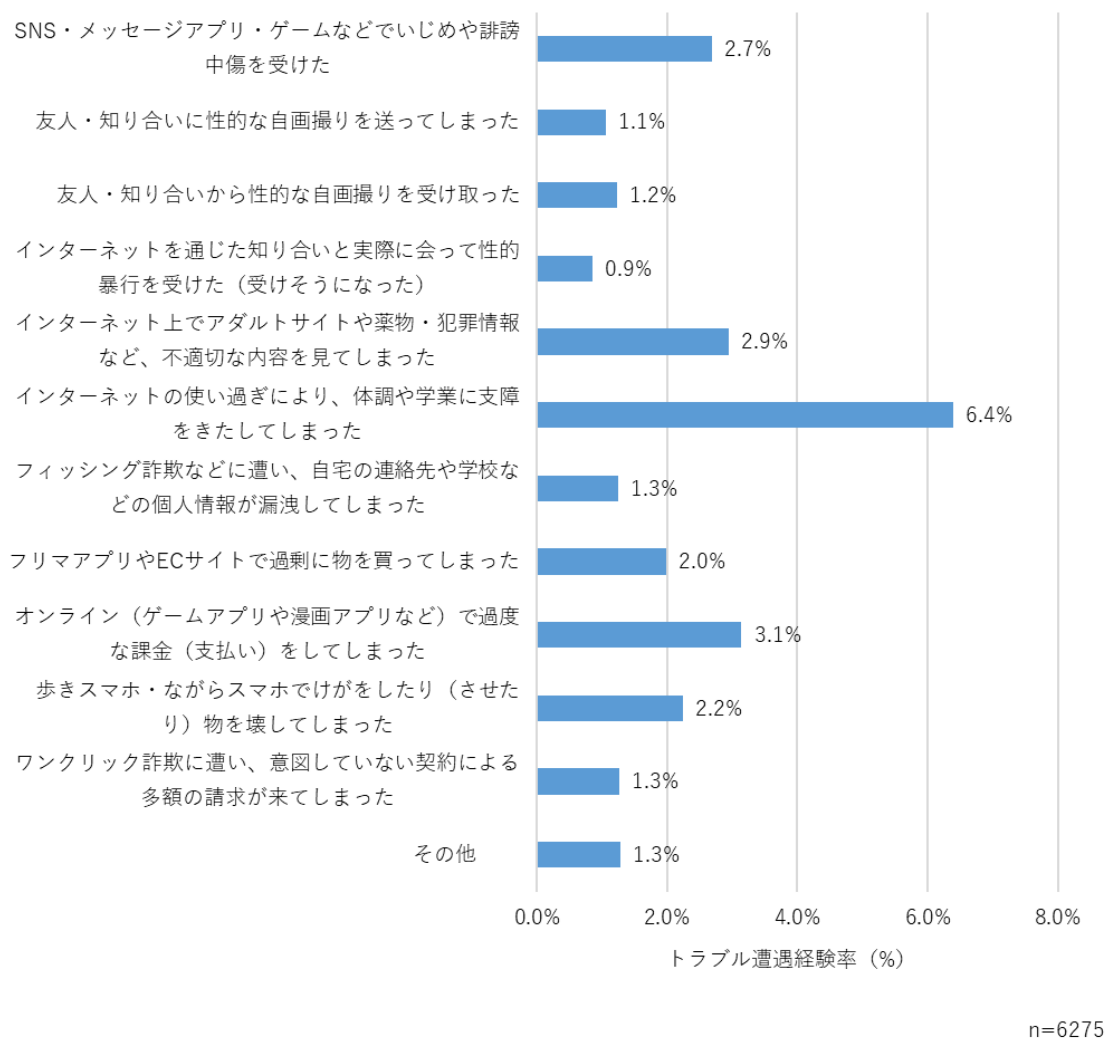
n=4444, 479, 803, 549

2. 4. 青少年のスマートフォン利用に関するトラブルの遭遇とペアレンタルコントロールの実施

2. 4. 1. 青少年のスマートフォンでのトラブル遭遇状況

青少年がスマホを利用して遭遇したトラブルについて調査した結果を示したものが

図表 2.49 である。なお、項目については内閣府（2020）¹⁸を参考にした。最も多いのが「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった」（6.4%）であり、続けて「オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまった」（3.1%）が多い。傾向としては、利用時間に関するものと金銭トラブルが多い。



図表 2.49 青少年が遭遇したトラブル

これを子供の年齢別、保護者 4 分類別に分析したものが図表 2.50 と図表 2.51 である。年齢別に大きな違いはないが、未就学で「歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまった」（3.2%）、「ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった」（2.6%）が多いことが興味深い。未就学児の歩きスマホは特に

¹⁸ 内閣府（2020）「令和元年度 青少年のインターネット利用環境実態調査」,
<https://www8.cao.go.jp/youth/youth-harm/chousa/r01/jittai-html/index.html>

危険である。また、フィルタリングサービスのないスマホ利用で多額の請求が来ることがある。青少年保護の観点から、未就学児の保護者にはこれらの啓発を重点的にする必要が示唆される。

全体的には、小学高学年以降でトラブル遭遇率が高い。青少年の年齢が高くても安心せず気を付けるよう啓発する必要があると考えられる。

保護者の4分類別では、ペアレンタルコントロールを実施している人の方が実施していない人よりもトラブル遭遇経験が多く、関心のある人の方が関心のない人よりも遭遇経験が多い。ただしこれは後述するように、実施していない人や関心のない人はトラブルの遭遇状況をつかめていないことが多いだけであり、見逃されているトラブルが多いと予想される。

図表 2.50 青少年が遭遇したトラブル（年齢別）

遭遇したトラブル	年齢別				
	未就学	小学 低学年	小学 高学年	中学	高校
SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた	1.8%	1.7%	2.7%	3.5%	2.6%
友人・知り合いに性的な自画撮りを送ってしまった	1.5%	1.1%	1.4%	1.1%	0.8%
友人・知り合いから性的な自画撮りを受け取った	1.3%	1.6%	0.8%	1.6%	1.0%
インターネットを通じた知り合いと実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）	1.3%	1.3%	0.5%	0.9%	0.7%
インターネット上で不適切な内容を見てしまった	2.5%	2.9%	3.3%	3.2%	2.8%
インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった	3.3%	3.7%	5.2%	8.9%	6.7%
フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった	1.7%	1.9%	1.2%	1.1%	1.1%
フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまった	1.8%	2.2%	1.5%	2.2%	2.0%
オンラインで過度な課金（支払い）をしてしまった	2.3%	3.8%	2.0%	3.5%	3.5%
歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまった	3.2%	2.9%	2.9%	2.1%	1.6%
ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった	2.6%	1.2%	0.9%	1.2%	1.1%
その他	0.5%	0.4%	1.0%	1.7%	1.6%

n=1549, 1170, 1186, 1185, 1185

図表 2.51 青少年が遭遇したトラブル（保護者4分類別）

遭遇したトラブル	保護者4分類別			
	実施あり 関心あり	実施あり 関心なし	実施なし 関心あり	実施なし 関心なし
SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた	3.3%	0.6%	2.3%	0.9%
友人・知り合いに性的な自画撮りを送ってしまった	1.3%	0.7%	0.4%	0.3%
友人・知り合いから性的な自画撮りを受け取った	1.5%	0.9%	0.9%	0.4%
インターネットを通じた知り合いと実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）	1.1%	0.7%	0.3%	0.2%
インターネット上で不適切な内容を見てしまった	3.6%	2.1%	2.0%	0.5%
インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった	8.0%	3.7%	3.2%	1.4%
フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった	1.4%	1.4%	0.8%	0.8%
フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまった	2.4%	0.8%	1.5%	0.4%
オンラインで過度な課金（支払い）をしてしまった	3.8%	3.3%	1.2%	0.6%
歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまった	2.7%	1.4%	1.4%	0.8%
ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった	1.5%	0.7%	0.9%	0.5%
その他	1.5%	1.1%	0.3%	1.0%

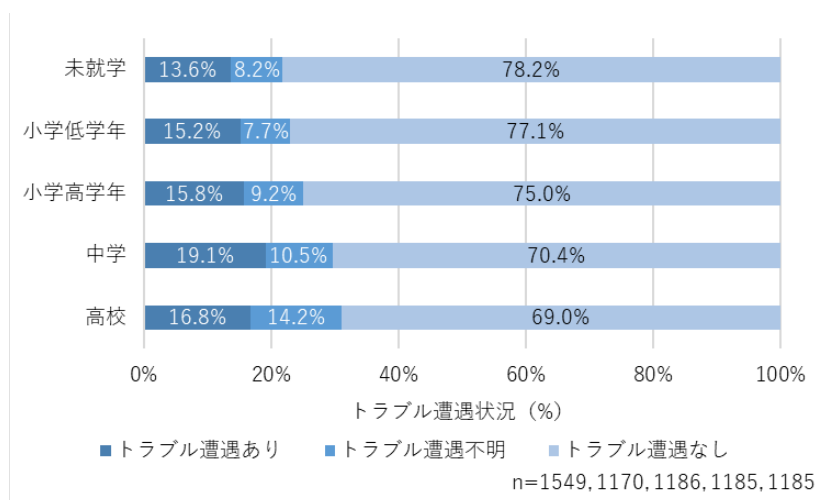
n=4444, 479, 803, 549

次に、何らかのトラブルに遭遇したことがあるか、トラブル遭遇経験について分からないか、トラブル遭遇経験はないかを、年齢別、保護者4分類別に分析した。尚、全体の傾向は保護者4分類の分析の図表 2.53 に掲載している。

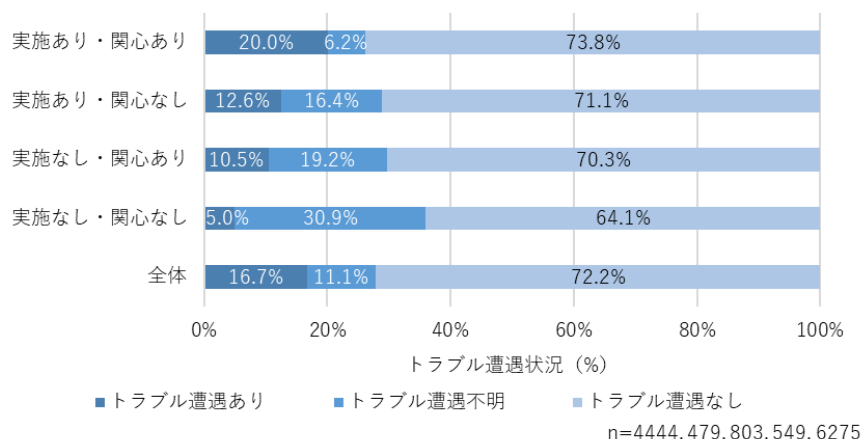
まず年齢別に見ると（図表 2.52）、「トラブルの遭遇経験なし」とはっきり答えている人の割合は年齢が高くなるにつれ減少している。特に高校生では不明が多く（14.2%）、これは2.3. 1. で見たようにペアレンタルコントロール実施率が低いことが要因と考えられる。

保護者4分類別に見ると（図表 2.53）、はっきりと傾向が見られる。実施あり・関心ありではトラブル遭遇経験率こそ高い（20.0%）ものの、経験がない率も高い（73.8%）。一方、その他の場合は不明の割合が高くなり、とりわけ実施なし・関心なしでは極端に高い（30.9%）。また、実施してても関心がない場合にはやはり不明の割合が高い（16.4%）。この層は外部的要因で何となくペアレンタルコントロールを実施していると予想され、関心のない状態で実施してもトラブル遭遇について正確に把握するのは困難といえる。

ペアレンタルコントロールを実施していないと、そもそもトラブル遭遇について把握できておらず、リスクが高いことが示唆された。また、関心がない状態でもただ実施していても、やはり同様の状況になることも分かった。



図表 2.52 青少年のトラブル遭遇状況（年齢別）



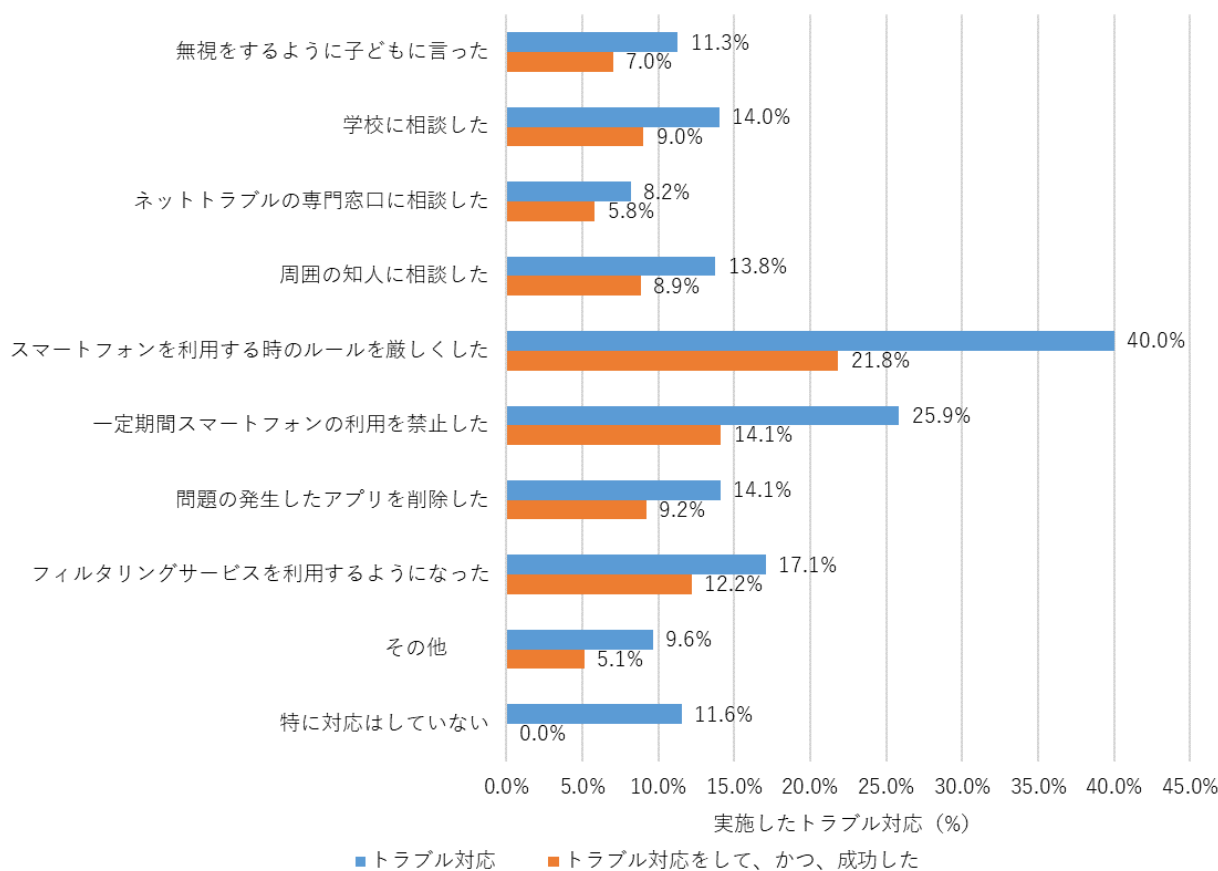
図表 2.53 青少年のトラブル遭遇状況（保護者4分類別）

2. 4. 2. スマートフォンのトラブルにどのように対応したか

図表 2.54 は、トラブルに対してどのように対応したかと、成功したトラブル対応割合を示している。なお、項目は総務省（2009）¹⁹を参考にしてている。ただし、「特に対応していない」は成功率を0%としている。対応で最も多いのが「スマートフォンを利用する時のルールを厳しくした」（40.0%）であり、続けて「一定期間スマートフォンの利用を禁止した」（25.9%）、「フィルタリングサービスを利用するようになった」（17.1%）となっている。これら3つは実施する人が多く、かつ、成功する人が多いということで、適切なトラブル対応方法として啓発コンテンツに盛り込むことが推奨される。

ただし、実施率と成功率の乖離を見ると、「スマートフォンを利用する時のルールを厳しくした」と「一定期間スマートフォンの利用を禁止した」で大きい。おそらく、青少年がその後ルールを破ってしまったのだと予想される。青少年に適切にルールを守らせる方法の啓発も必要と考えられる。

¹⁹ 総務省（2009）「インターネットトラブル事例解説集」,
https://www.soumu.go.jp/main_sosiki/joho_tsusin/kyouiku_joho-ka/pdf/1-1_b.pdf



n=1003

図表 2.54 青少年のトラブル遭遇時にどのように対応したか

これを子供の年齢別、保護者4分類別に分析したものが図表 2.55 と図表 2.56 である。図表 2.55 を見ると、年齢別にはほとんど傾向が変わらないことが分かる。

一方、保護者4分類別に見ると明らかな傾向が見て取れる。実施あり・関心ありではそもそも対応をする割合が高い(91.1%)²⁰が、その他では低く、特に実施なし・関心なしでは特に対応をしていない割合が非常に高い(34.8%)。また、トラブルへの対応も「その他」が多く(23.0%)、具体的な方法として一般的に言われている方法以外の対処をしている。その次に多いものも「無視をするように子どもに言った」(12.2%)であり、具体的な行動を必要とするものではない。

これまでの研究結果からも総合すると、ペアレンタルコントロールを実施していない人、とりわけ関心もない保護者は、トラブル遭遇状況を把握しておらず、把握したとしても対応しない傾向にあり、極めてリスクが高い状態であるといえる。

²⁰ 「特に対応はしていない」が8.9%であることから。

図表 2.55 青少年のトラブル遭遇時にどのように対応したか（年齢別）

実施したトラブル対応	未就学	小学		中学	高校
		低学年	高学年		
無視をするように子どもに言った	12.2%	10.6%	13.6%	10.4%	11.1%
学校に相談した	7.1%	10.1%	12.0%	16.4%	15.6%
ネットトラブルの専門窓口相談した	14.7%	9.7%	7.4%	5.3%	9.0%
周囲の知人に相談した	14.3%	15.4%	12.6%	14.0%	13.5%
スマートフォンを利用する時のルールを厳しくした	27.2%	34.0%	40.6%	44.5%	40.7%
一定期間スマートフォンの利用を禁止した	21.6%	25.9%	28.4%	30.1%	22.1%
問題の発生したアプリを削除した	15.8%	23.6%	11.4%	14.9%	11.6%
フィルタリングサービスを利用するようになった	17.8%	20.2%	19.8%	17.5%	14.6%
その他	4.7%	4.7%	5.7%	10.5%	13.1%
特に対応はしていない	11.0%	8.6%	10.7%	8.4%	15.6%

n=210, 178, 189, 227, 199

図表 2.56 青少年のトラブル遭遇時にどのように対応したか（保護者 4 分類別）

実施したトラブル対応	実施あり		実施なし	
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
無視をするように子どもに言った	11.8%	9.5%	7.4%	12.2%
学校に相談した	15.4%	6.7%	7.1%	7.5%
ネットトラブルの専門窓口相談した	8.5%	7.1%	7.4%	4.6%
周囲の知人に相談した	15.4%	6.1%	7.0%	1.4%
スマートフォンを利用する時のルールを厳しくした	43.4%	25.5%	25.3%	11.8%
一定期間スマートフォンの利用を禁止した	28.1%	17.6%	16.4%	5.5%
問題の発生したアプリを削除した	15.4%	7.6%	8.3%	6.3%
フィルタリングサービスを利用するようになった	19.1%	6.8%	7.5%	6.3%
その他	9.0%	19.2%	4.1%	23.0%
特に対応はしていない	8.9%	28.5%	17.5%	34.8%

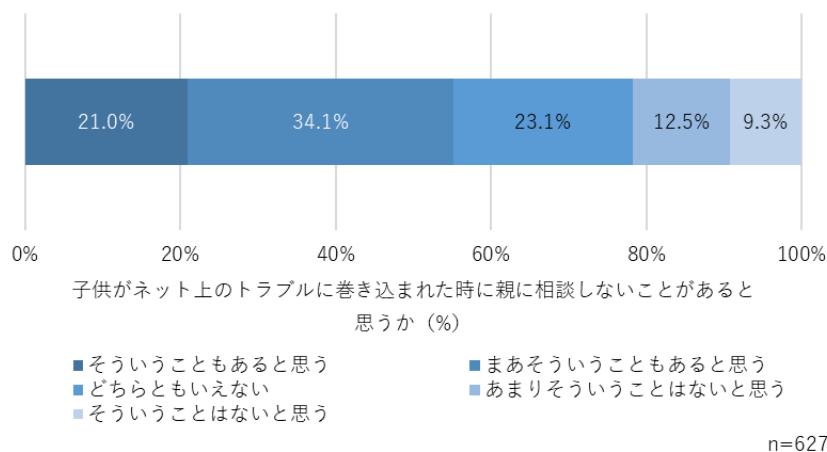
n=826, 64, 80, 33

2. 4. 3. 子供がインターネット上のトラブルに巻き込まれた時に相談しないことがあると思うか

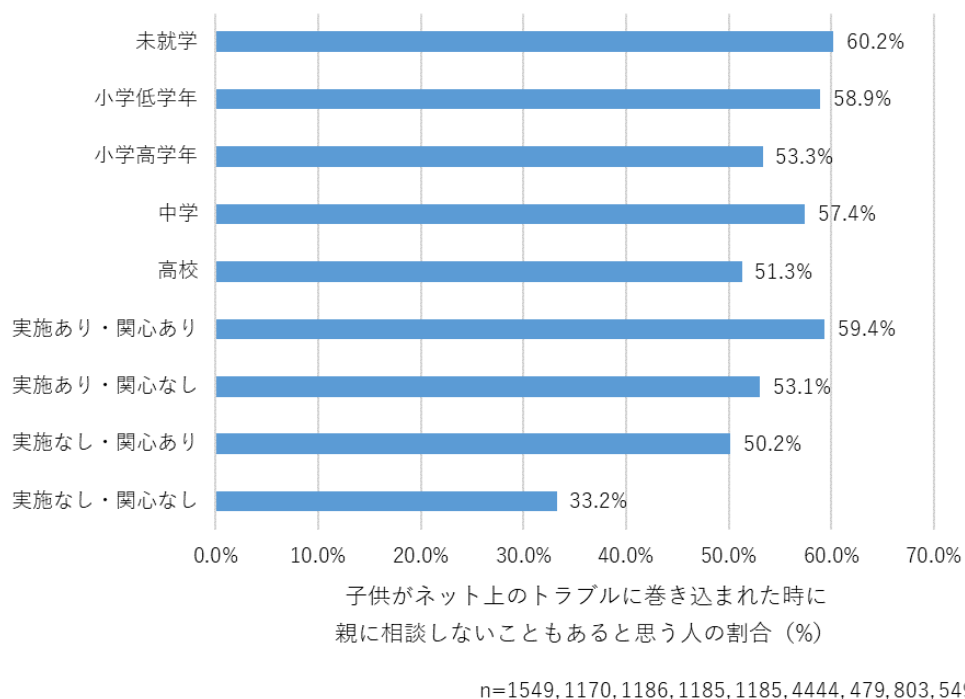
青少年がインターネット上のトラブルに巻き込まれた時に親に相談しないことがあると思うかを調査した結果を示したものが図表 2.57 である。「そういうこともあると思う」、「まあそういうこともあると思う」が合計して 55.1%であり、過半数の保護者が、子供が親に相談をしないことがあると認識している。

これをさらに年齢別と保護者 4 分類別に見た（図表 2.58）。ペアレンタルコントロール実施あり・関心ありでは青少年が親に相談しないことがあるという認識が多い（59.4%）一方で、その他では少なく、とりわけ実施なし・関心なしでは極端に低い（33.2%）。2. 2. 2. で、関心を持たない理由として「子供を信頼しているから」が最も多かったが、それが如実

に反映されているといえる。しかし実態としては2. 1. 3. のようにコミュニケーションをほとんどしておらず、2. 4. 1. のようにトラブルに遭遇しているかもわかっていない状況である。とりわけ本グループの保護者については、青少年が相談しないこともあることや、リスクについて、自分事化できる抜本的な意識改革が必要であることが示唆されている。



図表 2.57 青少年がネット上のトラブルに巻き込まれた時に親に相談しないことがあると思うか



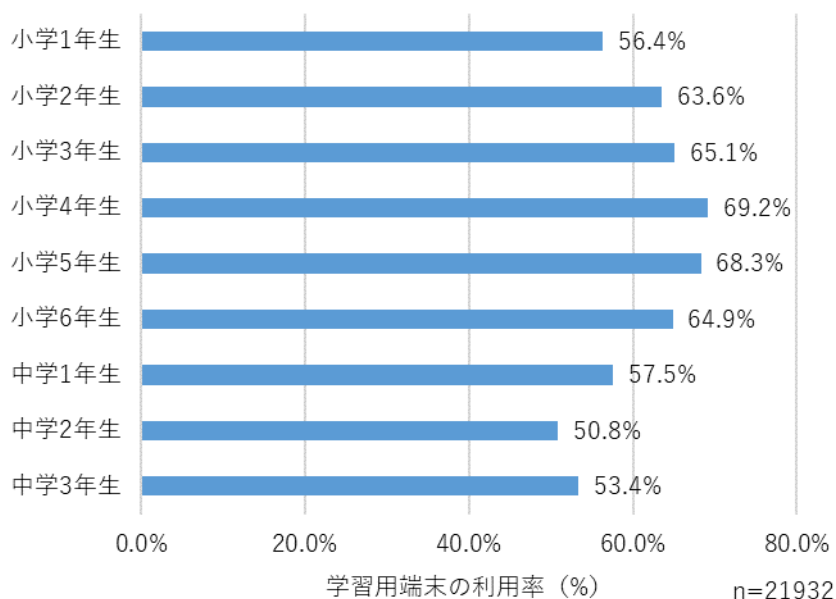
図表 2.58 青少年がネット上のトラブルに巻き込まれた時に親に相談しないことがあると思うか (年齢別・保護者の4分類別)

3. 青少年の学習用端末利用に関するアンケート調査分析

3. 1. 青少年の学習用端末利用に関する基礎データ

3. 1. 1. 青少年の学習用端末利用状況

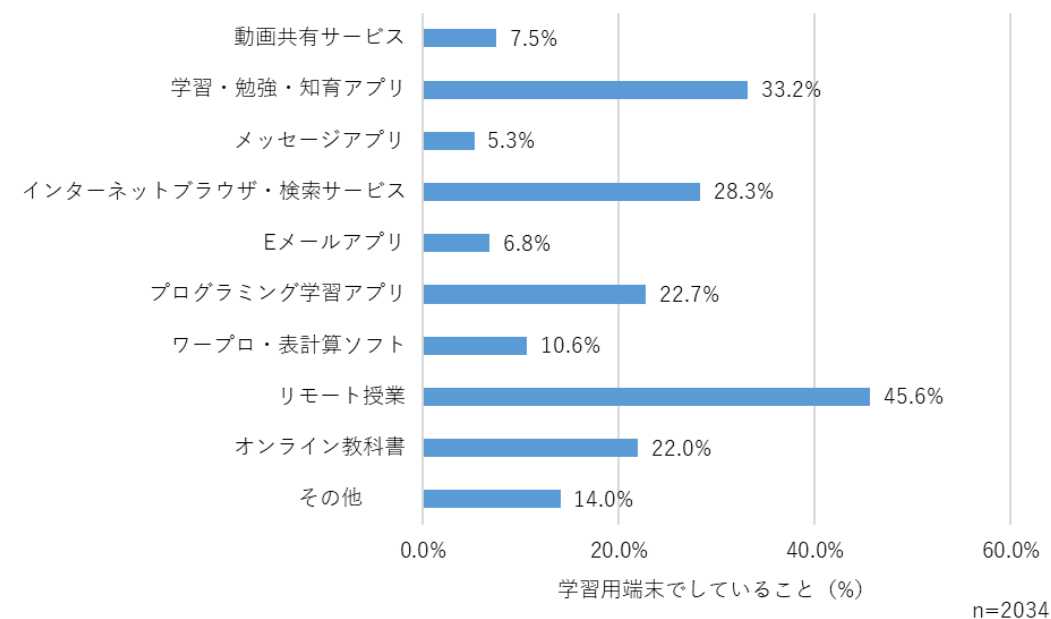
スクリーニング調査において小学1年生～中学3年生までで、学習端末利用率がどのようになっているか示したものが図表3.1である。



図表 3.1 青少年の学習用端末利用率

続けて青少年が学習用端末でしていることについて調査した結果が図表3.2と図表3.3である。

まず全体(図表3.2)を確認する。結果は、「リモート授業」が45.6%と最多である。次いで「学習・勉強・知育アプリ」や「インターネットブラウザ・検索サービス」、「プログラミング学習アプリ」など勉強に関連した選択肢の回答率が高い。しかし、「動画共有サービス」や「メッセージアプリ」と回答した保護者も少なからずいる。



図表 3.2 青少年が学習用端末でしていること

子供の年齢別に整理した結果が図表 3.3 だが、年齢別に大きな違いはみられない。小学低学年では、相対的に「インターネットブラウザ・検索サービス」が少なく、「プログラミング学習アプリ」が多いことが特徴である。

図表 3.3 青少年が学習用端末でしていること（年齢別）

学習用端末でしていること	小学		中学
	低学年	高学年	
動画共有サービス	8.1%	7.4%	7.3%
学習・勉強・知育アプリ	38.0%	33.5%	31.1%
メッセージアプリ	4.0%	3.0%	7.2%
インターネットブラウザ・検索サービス	20.9%	27.6%	31.5%
Eメールアプリ	3.7%	3.5%	10.2%
プログラミング学習アプリ	23.5%	27.2%	19.4%
ワープロ・表計算ソフト	4.6%	8.8%	14.2%
リモート授業	38.2%	47.1%	47.4%
オンライン教科書	22.6%	19.8%	23.2%
その他	16.6%	12.8%	13.8%

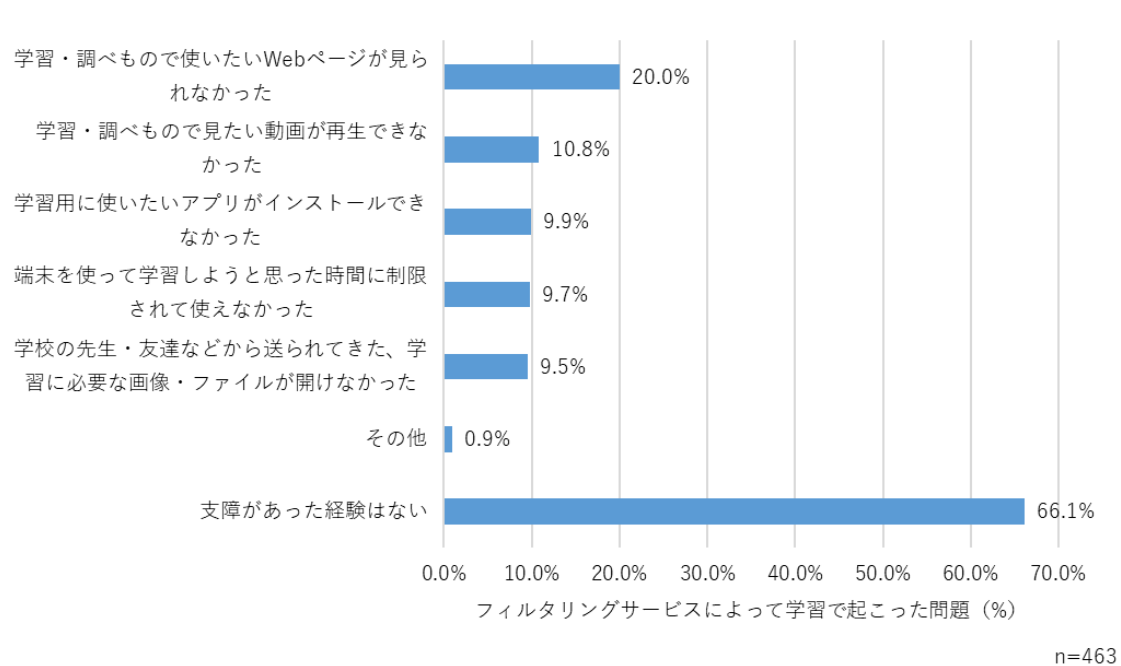
n=684, 744, 606

3. 1. 2. 学習用端末のフィルタリングサービスによって起こった問題

学習用端末のフィルタリングサービスによって起こった問題を調査した結果が図表 3.4 と図表 3.5 である。

まず全体（図表 3.4）を確認すると、多くの人が「支障があった経験はない」と回答しているが、一方で 33.9%は支障があったことがわかる。中でも最も多かった支障は「学習・調べもので使いたい Web ページが見られなかった」の 20.0%である。

子供の年齢別に整理した結果が図表 3.5 である。結果を確認すると、「学習・調べもので使いたい Web ページが見られなかった」はどの年齢でも高い。ほかに、低学年では「学習用に使いたいアプリがインストールできなかった」が 10.6%、高学年では「学校の先生・友達などから送られてきた、学習に必要な画像・ファイルが開けなかった」が 10.5%、中学では「学習・調べ物で見た動画が再生できなかった」が 12.0%と、他の年齢に比べ多くなっている。



図表 3.4 フィルタリングサービスによって学習で起こった問題

図表 3.5 フィルタリングサービスによって学習で起こった問題（年齢別）

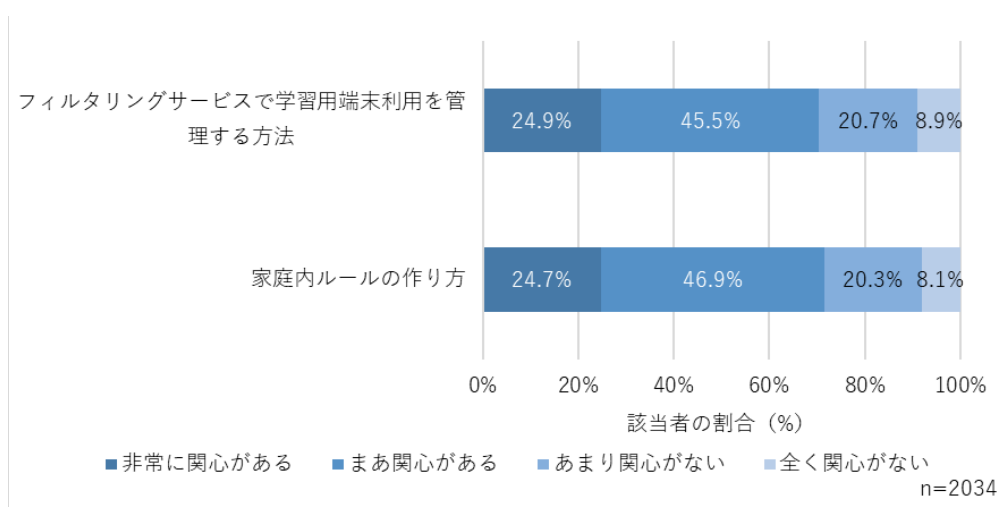
フィルタリングサービスによって起こった問題	小学	小学	中学
	低学年	高学年	
学習・調べもので使いたいWebページが見られなかった	17.1%	22.3%	19.3%
学習・調べもので見たい動画が再生できなかった	10.5%	9.3%	12.0%
学習用に使いたいアプリがインストールできなかった	10.6%	9.3%	10.1%
端末を使って学習しようと思った時間に制限されて使えなかった	9.2%	7.7%	11.3%
学校の先生・友達などから送られてきた、学習に必要な画像・ファイルが開けなかった	5.5%	10.5%	10.2%
その他	0.8%	2.3%	0.0%
支障があった経験はない	70.8%	66.6%	64.3%

n=684, 744, 606

3. 2. 青少年の学習用端末利用の家庭内でのペアレンタルコントロールに関する保護者の関心

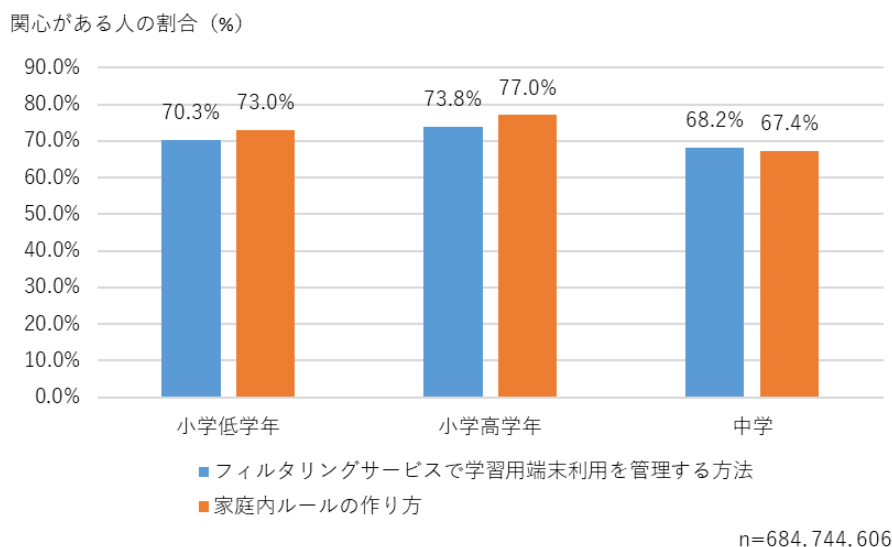
3. 2. 1. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関する保護者の関心

青少年の学習用端末利用に関する家庭内でのペアレンタルコントロールに関する保護者の関心を調査した結果が図表 3.6 と図表 3.7 である。フィルタリングサービスと家庭内ルールで大きな違いは確認できず、どちらも合計して 70%以上の方は「まあ関心がある」以上の回答である。スマートフォンの同調査（2. 2. 1.）よりやや低い程度の関心だとわかる。



図表 3.6 ペアレンタルコントロールに関心のある人

子供の年齢別に確認したものが図表 3.7 であり、年齢の最も高い中学生の保護者が最も関心が低くなっていることがわかる。

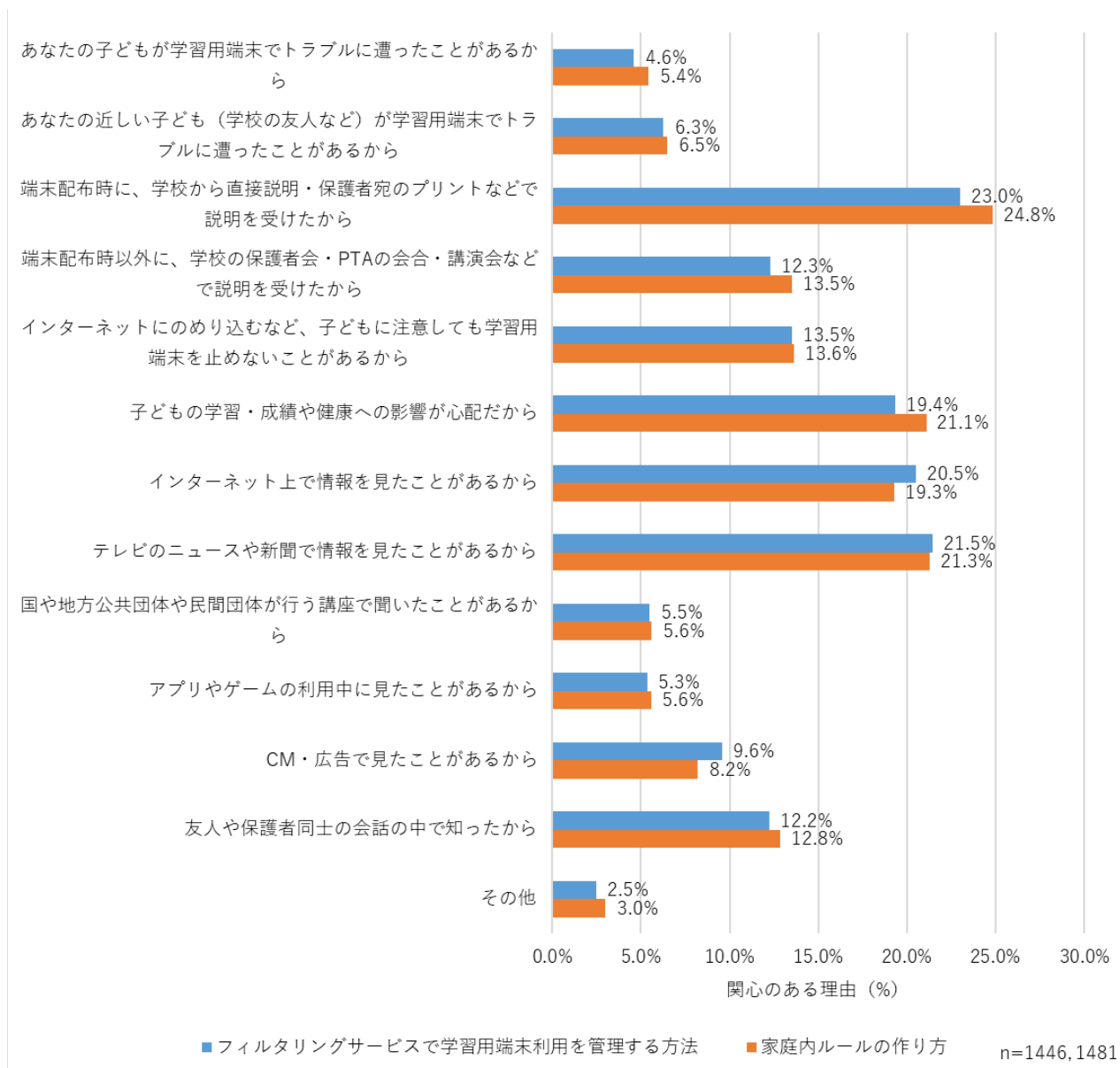


図表 3.7 ペアレンタルコントロールに関心のある人 (年齢別)

3. 2. 2. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関心を持った理由・持たない理由

学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関心を持ったきっかけを調査した結果が図表 3.8 から図表 3.10 である。

まず全体 (図表 3.8) を確認する。結果としては、「端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたから」が約 24%と最多。その他にも、「インターネット上で情報を見たことがあるから」や「テレビのニュースや新聞で情報を見たことがあるから」が高いのはスマートフォンと同じ傾向である。「子供の学習・成績や健康への影響が心配だから」もこれらに次いで高い。ここから見えてくることとして、「端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたから」は確かに最多ではあるが、4人に1人以下という結果である。端末配布時の保護者に対する説明を確実にするとともに、内容としても保護者によるペアレンタルコントロールという視点で関心をより持ってもらえるような説明も必要と考えられる。



図表 3.8 ペアレンタルコントロールに関心を持ったきっかけ

子供の年齢別に整理した結果が図表 3.9 と図表 3.10 である。結果を確認すると、年齢別に大きな違いは無かった。小学低学年では、フィルタリングサービスに関心を持ったきっかけとして、「子供の学習・成績や健康への影響が心配だから」が高い傾向にある。

図表 3.9 フィルタリングサービスに関心を持ったきっかけ（年齢別）

フィルタリングサービスに関心を持った理由	小学	小学	中学
	低学年	高学年	
あなたの子どもが学習用端末でトラブルに遭ったことがあるから	5.6%	4.2%	4.5%
あなたの近い子ども（学校の友人など）が学習用端末でトラブルに遭ったことがあるから	6.6%	5.4%	6.7%
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたから	18.3%	22.0%	25.5%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたから	12.1%	12.0%	12.7%
インターネットにのめり込むなど、子どもに注意しても学習用端末を止めないことがあるから	13.2%	13.6%	13.7%
子どもの学習・成績や健康への影響が心配だから	21.1%	19.8%	18.3%
インターネット上で情報を見たことがあるから	23.6%	20.9%	19.0%
テレビのニュースや新聞で情報を見たことがあるから	23.6%	21.3%	20.7%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で聞いたことがあるから	6.5%	5.2%	5.2%
アプリやゲームの利用中に見たことがあるから	6.5%	4.1%	5.8%
CM・広告で見たことがあるから	10.7%	8.9%	9.6%
友人や保護者同士の会話の中で知ったから	15.5%	12.9%	10.5%
その他	3.1%	2.1%	2.5%

n=500, 573, 408

図表 3.10 家庭内ルールに関心を持ったきっかけ（年齢別）

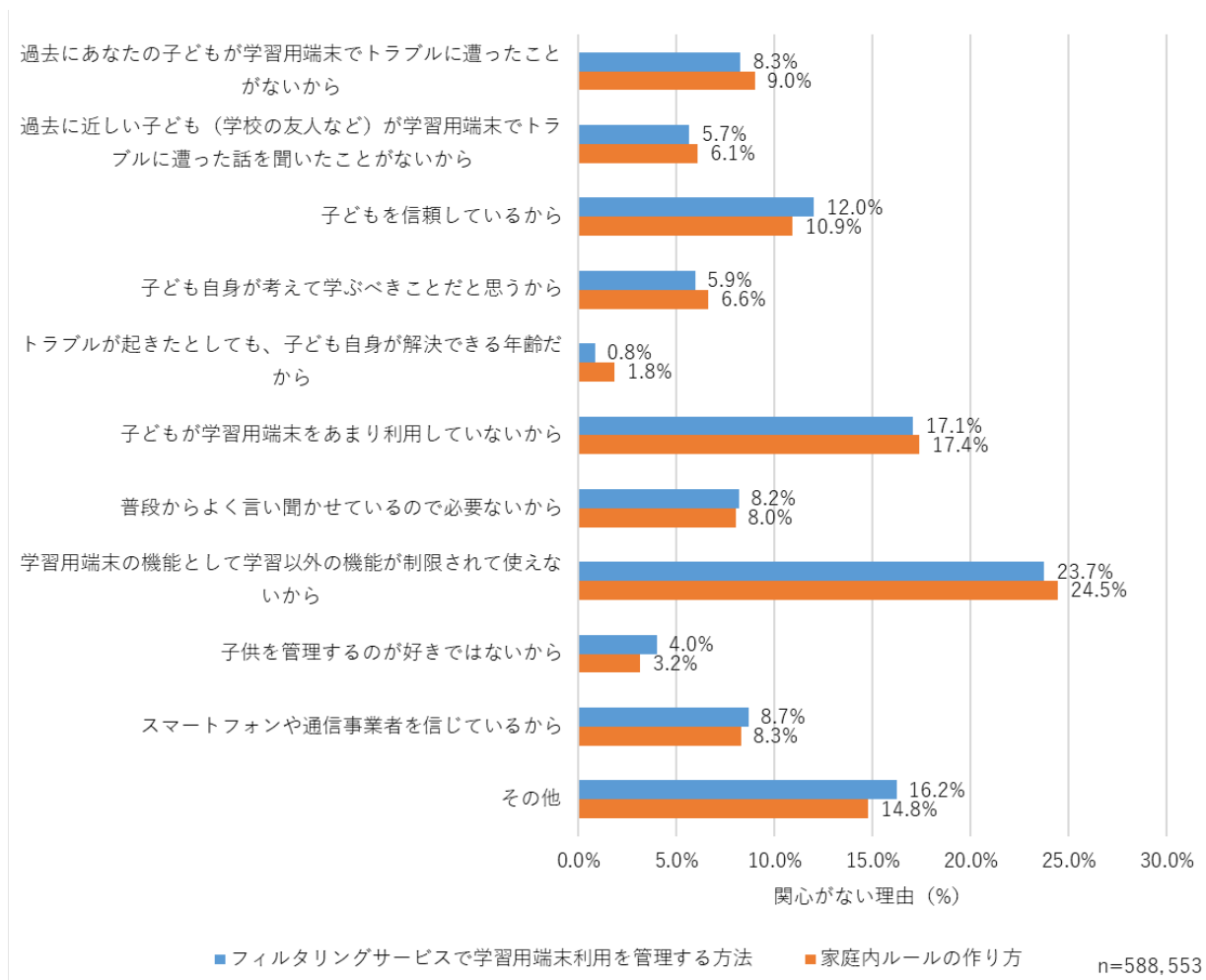
家庭内ルールに関心を持った理由	小学	小学	中学
	低学年	高学年	
あなたの子どもが学習用端末でトラブルに遭ったことがあるから	6.4%	5.5%	4.9%
あなたの近い子ども（学校の友人など）が学習用端末でトラブルに遭ったことがあるから	6.0%	6.1%	7.0%
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたから	22.6%	24.4%	26.0%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたから	11.5%	11.3%	16.1%
インターネットにのめり込むなど、子どもに注意しても学習用端末を止めないことがあるから	13.9%	13.7%	13.4%
子どもの学習・成績や健康への影響が心配だから	21.6%	20.8%	21.1%
インターネット上で情報を見たことがあるから	21.1%	19.5%	18.4%
テレビのニュースや新聞で情報を見たことがあるから	23.0%	22.4%	19.8%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で聞いたことがあるから	5.8%	6.5%	4.9%
アプリやゲームの利用中に見たことがあるから	6.6%	5.9%	4.9%
CM・広告で見たことがあるから	6.9%	8.5%	8.5%
友人や保護者同士の会話の中で知ったから	14.1%	14.7%	10.9%
その他	3.4%	3.0%	2.7%

n=481, 552, 413

続けて関心がない理由について調査した結果が図表 3.11 から図表 3.13 である。

まず全体（図表 3.11）を確認すると、「学習用端末の機能として学習以外の機能が制限されて使えないから」の約 24%や「子供が学習用端末をあまり利用していないから」の約 17%が多い。これはスマートフォンの同調査（2. 2. 2.）とは大きく異なる傾向である。ただし 3 位には「子供を信頼しているから」がランクインしており、これはスマートフォンでは 1 位の項目となっている。子供の年齢別に整理した結果（図表 3.12 と図表 3.13）での傾向は変わらない。

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの効果的な啓発に関する調査 報告書



図表 3.11 ペアレンタルコントロールに関心がない理由

図表 3.12 フィルタリングサービスに関心がない理由（年齢別）

フィルタリングサービスに関心のない理由	小学	小学	中学
	低学年	高学年	
過去にあなたの子どもが学習用端末でトラブルに遭ったことがないから	9.6%	8.3%	7.7%
過去に近い子ども（学校の友人など）が学習用端末でトラブルに遭った話を聞いたことがないから	8.8%	4.5%	5.2%
子どもを信頼しているから	5.4%	13.5%	13.6%
子ども自身が考えて学ぶべきことだと思うから	4.5%	4.7%	7.2%
トラブルが起きたとしても、子ども自身が解決できる年齢だから	0.9%	0.4%	1.1%
子どもが学習用端末をあまり利用していないから	20.0%	19.5%	14.6%
普段からよく言い聞かせているので必要ないから	8.4%	10.5%	6.8%
学習用端末の機能として学習以外の機能が制限されて使えないから	24.4%	21.9%	24.5%
子供を管理するのが好きではないから	3.6%	4.0%	4.1%
スマートフォンや通信事業者を信じているから	7.4%	9.3%	8.7%
その他	15.4%	17.0%	16.1%

n=203, 192, 193

図表 3.13 家庭内ルールに関心がない理由（年齢別）

家庭内ルールに関心のない理由	小学	小学	中学
	低学年	高学年	
過去にあなたの子どもが学習用端末でトラブルに遭ったことがないから	8.7%	7.9%	9.6%
過去に近しい子ども（学校の友人など）が学習用端末でトラブルに遭った話を聞いたことがないから	7.1%	6.3%	5.6%
子どもを信頼しているから	5.5%	14.1%	11.1%
子ども自身が考えて学ぶべきことだと思うから	7.2%	5.5%	7.0%
トラブルが起きたとしても、子ども自身が解決できる年齢だから	1.7%	1.4%	2.1%
子どもが学習用端末をあまり利用していないから	22.5%	22.8%	13.2%
普段からよく言い聞かせているので必要ないから	9.7%	8.6%	7.2%
学習用端末の機能として学習以外の機能が制限されて使えないから	26.0%	24.6%	23.9%
子供を管理するのが好きではないから	3.5%	4.2%	2.5%
スマートフォンや通信事業者を信じているから	8.0%	10.1%	7.5%
その他	14.9%	17.2%	13.6%

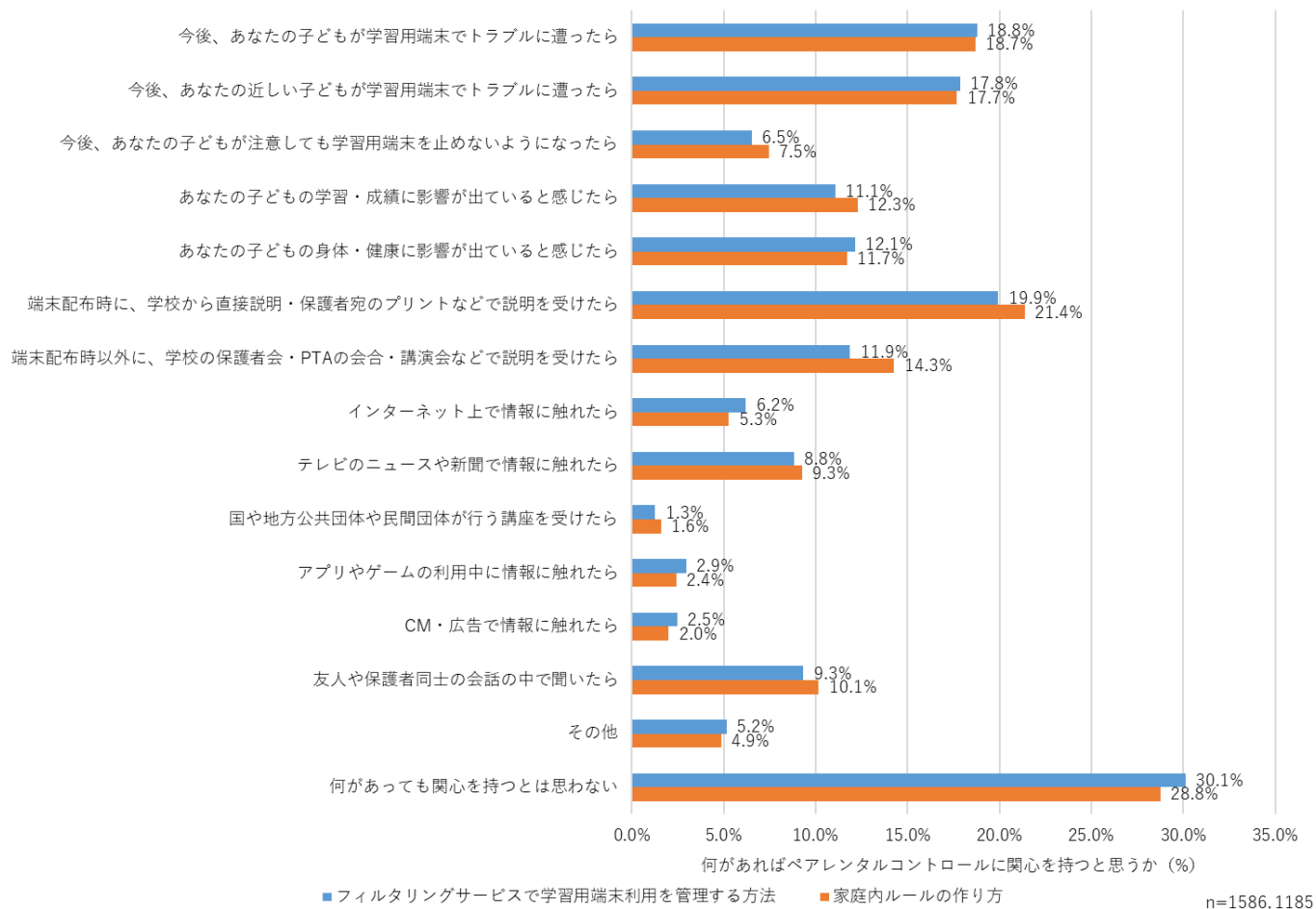
n=184, 171, 198

3. 2. 3. 何があれば学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関心を持つか

何があれば学習用端末利用に関する家庭内でのペアレンタルに関心を持つと思うかを調査結果が図表 3.14 から図表 3.16 である。

まず全体（図表 3.14）を確認すると、「何があっても関心を持つと思わない」が最多でありこれはスマートフォンの同調査と同じ結果である。これに次いで「端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたら」、3 位は「今後、あなたの子供がトラブルに遭ったら」と続く。実際のトラブルに遭遇することがきっかけの上位となるのはスマートフォンと同じだが、外生的要因である端末配布時の説明がきっかけとして最多なのは興味深い。端末配布時の啓発は効果が高いと考えられるため、学校は積極的に実施すべきだろう。「端末配布時以外に、学校の保護者会・PTA の会合・講演会などで説明を受けたら」よりもはるかに回答率が高い点も注目すべき点である。

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書



図表 3.14 何があれば家庭内でのペアレンタルコントロールに関心を持つと思うか

子どもの年齢別に整理した結果が図表 3.15 と図表 3.16 である。この結果からは、フィルタリングサービスに関心を持つと思うきっかけの子どもの年齢別の大きな違いは見られなかった。

図表 3.15 何があればフィルタリングサービスに関心を持つと思うか（年齢別）

何があればフィルタリングサービスに関心を持つと思うか	小学		中学
	低学年	高学年	
今後、あなたの子どもが学習用端末でトラブルに遭ったら	17.4%	21.9%	17.6%
今後、あなたの近しい子どもが学習用端末でトラブルに遭ったら	18.9%	18.7%	17.0%
今後、あなたの子どもが注意しても学習用端末を止めないようになったら	10.7%	9.1%	3.6%
あなたの子どもの学習・成績に影響が出ていると感じたら	15.8%	9.1%	10.4%
あなたの子どもの身体・健康に影響が出ていると感じたら	15.7%	13.8%	10.0%
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたら	17.4%	19.0%	21.3%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたら	12.3%	11.6%	11.9%
インターネット上で情報に触れたら	9.9%	4.9%	5.6%
テレビのニュースや新聞で情報に触れたら	8.3%	10.8%	7.9%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座を受けたら	0.5%	1.2%	1.6%
アプリやゲームの利用中に情報に触れたら	2.8%	3.7%	2.6%
CM・広告で情報に触れたら	2.1%	2.4%	2.6%
友人や保護者同士の会話の中で聞いたら	10.8%	12.3%	7.2%
その他	4.6%	5.4%	5.2%
何があっても関心を持つとは思わない	34.3%	25.1%	31.5%

n=203, 192, 193

図表 3.16 何があれば家庭内ルールに関心を持つと思うか（年齢別）

何があれば家庭内ルールに関心を持つと思うか	小学		中学
	低学年	高学年	
今後、あなたの子どもが学習用端末でトラブルに遭ったら	18.1%	24.4%	16.2%
今後、あなたの近しい子どもが学習用端末でトラブルに遭ったら	21.9%	17.0%	16.7%
今後、あなたの子どもが注意しても学習用端末を止めないようになったら	11.3%	11.0%	4.6%
あなたの子どもの学習・成績に影響が出ていると感じたら	15.7%	10.0%	12.3%
あなたの子どもの身体・健康に影響が出ていると感じたら	14.9%	14.9%	9.1%
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたら	20.2%	21.0%	21.9%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたら	13.7%	12.6%	15.2%
インターネット上で情報に触れたら	8.6%	5.0%	4.4%
テレビのニュースや新聞で情報に触れたら	9.4%	11.6%	8.1%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座を受けたら	1.6%	2.7%	1.0%
アプリやゲームの利用中に情報に触れたら	2.5%	4.3%	1.5%
CM・広告で情報に触れたら	2.1%	2.9%	1.5%
友人や保護者同士の会話の中で聞いたら	12.2%	14.4%	7.5%
その他	5.5%	4.0%	5.1%
何があっても関心を持つとは思わない	32.7%	26.3%	28.7%

n=184, 171, 198

3. 3. 青少年の学習用端末利用に関する家庭内でのペアレンタルコントロールの実施状況

3. 3. 1. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールを実施している理由・実施していない理由

学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールを実施している理由・実施していない理由の自由回答に対して、2. 3. 2と同様の手法でテキスト分析を行った。

まず、それぞれの理由において、出現頻度上位 10 件の単語が図表 3.17 である。実施している理由の頻出単語 1 位は「学校（出現回数 234 回）」であり、実施していない理由の頻出単語 1 位も「学校（出現回数 292 回）」であった。

図表 3.17 各理由の自由回答の頻出上位 10 単語

順位	実施している理由		実施していない理由	
	単語	回数	単語	回数
1 位	学校	234	学校	292
2 位	トラブル	161	端末	126
3 位	学習	74	学習	125
4 位	子供	72	ない	110
5 位	ルール	67	使用	96
6 位	使用	58	以外	76
7 位	端末	56	利用	58
8 位	心配	54	管理	55
9 位	必要	52	制限	34
10 位	利用	48	子供	33

次に、それぞれの回答における頻出上位 50 件の単語でワードクラウドを作成しての可視化を行った。結果は以下の図の通り。



図表 3.18 ペアレンタルコントロールを実施している理由のワードクラウド



図表 3.19 ペアレンタルコントロールを実施している理由のワードクラウド

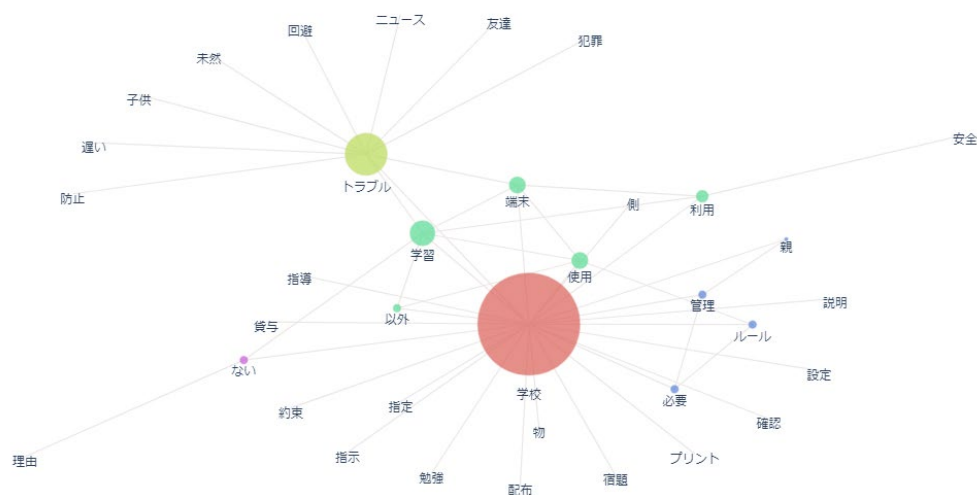
図表 3.18 を見ると、学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールを行っている理由としては、「学校」が最も大きく、次いでスマートフォン同様「トラブル」が大きくな

っている。「犯罪」や「危険」に巻き込まれるのを回避するために家庭内でのペアレンタルコントロールを行っていることが考えられる。

図表 3.19 を見ると、学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールを行っていない理由としても「学校」が最も大きくなっており、「学習」「利用」「使用」「制限」「以外」といった言葉も見えてくる。ここからは、学習用端末は学習目的以外では使用が制限されており、家庭内でのペアレンタルコントロールを行う必要性を感じていないことが考えられる。

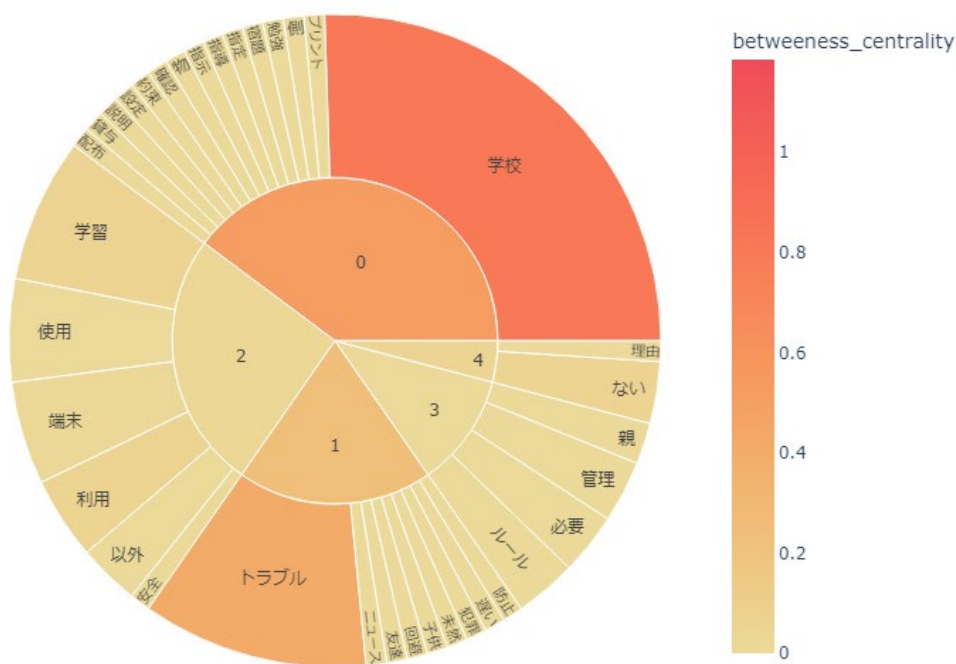
最後に、これらの単語の結びつきを確認するため、共起ネットワークの作成及びサンバーストチャートによる共起単語の結びつきの可視化を行った。なお、共起ネットワークの最低エッジ数は5件としている。まずは、家庭内でのペアレンタルコントロールを実施している理由から確認する。

Co-occurrence network



図表 3.20 家庭内でのペアレンタルコントロールを実施している理由の共起ネットワーク

All sentiment sunburst chart



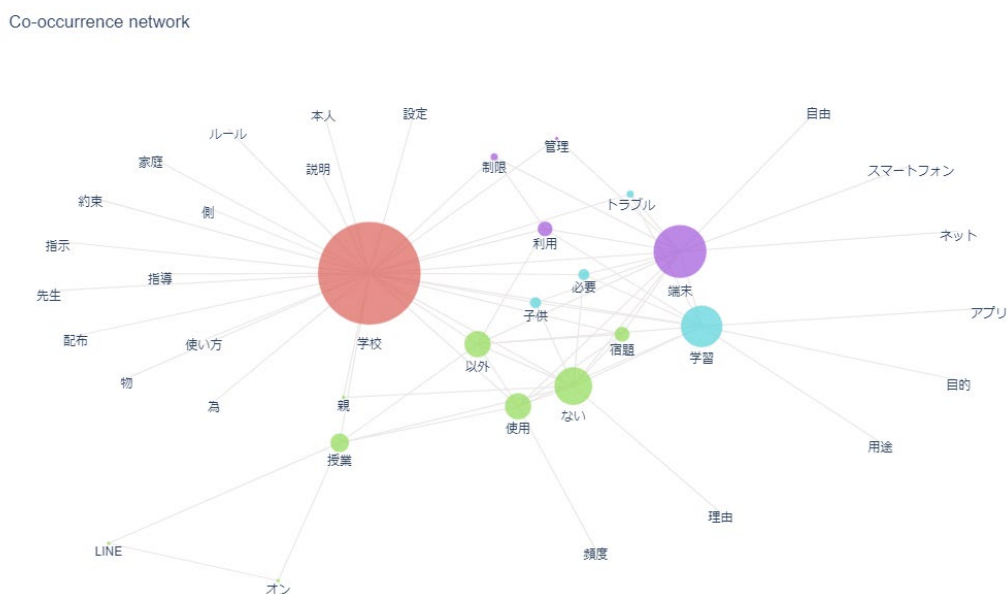
図表 3.21 家庭内でのペアレンタルコントロールを実施している理由の共起ネットワーク

これらの共起ネットワークを確認すると、まず一番大きいネットワークは「学校」を中心として「プリント」「指定」「指導」と言った単語が共起している。これと実際の回答を照らし合わせると、学校からの配布時にプリントなどで保護者に対してルールの必要性について説明・指導があり、それに則って家庭内でのペアレンタルコントロールを行っていることがわかる。また「学校からの備品であり大切に使う必要がある」といった旨の意見も複数見られた。次に大きいネットワークは「トラブル」を中心として「ニュース」「回避」「犯罪」「防止」と言った単語が共起している。ここからは、学校で配布された学習用の端末といえどもトラブルに巻き込まれることを想定しており、その心配から家庭内でのペアレンタルコントロールを行っていることがわかる。そして、これら2つのネットワークを繋ぐように2つのグループ、「学習」「以外」「利用」などが共起するグループ、「ルール」「管理」が共起するグループが存在している。これと実際の回答を参照すると、学習以外に利用しないよう親が管理する必要性を感じている場合に家庭内でのペアレンタルコントロールをしていることがわかる。

つまり、学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールを実施している理由としては大きく3つあると考えられる。1つ目は、学校からの呼びかけであり、端末配布時等にプリントや直接の説明によって保護者に対する指導があったからである。2つ目は、トラブル

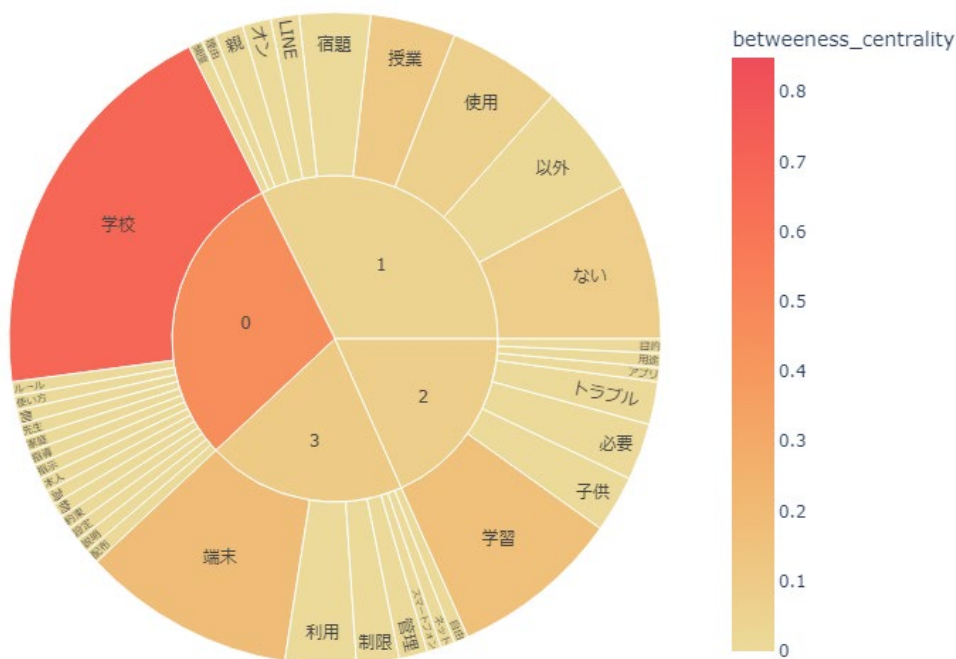
に対する不安であり、保護者は子供がトラブルに巻き込まれることを避けようとしているからである。3つ目は、保護者としての責任感であり、子供の自己管理に全て委ねるのではなく、学習以外の用途に端末を利用しないように保護者が管理する必要性を感じているからである。これら3つの理由はスマートフォンで実施している理由とも共通しており、保護者の漠然とした不安や責任感だけでなく、学校からの呼びかけが家庭内でのペアレンタルコントロールを実施する理由として大きな役割をはたしていることが明らかとなっている。

次に、家庭内でのペアレンタルコントロールを実施していない理由の共起ネットワークを確認する。



図表 3.22 家庭内でのペアレンタルコントロールを実施していない理由の共起ネットワーク

All sentiment sunburst chart



図表 3.23 家庭内でのペアレンタルコントロールを実施していない理由のサンバーストチャート

これらの共起ネットワークを確認すると、実施している理由の回答者と同じく「学校」を中心として「ルール」「使い方」「指導」などが共起するグループが最も大きい。ここからは、学校で決められたルールや指導に委ねている保護者の姿がみられる。「学校からの配布物なので、管理は学校がすべきと考えています」といった回答もある。興味深いことに、実施している理由の「学校」を中心としたネットワークの違いに「プリント」が共起していないことがある。ここからは、学校が保護者と連携しようと保護者に対して家庭での使い方を指導している場合と、学校が勝手に管理していると保護者に認識されている場合では、学習用端末に関する家庭内でのペアレンタルコントロールの必要性に対する保護者の認識が異なることが考えられる。次いで大きなネットワークは、「ない」「以外」「使用」「宿題」が共起するグループである。実際の回答を参照すると、「宿題でしか使っていないから」「オンライン授業にしか使用していないので」などの、そもそも利用に制限がかかっており必要性を感じていないことが考えられる。これは「端末」「利用」「制限」が共起するネットワークにも共通していることである。

つまり、家庭内でのペアレンタルコントロールを実施していない理由は大きく2つあるといえる。1つ目は、学校によって配布された端末は学校が管理・指導すべきだという考

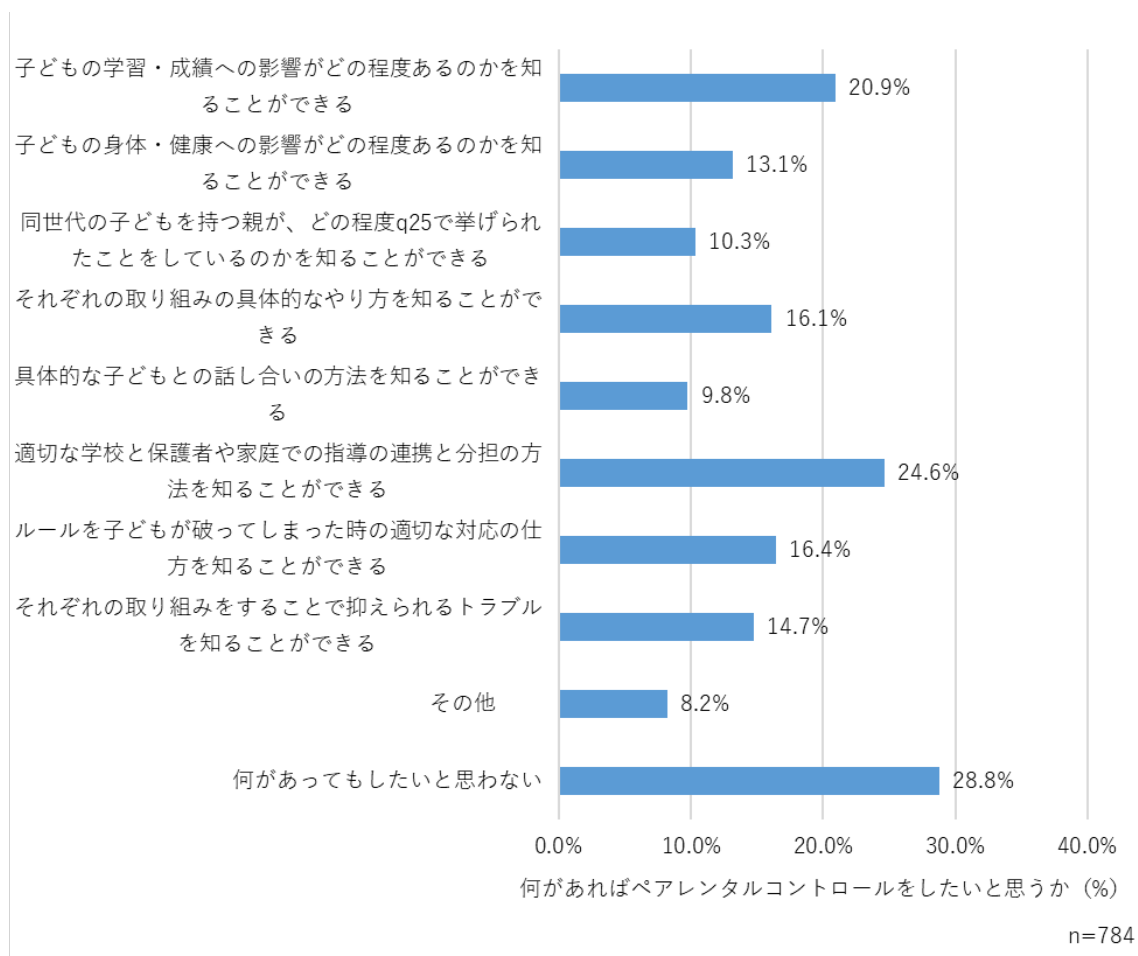
えがあるのだろう。これは、「プリント」が共起していないことから、学校側のプリントの配布による周知などが保護者に届いておらず、保護者の認識が薄いことが原因の1つとも考えられる。2つ目は、利用方法がそもそも強く制限されており家庭内でのペアレンタルコントロールをする必要性を感じていないからである。宿題やオンライン授業以外で使わない端末であれば保護者は家庭内でのペアレンタルコントロールをする必要性を感じないと考えられる。

3. 3. 2. 何があれば学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールをしたいと思うか

家庭内でのペアレンタルコントロール実施していない人に対して、何があれば家庭内でのペアレンタルコントロールをしたいと思うかのきっかけを調査したものが図表 3.24 から図表 3.26 である。

まず全体（図表 3.24）を確認する。「何があってもしたいと思わない」が最多なのはスマートフォンの同調査と同じだが、割合は 28.8%であるため、70%以上の人はきっかけ次第では実施する可能性がある。したいと思うきっかけの中で最多は「適切な学校と保護者や家庭での指導の連携と分担の方法を知ることができる」の 24.6%、次点が「子供の学習・成績への影響がどの程度あるのかを知ることができる」の 20.9%であった。学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールを啓発するためには、学校と家庭の役割分担を明確にすることや、子供が遭遇するリスクについて取り上げるのが効果的と考えられる。

子供の年齢別に整理したものが図表 3.25 である。結果を確認すると子供の年齢別に大きな違いはなかったが、やはり中学になると「何があってもしたいと思わない」と回答する保護者の割合が高くなる。



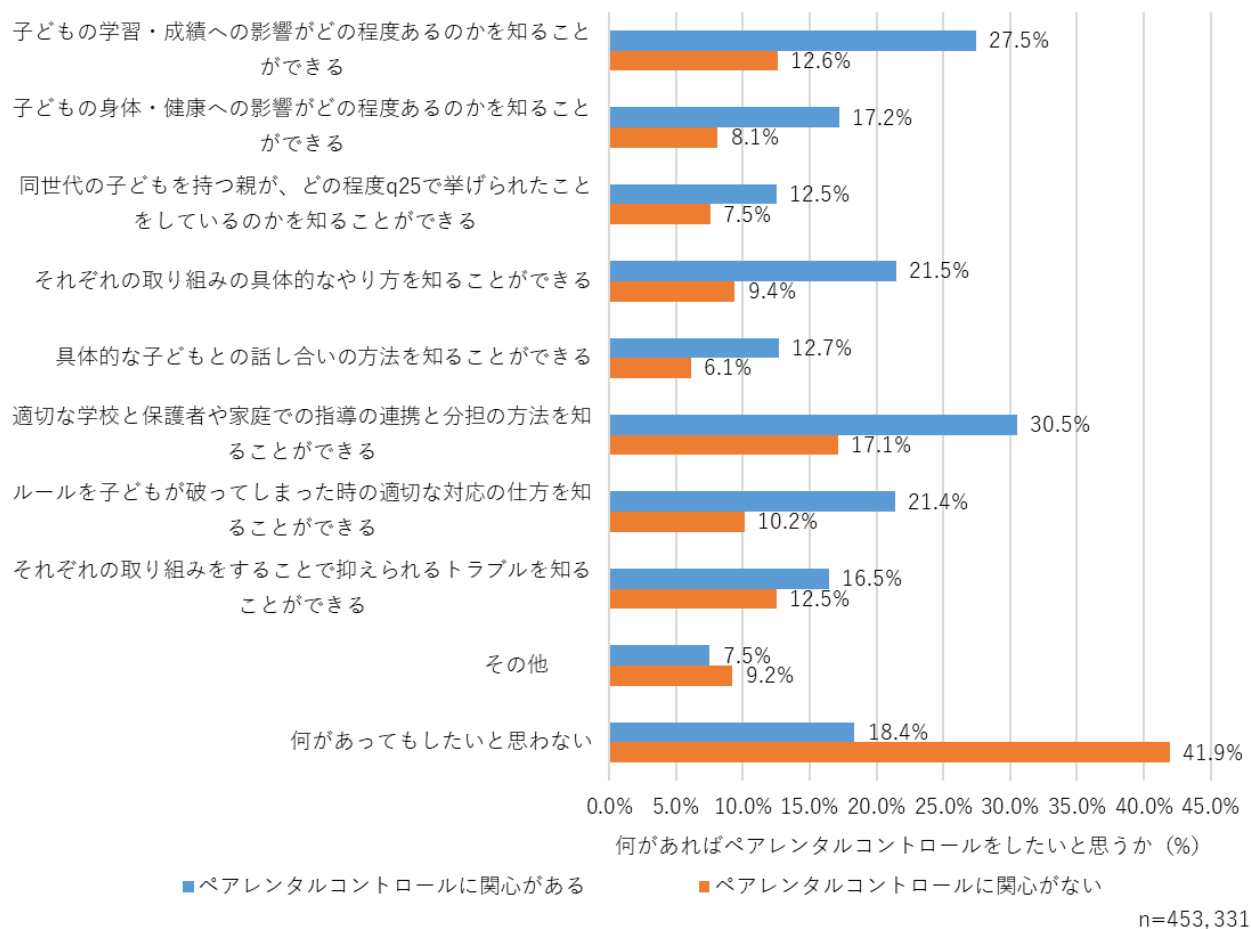
図表 3.24 何があれば家庭内でのペアレンタルコントロールをしたいと思うか

図表 3.25 何があれば家庭内でのペアレンタルコントロールをしたいと思うか (年齢別)

何があればペアレンタルコントロールをしたいと思うか	小学	小学	中学
	低学年	高学年	
子どもの学習・成績への影響がどの程度あるのかを知ることができる	23.3%	21.0%	20.1%
子どもの身体・健康への影響がどの程度あるのかを知ることができる	22.1%	14.2%	9.8%
同世代の子どもを持つ親が、どの程度q25で挙げられたことをしているのかを知ることができる	13.5%	7.6%	10.7%
それぞれの取り組みの具体的なやり方を知ることができる	20.9%	14.2%	15.6%
具体的な子どもとの話し合いの方法を知ることができる	13.7%	12.3%	7.3%
適切な学校と保護者や家庭での指導の連携と分担の方法を知ることができる	26.4%	23.5%	24.6%
ルールを子どもが破ってしまった時の適切な対応の仕方を知ることができる	19.8%	15.2%	16.0%
それぞれの取り組みをすることで抑えられるトラブルを知ることができる	19.8%	15.7%	12.7%
その他	8.5%	7.8%	8.4%
何があってもしたいと思わない	22.5%	27.7%	31.3%

n=258, 252, 274

家庭内でのペアレンタルコントロールの関心別に整理したものが図表 3.26 である。結果を確認すると、関心がないと回答した保護者の中ではやはり「何があってもしたいと思わない」が 41.9%と高くなるが、一方で 50%以上の人は、現在関心がなくてもきっかけさえあれば家庭内でのペアレンタルコントロールを行うといえる。その他の相対的な傾向はあまり変わらず、「適切な学校と保護者や家庭での指導の連携と分担の方法を知ることができる」、「子供の学習・成績への影響がどの程度あるのかを知ることができる」が多い。

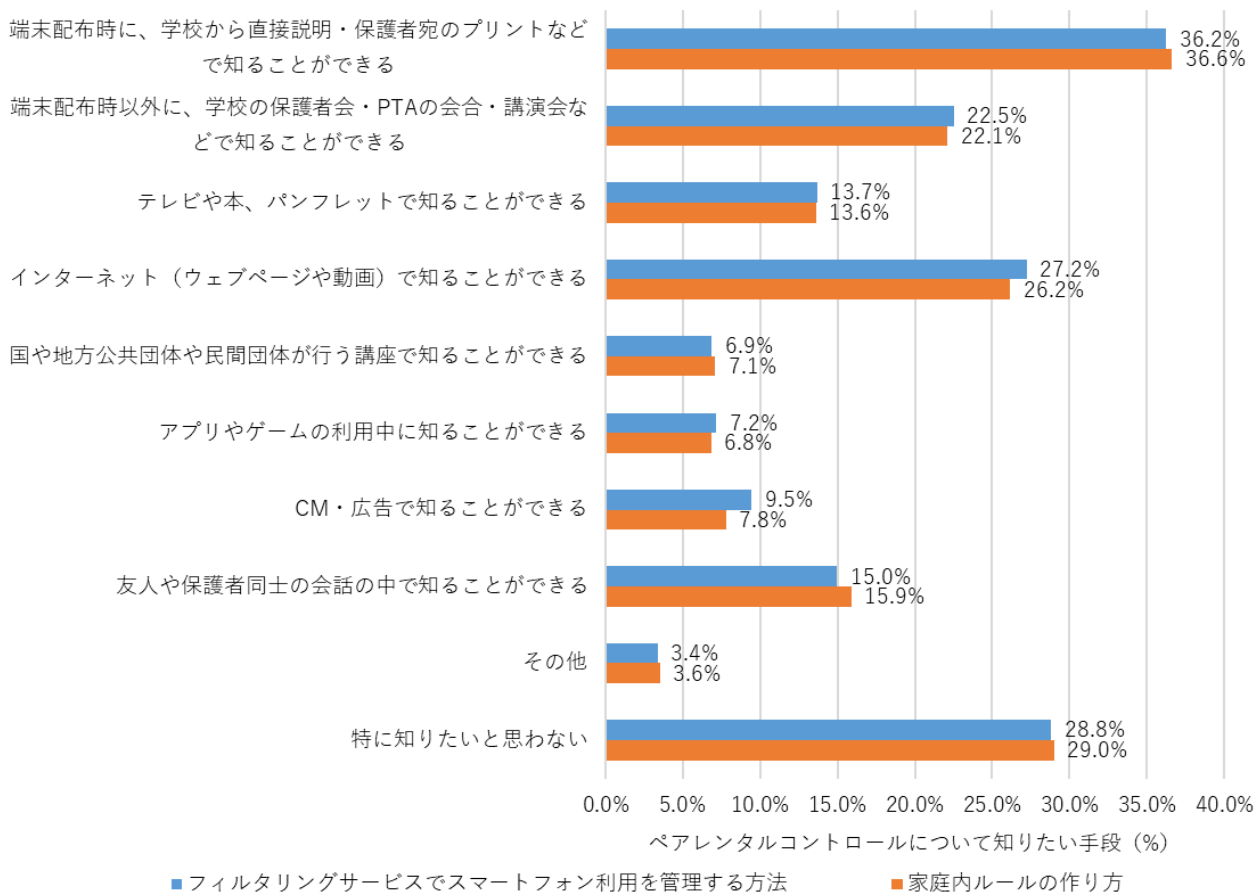


図表 3.26 何があれば家庭内でのペアレンタルコントロールをしたいと思うか (ペアレンタルコントロール関心別)

3. 3. 3. どのような手段で学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて知りたいか

どのような手段で学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて知りたいか調査した結果が図表 3.27 から図表 3.32 である。最も多いのは「端末配布時に、学校からの直接説明・保護者宛のプリントなどで知ることができる」の約 36%で、「特に知りたいと思わない」の約 29%より多い。これは、「インターネット (ウェブページや動画) で知るこ

とができる」が最多だったスマートフォンとは傾向が異なる。なお、「インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる」は2位で、3位は「端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで知ることができる」の約22%。学習用端末の家庭内のペアレンタルコントロールについては、学校からの説明に強く期待していることがわかる。これは関心を持つと思われるきっかけとも酷似している。また、全項目でフィルタリングサービスと家庭内ルールについてはほとんど違いがない。



図表 3.27 どのような手段で学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて知りたいか

子供の年齢別に確認したものが図表 3.28 と図表 3.29 だが、年齢別にはほとんど違いがないことがわかる。

図表 3.28 フィルタリングサービスについて知りたい手段（年齢別）

フィルタリングサービスについて何で知りたいか	小学		中学
	低学年	高学年	
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで知ることができる	38.1%	35.0%	36.4%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで知ることができる	20.8%	24.6%	21.8%
テレビや本、パンフレットで知ることができる	14.0%	15.1%	12.6%
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	30.7%	27.3%	25.8%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	9.3%	8.7%	4.7%
アプリやゲームの利用中に知ることができる	8.7%	6.6%	7.0%
CM・広告で知ることができる	9.9%	10.1%	8.9%
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	16.4%	14.9%	14.5%
その他	3.6%	3.7%	3.1%
特に知りたいと思わない	26.3%	27.7%	30.5%

n=684, 744, 606

図表 3.29 家庭内ルールについて知りたい手段（年齢別）

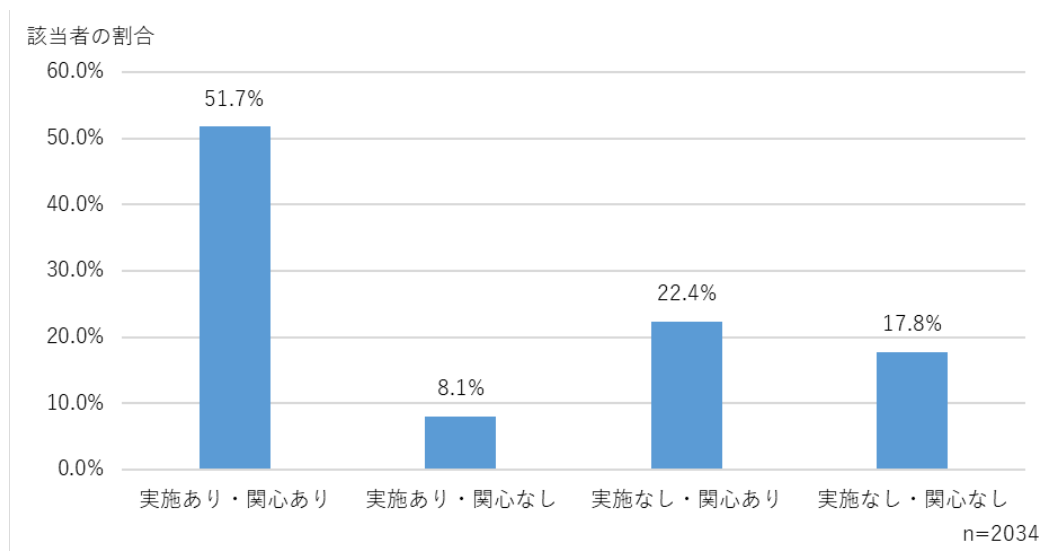
家庭内ルールについて何で知りたいか	小学		中学
	低学年	高学年	
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで知ることができる	39.3%	36.4%	35.7%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで知ることができる	20.0%	23.8%	21.8%
テレビや本、パンフレットで知ることができる	14.5%	14.7%	12.6%
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	28.2%	27.7%	24.4%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	7.6%	9.5%	5.3%
アプリやゲームの利用中に知ることができる	7.6%	6.6%	6.7%
CM・広告で知ることができる	8.3%	8.7%	7.0%
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	15.7%	16.9%	15.3%
その他	4.5%	3.9%	3.0%
特に知りたいと思わない	26.9%	28.3%	30.3%

n=684, 744, 606

ここでもスマートフォンと同様に、学習用端末についても家庭内でのペアレンタルコントロールの関心と実施状況による保護者の4分類の詳細を示す。3.2.の関心、並びに3.3.の家庭内でのペアレンタルコントロール実施状況を使って、保護者を4分類した。

実施あり・関心ありは、家庭内でのペアレンタルコントロールを少なくとも1つ以上実施しており、かつ、フィルタリングサービスと家庭内ルールのどちらか1つ以上に関心がある保護者を指す。実施あり・関心なしは、家庭内でのペアレンタルコントロールを少なくとも1つ以上実施しているが、フィルタリングサービスと家庭内ルールの両方に関心がない保護者を指す。実施なし・関心ありは、家庭内でのペアレンタルコントロールを1つも実施していないが、フィルタリングサービスと家庭内ルールのどちらか1つ以上に関心がある保護者を指す。実施なし・関心なしは、家庭内でのペアレンタルコントロールを1つも実施しておらず、かつ、フィルタリングサービスと家庭内ルール両方に関心がない保護者を指す。

その割合を示したものが図表 3.30 である。スマートフォンでは 12.5%であった実施なし・
関心ありが 22.4%、スマートフォンでは 9.9%であった実施なし・関心なしが 17.8%と、ス
マートフォンより実施していない保護者の割合が高くなっている。



図表 3.30 保護者の 4 分類

この保護者 4 分類別の結果が図表 3.31 と図表 3.32 である。この結果を確認すると、4 分
類別にはっきりと傾向が見られる。まず、家庭内でのペアレンタルコントロールに関心がない
保護者は「特に知りたいと思わない」が特に高くなっている。また、実施あり・関心なし
の人は、「端末配布時以外に、学校の保護者会・PTA の会合・講演会などで知ることができる」
へのニーズが低い。おそらく既に外生的な要因で家庭内でのペアレンタルコントロール
を導入しているからだろう。

さらに興味深いことに、いずれの分類の保護者も「端末配布時に、学校から直接説明・保
護者宛のプリントなどで知ることができる」の割合は高い。とりわけ実施していない人、関
心のない人への啓発としては、配布時の説明が非常に効果的だといえる。その一方で、実施
なし・関心なしでは、自分で調べる必要のある「インターネット（ウェブページや動画）で
知ることができる」の数字はかなり低い。能動的にたどり着けるようにするより、学校から
の直接説明や保護者宛のプリントによる受動的な啓発が効果的といえるだろう。

図表 3.31 フィルタリングサービスについて知りたい手段（年齢別）

フィルタリングサービスについて何で知りたいか	実施あり	実施あり	実施なし	実施なし
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで知ることができる	38.3%	29.7%	38.1%	30.9%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで知ることができる	27.5%	12.9%	22.6%	12.1%
テレビや本、パンフレットで知ることができる	19.0%	8.7%	10.0%	5.2%
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	37.2%	15.1%	22.2%	10.0%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	10.7%	4.3%	3.2%	1.6%
アプリやゲームの利用中に知ることができる	10.8%	4.2%	4.0%	2.0%
CM・広告で知ることができる	14.2%	7.5%	5.0%	2.2%
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	20.4%	10.1%	12.1%	5.2%
その他	4.2%	2.3%	2.4%	2.8%
特に知りたいと思わない	17.5%	49.2%	31.0%	49.8%

n=1079, 171, 453, 331

図表 3.32 家庭内ルールについて知りたい手段（年齢別）

家庭内ルールについて何で知りたいか	実施あり	実施あり	実施なし	実施なし
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで知ることができる	39.4%	28.4%	37.0%	32.0%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで知ることができる	26.0%	12.0%	23.5%	13.6%
テレビや本、パンフレットで知ることができる	19.2%	8.0%	9.7%	4.9%
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	36.4%	12.3%	20.6%	9.7%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	11.0%	3.2%	3.4%	2.1%
アプリやゲームの利用中に知ることができる	11.0%	3.3%	3.0%	1.1%
CM・広告で知ることができる	11.7%	5.5%	3.3%	3.2%
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	21.4%	11.3%	12.6%	6.2%
その他	4.5%	1.9%	2.4%	3.0%
特に知りたいと思わない	18.1%	49.3%	30.6%	49.4%

n=1079, 171, 453, 331

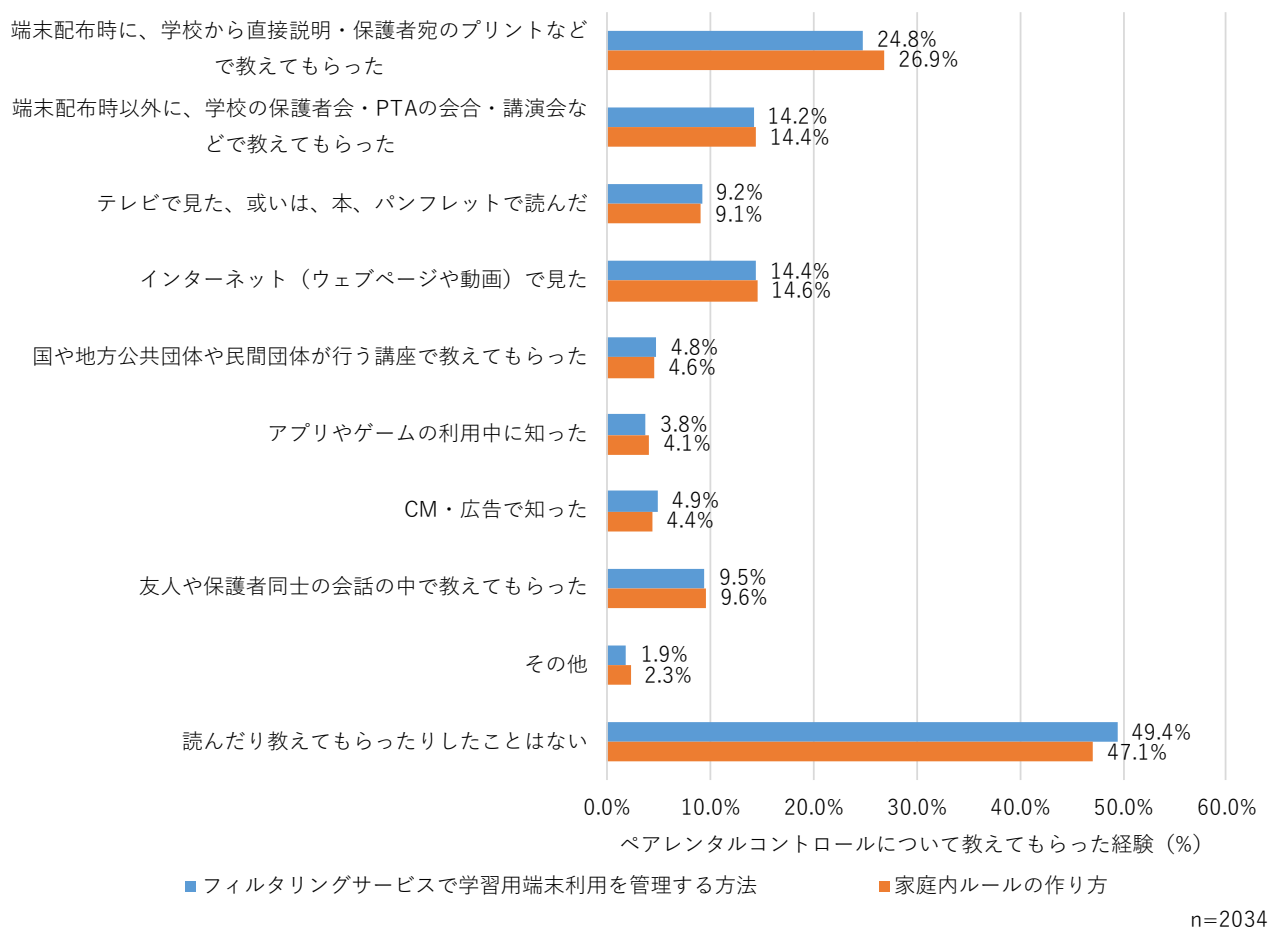
3. 3. 4. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験

学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験や認知した経路について調査した結果が、図表 3.33 から図表 3.37 である。

まず全体（図表 3.33）について確認する。家庭内でのペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験では、なんと「読んだり教えてもらったりしたことはない」がフィルタリングサービス（49.4%）と家庭内ルール（47.1%）で共に最多となった。「端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで教えてもらった」ですら約 25%しかなく、端末配布時の学校からの説明をより充実させることが期待される。3. 3. 2 のテキスト分析からも、家庭内でのペアレンタルコントロールを実施している保護者は、学校からの端末配布時にプリントなどでの保護者に対してルールの必要性についての説明・指導をきっかけ

として家庭内でのペアレンタルコントロールを実施しているパターンが多いこともわかっており、学校からの説明拡充が強く期待される。

また、スマートフォンの同調査と比較して「インターネット（ウェブページや動画）で見た」が少ないこともわかる。インターネット上にそもそも学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関するコンテンツが少ないのではないだろうか。



図表 3.33 家庭内でのペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験

次いで子供の年齢別（図表 3.34 と図表 3.35）に確認する。結果に大きな傾向の違いはないが、フィルタリングサービスについては年齢が上がるにつれて「端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで教えてもらった」の割合が若干高くなっている。

図表 3.34 フィルタリングサービスについて教えてもらった経験（年齢別）

フィルタリングサービスについて何で教えてもらったか	小学	小学	中学
	低学年	高学年	
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで教えてもらった	24.4%	25.1%	24.8%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで教えてもらった	11.4%	14.4%	15.1%
テレビで見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	9.2%	9.4%	9.0%
インターネット（ウェブページや動画）で見た	14.9%	15.2%	13.8%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	5.6%	4.6%	4.7%
アプリやゲームの利用中に知った	5.4%	3.7%	3.3%
CM・広告で知った	4.9%	4.5%	5.2%
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	10.7%	10.9%	8.2%
その他	3.1%	1.9%	1.5%
読んだり教えてもらったりしたことはない	49.6%	47.0%	50.9%

n=684, 744, 606

図表 3.35 家庭内ルールについて教えてもらった経験（年齢別）

家庭内ルールについて何で教えてもらったか	小学	小学	中学
	低学年	高学年	
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで教えてもらった	28.4%	27.2%	26.1%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで教えてもらった	12.2%	15.2%	14.8%
テレビで見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	8.6%	9.1%	9.4%
インターネット（ウェブページや動画）で見た	14.1%	15.6%	14.1%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	6.3%	5.2%	3.6%
アプリやゲームの利用中に知った	3.8%	4.9%	3.8%
CM・広告で知った	5.0%	5.0%	3.8%
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	12.0%	10.5%	8.2%
その他	2.4%	3.2%	1.7%
読んだり教えてもらったりしたことはない	45.8%	45.0%	49.0%

n=684, 744, 606

最後に、保護者4分類別（図表 3.36 と図表 3.37）に確認する。家庭内でのペアレンタルコントロール実施あり・関心ありでは「インターネット（ウェブページや動画）で見た」が高い一方で、それ以外では同項目は極端に低い。インターネットは能動的に情報を取得するツールであるため、意欲的に実施あり・関心ありの保護者以外はインターネットで詳細に調べていないと予想される。そもそも学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関するコンテンツ自体が少ないので、しっかり調べようとしないあまり情報源になっていないのだろう。スマートフォンの同調査では、実施なしや関心なしでもインターネットを情報源としている保護者の割合は相対的に高かった。

図表 3.36 フィルタリングサービスについて教えてもらった経験（保護者4分類別）

フィルタリングサービスについて何で教えてもらったか	実施あり	実施あり	実施なし	実施なし
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで教えてもらった	32.5%	16.7%	21.6%	10.2%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで教えてもらった	19.6%	10.4%	12.0%	3.0%
テレビで見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	14.7%	4.0%	4.0%	2.0%
インターネット（ウェブページや動画）で見た	22.9%	5.6%	8.5%	1.3%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	8.2%	3.2%	1.3%	0.3%
アプリやゲームの利用中に知った	6.6%	2.7%	0.7%	0.1%
CM・広告で知った	8.3%	2.4%	1.5%	0.8%
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	15.8%	2.8%	4.7%	0.5%
その他	2.7%	1.0%	1.4%	0.8%
読んだり教えてもらったりしたことはない	31.4%	63.5%	58.7%	83.7%

n=1079, 171, 453, 331

図表 3.37 家庭内ルールについて教えてもらった経験（保護者4分類別）

家庭内ルールについて何で教えてもらったか	実施あり	実施あり	実施なし	実施なし
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで教えてもらった	34.2%	19.2%	23.8%	13.0%
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで教えてもらった	18.7%	12.8%	12.6%	4.9%
テレビで見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	14.4%	4.5%	3.4%	3.1%
インターネット（ウェブページや動画）で見た	23.3%	5.4%	8.0%	1.5%
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	7.9%	2.3%	0.8%	1.0%
アプリやゲームの利用中に知った	7.3%	1.6%	0.3%	1.0%
CM・広告で知った	7.8%	1.2%	1.1%	0.3%
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	15.9%	3.4%	4.3%	1.0%
その他	3.4%	0.3%	1.4%	0.9%
読んだり教えてもらったりしたことはない	29.4%	61.3%	56.2%	80.4%

n=1079, 171, 453, 331

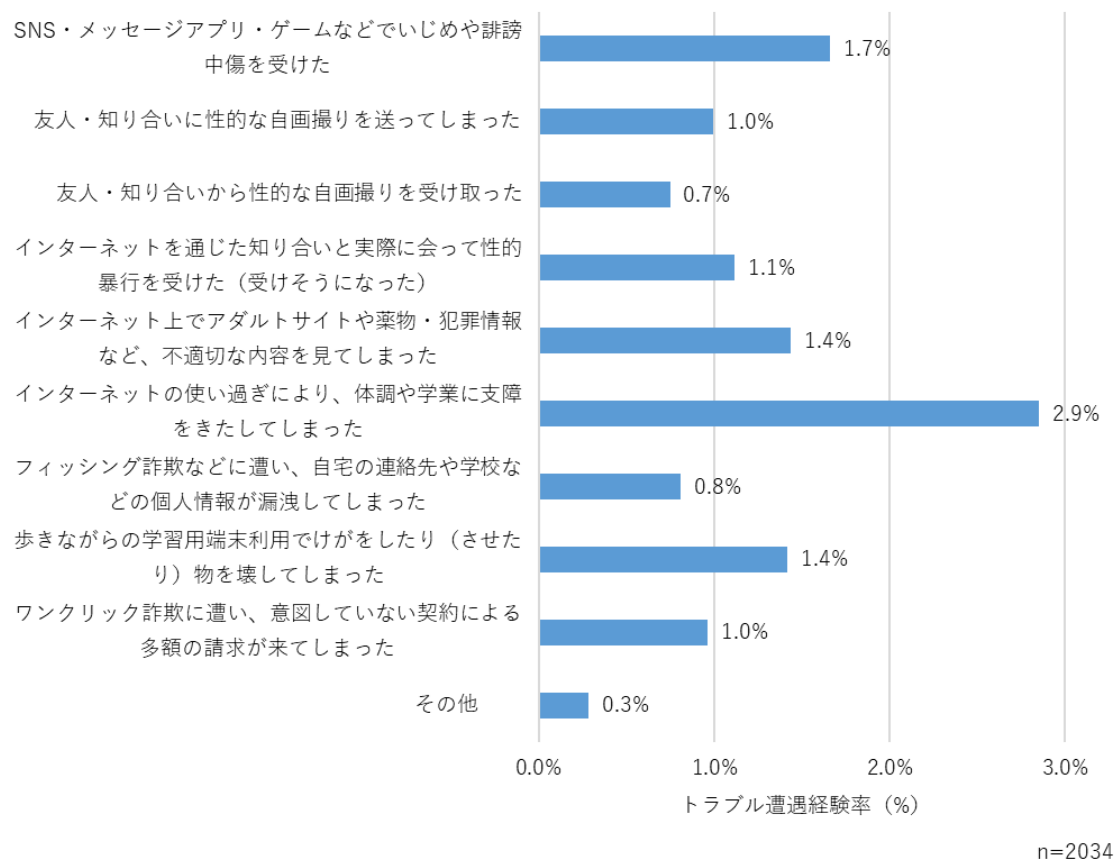
3. 4. 保護者が認識している青少年の学習用端末利用に関するトラブルの遭遇と家庭内でのペアレンタルコントロールの実施

3. 4. 1. 保護者が認識している青少年の学習用端末でのトラブル遭遇状況

保護者が認識している青少年の学習用端末での各種トラブルの遭遇状況を調査した結果をまとめたものが図表 3.38、図表 3.39 及び図表 3.40 である。

まず全体（図表 3.38）を確認する。結果は、「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった」が 2.9%で最多、次点が「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた」が 1.7%と高くなっている。また、「インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見てしまった」や「歩きながらの学習用端末利用でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった」も 1.4%と高い。驚くべ

きことに、それぞれの割合こそ低いものの、傾向はスマートフォンと全く同じであった。やはり、スマートフォンと同じようなトラブルに学習用端末でも遭遇する可能性があることの啓発をより行っていく必要があるだろう。



図表 3.38 保護者が認識している青少年が遭遇したトラブル

次に子供の年齢別（図表 3.39）を確認する。年齢別に大きな傾向の違いはないが、小学低学年で「歩きながらの学習用端末利用でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった」が2.4%と多い。とりわけ小学校低学年では学習用端末の歩き利用の危険性を啓発することが必要だろう。

図表 3.39 保護者が認識している青少年が遭遇したトラブル（年齢別）

遭遇したトラブル	小学		中学
	低学年	高学年	
SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた	1.5%	1.5%	1.8%
友人・知り合いに性的な自画撮りを送ってしまった	1.0%	0.5%	1.3%
友人・知り合いから性的な自画撮りを受け取った	0.3%	0.7%	1.0%
インターネットを通じた知り合いと実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）	0.9%	1.2%	1.2%
インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見てしまった	2.0%	1.1%	1.5%
インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった	3.7%	1.8%	3.2%
フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった	1.0%	0.9%	0.6%
歩きながらの学習用端末利用でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった	2.4%	1.3%	1.1%
ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった	1.7%	1.0%	0.6%
その他	0.2%	0.3%	0.3%

n=684, 744, 606

保護者の4分類別（図表 3.40）を確認する。スマートフォンと同様に家庭内でのペアレンタルコントロール実施あり・関心ありの方がむしろ遭遇率が高い結果となっている。これはスマートフォンと同様に、実施あり・関心あり以外では、トラブルを把握できていない割合が高くなるためだと考えられる。その中でも、「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった」はすべての分類で共通のトラブルであった。そのような中でも、実施なし・関心なしでは「インターネットを通じた知り合いと実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）」が相対的に高いことがわかる。学習用端末でも性的なトラブルに巻き込まれる危険性があるといえ、また、この調査から把握できているだけでも、実施なし・関心なしの家庭でその割合が高いといえる。

図表 3.40 保護者が認識している青少年が遭遇したトラブル（保護者4分類別）

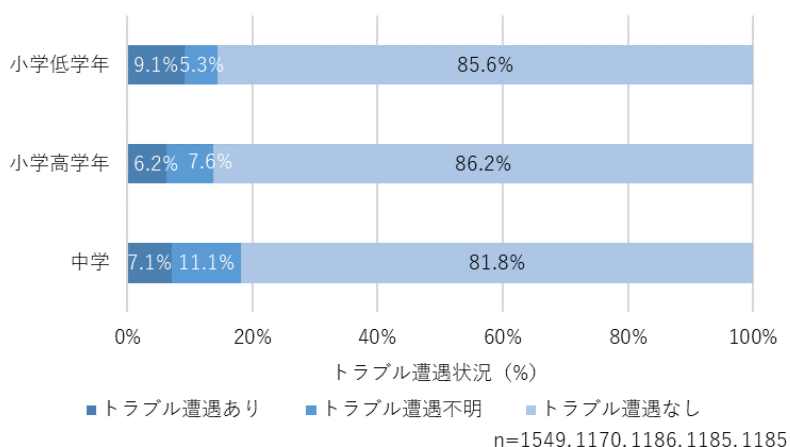
遭遇したトラブル	実施あり	実施あり	実施なし	実施なし
	関心あり	関心なし	関心あり	関心なし
SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた	3.1%	0.0%	0.1%	0.0%
友人・知り合いに性的な自画撮りを送ってしまった	1.8%	0.0%	0.2%	0.0%
友人・知り合いから性的な自画撮りを受け取った	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%
インターネットを通じた知り合いと実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）	1.9%	0.0%	0.1%	0.6%
インターネット上で不適切な内容を見てしまった	2.5%	1.3%	0.1%	0.1%
インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった	4.0%	0.9%	2.1%	1.3%
フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった	1.4%	0.0%	0.1%	0.2%
フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまった	2.6%	0.4%	0.2%	0.0%
オンラインで過度な課金（支払い）をしてしまった	1.7%	0.4%	0.3%	0.0%
歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまった	0.4%	0.4%	0.3%	0.0%

n=1079, 171, 453, 331

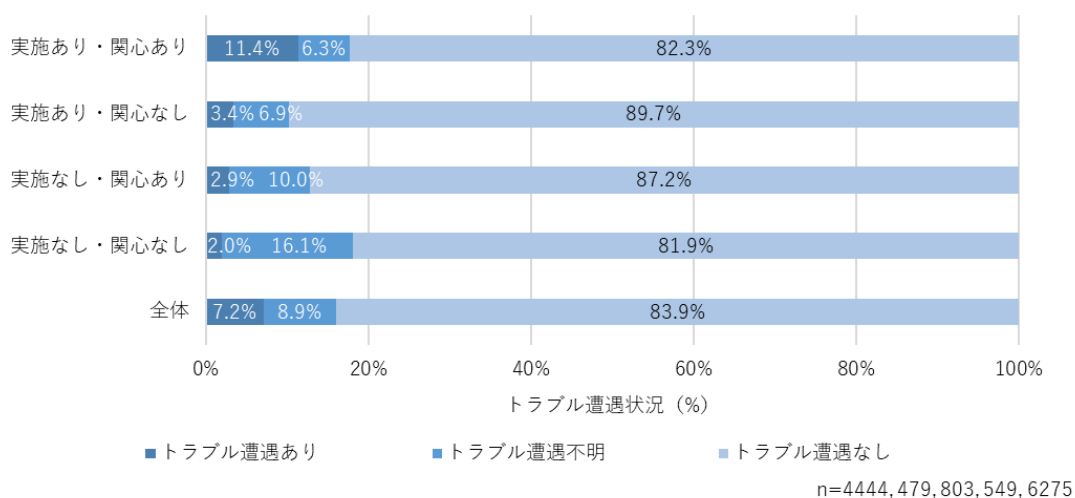
上記に挙げた何らかのトラブルに「遭ったことがある」「遭っているかわからない」「遭ったことがない」の割合について調査したものが、図表 3.41 と図表 3.42 である。

子供の年齢別（図表 3.41）にまとめた結果を確認すると、年齢の高い中学生になると「遭っているかわからない」と回答する保護者が増えており、これはスマートフォンの同調査とも同じ傾向である。

保護者 4 分類別（図表 3.42）にまとめた結果を確認しても基本的にスマートフォンの同調査と同じ傾向である。ただし、スマートフォンの方ではペアレンタルコントロール実施あり・関心ありに比べ、他のグループでは「遭ったことがない」の割合が低かった。一方、学習用端末では、実施あり・関心なしや、実施なし・関心ありでは、むしろ「遭ったことがない」の割合が高くなっている。これは学習用端末ではトラブルがそもそも発生しないという思い込みから、実は保護者が把握できておらずトラブルがないと考えている可能性があるが、本分析からではこれ以上の考察は不可能である。



図表 3.41 保護者が認識している青少年のトラブル遭遇状況（年齢別）



図表 3.42 保護者が認識している青少年のトラブル遭遇状況（保護者 4 分類別）

※本調査における学習用端末に関する分析は、青少年保護者が青少年の学習用端末でのトラブル遭遇状況にどういった認識を持っているかに基づいて実施しており、実際に発生しているトラブル遭遇状況とは完全に一致しない場合がある。

4. 青少年のスマートフォン利用・学習用端末利用に関する啓発資料の作成と実験的調査

ペアレンタルコントロールに関する啓発資料を、付録A2のとおり作成した。対象者にはウェブサイトで構築したコンテンツを見せ、調査を実施した。尚、コンテンツはスマートフォン向けに作成されているため、対象者はスマートフォンからの回答者のみとなっている。また、コンテンツはスマートフォン利用に関するもの(上段)と学習用端末に関するもの(下段)に分かれているため、それぞれのペアレンタルコントロールについて調査した。

4. 1. 青少年のスマートフォン利用に関する啓発コンテンツの効果

4. 1. 1. コンテンツの効果

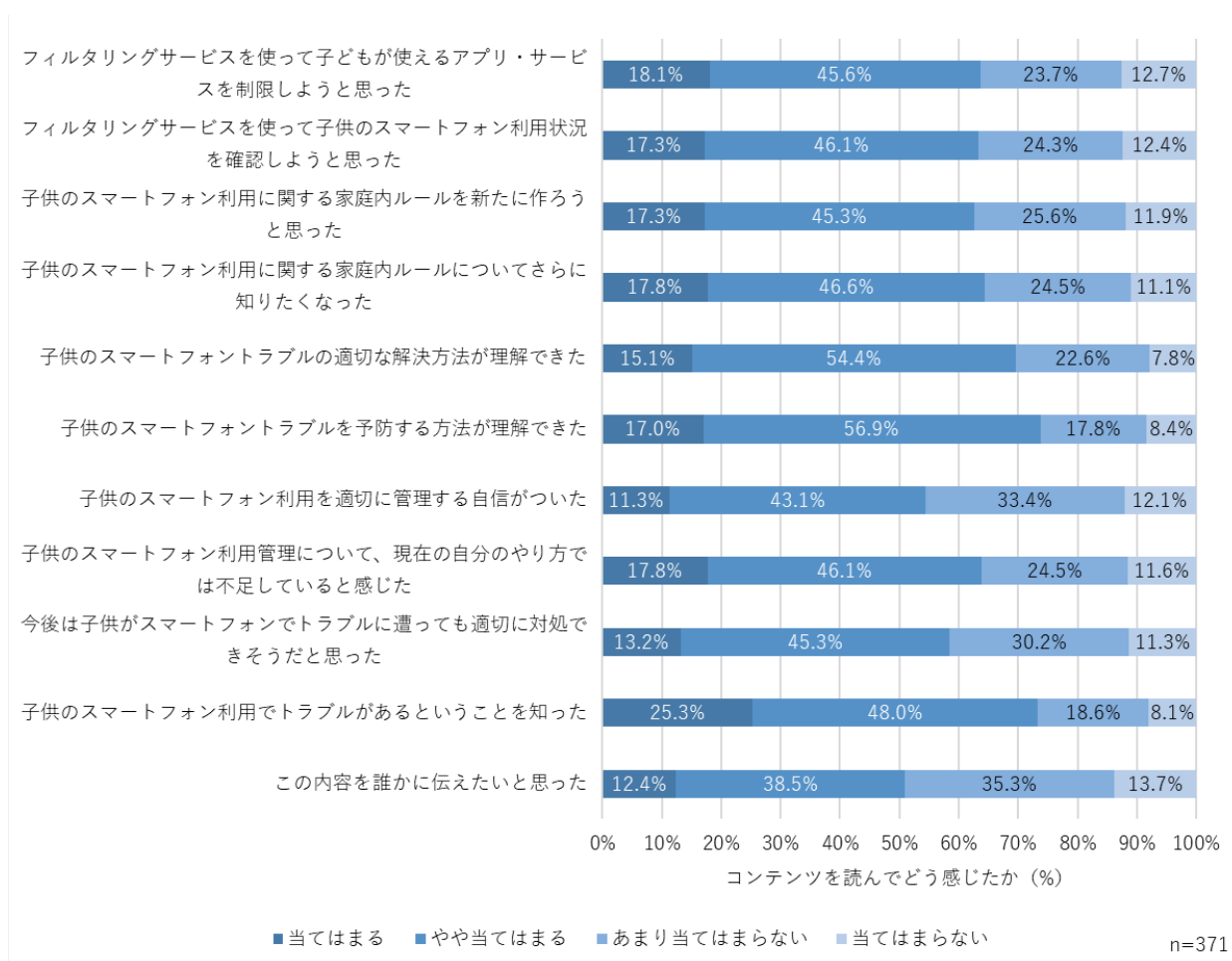
4. 1. の対象者は青少年がスマートフォンを利用して、かつ、ペアレンタルコントロールを実施していない保護者である。

コンテンツを読んでどう感じたかを調査した図表 4.1 を見ると、全般的に「やや当てはまる」以上の回答が多く、どの項目でも5割を超えている。特に「子供のスマートフォントラブルを予防する方法を理解できた」が73.9%、「子供のスマートフォン利用でトラブルがあることを知った」が73.3%、「子供のスマートフォントラブルの適切な解決方法が理解できた」の69.5%などが多く、青少年トラブルに関する適切な予防・対処方法や、そもそもの危険性を幅広く啓発できたことがわかる。

続けて、コンテンツを見てどう感じたかを子供の年齢別に調査した結果が図表 4.2 である。子供の年齢別に保護者の感じ方に大きな違いは無く、「子供のスマートフォントラブルを予防する方法を理解できた」や、「子供のスマートフォン利用でトラブルがあることを知った」が多い。フィルタリングサービスに関する項目である「フィルタリングサービスを使って子どもが使えるアプリ・サービスを制限しようと思った」と「フィルタリングサービスを使って子供のスマートフォン利用状況を確認しようと思った」と回答した保護者の子どもは未就学と小学高学年が多かった。

また、少なくとも1つに該当した人はすべての年齢で100%となっており、本コンテンツによる高い啓発効果が確認された。

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの効果的な啓発に関する調査 報告書



図表 4.1 コンテンツを見てどう感じたか

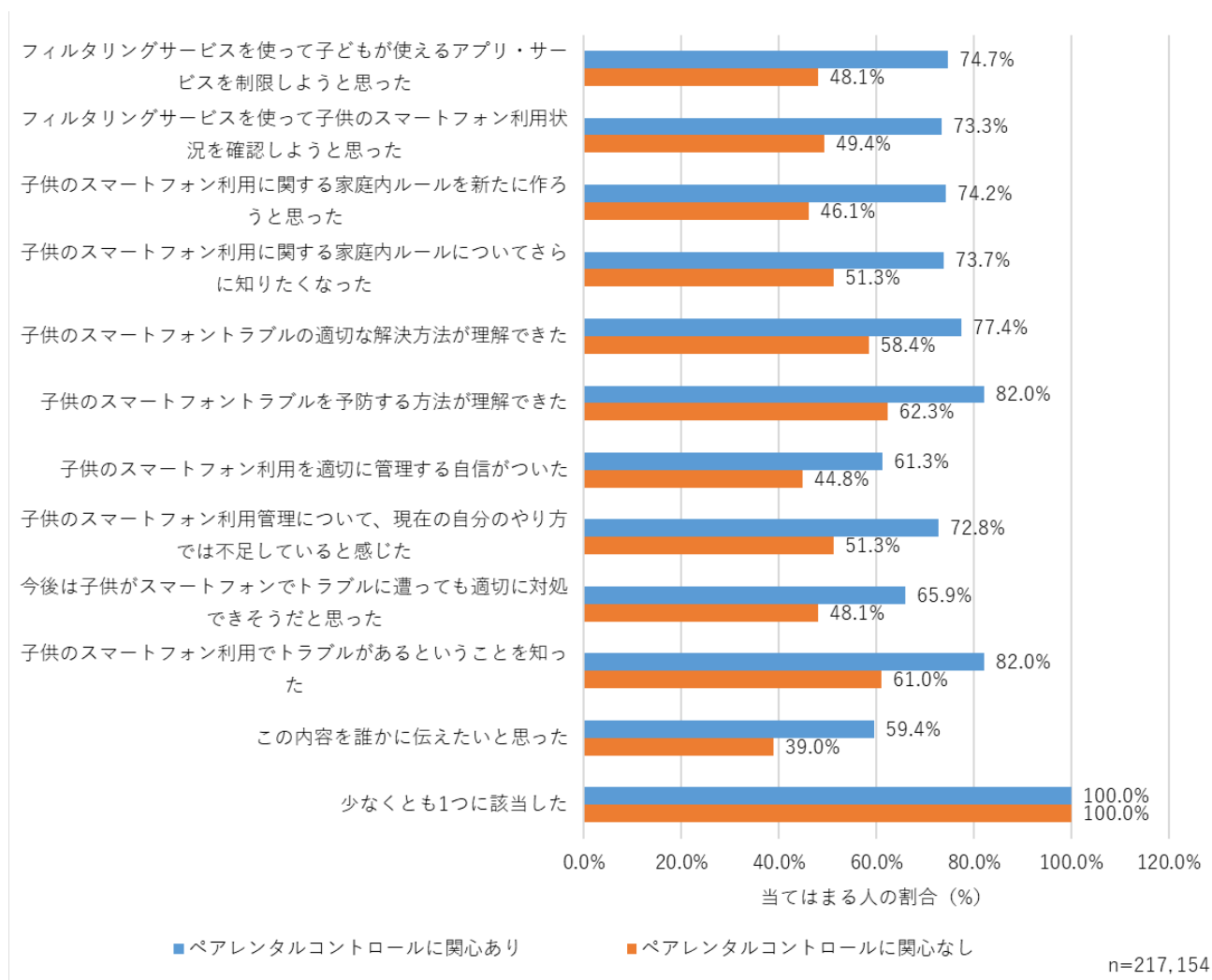
図表 4.2 コンテンツを見てどう感じたか (年齢別)

コンテンツを読んでどう感じたか	未就学	小学		中学	高校
		低学年	高学年		
フィルタリングサービスを使って子どもが使えるアプリ・サービスを制限しようと思った	73.3%	57.1%	80.0%	60.6%	50.6%
フィルタリングサービスを使って子供のスマートフォン利用状況を確認しようと思った	69.5%	60.3%	77.8%	64.8%	49.4%
子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った	66.7%	57.1%	73.3%	60.6%	57.5%
子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールについてさらに知りたくなった	69.5%	60.3%	62.2%	64.8%	62.1%
子供のスマートフォントラブルの適切な解決方法が理解できた	66.7%	60.3%	77.8%	71.8%	73.6%
子供のスマートフォントラブルを予防する方法が理解できた	72.4%	68.3%	77.8%	77.5%	74.7%
子供のスマートフォン利用を適切に管理する自信がついた	55.2%	54.0%	57.8%	49.3%	56.3%
子供のスマートフォン利用管理について、現在の自分のやり方では不足していると感じた	66.7%	61.9%	66.7%	67.6%	57.5%
今後は子供がスマートフォンでトラブルに遭っても適切に対処できそうだった	54.3%	55.6%	57.8%	57.7%	66.7%
子供のスマートフォン利用でトラブルがあるということを知った	70.5%	65.1%	77.8%	73.2%	80.5%
この内容を誰かに伝えたいと思った	54.3%	41.3%	64.4%	46.5%	50.6%
平均値	65.4%	58.3%	70.3%	63.1%	61.8%
少なくとも1つに該当した	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

n=105, 63, 45, 71, 87

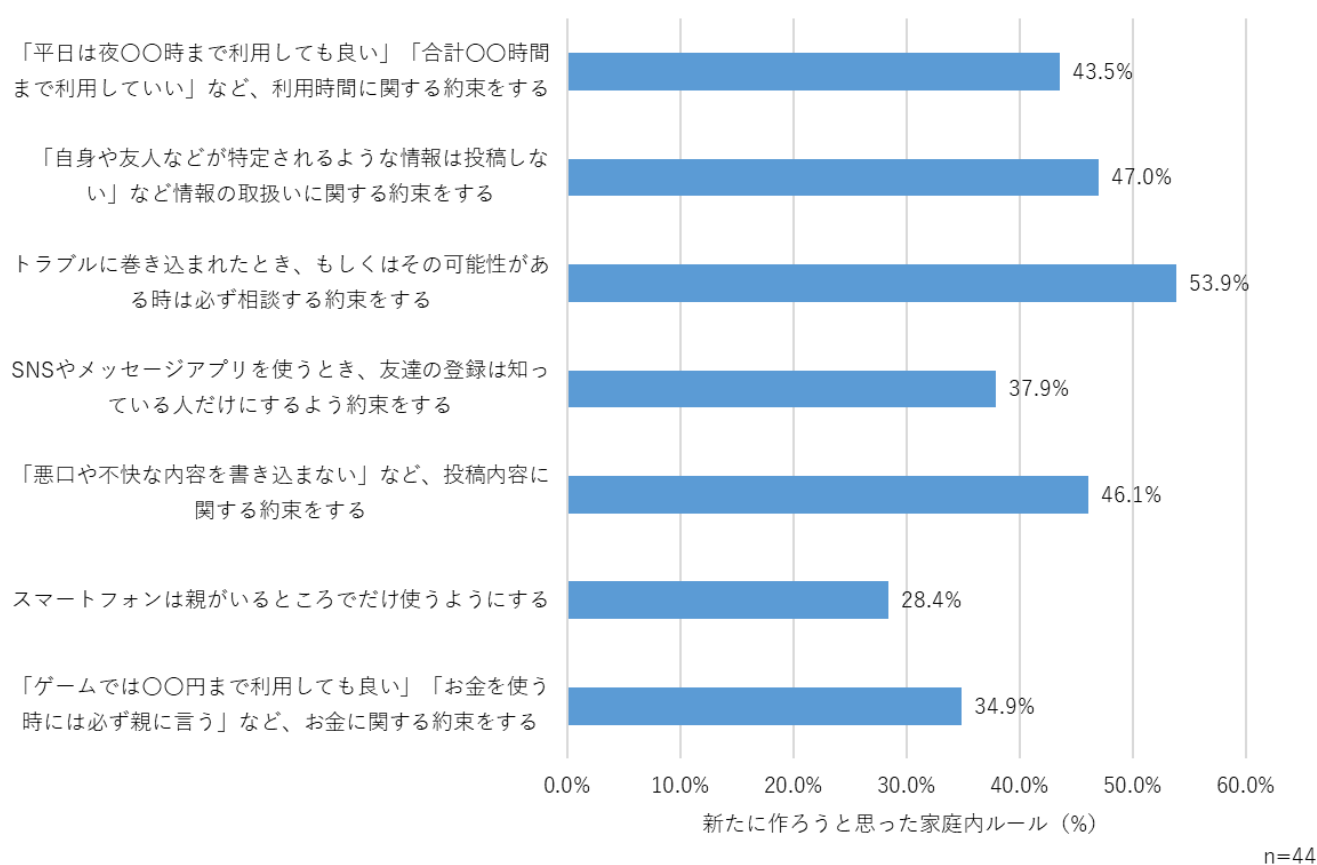
さらにこれを、ペアレンタルコントロールへの元々の関心別に整理したものが図表 4.3 である。図表 4.3 によると、元々ペアレンタルコントロールに関心のある人より低いものの、元々関心がないと回答した人が関心を持った割合は低くないことが分かる。特に「子供のスマートフォントラブルを予防する方法が理解できた」、「子供のスマートフォン利用でトラブルがあるということを知った」、「子供のスマートフォン利用の適切な解決方法が理解できた」、「子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールについてさらに知りたくなった」と回答した人は 5 割を超える。また、「子供のスマートフォン利用管理について、現在の自分のやり方では不足していると感じた」と回答した保護者は 50%を超えており、高い啓発効果が確認できる。加えて、少なくとも 1 つに該当している人も 100%と、こちらからも高い啓発効果が確認できる。

つまり、本コンテンツはペアレンタルコントロールに元々関心のない人にも、高い啓発効果を発揮するといえる。



図表 4.3 コンテンツを見てどう感じたか (ペアレンタルコントロールへの関心別)

図表 4.4 は、「子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った」と回答した保護者に対しての質問であり、具体的にどのようなルールを作ろうと考えたかを調査したものである。結果を確認すると、「トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をする」が 53.9%と最多であり、トラブルが起きた時に相談するルールを作ると回答した保護者が最多であった。次に「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取り扱いに関する約束をする」の 47.0%、及び、「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をする」の 46.1%と、インターネットへの投稿内容に関するルールを制定しようとする保護者が多かった。



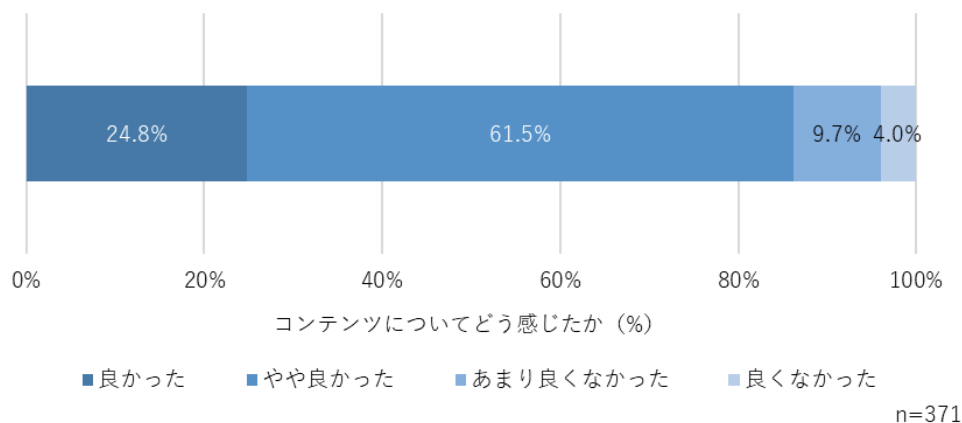
図表 4.4 コンテンツを見て実施しようと思った家庭内ルール

4. 1. 2. コンテンツへの評価

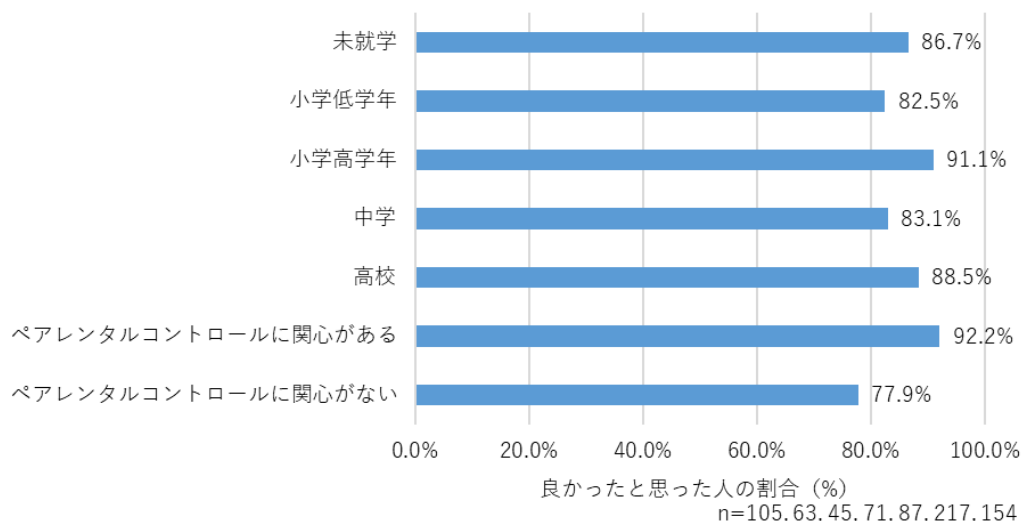
コンテンツへの総合評価に関する調査結果が図表 4.5 と図表 4.6 である。

まず全体（図表 4.5）を見ると、「良かった」が 24.8%、「やや良かった」が 61.5%で、「やや良かった」以上が 86.3%と非常に高かった。コンテンツは好評であり、今回のデザイン・仕様・内容は十分に啓発に適しているといえる。

続けて図表 4.6 は、子供の年齢別、及び、ペアレンタルコントロールへの関心の有無別にみた結果である。「やや良かった」以上を答えた保護者の割合は、子供の年齢別にあまり違いは見られなかった。ペアレンタルコントロールへの関心別の結果からは、やはり関心のある人からの評価のほうが高いが、関心のない人の 77.9%からも「やや良かった」以上の支持をされており、関心のない人への啓発資料としての有効性がここからもうかがえる。



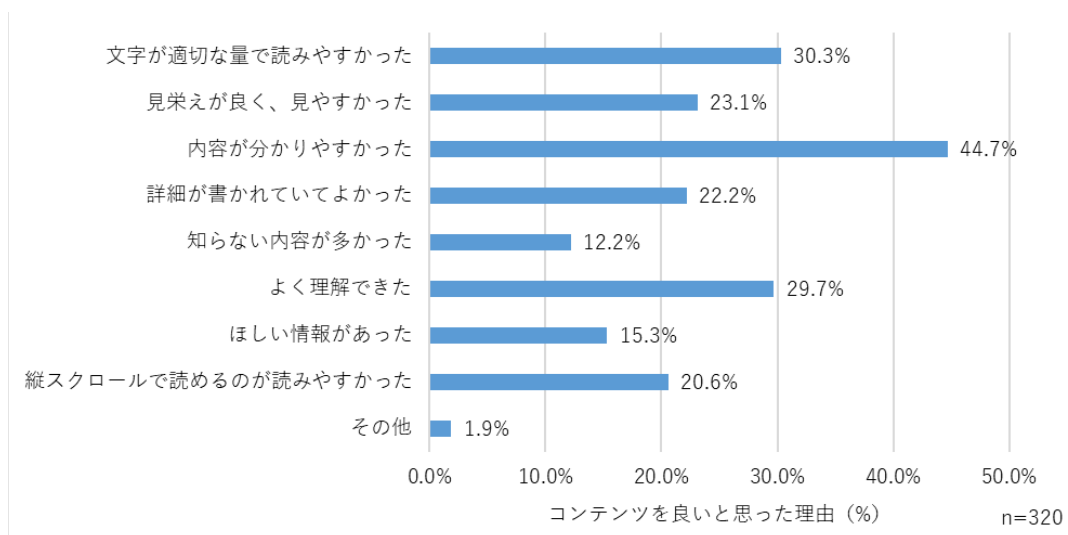
図表 4.5 コンテンツへの評価



図表 4.6 コンテンツへの評価 (年齢別・ペアレンタルコントロールへの関心別)

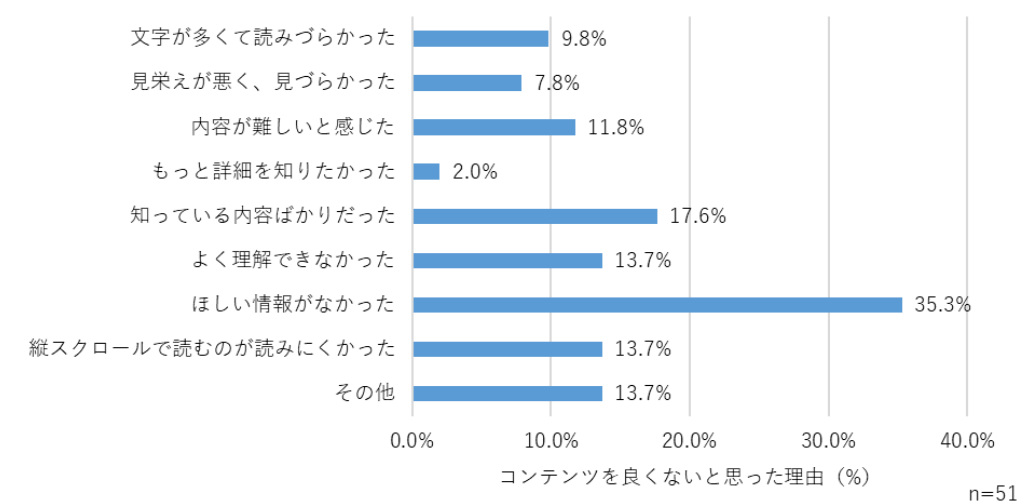
図表 4.7 は、コンテンツが「良かった」「やや良かった」と回答した保護者に対して理由を調査したものである。結果は、「内容が分かりやすかった」が 44.7%と最多であった。次いで「文字が適切な量で読みやすかった」、「よく理解できた」、「見栄えが良く、見やすかった」が多かった。とりわけペアレンタルコントロールを実施していない今回の対象者には、

わかりやすさが求められていることがわかり、かつ、本コンテンツがそのニーズを満たしていることがわかる。



図表 4.7 コンテンツが良いと思った理由

一方で、「良くなかった」「やや良くなかった」と回答した理由を調査した結果が図表 4.8 である。結果は、「ほしい情報がなかった」が 35.3%と最多で、次いで「知っている内容ばかりだった」であった。つまり、知っているからいらないという見解の保護者が多い。一方、ペアレンタルコントロールを実施していない保護者の中には、2. 1. 2. のように実際には知識のない保護者が多いことも明らかになっている。「知っている」といってペアレンタルコントロールの必要性を取り合わない、やらない人に対しては、コンテンツ以外の方法での啓発も必要な可能性がある。



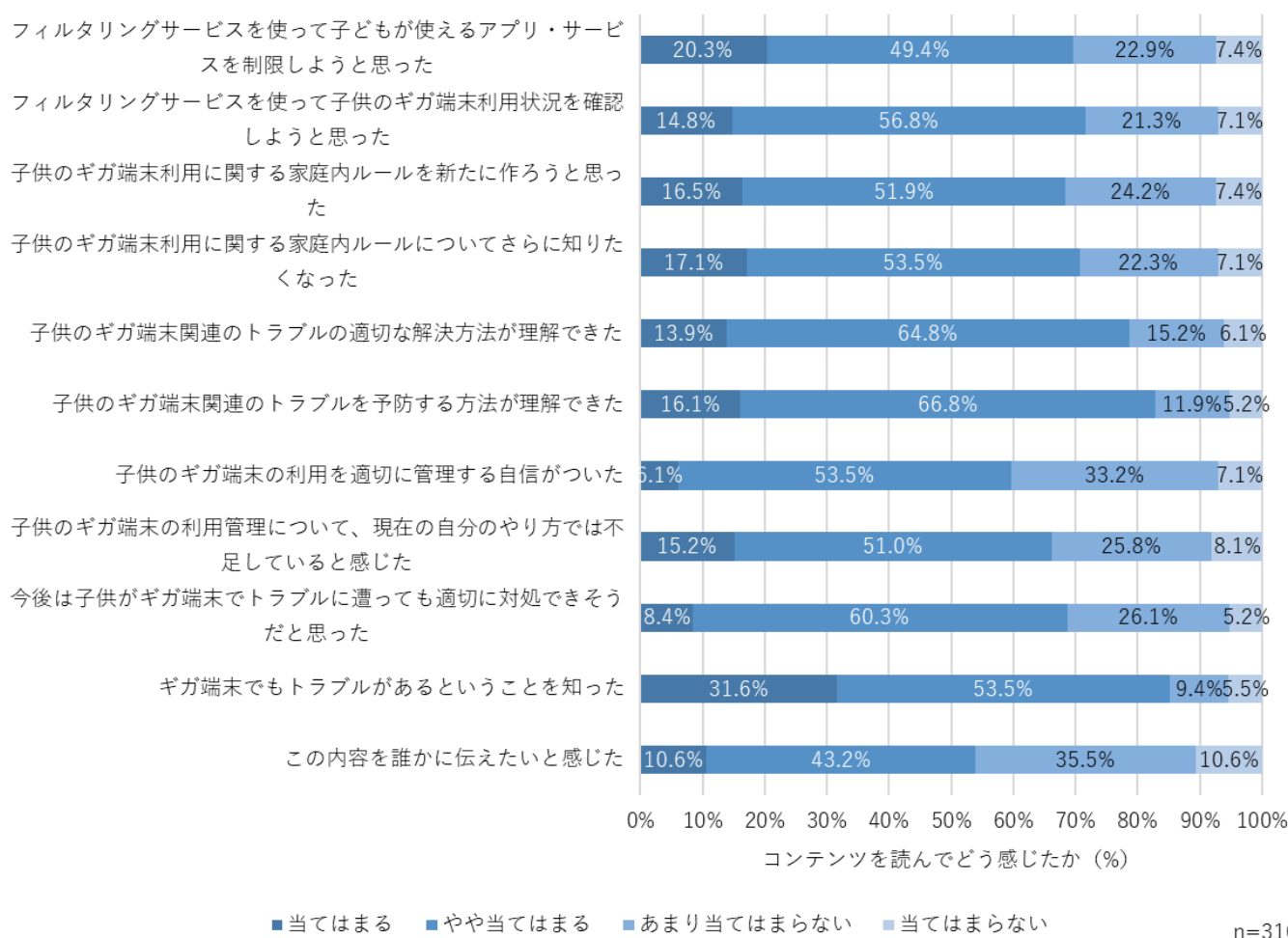
図表 4.8 コンテンツが良くないと思った理由

4. 2. 青少年の学習用端末利用に関する啓発コンテンツの効果

4. 2. 1. コンテンツの効果

学習用端末について、コンテンツを見てどう感じたかを調査した結果が図表 4.9、図表 4.10 と図表 4.11 である。

まず全体（図表 4.9）を確認すると、スマートフォンに関する同様の調査と比較して、全体的に「やや当てはまる」以上の回答が多い。中でも「やや当てはまる」以上が多い回答が「ギガ端末でもトラブルがあるということを知った」の 85.1%、「子供のギガ端末関連のトラブルを予防する方法が理解できた」の 82.9%、「子供のギガ端末関連のトラブルの適切な解決方法が理解できた」の 88.7%である。最も多いのが「ギガ端末でもトラブルがあることを知った」というもので、学校によって配布された学習用端末ということで安心して子供に使わせている保護者に、正しくリスクを啓発できたといえる。



図表 4.9 コンテンツを見てどう感じたか

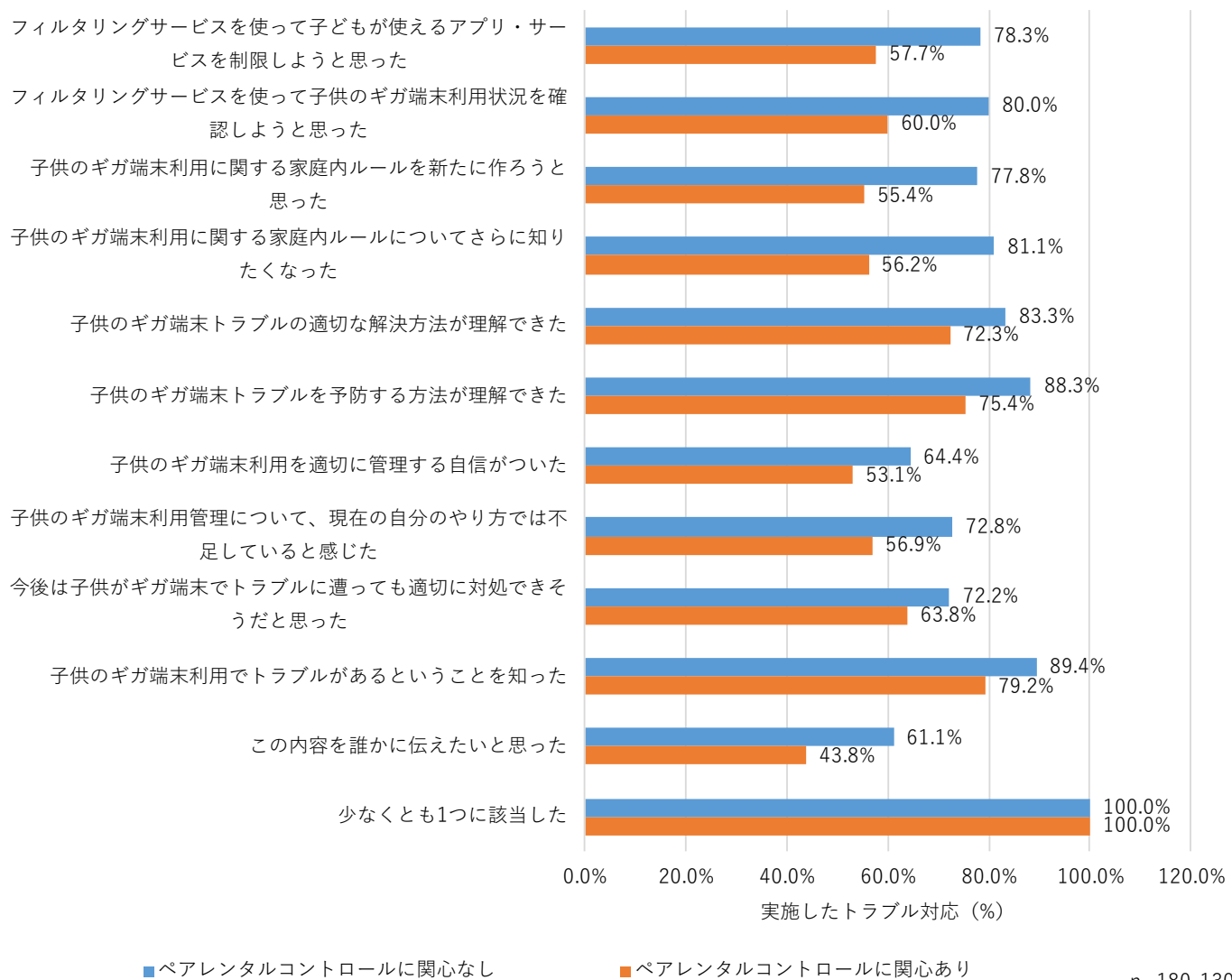
続いて子供の年齢別（図表 4.10）を確認すると、年齢別には大きな違いは見られない。

更に家庭内でのペアレンタルコントロールへの関心別（図表 4.11）を確認すると、やはり元々関心のある保護者のほうが反応は良いが、関心のない人も「やや当てはまる」以上を回答した人は多い。具体的には、「この内容を誰かに伝えたいと思った」を除く全項目で、関心のない人でも 50%以上が「やや当てはまる」以上と回答した。全体でも、少なくとも 1 つ以上「やや当てはまる」以上を回答した保護者が 100%となっており、極めて高い啓発効果が見られた。

図表 4.10 コンテンツを見てどう感じたか（年齢別）

コンテンツを読んでどう感じたか	小学		中学
	低学年	高学年	
フィルタリングサービスを使って子どもが使えるアプリ・サービスを制限しようと思った	69.1%	77.8%	64.2%
フィルタリングサービスを使って子供のギガ端末利用状況を確認しようと思った	64.9%	78.9%	71.5%
子供のギガ端末利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った	63.9%	68.9%	71.5%
子供のギガ端末利用に関する家庭内ルールについてさらに知りたくなった	64.9%	78.9%	69.1%
子供のギガ端末トラブルの適切な解決方法が理解できた	72.2%	81.1%	82.1%
子供のギガ端末トラブルを予防する方法が理解できた	78.4%	84.4%	85.4%
子供のギガ端末利用を適切に管理する自信がついた	57.7%	57.8%	62.6%
子供のギガ端末利用管理について、現在の自分のやり方では不足していると感じた	64.9%	68.9%	65.0%
今後は子供がギガ端末でトラブルに遭っても適切に対処できそうだと思う	64.9%	71.1%	69.9%
子供のギガ端末利用でトラブルがあるということを知った	78.4%	87.8%	88.6%
この内容を誰かに伝えたいと思った	54.6%	61.1%	48.0%
平均値	66.7%	74.2%	70.7%
少なくとも1つに該当した	100.0%	100.0%	100.0%

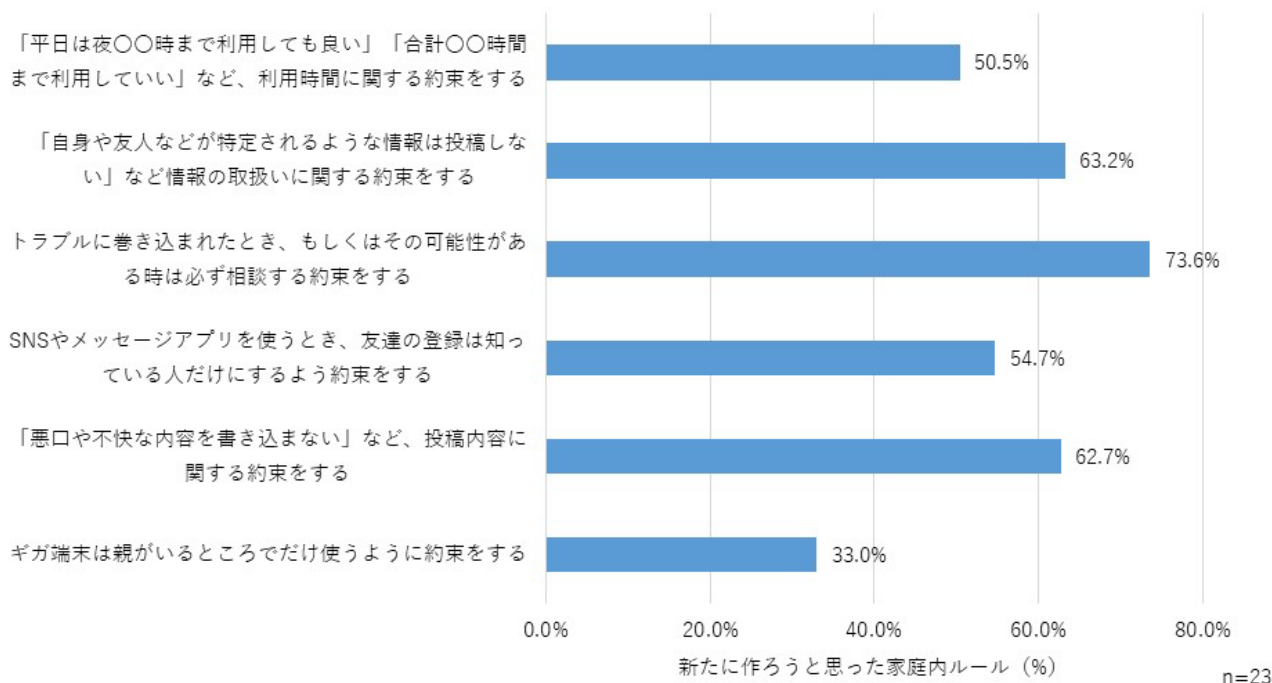
n=97, 90, 123



図表 4.11 コンテンツを見てどう感じたか (ペアレンタルコントロールへの関心別)

図表 4.12 は、「子供のギガ端末利用に関する家庭内ルールを新たに作ろう」と回答した保護者に対しての追加質問であり、具体的にどのようなルールを作ろうと考えたかを調査したものである。結果を確認すると、「トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をする」が 73.6%と最多であり、トラブルが起きた時に相談するルールを作ると回答した保護者が最多であった。次に「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取り扱いに関する約束をする」の 63.2%、及び、「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をする」の 62.7%と、情報の取り扱いやインターネットへの投稿内容に関するルールを制定しようとする保護者が多かった。「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取り扱いに関する約

束をする」がスマートフォンの同調査と比較して高く、これはなりすましの話をコンテンツ
内で啓発したからだと考えられる。

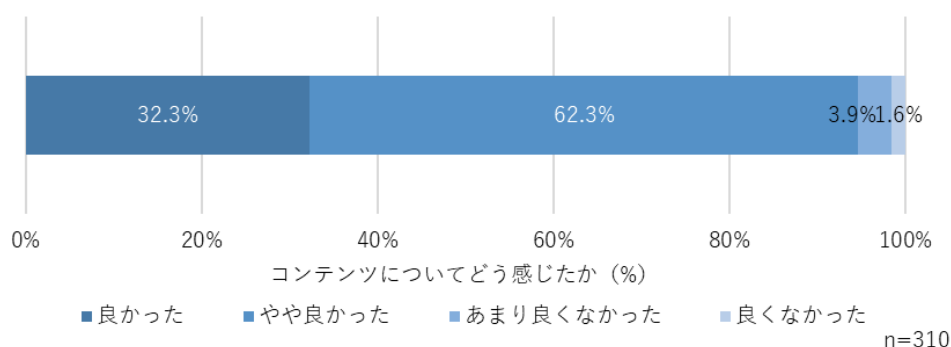


図表 4.12 コンテンツを見て実施しようと思った家庭内ルール

4. 2. 2. コンテンツへの評価

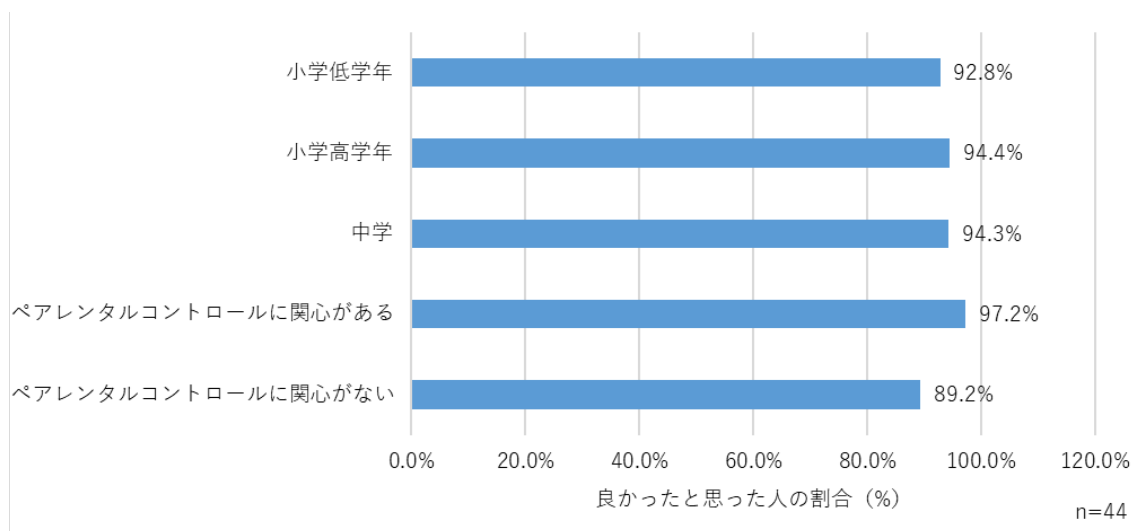
コンテンツへの総合評価に関する調査結果が図表 4.13 と図表 4.14 である。

まず全体 (図表 4.13) を見ると、「良かった」が 32.3%、「やや良かった」が 62.3%で、「やや良かった」以上が 94.6%と非常に高かった。スマートフォンの同コンテンツ以上にコンテンツは好評であり、今回のデザイン・仕様・内容は十分に啓発に適しているといえる。



図表 4.13 コンテンツへの評価

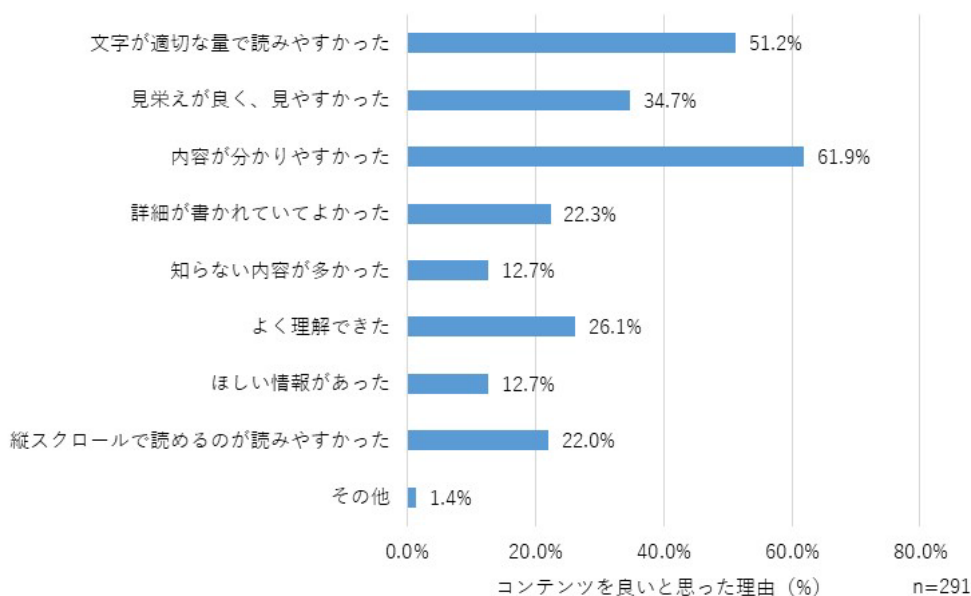
続けて図表 4.14 は、子供の年齢別、及び、家庭内でのペアレンタルコントロールへの関心の有無別に見た結果である。「やや良かった」以上を答えた保護者の割合は、子供の年齢別にあまり違いは見られなかった。家庭内でのペアレンタルコントロールへの関心別の結果からは、やはり関心のある人からの評価のほうが高いが、関心がない人でも約 90%が「やや良かった」以上の評価をしており、家庭内でのペアレンタルコントロールへの関心のない保護者も含めて、極めて高い評価といえる。



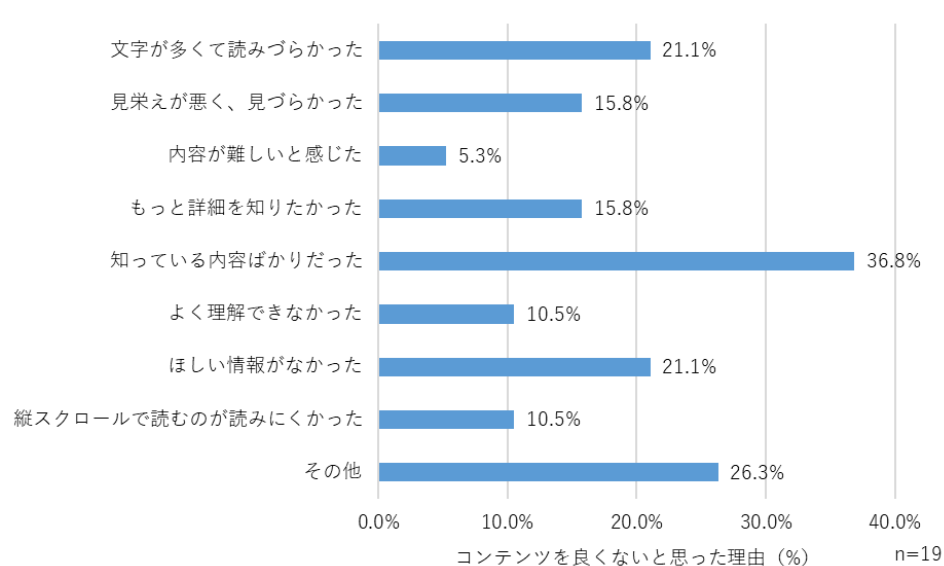
図表 4.14 コンテンツへの評価（年齢別）

図表 4.15 は、コンテンツが「良かった」「やや良かった」と回答した保護者に対して理由を調査したものである。結果は、「内容が分かりやすかった」が 61.9%と最多であった。次いで「文字が適切な量で読みやすかった」、「見栄えが良く、見やすかった」、「よく理解できた」が多かった。ここでもスマートフォンのコンテンツ同様、見やすさを評価する声が多かった。

一方で、「良くなかった」「やや良くなかった」と回答した理由を調査した結果が図表 4.16 である。結果は、「知っている内容ばかりだった」が 36.8%と最多で、次いで「ほしい情報が無かった」も 21.1%と多かった。こちらもスマートフォン同様、知っているからいらぬという見解の保護者が多いことから、「知っている」といって家庭内でのペアレンタルコントロールの必要性を取り合わない、やらない人に対しては、コンテンツ以外の方法での啓発も必要な可能性がある。



図表 4.15 コンテンツが良いと思った理由



図表 4.16 コンテンツが良くないと思った理由

4. 3. コンテンツ全体への評価

追跡調査においてはさらに、自由記述で総合的なコメントも取得した。ただし回答者負担を考え、記入は任意とした。そのコメント全体 (N=38) に対してのテキスト分析を、3. 3. 2. 等の自由回答に対する分析と同じ手法で行う。単語の統一については前項の内容に加え、「ギガ端末」と「端末」が混在していたため全て「端末」に統一する。

出現頻度上位 10 件の単語が図表 4.17 である。実施している理由の頻出単語 1 位は「子供」「トラブル」（出現回数 11 回）である。

図表 4.17 追跡調査の総合的なコメントにおける頻出上位 10 単語

順位	追跡調査	
	単語	回数
1 位	子供	11
2 位	トラブル	11
3 位	端末	10
4 位	ルール	8
5 位	親	8
6 位	学校	6
7 位	利用	5
8 位	やすい	5
9 位	スマートフォン	5
10 位	内容	4
11 位	制限	4

次に、それぞれの回答における頻出上位 50 件の単語でワードクラウドを作成しての可視化を行った。結果は以下の図表 4.18 の通り。



図表 4.18 総合的なコメントのワードクラウド

図表 4.18 を見ると、やはり「トラブル」「親」「子供」「ルール」「端末」と言った言葉が頻出しており、保護者の中に「トラブル」や「ルール」等の言葉を印象付けることには成功しているようである。また、比較的大きな単語として「やすいやすく」「内容」「良かった」も上がっており、全体的な印象としては良かったことがわかる。実際の回答を参照すると、「読みやすいデザインで、文字の量も多くもなく、少なくもなく、内容も分かりやすく良かった。」といった回答がある。

但し、今回はテキスト分析を行うにはサンプルサイズが 38 と小さく、共起ネットワークを作成して単語同士の繋がりを見るのが難しい。そのため、このままでは単語の使われた文脈を取り違える可能性がある。そこで、本節では回答それぞれの目視確認による定性的な分析を行う。

まず、保護者の回答から得られる感情について確認するため、回答を以下の 3 通りに分類する。1 つ目は「勉強になった」「良かった」などポジティブな回答、2 つ目は「机上の空論だ」「知っている内容だった」などネガティブな回答、3 つ目はその他「子供に向けた啓発キャンペーンも同時にあるとよいと思う。」などの提案や「なかなか子どもは制限かけるのいやがるんですね」など個人的な情報などのニュートラルな回答である。分類を行った結果が以下の表の通り。

ポジティブ	ニュートラル	ネガティブ	総計
19	17	2	38
50.0%	44.7%	5.3%	100.0%

図表 4.19 保護者のコメントの感情分類

この結果から、自由記述においても、本コンテンツに対する保護者の印象は半数が「勉強になった」「良かった」などのポジティブなコメントをしていることがわかる。ポジティブなコメントには大きく 2 種類あり、「読みやすいデザイン」「とても見やすくわかりやすかったです。」といったデザインや読みやすさを評価するものと、「子供に制限させすぎるのも考えものだが、とはいえ必要最低限の線引きは保護者として必要。その指針があるのは有り難い。」「家庭内ルールを作成するのに、助かります！」といった実際に家庭内ルールを作成する際の指針に役立ちありがたいとする内容があった。またコンテンツ内で言及していた「なりすまし」についてのコメントも「なりすましがあるのを初めて知りました。」など 2 件あり、具体的なトラブル事例についても高い啓発効果が確認できる。

一方で、ネガティブな回答も 2 件あった。これは「基本的に机上の空論的な内容に終始しており、新たに学ぶべきのある情報ではなかった。」「知っている内容も多かった」の 2 件である。これは図表 4.16 で「良くなかった」「やや良くなかった」と回答した理由が「知って

いる内容ばかりだった」が 36.8%と最多だったことと共通しており、コンテンツ以外の方法での啓発も必要な可能性がある。

加えて、ニュートラルなコメントにはコンテンツそのものや施策に対する提案が 9 件あったため紹介する。大きく分類すると、子供用の啓発資料の要望が 4 件、保護者に関する要望が 3 件、学校に対する要望が 2 件である。子供用の啓発資料については、「親が読む分にはわかりやすいけど、これを子供が読んでどこまで自分のこととして考えられるかは疑問。他人事として読み流しそう。」「子供が理解できるような漫画のようなもので説明してくれると、わかりやすいと思いました。」「マンガ動画があればなお可」など子供が興味を持って自分事として読めるような、漫画や動画などのコンテンツでの資料展開を提案している。保護者に関する要望については「(GIGA 端末を) 親の端末に紐付けるなど見える化が進んでほしい」「もう少し詳しく対処法等を知りたい」「まず親のスキルを上げるような取り組みが必要だと思う。」という内容であった。学校に対する要望については、「学校でも時間を作って教えてほしい」「学内ルールをどう作っているかや、政府の方針でこうなっているなどを親に知らせてほしい。」の 2 件で、学校によって違う対応の是正や説明の時間を取ることが希望されている。

まとめると、本コンテンツに対する保護者の反応は半数が「良かった」「勉強になった」などのポジティブな反応であり、ネガティブなものは非常に少なかった。但し、一部の保護者からは「知っている内容」だったとネガティブな反応がある。ニュートラルな保護者の反応には、子供用の啓発資料の展開を希望する声が多く、親向けの更なる施策や学校に対する要望も含まれている。

5. 青少年のスマートフォン利用・学習用端末利用に関する保護者インタビュー調査

5. 1. 保護者インタビュー調査の概要

ペアレンタルコントロールへの関心と実施にどのような要因が影響しているのか、さらに、ペアレンタルコントロールの実施を促すコンテンツや伝達方法にどのようなニーズがあるかを探るため、インタビュー調査を行った。インタビュー調査の実施概要は以下となる。

- 調査時期：2022年11月29日～2023年1月15日
- 調査対象：調査会社（5,000名）及び機縁法を通じて抽出された保護者21名。
- 調査方法：オンライン（zoom）による個別インタビュー。1回あたり1時間～1時間30分程度。
- 調査目的：ペアレンタルコントロールの関心・実施の有無の理由を把握すること。また「スマートフォン」ならびに「学習用端末」利用に関して、その利用状況やトラブル有無、その他の経験などの要素を抽出すること。
- 調査対象者

インタビューの対象者についてはペアレンタルコントロールへの関心の有無と実施の有無のマトリクスを作成し、これに該当する対象の保護者を選定することとした。インタビューのターゲットマトリクスとIDは図表の通りである。

図表 5.1 インタビュー対象者のターゲットマトリクスと ID

年代	関心の有無および実施の有無	男児 (ID)	女児 (ID)
未就学児	「関心はない」かつ「実施していない」		
	「関心はある」が「実施していない」	2名(1,2)	
	「関心はない」かつ「実施している」		
	「関心はある」かつ「実施している」	4名(3,4,5,6)	6名(7, 8, 9, 10, 11, 12)
小学校低学年	「関心はない」かつ「実施していない」		
	「関心はある」が	1名(13)	1名(14)

	「実施していない」		
	「関心はない」かつ 「実施している」		
	「関心はある」かつ 「実施している」		
小学校 高学年	「関心はない」かつ 「実施していない」		1名(16)
	「関心はある」が 「実施していない」		
	「関心はない」かつ 「実施している」		
	「関心はある」かつ 「実施している」	1名(15)	
中学生	「関心はない」かつ 「実施していない」		1名(18)
	「関心はある」が 「実施していない」	1名(17)	
	「関心はない」かつ 「実施している」		
	「関心はある」かつ 「実施している」		
高校生	「関心はない」かつ 「実施していない」	2名(19, 20)	1名(21)
	「関心はある」が 「実施していない」		
	「関心はない」かつ 「実施している」		
	「関心はある」かつ 「実施している」		

5. 2. ペアレンタルコントロールの関心・実施の背景

インタビューにおいて「関心がない」と回答している保護者は、小学校高学年1名および中学生・高校生の保護者4名であった。子どもの性格・年齢や利用状況から「管理の必要がないと考えるため」関心がないと答えている。一方、未就学児保護者は全員が「関心がある」と回答している。関心の背景は多様で、健康への影響の懸念や自らのトラブル経験、幼少時

にテレビやゲームを制限されていた経験、漠然と使い過ぎは良くないという意識を持っていたことも関心につながっている。なかでも、自身の幼少期の経験と同じように何らかの対策が必要であるという価値観を持っていたことが、ペアレンタルコントロールへの関心につながっている傾向が強いようである。

ペアレンタルコントロールを実施していない保護者は21名のうち9名で、未就学児1名、小学生3名、中学生・高校生5名であった。小学生、未就学児の保護者からは問題のある使い方をしていないためという意見が見られる。年齢が上がると「自己判断してほしい」「年齢を考えるとコントロールすべきではない」として、失敗を含めて本人が使い方を自ら身に付けて欲しいという意見が多くなる。しかし学年を問わず、使い過ぎや交友関係、生活への影響を心配する声もある。ペアレンタルコントロールを実施している背景としては健康への配慮や本人の使い方への懸念を上げる保護者がほとんどであった。また、未就学児で防ぎたいトラブルとして、誤作動と健康への影響が大きい。保護者と共用することにより、保護者のアカウントで書き込みをしたり、電話をしたりするトラブルを経験した保護者もあった。また、視力や姿勢の悪化、言葉遣いへの影響を懸念する声も聞かれた。上記の「ペアレンタルコントロールへの関心」は保護者の価値観や人生経験に由来するという回答が多かったが、実施には子どもへの教育の必要性や使い方への懸念といった、現状からの判断が影響を与えている。さらに、日ごろから親との約束を守る子、スマートフォン以外の遊びを楽しむ子、習い事や生活でスマートフォンを見る時間が限定的である子は、保護者が実施への切迫感を感じない傾向もある。

ペアレンタルコントロールの「実施」が必要になるタイミングは環境の変化に依存すると考える回答がほとんどであった。子どもが学齢期となる、使い方や見るコンテンツが変化する、専用の端末に変更するなどのタイミングでペアレンタルコントロールの必要性があるのではないかという意見が見られる。また、共用10名のうち2名が専用端末を持つタイミングでと答えており、共用か専用かという判断よりも使い方や見るコンテンツの変化、トラブルの有無が、コントロールの必要性の検討に影響を与える可能性が示唆された。

なお、本インタビュー調査は主に未就学児を対象としているが、今回対象となった未就学児において、12名のうち10名が共用、2名が専用であった。共用の保護者からは親子で機能が分けられる設定が欲しいという声も得られた。また、共用専用に関わらず、スマートフォンにあらかじめペアレンタルコントロールの機能を求める意見も聞かれた。強制的な電源オフ、子どもが時間を区切りやすくするアプリの提案もあった。また、高校生保護者からは保護者が契約者である間は親の目があることを意識できると良いという意見を得た。親の注意だけでは限界もある。そのため、あらかじめスマートフォンに子どもの利用を制限する機能があれば、子どもが自ら使い過ぎに気を付けるようになるのではないかという期待があるようだ。

5. 3. ペアレンタルコントロール伝達手段へのニーズ

伝達方法のニーズはCM、ウェブコンテンツ、チラシ、講習、端末のアプリなどが挙げられた。CMとしてはYouTube配信用動画広告、TVerでの広告など、普段利用しているときに目にしやすい効果が期待されている。保護者からはNintendo SwitchのペアレンタルコントロールCMが印象に残っているとの回答が多く得られた。ウェブコンテンツはYahoo!ニュースでの記事、ブログ記事として、何らかの検索ワードに引っかかるようなコンテンツが想定されている。チラシは学校や幼稚園で配布するイメージである。だが、紙だと見ないと答える保護者と、上質な紙に印刷されていたら見ると答える保護者の両端に分かれており、効果は学校の配布方法習慣に依存すると見られる。また、講習はチラシと同じく、学校などの公的な機関からの注意喚起にすると良いという考え方である。学年に応じた使い方を子ども・保護者双方に行う、入学式などの重要な行事のあとに行うなどの案も出された。端末のアプリは設定の過程で必ずペアレンタルコントロールを行う、あるいはペアレンタルコントロールに関する注意喚起を見るという案である。前述の講習と同じく、保護者が、ペアレンタルコントロールは子どもの利用に必須であるという意識を身に着けるための伝達方法となっている。具体的な声の例を以下、図表5.2に示す。

図表 5.2 保護者の声

ID	属性	発言
5	未就学児・男児・関心あり・実施している	定期的に、 <u>小学校だったら、例えば入学のときとかそういう区切りで年に3回必ず配布するとか、そういう感じに意識的になっていくと親もそれ見て、あつて気付くと思うんですよね。買ったときだけ渡されても多分忘れ去られてしまうんで、学校の入学のタイミングとか期末のタイミングとかで必ず配布される。必ず目にすると思うので、<u>繰り返し、繰り返し目にする</u>と効果あるんじゃないかな。</u>
13	小学校低学年・男児・関心あり・実施していない	単純な啓発でもすることによって、例えばうちの7歳の息子ですら俺俺詐欺には気を付けなきゃいけないとか、振り込め詐欺。ただ <u>言葉だけかもしれないですけど、詐欺には引っ掛からないようにとか、そういうのを分かっている</u> ので、それはよく耳にするからだと思うんですよね。
16	小学校高学年・女児・関心なし・実施していない	小学校とか中学校とか絶対行くと思うんで、学校からの文章に例えば <u>QRコードとかで入れるとか。学校からのメールってあると思うんですよ。個人に対してのメールとかもあるんで、そういうところに、こういうのもありますよぐらいのとか。紙媒体ってやっぱり見るの限界</u> というか、忘れちゃうと思うんです。だから、そういうのでもらえたほうが

	ない	見るかもしれないです。見ないかもしれないのかもしれませんが。手軽さが欲しいですね、どうしても。 <u>フローチャートでもいいと思うんですけど。こうしたらこうとか、悩み事からつながってって、こうしたらどうですかとかっていうのが簡単にあってもいいだろうし。</u>
17	中学生・男児・関心あり・実施していない	なにぶん中学生は学校からお便りとかもらってきても一切見せることがないので。 学校から今度、全てお便りとかがアプリに届くように変わって、初めてこんなにお手紙出てたんだっていうのを知って。学校を通してそういうところに、そういったリーフレットみたいなのがPDFとかで来たら、目通せると思うんですけど。 <u>紙だとちょっと、中学生からは親の手元には来ないですね。</u>

5. 4. ペアレンタルコントロール伝達コンテンツへのニーズ

今回対象となった未就学児保護者の参考となった主な資料や情報源は、ウェブコンテンツや「先輩のママ友」のアドバイスである。1名の保護者からは「小学生向けのペアレンタルコントロールの情報はあるが、未就学児を対象としたものはほとんどない」ため、総務省のコンテンツが役に立ったとの意見が聞かれた。また、トラブル経験を知りたいというニーズがあり「家庭の価値観が似た人のリアルな声」「ニュースにならないような身近なトラブル事例」を求める意見もあった。また、子どもに身近な存在（キャラクター、YouTuber）が注意喚起を呼び掛けると効果的という案も聞かれている。特徴的な声を図表 5.3 に示す。

図表 5.3 保護者の声

ID	属性	発言
5	未就学児・男児・関心あり・実施している	逆にペアレントコントロールを全くしなかったら子どもはどういうふうに育っていくのかというのを <u>漫画でも絵でもドラマでもいいけど、そういうのを作ると、ペアレントコントロールをしなかったらこんな大人になってしまった、子どもの将来がこうなる可能性がありますよ</u> っていうのがもし分かれば、ペアレントコントロールしなくちゃいけないなって思うんじゃないか。 <u>ペアレンタルコントロールするためにはこれをこうすると何が制限されます、やり方と実際にどうなるかが紐づけで出ると分かりやすいかなと思います。</u>
7	未就学児・女児・関心あり	<u>有名 YouTuber の動画で iPad の使い方とか流れてたら見せますよ。子どもにとってなじみのあるキャラクターがそういうの教えてくれたりとかしたら子どもにとってはめっちゃめっちゃ、そうなんだとはなります。</u>

	り・実施 している	
9	未就学 児・女兒・ 関心あり・実施 している	テレビで元保育園の先生だった YouTuber の方とか、そういう方とかだ ったらうまいこと分かるのかなと思って、見てみようかなとかは思っ てます。 <u>保育に携わってた方なので、いいこと教えてくれるのかなって いうのはありますね。</u>
12	未就学 児・女兒・ 関心あり・実施 している	<u>総務省のやつとかが、未就学児の保護者というのが明確にあったので、 参考になったところはあったんですよ。</u>
19	高校生・ 男児・関 心なし・ 実施して いない	<u>CMとかで YouTuber の人が投げ掛けたりとか、人気があつて子どもた ちも結構認知度が高いような有名な方が、ある程度、強制するような内 容ではなくて、ちょっと軽い感じかどうか、分かりやすい感じで投げ 掛けてくれたりとか。結構スマホを見てことで睡眠時間が削られた りとかする子とかもいるので、そういうこと、生活習慣にプラスで、睡 眠時間は、寝る前何時間は見ないようにしようとか、睡眠はしっかり取 ろうとか、そういうちょっと違う観点プラスで入れてくれると、生活習 慣的にも安定するというか。</u>

5. 5. ペアレンタルコントロールに関するストーリー

【ストーリー1】親の目を意識させることが抑止力になる

ペアレンタルコントロールの実施の有無に関わらず、コントロールの必要性を感じる声は、未就学児から高校生までの全般に見られた。未就学児は実際に子どものそばで利用を見守る状況だったが、子どもが成長するにつれて明らかな見守りではなく、子どもが気付かない形で子どもの行動や交友関係を把握したいというニーズが得られた。図表 5.4 に特徴的な声の例を示す。

図表 5.4 保護者の声

ID	属性	発言
2	未就学 児・男児・ 関心あり	結構家も広くはないので、目が届くところで使ってますね。音とかも聞 <u>こえるので、何か音楽を今、聴いてるんだろうなっていうのは、何とな く分かります。</u>

	り・実施 していない	
10	未就学 児・女兒・ 関 心 あり・実施 している	<u>やっぱりパパかママがこれやったらもうこれしようね、それが終わったらもうやめようねって言ったら、もうちゃんとやめようね、iPhoneを置こうねっていうのは伝えてて。</u>
11	未就学 児・女兒・ 関 心 あり・実施 している	<u>一応どんなのを観ているかは横でちらっと見ていたりするんで、変なのは観ていないなと信頼があるんで、そこは自由に任せているって感じですね。</u> 本人なりにあまり見ていてよろしく、親があまり見て良くないと思うのは、リビングから移動して見ていたりとかしていたんで、なんか怪しい行動をするとだいたい当たっているんで。何かしてんのかなみたいな感じで、 <u>そういうのもあったんで見る場所はリビングとか。基本的に視界に入るよう、感覚的に分かるようにコントロールする。</u>
12	未就学 児・女兒・ 関 心 あり・実施 している	<u>使い始めのときから一緒に使ってたっていうので、子どもにとっても、今のところ親と一緒に使うものという意識はあるのかなと思います。</u>
16	小学校高 学年・女 児・関 心 なし・実 施してい ない	課金とかだとお金に絡んできて何かのトラブルみたいなものがあったりとか、不正利用みたいなものがあったりとかっていうのは、 <u>本人まだ一応中学生なので、判断が間違ふこともあると思うので、そこに関しては主人が。</u>

【ストーリー2】早くから利用を習慣化する

インタビューを行った未就学児 12 名のうち 2 名が専用で、共用でも 3 歳頃から主に動画を見るために頻繁に利用するようになったという声が多く聞かれた。早くから保護者がペアレンタルコントロールを場所・時間制限などで行い、おもちゃの 1 つという位置づけで使わせていたことが、スマートフォンへの執着をなくすといった声も聞かれる。また、専用で使わせることにより、アプリや Wi-Fi 制限が出来るためにトラブルを軽減できるメリットも上げられた。メリットについて言及した発言の例を図 5.5 に示す。

図表 5.5 保護者の声

ID	属性	発言
10	未就学児・女兒・関心あり・実施している	効果があったものっていうのは、もう <u>結構な早い段階でちょろっと見せてたのが逆に功を奏した</u> というか、 <u>意外ともう今は執着なく、普通に外の遊びも結構満遍なく好きでいてくれるので。</u>
11	未就学児・女兒・関心あり・実施している	共用で使うときはもう目の前で見ておきながら使ってもらっていたので、それがつらくなってきたので、やめました。 <u>専用がいいのかなというふうに思います。共用にするとお互いにとってもストレスがかかりますし。専用にすることで自分事として使うようになりますし。自分で考えて使うっていうことがいいのかなと思うので。自分の約束というか、自分で律するというか。自分の所有物として意外と大事に使ったりするからですね。</u>

【ストーリー3】教育の一環として使う

未就学児のなかには、小学校からの学習を見据えて幼児用学習教材で勉強している子どもの存在も明らかになった。教材では5分から30分程度の学習コンテンツを閲覧するアプリや動画が配布されており、子どもがこれを視聴・学習するためにスマートフォンを利用している。これが習慣となり、スマートフォンは学習用という意識を持っている子どもの事例も見られる。また、同じく時計の見方を覚えるために自分で利用をやめるという習慣を覚えるように促す保護者の声も聞かれ、スマートフォンを教育の一環で使うストーリーが抽出できた。その数例を図表 5.6 に示す。

図表 5.6 保護者の声

ID	属性	発言
4	未就学児・男児・関心あり・実施している	<u>約束事を守らせるって、お互い守って合意するというか。一方、一方的に縛り付けても長続きしないので、意味をよく言っているっていう感じですかね。長く使っていると目が悪くなっちゃうよとか、ずっと観ていると会話はなくなって良くないよねとか、意味付けをしながら伝えているっていう感じですかね。</u>
6	未就学児・男児・関心あり・実施している	<u>アプリとやるときは20分から多くても30分ぐらいな感じです。最初からそういう設定なので、そういうのが出ると子どもも、じゃあ、そろそろおしまいにするみたいな感じになるっていう感じです。</u> 今逆にちょっと小学校とかでもタブレットとかパソコンとかも貸し出

	している	しとかもあるところもあるんですよ。そういうときに使えないっていうのはちょっと。 <u>使えるようにはもちろん学校でも指導はしていただけるんでしょうけど、ある程度、そのときに訳分からんってならないようにだけはやっぱりしたい。</u>
11	未就学児・関心あり・実施している	45分見て15分休憩するみたいな。目がかなり画面の近くで知らない間に見てることあるんで、45分見たら15分は別のことをするとか、ちょっと勉強するとか、あとはピアノを弾くとか。 <u>ルールっていうよりも私が見始めた時間を見て、時計の針が6時30分になったら1回ちょっとやめようねっていう感じです。</u>

【ストーリー4】中高生の場合、保護者自身がコントロールを抑制

ストーリー1で親の目が抑止になることを挙げたが、子どもが成長するにつれて明らかな見守りではなく、子どもが気付かない形で子どもの行動や交友関係を把握したいというニーズが得られている。しかし、実際にはコントロールは出来ていない。信頼関係を壊すことや子どものプライベートに立ち入ることへの心配により、中高生の保護者がコントロールに悩んでいる様子が伺える。その発言例を図表5.7に示す。

図表 5.7 保護者の声

ID	属性	発言
17	中学生・男児・関心あり・実施していない	<u>あんまり、これは駄目、あれは駄目って言うつもりはないので、本人がこれはまずいだろうとか、そういうのは自分で判断してもらって、学びながらといいますか。ちょっと変な課金をしたりとかそういうこと、別にしないでねとか言うことも特にはしていないので。本人に任せて、そうですね。信頼関係ですかね。</u>
20	高校生・男児・関心なし・実施していない	そうですね。けどお互いに、息子が納得して（ペアレンタルコントロールの機能を）入れることは多分ないだろうと思ったので、やってはくれないと思ったので。 <u>親が一方的にそういうことができるものがあればいいなとは思いつつ、やっぱりそこまで監視的なことをするのはよくないんだろうな</u> と思ったり。そこはすごく揺れるっていうか、 <u>どうしたらいいんだろうっていうところでしたね。</u> やっぱりプライベートと言えばプライベートなので、子どもとはいえ。日記をのぞくようなもんですよ。

【ストーリー5】ペアレンタルコントロールは親の責任

ペアレンタルコントロールに対する保護者の負担感を尋ねたところ、一律に「負担感

ない」「保護者に責任があると思う」という回答が得られた。保護者の責任は家庭用スマートフォンだけでなく学習用端末についても及ぶという見解も見られる。図表 5.8 に発言例を示す。

図表 5.8 保護者の声

ID	属性	発言
13	小学校低学年・男児・関心あり・実施していない	責任は重いです。ただスマホの管理というよりは倫理的なことをどうやって子どもに教えるかという、 <u>IT分野での倫理の責任は重いと思いますね。</u>
14	小学校低学年・女児・関心あり・実施していない	<u>大変なことは大変なんですけど、恐らくこれは、例えば親が制限かけようと思えばかけれることなので、その企業へそれを求めるのはちょっと違うよなってイメージは持ってます。</u>
17	中学生・男児・関心あり・実施していない	<u>もし学校用の学習用端末で何か間違っただけをすれば、それは学校というよりは保護者のほうの責任だとは思うんですけども。</u>

【ストーリー6】学習用端末ではペアレンタルコントロールを全く行っていない

インタビュー調査の対象となった家庭では6件が学習用端末利用者であった。しかし、すべての保護者が大まかな子どもの利用状況を把握しているものの、管理についてはまったく行っていないことが明らかになった。学校からもプリントや保護者会等の口頭での注意で、アプリのダウンロード禁止や学習以外の利用を禁じているものの厳密なコントロールやルールを行っていない。保護者も学習用端末を詳細に調べたことがなく、学校からの支持があれば従うと述べている。発言例を図表 5.9 に示す。

図表 5.9 保護者の声

ID	属性	発言
7	未就学児・女児・	学校が言うことと家庭で言うことがずれてると、子どもにとってはラッキーみたいな感じですよ。

	関 心 あり・実施している	少なくともスマホのルールはもちろん家庭で必要なことですが、 <u>学校教育と家庭の教育の連携協働みたいなものは必要かなとは強く思います。</u> 学校でもパソコン使っているんな授業があつて、情報社会だからねみたいな話もよく出ているので、学校が言うことと各家庭が言うことはできたら共通させたいなとは思っています。うちの学校でもこの間あったんですけど、スマホの LINE グループの中で姑息ないじめが始まるみたいな。それって家庭教育と学校教育の狭間で起きていることなので、そういった意味でも <u>学校と家庭がしっかり双方のタッグを組んで</u> <u>ってというのはめっちゃめっちゃ大事だなと。</u>
16	小学校高学年・女兒・関心なし・実施していない	直接先生と何度もお話ししたのも含めて、プリント等の注意書きも含めて、 <u>一切ないですね。</u>
17	中学生・男児・関心あり・実施していない	保護者と学校の間ではないですね。学校から各個人に使い方についての指導があつて、 <u>保護者にこうしてくださいっていうような案内</u> <u>っていうのは、特にはなかったというふうに思います。</u>

【ストーリー7】身近な人からの情報を参考にしてルール・機能設定のカスタマイズを行う

未就学児の保護者はウェブの記事や身近にいる人の情報を参考にして、ルールや機能の設定の実施を行っている。身近にいる人のなかでも家庭環境や価値観が似ている人から設定に関する情報を能動的に入手しようとする事例が見られる。一方的に情報を入手するだけでなく、質問をしたり、入手した情報により安心できるということもポイントであることも把握出来る。発言例を図表 5.10 に示す。

図表 5.10 保護者の声

ID	属性	発言
1	未就学児・男児・関心あり	<u>やっぱり上の子がいる所はやってる方がいらっしゃるので、だから</u> <u>Nintendo Switch の時間を設定するとかも教えてもらったりとかしてた</u> <u>ので。そういう方に聞けるかなって思いました。</u>

	り・実施 してい ない	
11	未 就 学 児・女兒・ 関 心 あ り・実施 している	参考にした情報、特段何か参考にしたかっていうのはないです。 <u>周りのお母さんとか、妻がママ友とかに聞いて、それを参考にしているところはあったかもしれないです。そういうふうに時間制限を設けているよとか、制限付きモードにしているよとか。多分妻の意向とかもいろいろ聞いて総合的に決めているので。</u>
12	未 就 学 児・女兒・ 関 心 あ り・実施 している	一概には言えないけども、やっぱり身近なママとかだったら、相談とか聞きやすいなってなるし、参考にもなるなとは思いますが。 もっと早く与えなきゃいけないのかなとか思うところもあるし、これ見せないほうがよかったのかなってちょっと迷うところもあったけど、 <u>うちも見てるよとか、うちはまだやってないよとか聞くと、共通的なところを聞くと安心する。</u>
13	小学校低 学年・男 児・関心 あり・実 施してい ない	<u>結構今みんなに聞いて回っている、もう少し学年が上のお子さんがいらっしゃる方に何歳から何を持たせたかみたいな。あとその理由とかを結構今聞いているところです。</u>

【ストーリー8】何が正しくて何が良いのかという基本が分からない

未就学児でペアレンタルコントロールを実施している保護者からは、設定したルールや設定が正しいのか否かという不安の声があった。実際に子どもがルールや設定に従っておりトラブルがない場合であっても、今後の成長、健康面や情緒面への影響を考慮した場合、その家庭のルール等が正しいのかという不安やさらなる改善が必要ではないかと考える保護者が多いようである。図表 5.11 に発言例を示す。

図表 5.11 保護者の声

ID	属性	発言
6	未 就 学 児・男児・ 関 心 あ り・実施 している	友人と話してるときもそうなんですけど、 <u>基本手探りなので、手探りであったとしても何かしらのやっぱ指標みたいのですね。ここら辺までだったら健康面においてもそんな問題ないよとか。リスクとデメリット、メリットが分かるような分かりやすいガイドラインみたいのがあればありがたいかな。手探りなので本当に正しいのかなっていう疑問</u>

		符は付くっていかたちです。
10	未 就 学 児・女兒・ 関 心 あ り・実施 している	ありますね。結構すごいみんなが好きなアニメとかのちょっとお色気 みたいなあの結構ちょっと進んだぐらいのとかはあって、 <u>これ制限は 引っかからないのかな</u> と思ったりとかはするんですけど、それがあつ たりとかして。
13	未 就 学 児・女兒・ 関 心 あ り・実施 していな い	子どものために国全体としての方針というか、そういうのある程度国 だったり、市町村。公共が責任のある程度のところまでは持って啓発活 動したりとか、そういう管理の推進というのを流さないといけないん じゃないかな。今結構野放し状態というか。それは必ず必要だなと思う のと、 <u>それをどうやってやるのか。基本的なやり方、こういうことがで きますよ</u> というのはお知らせしてもいいと思うし、細かい部分どうや ってやればいいのかとか、 <u>もっと便利な機能あるのかとか</u> というのは <u>事業者さんとか、サービスとか、サービス提供者とかに掛かってくる のかな</u> と思います。

【ストーリー9】子どもにトラブル、困りごとの認識が薄い

今回のインタビュー対象者からはトラブル事例は多く聞かれなかったものの、メールの誤送信、課金の危険性、閲覧コンテンツへの心配といった声が挙げられた。これらは子どもが目立つアイコンを押してしまったり、動画コンテンツを見ようと試行錯誤して誤った操作をしてしまったりするもので、子どもに悪意はない。また、子どもは何が起こったのかを把握していないために保護者が都度、注意する必要がある。図表 5.12 に発言例を示す。

図表 5.12 保護者の声

No		発言
10	未 就 学 児・女兒・ 関 心 あ り・実施 している	ニコニコ動画とかそういうところで、多分今の YouTuber じゃないです けど、生配信とかしてる人たちを中学生、高校生ぐらいのときにたまに 見たりしてたんですけど、大体そういう人たちって、やっぱそれも個人 情報をちょっとずつ出しちゃったりとかしてて、それが視聴者の悪い 人たちが蓄積していった情報を集めて個人特定しちゃうんですよ。そ ういうのがだんだん悪質になってるといふか。 <u>やっぱ分別付かない子 どもが見るものじゃないの</u> のぱっかりな気がしてきて。
11	未 就 学 児・女兒・ 関 心 あ	そういうことしちゃ駄目だよって一応伝えていたりとか、 <u>本人も悪気 があつてしたわけじゃないので。</u>

	り・実施している	
14	小学校低学年・女兒・関心あり・実施していない	履歴を見ると、子ども用の配信ではあると思うんですが、 <u>ちょっと下ネタが要所、多々入ってるので、それを意味が分かんなくて聞いてくることがあるんですね。</u> そういうのも含めて、なるべくこういうものに関してはちょっと、これ、あんま見ないでほしいっていうのは直接伝えてるんですけど。
16	小学校高学年・女兒・関心なし・実施していない	うちの妻が怒ってたのは、妻の Google アカウントとかを使ってコメントをしていたみたいで、それがうちの妻にばれて、やめてって怒られてたのはあったんで。 <u>そういう分からずにやってしまうことも、僕らが知らないこともあるのかなっていうのが、困ったという感じです。</u>
21	高校生・女兒・関心なし・実施していない	実際に親が見て自分に困ることが起きないと、そういうことってやろうってならないと思うんですよね。だけどネットって実質的なこっちに、 <u>親に困ることがって直ではすぐには来ないと思うので。</u>

【ストーリー10】子ども本人が危ない体験を体験すると、同じ間違いをしないように学べるようになる

子どもが成長するにつれてトラブルを経験するという事例も聞かれた。子どもはトラブルから同じ間違いをしないように学びを得る。しかし、必ずしも行動が改善するわけではない。インタビュー事例からは子どもがトラブルを隠さないような親子の関係性の構築が必要であることが示唆されている。以下、図表 5.13 に発言例を示す。

図表 5.13 保護者の声

ID	属性	発言
9	未就学児・女兒・関心あり・実施している	ずっとやってたり約束破って英語のアプリをダウンロードしたりして、スマホ自体を隠したり、旦那がパスワードを設定して開けないようにしてしまって、 <u>そしたらすごい落ち込んで。</u> 勝手に変なアプリ入れないっていうことを約束したり、あんまり顔に近づけて目が悪くなるからしないみたいな感じで約束できるって言って、できるって感じになったら使っていいよっていうふうになりました

		<u>た。</u>
16	小学校高 学年・女 児・関 心 なし・実 施してい ない	LINE じゃないアプリを取ろうとして、取れなかったっていうのがあった。(母親に) 聞いてきたんです、多分。取ろうとしてるっていうので。 (母親が) 勝手にやらないでみたいな感じ。 <u>もうそこで勉強したみたい です。</u>
20	高校生・ 男児・関 心なし・ 実施して いない	そうですね。一応「ほんとに大丈夫なの」っていう声掛けはして。「俺 <u>だってそんなに簡単に人に会ったりしないよと。いろいろやりとりを したうえで大丈夫だと思った人と会ってるんだから、大丈夫だよ</u> 」と言 っていたんですけど。

5. 6. ペアレンタルコントロールに関するニーズ

【ニーズ1】家庭や子どもに合った設定をするための基本的に設定すべき機能やルールのガイドラインが欲しい

上記の【ストーリー6】【ストーリー7】より、基本的な設定や学年ごとに必要と考えられるルールなどのガイドラインが欲しいというニーズがあることが見出された。ガイドラインを担うのは国という回答が圧倒的で、公的な位置づけを求める声が多いことが分かる。さらに、企業や学校がこれに沿って細かな設定やルールの方法を教えることが欲しいというニーズとなっている。図表 5.14 に具体的なニーズの発言例を示す。

図表 5.14 保護者の声

ID	属性	発言
2	未就学 児・男児・ 関心あり・実 施してい ない	<u>各サービス会社レベルで基準を出すというのは、雨後の竹の子じゃない ですけど、ぼこぼこいろんなもの出てきちゃうと思うんで、それをガ イドライン化するのが国の仕事かなって思います。最低限これはこう いう基準でやりましょうみたいな。例えば暴力的表現は、今よく見られ るのは血の赤をなくそうとか、目に見えないようにしようというのを やってるとかがあると思うんですけど、<u>そういうガイドラインを策定 して、そのガイドラインにどう上ぶれているのかどうか、より厳しく していますよとか、ガイドラインぎりぎりやっていますよとか、そういう のはサービスごとかな、企業側の問題かな</u>と思います。</u>
16	小学校高	例えば Apple なら Apple で、初期設定の中にそういう設定プランって

学年・女 児・関 心 なし・実 施して ない	<p>いうのも入れるっていうのもいいのかもしれないです。子ども用であれば YouTube だったら何時間に設定しますかとかっていう。アプリでもいいし、そういうのがあってもいいのかもしれないですね。そしたら個人でもできるかなと思うんですけど。</p>
---------------------------------------	--

【ニーズ2】スマートフォンのメリット・デメリットを教育的・IT面・心理面で把握したい、エビデンスを知りたい

上記【ニーズ1】とも重複するが、ルールや機能設定の指針としてエビデンスが欲しいというニーズも非常に多く聞かれた。特に未就学児の保護者からは【ストーリー8】で示したように、自らが定めたルールが正しいものであるかという不安の声がある。そのため、より子どもの成長や情緒、教育等にスマートフォンを上手に使っていきたいために、発達や教育、IT面等におけるエビデンスを知りたいというニーズが見出された。以下図表 5.15 に発言例を示す。

図表 5.15 保護者の声

ID	属性	発言
6	未就学 児・男児・ 関心あり・実 施している	<p>参考にできるもの、そういうのあったら助かりますね。<u>もちろんケースバイケースだと思うので一概にはいえないとは思いますが、参考資料としてあれば、なるほどねっていうのがやっぱり。</u></p>
11	未就学 児・女児・ 関心あり・実 施している	<p>科学的根拠を持った効果を発信してほしいですね。こういうことをやったらこういう効果が、こういう論、研究結果があったとか。そういうものがあればもっと知りたいなとか。<u>なんとなくとかじゃなくて、どういう研究結果があったからしたほうがいいよねみたいなどのことを情報発信してくれるとうれしいですかね。</u></p>
12	未就学 児・女児・ 関心あり・実 施している	<p>よくスマホの使いすぎが発達によくないとか、コミュニケーション不足になるっていうのを聞くんですけど、<u>実際にどんなことがあったのかってのが詳しく知れば私も本人も理解できると思うんですけど、具体的な説明とかがないので、詳しく説明がほしいっていうのがありますね。</u></p>

【ニーズ3】未就学児に特化した情報を知りたい

上記【ストーリー7】【ストーリー8】より、未就学児の保護者の多くは身近な人の情報、

あるいはウェブの記事などから情報を得て独自にルールを設定している。しかし、インターネット上の情報は小学生以上を対象にした情報が多い。さらに、未就学児でスマートフォンを使っている家庭は多くないため、求める情報が得にくいという現状もある。幼稚園や保育園での注意喚起を行うという事例もほとんど聞かれない。こうしたことから、未就学児に特化したペアレンタルコントロールに関する情報へのニーズは高いと言える。また、幼稚園、保育園や未就学児向けテレビ番組などを通じて情報を得たいというニーズも聞かれた。以下図 5.16 に発言例を示す。

図表 5.16 保護者の声

ID	属性	発言
1	未就学児・男児・関心あり・実施していない	本当にママ友とかにもそういうルールの話っていうのはやっぱりよく出てくるので、 <u>ルールの話とか。他のお母さんはどうしてるのかなとか気になるので、そういうのがやっぱり興味があるかなと思います。</u>
12	未就学児・女児・関心あり・実施している	やっぱり少ないと思いました。ある程度小学生とかが、一番下でも小学生以上とかの話がほとんどだったので、それこそ本当、 <u>未就学児って見ない、少なかったですね。</u> そのとき小学校に入ってなかったんで、年が1歳しか違わないけど、小学校に入ってる、入ってないじゃ、ちょっと大きく違うんじゃないかなとは思ったので、 <u>小学校低学年向けの記事をどこまで適用していいのかなというの</u> はちょっと迷いました。

【ニーズ4】子どもに知られずに使い方や行動を管理したい

上記【ストーリー4】や【ストーリー5】から、未就学児から高校生までの子どもを持つ保護者に、子どものスマートフォン利用に対する強い責任の意識があることが把握された。しかし、特に中高生の保護者には子どもとの関係性への配慮などからペアレンタルコントロールへの自発的抑制意識が強いことも分かる。そのため、子どもに意識されない、または子どもがペアレンタルコントロール設定を突破しないように、保護者に子どもの利用状況を通知する機能や、「家族割」などの契約をしている場合は必ずペアレンタルコントロールを行うなどの強制的な機能への強いニーズが見られる。図表 5.17 にニーズの例を示す。

図表 5.17 保護者の声

ID	属性	発言
4	未就学	<u>強制的に電源切ってくれて</u> 思うんです。

	児・男児・ 関 心 あ り・実施 している	
5	未 就 学 児・男児・ 関 心 あ り・実施 している	<p>なかなかおもちゃが壊れてるところが子どもに悪影響な動画として認定する判断基準って、そういうのって難しいんじゃないかなと思うんですね。</p> <p>例えばフィルタリングしても、そういうものってすり抜けちゃうんじゃないかなと思うんです。子ども向けのキャラクターのおもちゃが出てくる、並べてある、これは子ども向けですって勝手に分けられてしまって。<u>だから本当は動画をアップするときにAIって、もう第三者的な、人間の目でもいいんですけど、人がどう思うかっていう。</u></p>
19	高校生・ 男児・関 心なし・ 実施して いない	<p>今結構フェイク動画みたいなのとか、本当に同じようなサイトだけど、実は作られたサイトみたいなのがあって、そこの見極めってというのが本当に大人でも難しいんで、そういったことを親がコントロールするっていうよりも、<u>セキュリティ的なものを入れるとか、そういうことで補えればなと思うんですけど。私がとか主人がコントロールするっていう感じではないかなと思います。</u></p>
20	高校生・ 男児・関 心なし・ 実施して いない	<p>そうですね。<u>子どもに知られない感じで管理できればって。管理っていうか、ある程度の範囲をつかんでおきたいっていうのはありますよね。何かトラブルがあって、お母さん何も知らなかったんですかってなったら。</u></p> <p>最初のころ、あんしんフィルターを知ったときにやらなきゃいけないんだなと思い始めたのはありました。というのはやっぱり親子関係ができていけば、信頼関係があればそんなの要らないんじゃないかなと思ってたところがあって。余計なことを入れなくても親の意見を聞いてくれるんじゃないかなって思ってたところがあるんですね。でもやっぱり世界が広がるので、どんどん息子たちの世界も広がって、それが効かなくなってって。そうなると携帯会社でそういう機能を付けてもらったほうがいいのか。年齢でもう無条件にそういう付けるとか、<u>高校生ならここまでとかそういうのがあったらいいのかな。家族割とか家族の連携取れてる限りはもう無条件で入れるというふうにして。</u></p>

【ニーズ 5】 親自身のリテラシーを高めたい、ペアレンタルコントロールや機種・ルールの設定等の経験がなく知識を持っていないという思いも強い

上記【ストーリー3】【ストーリー5】【ストーリー7】【ストーリー8】からは保護者がペアレンタルコントロールに強い責任感を持ち、教育の一環として使う、独自に機能やルールを設定するなど積極的に良い使い方を模索している状況が窺われる。しかし、その設定に自信がなく、ガイドラインへのニーズも高い。この背景には、保護者が自らの知識に不安を持ち、もっと知識を得たいというニーズがあると見られる。具体的な知識として、プログラミング思考を含めた IT・情報リテラシー全般であることも示唆されている。図表 5.18 に発言例を示す。

図表 5.18 保護者の声

ID	属性	発言
2	未就学児・男児・関心あり・実施していない	<u>リテラシーをそもそも上げないと意味がないかなど。開発をするときでも、大抵の人が何か食べたいかというようなこと、きょうの晩ご飯何か食べたい。何かって何だよ。中華なの、洋食なの、和食なの？</u> というところを結局 IT が詳しい人間が絞り込んでいかないと言ってこない <u>というのを、まず自分から言えるようにしてく。発信できる、個人側で発信できるようにしていく。</u>
6	未就学児・男児・関心あり・実施している	<u>情報リテラシー</u> というか知識がやっぱりどうしても足りない部分が多々あるので、その知識を増やすための何かしらやっぱりあったほうが <u>いいかなって。</u> 親に対するセミナーとかそういうのあったらうれしいかなっていうのはありますね。こういう関係の勉強する機会。知識を深掘りするのであれば専門書とかあるのでそれでいいんですけど、 <u>決して専門家になりたいわけではないので、もうちょっと手前の何か。もしくは総務省なら総務省でもいいんですけど、そこ行ったらこんないいのあるよとかがあれば助かりますね。</u>

【ニーズ 6】 ニュースにならないような身近なトラブル事例を知りたい。具体的な身近な事例のほうが理解しやすく、関心・危機感を持ちやすい

【ストーリー7】にあったように、保護者は身近にいる人から情報を得てペアレンタルコントロールを行っているが、このときに身近で起きたトラブル事例を知ることもある。また、ネット記事等から日常で起こりやすいトラブル事例などを見聞きすることで、具体的な設定方法へのイメージを持ちやすくなる。こうした事例を積極的に発信することで、子どもに合った設定やルール作りが容易になると考えられる。図 5.19 に保護者の声の例を示す。

図表 5.19 保護者の声

ID	属性	発言
11	未就学 児・女兒・ 関心あり・実施 している	特に困っていることは、 <u>子どもに約束を守らせること</u> です。他にどのようなものがあるか。どうことを知るかみたいな。多分今もあるのかかもしれないですけど、 <u>どこの家庭がどうことをしているかみたいなのを共有できる</u> というか。FAQみたいなのですかね、そういうのがあるような場所があると分かりやすいのかな。
12	未就学 児・女兒・ 関心あり・実施 している	<u>やっぱり姿勢のこととか、長時間見ると、やっぱ姿勢が悪くなるよとか、そこらへんってニュースとかでは言わないけど、大事なこと</u> 。より身近なことなのかなと思って。こちらは、いじめにつながるとか、課金のこととか、やっぱり怖いし、大きな問題だけど、もっと <u>身近に子どもの発達とか、身体面にこういう悪い影響が出る</u> というのは、それ今までそういうふうにあまりなかった視点だったので、そういうところを防ぐためにもメディアを使うとき、与えるときに注意しなきゃいけないんだなという視点は気付いたというか。

【ニーズ7】機種やルールでの設定が難しいリスクへの対応を行いたい。公式アプリやゲームでもウイルス感染等の危険性がある

保護者からはコンテンツや機能に関するペアレンタルコントロールニーズが聞かれたが、未成年者に限らず社会問題となっている、特殊詐欺等への対応のニーズも聞かれた。今回の対象の保護者からはトラブル事例は聞かれなかったが、保護者の課金への不安も根強い。特に子ども向けを装ったようなコンテンツへの懸念もあるため、機種への設定への注意喚起は今後求められる対策の1つとなると考えられる。図 5.20 に保護者の声の例を示す。

図表 5.20 保護者の声

ID	属性	発言
2	未就学 児・男児・ 関心あり・実施 していない	<u>ウイルス感染とマルウェア感染と特殊詐欺の引っかけりのほうを何とか防ぎたくてペアレンタルコントロールしたい</u> というのが本音ではあります。 ウイルスとかマルウェアって、不特定多数に関して悪意を持ってというものですけれども、子どもたちを狙った悪意は防ぎたいなとは思っています。子どもをターゲットにした、例えば薬系、ドラッグ系であったりとか、そういうダークウェブ系のところは監視したり、ガードしたりする方法はないかなというのは考えてはいますが、今はまだ子どもの年齢が低いんで、小学校高学年ぐらいになる前に、そのへんの管理、

	監視はできるようにしたほうがいいかなとは考えて。
--	--------------------------

5. 7. 保護者インタビュー個別データ (全 21 件)

5. 7. 1. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施していない」】

属性	
学齢／性別	未就学児／男児
関心／実施	「関心はある」かつ「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	親と共用 (3 歳～)
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・時間約束 (平日 30 分、休日 1 時間)。
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①ママ友からの情報
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	【時間約束】①際限なく 1 日中やり続けてしまうため。
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	① 親のものを貸しているだけだから (Nintendo Switch は本人のものだから設定している)。 ② 限られたアプリしかしてないから。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①自分専用を持ち出したら設定は必要だと思っているから。 ②「課金」ができるようになったり、「友達」や「知らない人」と繋がるようになったりなど、様々なアプリを使用しだしたら必要かもと思っているから。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	

親として困っていること	・特になし。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①自分専用のものを持ち出したら。②今遊んでいるアプリ以外のアプリをやりたいと言い出したら。特に「課金」するものや SNS で「友達や知らない人と繋がる」ようになったとき。
ニーズ	
ニーズ①: コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【親向け】 ①ルール・設定事例集 (A 家庭・B 家庭の場合、等) ※時間を決める際にどのくらいがいいのか、一般的なのか、など。
ニーズ②: 伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	①テレビ CM・YouTubeCM : Nintendo Switch の CM が印象に残っている。「詳しいのはアプリへ」「詳しいのはウェブサイトへ」という形でやってくれるといつか役立つ。 ※映像が頻繁に入ると印象に残る。「そういえばああいうのがあったな」と頭に残りやすい。 ※最初から意識を高めて必要な情報を取得できるようになるのは難しい。
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	①まだ年齢が小さいからそこまで意識は高くないが、今後スマートフォンを持つようになったときに、必要な設定をしたいと考えている。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況 (学校)	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況 (家庭独自)	

5. 7. 2. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施していない」】

属性	
学齢／性別	未就学児／男児
関心／実施	「関心はある」が「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	共用（3歳～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	×
トラブル経験	①母の携帯から課金のゲームをダウンロードした。
今まで見たことのある啓発コンテンツ	・特になし
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	①端末所有者が保護者のため。 ②「教育面」でのペアレンタルコントロールに関心はない。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①子どもをターゲットにしたドラッグ系、ダークウェブ系は監視・ガードする方法は検討したい。小学校高学年になる前に管理、監視したい。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①共用で親子の機能を切り替えられるのは興味はあるが、その機能がどれほど簡易かで検討したい。現状では子どもがPINロックを突破してしまう。例えば妻の端末のペアレンタルコントロールは夫が、夫の端末のペアレンタルコントロールは妻が操作できるような、物理とソフト両方面でかつ簡単にできるものでないとや

	<p>る気にならない。</p> <p>②YouTube を見ている影響で言葉遣いが悪くなっている。</p> <p>③「人としてどうなのか」というコンテンツが目立つ。</p>
<p>どういう状況になっ たらペアレンタルコ ントロールの必要性 を感じると思うか</p>	<p>①ペアレンタルコントロールのメリットを示されるか、危機感を煽られるかのどちらか。</p>
<p>ニーズ</p>	
<p>ニーズ①: コンテンツ どのような内容のペ アレンタルコントロ ールについて知りた いか、またはあれば効 果的だと思うか</p>	<p>【親向け】</p> <p>①子どもを含めた家庭の危機管理として考えるもの。</p> <p>②ペアレンタルコントロールの基準。排除する/OK の言葉、コンテンツの基準は子どもに合った内容か、ニーズと合っているかをチェックできるもの。</p> <p>※ペアレンタルコントロールへの関心は子どもの教育から金銭トラブルまで幅広い。これらすべてを包括した案内は無理。ニーズの枠で絞り、その枠に合わせた啓蒙。</p>
<p>ニーズ②: 伝達手段 どのような場や手段 でそれが知りたいか、 またはあれば効果的 であると思うか</p>	<p>①ネットで見られるもの（ウェブ記事、ブログ）。</p> <p>②ペアレンタルコントロール用ソフトを開発している企業による説明。</p>
<p>ペアレンタルコント ロール 全体に対する意見・考 え</p>	<p>①ウイルス感染とマルウェア感染と特殊詐欺の引っ掛かりを防ぐ目的であれば、ペアレンタルコントロールを行いたい。</p> <p>②親が ICT リテラシーを上げるべき。ルーターで設定すれば時間設定はできる。また、親が IT 開発やプログラミング思考を身につけるようにしてほしい。</p> <p>③大人が面倒くさがらずに監視をすべき。常に見張る必要はないが、問題がありそうなら、なぜ問題かを逐一子どもに伝える姿勢が大事。</p> <p>④国にペアレンタルコントロールのガイドラインを示してもらいたい。表現、コンテンツについて。</p>
<p>学習用端末状況</p>	
<p>学習用端末利用シー</p>	

ン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 3. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／男児
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	親と共用（3歳～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	×
ペアレンタルコントロール状況	○ ・時間拘束（平日 20-30分）
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①テレビCM（Nintendo Switch）
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	健康への配慮
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①もともと幼稚園で働いており、子どものテレビ視聴について研修などで教えられていた。テレビやスマートフォンの見過ぎは良くないと思っていたので。

ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①育児を始めたとき（新生児期）。子どもを守ろうとする意識が一番高いので、ペアレンタルコントロールへの関心も高いのでは。
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【親向け】 ①スマホの利用時間の決め方 ②見せても良いコンテンツ ③スマホのペアレンタルコントロール機能の使い方
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	①産院・母親学級の会場での注意喚起 ②マンガや育児書の形で、上記の会場で配布する。
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	①幼稚園教諭の経験から、スマホ・テレビの見過ぎは発育のうえで良くないと考えている。 ②「良くない」のは分かるが、具体的なコントロール方法の情報は入手していない。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 4. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／男児
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	親と共用（3歳～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・時間拘束（夜9時まで）
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	・特に見ていない。
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	・健康への配慮
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①子どもの年齢ではまだだと思うが、アダルトコンテンツへのアクセスを心配したため。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①両親間で利用の考え方が異なるので、本人への注意が異なってしまう。子どもにも夫にも腹を立てている。 ②自閉症傾向があり自分で利用をやめられない。トイレとお風呂以外はスマホから手を離せない。

どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	見当がつかない。
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【子ども・親向け】 機種への設定方法。
ニーズ②：伝達手段のような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	・思いつかない。
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	①強制的に電源オフしてくれる機能が欲しい。 ②自動的にアプリで制限してくれる機能が欲しい。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 5. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／男児
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	

スマホ利用状況	親と共用（2歳～）
アプリ利用状況 ①LINE ②SNS ③YouTube	× × ○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・時間拘束（平日45分利用・15分休憩） ・時間拘束（平日2時間・休日3時間以内、連続2時間・3時間の利用不可） ・場所拘束（リビング） ・機種への設定（YouTube Kids）
トラブル経験	①YouTubeのコメント欄にあやうくコメントをしてしまう。コメント欄を消そうとして誤操作しそうになったため。②課金ボタンのコインに興味を持ち、誤って押そうとした。
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①ペアレンタルコントロールを促すテレビの特集番組
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	健康への配慮（視力）
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①子どもの実際の利用状況を見て。 ②自分自身が幼い頃にゲームをやり過ぎて、時間をもったいないと感じたことを思い出して。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①YouTubeの登場人物に影響されて言葉遣いが粗くなっている。 ②子どもが好きなキャラクターを車で踏みつけるという動画が視聴履歴に残っている。子どもがどう感じているかが心配。 ③子どもに見せて安心だと思う動画の基準が分からない。年齢で

	<p>分けるべきか、コンテンツの内容で分けるべきかの判断が難しい。</p> <p>④子どもが真似したら困るようなコンテンツを防ぎたい。</p> <p>⑤YouTube 制限付きモードを使っているが何を制限したか分からない。制限が効いた気もしない。</p>
<p>どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか</p>	<p>①健康面など、使っている様子を実際に見て気になることを感じたら。</p>
<p>ニーズ</p>	
<p>ニーズ①：コンテンツのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか</p>	<p>【子ども・親向け】</p> <p>①ペアレンタルコントロールを全くしなかったら子どもはどう育つのかを伝える。ペアレントコントロールをしなかったらこんな大人になってしまった、子どもの将来でペアレンタルコントロールをしなかったことによる弊害の可能性が分かること。</p> <p>②長時間スマートフォンを利用することによる弊害、健康への影響、精神的な発達への影響。</p> <p>【親向け】</p> <p>③端末ごと、アプリごとにコントロールの仕方が一覧表で分かるもの。ペアレンタルコントロールするためのやり方、何が制限されるのかが紐づけで出てると分かりやすい。</p>
<p>ニーズ②：伝達手段のような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか</p>	<p>①上記①について漫画や絵、ドラマがある。</p> <p>②上記③のペアレンタルコントロール方法が冊子で載っており、販売店で配布される。</p> <p>③上記のコンテンツについて定期的に配布される。小学校であれば入学時や年に3回程度。買ったときだけ冊子を渡されるのではなく学校の入学や期末のタイミングで必ず配布。繰り返し目にすることで効果がある。</p>
<p>ペアレンタルコントロール全体に対する意見・考え</p>	<p>①有害コンテンツの判断が難しい。子どもに悪影響のある動画として認定する判断基準は一概に決められない。AI か第三者が決めて欲しい。</p> <p>②幼児向けコンテンツのマーク、刺激の強いコンテンツ、暴力的な描写が入っているコンテンツが分かるマークが欲しい。動画をアップする人がつけてくれると良い。</p> <p>③YouTube Kids に含まれる動画をもっと増やしてほしい。5、6歳</p>

	に合う動画が少ない。 ④ルールは公で決めても良いが、見せても良いコンテンツについてはプラットフォームや携帯会社などでアイデアを出し、仕組みを作って欲しい。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 6. 【未就学児／男児／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／男児
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	共用（4歳～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・時間制限（30分） ・場面制限（お風呂上がりや登園前） ・場所制限（リビング）
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	・特になし
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	

ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	①小学校でタブレットを使う前の練習として、上手く使えるようになって欲しいため。
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①教育の一環として物事に関心を持つきっかけとしてうまく使いたいと思ったため。 ②スマートフォンをうまく使えないとまずいと感じたので。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①何が正しいのかが分からない。教育の観点で利用すると良いアプリや、制限の仕方、将来への準備も考えると、現在自分が心掛けていることが合っているのかどうかが分からない。 ②子どもの将来に合わせ、自分も知識情報の面で追いつけるようにしたいがどうしたらよいか分からない。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①誤操作をしたときや年齢が上がったタイミング
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【親向け】 ①制限の仕方や声掛けの仕方など、参考にできるもの。 ②健康面や教育的影響など、リスクやデメリット・メリットが分かるようなガイドライン。絵や図表が付いており端的に紹介しているイメージ。
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	①目に見えるところを増やす。 ②知りたい人の情報量に配慮した情報提供。入口は分かりやすく簡潔で、詳細を知りたい人向けに詳しい情報を提供する。 ③ウェブの記事。TVerのCM。 ④携帯電話会社の窓口に置くパンフレット ⑤1～5秒程度にまとめた、ペアレンタルコントロールのメリッ

	ト・デメリットの提示。図表になっていると良い。 ⑥親に IT 知識がないので勉強できる場や機会が欲しい。携帯会社などで情報リテラシーに関する手助けをしてほしい。
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	①スマホの共用を行っているので親子で機能を切り替えたい。 ②子どものスマホの使い方は親の責任だと考える。親が責任を果たせるように手助けしてくれるようなガイドラインが欲しい。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 7. 【未就学児／女兒／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／女兒
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	親と共用（4歳～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・親の管理下で決められた時間、場所で使う。
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①学習アプリの使用時における「そろそろ終わりにしよう！」というアラート
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	

ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	【親が許可した時間と場所のみ】①共働きで忙しく、夜の時間は貴重。家族全体としての生活リズムを崩されないため。
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	①年齢がまだ幼いから。 ②SNS など他者と繋がることをしていないから。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①親がある程度知っておかないと、教えることが必要になったときに子供に対して受け答えができないと思うから。例えば「どうして自分専用を持ってはいけないの？」といわれた時にこたえられるようにしたい。 ②スマホを持つことのメリットとデメリットがあるので、知っておくことが必要だと思う。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①やめさせるタイミングが難しい（時間を決めて言っているが小さいためわからない）。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①年齢が大きくなったらさらに危機意識をもつかもしいない。②身内やまわりでトラブルがあったらもっと高まる。
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【子ども向け】 ①子ども自身がインターネットから身を守る必要性を認識できるコンテンツ。（危ないよ、と子どもが好きなキャラクターやYouTuber が話しかけてくれるような内容）
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	①テレビ CM・YouTubeCM ※YouTuber 自身の「権利と義務」ではないか。

ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考 え	①子ども自身が「なぜ管理することや制限が必要なのか」がわか かってないと効果がないと思う。抜け道を抜けようとする・反抗す る。 ※子どもからすると、なぜ不便にするのか？合意形成ができない じゃないか？勝手に止めるのが悪い？という感情になるだけ。 ②学校教育と家庭教育の連携は必要。学校が言うことと、家で言 うことがいうことがずれていると、子どもはなめる。
学習用端末状況	
学習用端末利用シー ン	
学習用端末ペアレン タルコントロール状 況（学校）	
学習用端末ペアレン タルコントロール状 況（家庭独自）	

5. 7. 8. 【未就学児／女児／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／女児
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	親と共用（年中～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコント ロール状況	○ ・時間拘束（平日 30 分） ・場所限定（リビング） ・状況設定（親の目の前で使う）
トラブル経験	×
今まで見たことのあ る啓発コンテンツ	①幼稚園の学年懇談会での園長先生の話 ②ウェブの記事

学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	①健康への配慮 ②他の遊びにも興味を持ってほしい ③使い過ぎの抑制 ④子どもの興味関心を把握したい
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①使っているのを見守り続けるのが大変。それを機種で設定できるならやりたいが下の子がいて余裕がない。 ②YouTube の関連動画で子どもに見せたくないものを流さないで欲しい。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①スマホを登録する作業をするときに自動的に設定画面が出てくる。
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【親子向け】 ①年齢に合ったおすすめの内容を都度共有してもらえる
ニーズ②：伝達手段のような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的	①幼稚園からの配布物

であると思うか	
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	①登録したときに一番最初にペアレンタルコントロールの設定が出てくるようにしてほしい。自分で調べたり設定したり、後からやることも面倒。②どういう方法が子どもにとっていい影響を与えるのかなどのベストな方法が知りたい。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 9. 【未就学児／女児／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／女児
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	専用（3歳半～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・時間拘束（平日1時間～1時間半） ・機種への設定（課金禁止）
トラブル経験	①スマホゲームをしている途中で広告をクリックしてしまう。 ②アプリを頻繁にダウンロードしている。評価の低いアプリや親が怪しいと感じる英語のアプリを勝手に入れている。
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①育児番組※長時間利用への注意喚起 ②育児アプリ ③Yahoo! 知恵袋

学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	健康への配慮（視力）
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①スマートフォンの使い過ぎは良くないという啓発を見ていたため。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①父親がペアレンタルコントロールに関心を持っていない。 ②父親が設定の権限を持っているが、コントロールをしてくれない。 ③子ども向けのアプリしかダウンロードできないようなフィルターが欲しい。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①専用の携帯を持つタイミング。
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	<p>【親向け】</p> <p>①設定の仕方、本人に言い聞かせる方法で良いやり方。 ②スマートフォンの脳や発達への影響（パートナーとの話し合いに役立たせたいので）。 ③スマートフォンのコミュニケーションへの影響の懸念に関する詳細な説明。 ④家庭でのルール作りに役立つ、明確な約束事。</p> <p>【子ども・親向け】</p> <p>⑤子どもがすんなりやめたくなるようなモデルやアプリ。「時間が来たからやめよう」と言ってくれるもの。</p>

ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段 でそれが知りたいか、 またはあれば効果的 であると思うか	①身近な幼稚園の先生から子どもへの直接の注意。 ②YouTuber の呼び掛け。
ペアレンタルコント ロール 全体に対する意見・考 え	①子育てにいっぱいいな時に、スマートフォンの利用に甘 くなるときがあるが、出来れば制限は厳しくしたい。どんなとき にも変わらず注意しなければならない状況がプレッシャーになる。
学習用端末状況	
学習用端末利用シー ン	
学習用端末ペアレン タルコントロール状 況（学校）	
学習用端末ペアレン タルコントロール状 況（家庭独自）	

5. 7. 10. 【未就学児／女兒／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／女兒
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	親と共用（1歳～）
アプリ利用状況 ①LINE ②SNS ③YouTube	× × ○
ペアレンタルコント ロール状況	○ ・時間拘束（休日 30 分以内） ・機種への設定（YouTube Kids）
トラブル経験	①母親が小学生のときに見知らぬ人とチャットして氏名や学校 名を教えてしまった。メールで裸の写真を送るよう求められたが 親にもトラブルについて相談出来なかった。長い間トラブル経験

	による恐怖心が消えなかった。
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①ウェブ記事 ②ブログ ③動画閲覧制限についてのクチコミ
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール「実施している」理由	①情緒への影響の心配 ②目の健康への心配 ③子どもの年齢にふさわしくないと感じるコンテンツの制限が必要。
ペアレンタルコントロール「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール「関心がある」理由	① ニュースでメッセージアプリでのいじめやトラブル事例について見聞きしており、気を付けなければと思ったため。 ②自らが小さい時にネットトラブルを体験したため。 ③自らの幼少期と子どもの現状ではネット環境が違うため、経験則で考えるのではなく何かしらの対策が必要だと感じたため。 ④YouTuber の言葉遣いや個人情報がさらされる行為への恐怖心を感じるため。
ペアレンタルコントロール「関心がない」理由	
親として困っていること	①制限はかけたくないものの、何歳ごろまで制限が必要なのかが分からない。 ②制限をし過ぎて子どもに我慢を強いることになる恐れ。 ③YouTube 動画。個人情報をさらしている動画を分別のつかない子どもが見て、真似してほしくない。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①年齢が上がり、使い方や見たいコンテンツへの変化があった場合。 ②年齢にふさわしくないコンテンツが目に入ってしまうことが多くなった場合。
ニーズ	

ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペア レンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	<p>【親向け】</p> <p>①コンテンツのコントロール方法（性的なもの、暴力的なものの制限）</p> <p>【子ども向け】</p> <p>①個人情報を流さないなどの管理の必要性</p>
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	①保育園・幼稚園 ②習い事の教室
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	<p>①親子で別の設定が出来るなら使ってみたい。機械に任せられるコンテンツ制限機能が欲しい。</p> <p>②Twitter や Instagram では自分が承認した人しか見れないようにはしてほしい。</p> <p>③ペアレンタルコントロールへの負担感はない。</p>
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 1 1. 【未就学児／女兒／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／女兒
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	専用（4歳～）

アプリ利用状況 ①LINE ②SNS ③YouTube	× × ○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・場所制限（リビング） ・利用時間（1～2 時間） ・検索制限（iPhone の制限付きモード）
トラブル経験	①共用時に親の知人、仕事関係者に電話をかけてしまったことがあった。
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①特になし。母親の知人、ママ友から情報入手。 ②ウェブ上の情報より家庭の価値観と似た人のリアルな声。 ③iPhone の設定方法画面
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	①健康への懸念 ②親子のコミュニケーションが少なくなる恐れ
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①父母共に幼少時にテレビ視聴の制限があったが、外遊びや時間の使い方でも効果があったと思う。子どもにも同様にメリハリある使い方をしてほしい。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①子どもとの約束事を作っていく過程が難しい。本人が納得していけるように話をしたり、時に厳しく言って聞かせなければならない。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①長時間利用や言葉遣いなど、利用による子供への影響を感じられた時。

ニーズ	
ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	<p>【親向け】</p> <p>①子どもへの約束の守らせ方など、どこの家庭がどういうことをしているかという実例。FAQ。</p> <p>②スマホを使わせることへの体への影響、成長との関係、スマホを使わせる良さなどについて根拠のある説明。</p> <p>③医学的な観点、心理学的観点、ICTの観点、教育的視点などのそれぞれの観点からのアドバイス。</p>
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	<p>①トラブルへの対処を集めたFAQサイト。</p> <p>②子どもや家庭事情に合わせてアドバイスをしてくれる専門家や、気軽に聞ける知識を持った人へのアドバイスが出来る手段。ターニングポイントでアドバイスしてくれる場。</p> <p>③インターネット広告・YouTube動画</p> <p>④テレビ番組コンテンツ。特集番組。</p>
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	<p>①子どもの利用制限をしている手前、親も子どもの見本になる使い方を心掛けている。</p> <p>②スマホを専用にして余計なアプリを排除したことで、トラブルの危険性は低くなった。自分で律したり大事に使うといったポジティブな使い方が出来る。</p> <p>③スマホの使い方の好悪の影響に関して医学的、教育的、心理的な根拠ある情報が欲しい。</p> <p>④国や学校に管理を求めるニーズはない。有害なことが発生する、体に悪いなど、学校には知識を教えてくれることは期待している。管理は家庭に任せて欲しい。</p>
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 1 2. 【未就学児／女兒／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	未就学児／女兒
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	共用（5歳～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・場所制限（リビング） ・時間制限（1時間） ・YouTube Kids
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①個人ブログ ②総務省（保護者向け未就学児を対象としたコンテンツ）、年齢別で注意すべきこと、未就学児用、小中学校用と保護者用の説明、具体的なインターネットトラブル事例集 ③ネット記事など（ニュースにならないような小さく具体的かつ身近なトラブル事例）
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	①1人で使うようになり、自由に使わせるのではなく一定のコントロールが必要だと考えたため。
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①ニュースで SNS を使ったいじめ問題や金銭トラブルについて見聞きしていたため。
ペアレンタルコントロール	

「関心がない」理由	
親として困っていること	<p>①何が良いのか、何が必要かという基準が分からない。考え方の基本を知りたい。</p> <p>②自主性をどこまで重んじるか、コントロールをすべきかなど、どれを優先すべきか分からない。</p> <p>③未就学児向けに参考になる情報が少ない。小学校低学年とは全く異なるため参考にならない。</p>
どういった状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	<p>①スマホを使うようになる、身近な人の事例を聞く、問題提起されるなど、自分事と思える体験をしたとき。</p>
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	<p>【親向け】</p> <p>①具体的な設定方法について知りたい。特に未就学児向け設定に関するルールの内容、決め方。</p> <p>②身近なトラブルの事例集。</p> <p>③リスクの予防方法。</p> <p>④教育の観点からの基本的なスマホ利用の考え方、知識。</p> <p>⑤スマホ利用のルールを決める際に発達、学習面など、何を優先すべきかを考えるために参考となる科学的な根拠。</p> <p>【子ども向け】</p> <p>①子どもの年齢に合った使い方、スマホに関する知識。</p>
ニーズ②：伝達手段のような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	<p>①子ども向けに学校の特別カリキュラム</p> <p>②親子向けに入学式等のイベント後など必然的に参加できる講演会</p> <p>③スマホの設定のなかに必然的にペアレンタルコントロール機能の設定が組み込まれていると良い。購入する過程とか、与える過程の中で必然的に設定されると良い。</p>
ペアレンタルコントロール全体に対する意見・考え	<p>①総務省コンテンツは身近な話題で良かった。子どもの発達や身体面への悪影響は考えていなかった視点だった。メディアを使うとき・与えるときに注意する必要性に気づかされた。一企業のものではないので信頼性・公平性があると感じた。</p> <p>②子どもの発達は1年で全く異なる。未就学児と小学生、小学校でも学年ごとで発達が異なるので未就学児向けのペアレンタルコントロール情報が欲しい。</p>

	<p>③一度買ってしまおうと店頭に行くこともないので後から機能を付加することは面倒で非現実的。</p> <p>④利用の管理をするのは保護者だが、ルールを決める際の基本的な知識や決め方などの指針を国、学校などをお願いしたい。</p>
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

5. 7. 13. 【小学校低学年／男児／「関心はある」かつ「実施していない」】

属性	
学齢／性別	小学校低学年／男児
関心／実施	「関心はある」が「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	共用（4歳～）
アプリ利用状況	
①LINE	○（祖父母との電話限定）
②SNS	×
③YouTube	×
ペアレンタルコントロール状況	×
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	・特になし
学習用端末	○（Chromebook）
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール「実施している」理由	

ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	①利用状況（1日5分程度）から実施の必要は感じていない。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①ネットの世界にはテレビや映画のような公共的なルールがないため自分でラインを設けて子どもを守らないといけない。 ②学年が上がるにつれて自分で操作ができるようになったり、ネットでの世界が広がっていくタイミングで制限が必要になると考えているため。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①コンテンツの視聴方法が多様化している。スマートテレビで動画を見せているが、友人宅ではiPadやスマホで見ている。YouTubeでも使う機器や使い方で、見ているコンテンツや得ている情報量が大きく異なると感じる。 ②ICT利用は積極的ではなかったが、取り入れないと仕方がない。子どもの将来や教育のためににどうやっていけばいいのか分からない。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①子どもが機器を使って出来ることが増えていったタイミングで。例えば自分で検索が出来るようになるとき。
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【親向け】 ①学年に応じた基本設定。これさえやっておけばいいという情報とルールモデルが欲しい。皆が使いそうなアプリについての基本的な設定方法。 ②危機感を持てるような啓発（子どもが危機に陥る前に）。 ③トラブルになった際に親が対処できるような基本的対処方法や知識。 ④性別+学年で異なる使い方に合わせた情報。
ニーズ②：伝達手段のような場や手段でそれが知りたいか、	①公共的な位置付けにしてほしい。 ※学校を介して配布されるチラシは絶対に目を通す。きれいな紙であれば目に付きやすい。

またはあれば効果的 であると思うか	②「振り込め詐欺」に関する注意喚起のような分かりやすく一般的な注意喚起。
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考 え	①ネットを使い始めるタイミングと公共的に啓発するタイミングがずれている。ネット利用に関してもっと年齢の早い段階から注意喚起してほしい。 ②子どもに対する基本的な指針を国が示してほしい。啓発活動も率先して行って欲しい。細かな設定方法や便利な機能などを事業者から知らせて欲しい。そのことで親が危機意識を持てるのではないか。 ③ペアレンタルコントロールを一律に行うことの危険性も感じる。親が遮断しすぎて子どもの正常な成長を阻みかねない不安を持つ。 ④管理を行うのは親の責任だと思うが、倫理的面での責任を特に感じる。
学習用端末状況	
学習用端末利用シー ン	①学習（学校のみ、宿題はなし） ②連絡確認（Google Classroom 掲示板）
学習用端末ペアレン タルコントロール状 況（学校）	ルール： ①アプリを勝手にダウンロードしない。 ②勉強や連絡以外に使わない。 ※フィルタリングしているようだがどういうものかわからない。
学習用端末ペアレン タルコントロール状 況（家庭独自）	・特になし

5. 7. 1 4. 【小学校低学年／女兒／「関心はある」かつ「実施していない」】

属性	
学齢／性別	小学校低学年／女兒
関心／実施	「関心はある」が「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	親と共用（年中～）
アプリ利用状況	
①LINE	×
②SNS	×
③YouTube	○

ペアレンタルコントロール状況	×
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	覚えていない。
学習用端末	○ (Chromebook)
ペアレンタルコントロール実施有無/関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	健康への配慮 (斜視、姿勢)
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	①現状で問題があると感じていないため。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①スマートフォン利用中、姿勢が悪く咳を頻発することがある。 ②言葉遣いの変化が気になる。乱暴な言葉遣いをするが出てきた。 ③意味が分からないまま、下ネタを含むコンテンツを見ているのをやめさせたい。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	①今後、ICTの利活用に精通し、この分野に強い子でいてほしいと考えたため。
親として困っていること	①スマートフォンを暇さえあれば使っている。たしなめているが直らない。 ②姿勢や視力が悪くなる恐れがある。 ③動画の影響で言葉遣いが悪くなっている。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①親が気になるような、下ネタなどのコンテンツを見ている場合、課金してしまう危険性が感じられた場合。
ニーズ	

ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	・ 思いつかない
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	・ 思いつかない
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	①親子で別の設定が出来るのであればやってみたい。 ②親が制限することは大変だが、これは企業に依頼することではなく親の責任だと考えている。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	①宿題をする。 ②連絡帳を見る。
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	・ 特になし
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	・ 特になし

5. 7. 15. 【小学校高学年／男児／「関心はある」かつ「実施している」】

属性	
学齢／性別	小学校高学年／男児
関心／実施	「関心はある」かつ「実施している」
利用状況	
スマホ利用状況	親と共用（年中～）
アプリ利用状況	
①LINE	○
②SNS	×

③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・時間拘束（平均1時間）
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①YouTube で流れている CM ②学校で毎年行っているネットリテラシー講座
学習用端末	○（iPad）
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	健康への配慮
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	①以前は機種で検索ワードのコントロールを行っていたが、機種へのコントロールは本人に任せるため解除。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	①YouTube を見ている時に、勝手におすすめや関連動画が出てきたのだが、それらを幼稚園の子に見せるにはどうかというようなものも出てくるので、関心を持った。 ②スマホの使いすぎは目にも悪いと感じた。自分も疲れることもあり見過ぎは良くないと思っている。 ③ネットのニュース記事で、スマホを1日に1時間見ると記憶力とか想像力が何分失われるという内容を見た。それがNTTか国、任天堂か、結構しっかりしたところが出していたので、時間を決める必要性を感じた。
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	
親として困っていること	①年齢が大きくなるにつれてコントロールできない範囲が増えていく。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性	①具体的な危険事例を聞いたとき

を感じると思うか	
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペ アレンタルコントロ ールについて知りた いか、またはあれば効 果的だと思うか	①具体的にどのような危険があったかという事例
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段 でそれが知りたいか、 またはあれば効果的 であると思うか	①配信動画 ②ネット広告 ③年齢にあったスマホ講座
ペアレンタルコント ロール 全体に対する意見・考 え	①端末に1回設定したら、いわゆる有害なサイトにつながらない ような機能が欲しい。機能は大人・子ども両方に適応でき、 ON/OFF がすぐにできるもの。子どもの検索履歴も知りたい。 ②個人情報を聞いてくる人を通報し、その人のアカウント停止、 もしくは注意喚起が出来る機能が欲しい。または、そういった危 険な可能性のある人をフィルタリングでき、フレンドにもなれな い機能が欲しい。
学習用端末状況	
学習用端末利用シー ン	
学習用端末ペアレン タルコントロール状 況（学校）	①時間の制限：朝6時～夜9時のみ利用可能。 ②Wi-Fiの制限：自宅や屋外でのWi-Fiにつなげられない。端末 自体にギガ数が決められており、Wi-Fiなしで端末自体でどこで もつながるようになっている。 ③コンテンツの制限：ダウンロードできない仕様になっている。
学習用端末ペアレン タルコントロール状 況（家庭独自）	・特になし

5. 7. 16. 【小学校高学年／女兒／「関心はない」かつ「実施していない」】

属性	
学齢／性別	小学校高学年／女兒
関心／実施	「関心はない」かつ「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	専用（小3～）
アプリ利用状況	
①LINE	○
②SNS	×
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	×
トラブル経験	○ ・親の Google アカウントを使い、YouTube 上でコメントを勝手にしていた。
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①YouTube-kids に関する情報 ②Nintendo Switch の時間管理 ③学校からの夏休みの手紙 ④キャリアの窓口説明 ⑤ニュース
学習用端末	○（Chromebook）
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	①単純に設定するのが面倒くさかった。②子どももコントロールできる範囲で使っているため安心感がある。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	① おさえつけるのがそもそも好きではない。 ② iPhone そのものが、ガードが高い機器だと思っている、必要性がない。

	③ 管理することは最終手段だと考えている。
親として困っていること	①使いすぎること。 ②見てるものの予想はついていないが、学齢があがるとともにわからない、特に LINE 等での交友関係がわからないこと。(現状は大丈夫かな?と不安になった場合は履歴で確認している。)
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①迷惑メールや違法性のあるものに出くわすなど、普通に使っていて危険を感じたら。 ②スマートフォン側の脆弱性・危険性を感じたら考える。 ③ひやひやする状況にならないと興味をもたない。(ただし、ひやひやしている状況とは?と聞かれても想像ができない。)
ニーズ	
ニーズ①: コンテンツのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【子ども向け】 ①いじめや犯罪につながる内容 【親向け】 ②学校や教育委員会で決められた設定やルール of 具体例、統一された初期設定 ③フローチャート ※親が個人で調べて設定するのもにも限界がある。学校等で統一してくれると助かる。
ニーズ②: 伝達手段のような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	①学校における外部講師による講座 (専門家に言われるほうが、子どもにとって説得力があるのでは) ②学校からメールでの通知、または文書に QR コードで入れる。 ※紙媒体はみるのは限界、手軽さがほしい。
ペアレンタルコントロール全体に対する意見・考え	①子どもには自立してほしい、自分のことは自分で考えてほしい。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	①オンライン授業・学習。②学習記録。③長期休みの課題 ※普段は学校に置きっぱなし。(家では使っていない。月に1回あるかないかで必要時にもってかえってくるのみ。)

学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	<p>ルール：</p> <p>①極力持ち帰らない</p> <p>②個人的な検索等をしない</p> <p>フィルタリング等：</p> <p>③おそらく設定されていない、またはわからない。</p>
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	<ul style="list-style-type: none"> ・特になし ・学校からの規定に準じている。

5. 7. 17. 【中学生／男児／「関心はある」かつ「実施していない」】

属性	
学齢／性別	中学生／男児
関心／実施	「関心はある」が「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	専用（小5～）
アプリ利用状況	
①LINE	○
②SNS	○
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	○ ・課金制限
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	・特になし
学習用端末	○（Surface）
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール「実施している」理由	<p>①中学生で判断を間違える可能性があり、お金の絡んだトラブルや不正利用を防ぐため。</p> <p>②抑止力として、父親を介して管理することの意味付けを意識してもらいたいため。</p>
ペアレンタルコントロール「実施していない」理由	

ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	①関心はあるが、今は管理の必要がないと考えているため。
親として困っていること	①上の子は心配ないが下の子はコントロールの必要がある。 ②コントロールしたほうがいい兆候が見られれば実施したいが、現在は考えていない。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①何かしらの危険を体験した時。②使い過ぎ、遅くまで使うなど日頃の使い方が気になったとき。
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	【親向け】 ①時間制限の方法
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	①Yahoo!ニュースやスマートニュース ②親のスマートフォン等に届く形でのお知らせ（子どもが配布物を渡さない）
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	①学習用端末でペアレンタルコントロールは不要だと考える。特に中学生は必要ない。誤った使い方をした場合、学校よりも親が責任を負うべき。
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	①学習（宿題）家では30分程度利用。※毎日持ち帰り
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	①ゲームやアプリはDLしない。 ②授業に関係のないことで使わない。 ③フィルタリングについては不明。

学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	・特になし。管理を考えたことがない。管理が必要だとも思わない。何か間違ったことがあれば親の責任。
---------------------------	--

5. 7. 18. 【中学生／女兒／「関心はない」かつ「実施していない」】

属性	
学齢／性別	中学生／女兒
関心／実施	「関心はない」かつ「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	専用（中1～）
アプリ利用状況	
①LINE	○
②SNS	○
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	×
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①キャリアの窓口説明 ②キャリアのウェブサイト ③ニュース（トラブルのニュースの時に専門家が対策として述べていた）
学習用端末	○（ノートパソコン）
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール「実施している」理由	
ペアレンタルコントロール「実施していない」理由	①子どもの性格。もっとスマホを使いこなせたら便利なのに、と教えたいくらい消極的。（下の子は設定している）。 ②制限をかけるということが本来あるべき姿ではない、と思っている（逆に掻き立てるのではないか？）。 ③自己判断できるようになってほしい。
ペアレンタルコントロール「関心がある」理由	

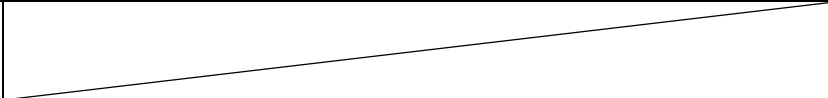
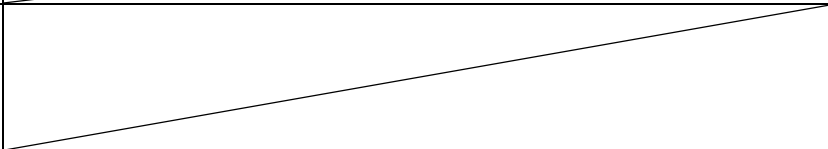
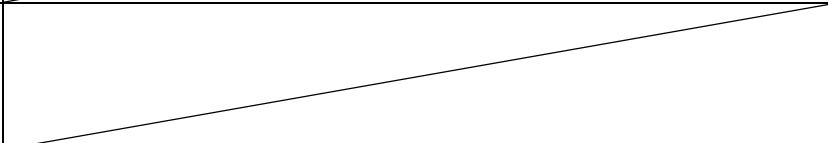
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	①「必要がない」「興味がない」ため。
親として困っていること	・特になし。※年齢が上がって「使いこなせるようになる」と困るかもしれないと思っている。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①ニュース等でスマホの使い方の事件を観る中で「どうしようか」とは話すことはある。
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	<p>【子供向け】【親向け】で難易度等を分けたうえで、</p> <p>①事故やトラブル事例 ②ルール・設定事例集（A 家庭・B 家庭の場合、等） ③設定簡単マニュアル</p> <p>※興味がない人には①、興味がある人には②③など対象によって異なると考える。</p>
ニーズ②：伝達手段のような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	<p>①学習映像コンテンツ：免許の更新のビデオをみたいなもの、「動画」や「音声」など視覚的に捉えられるもの。 ②話し合う場：学校の道徳や保護者会の時間で流す／意識調査を同時にやる。</p> <p>※「意識（必要性）」のうえで「実施（手続き）」をしないと効果がない。例えばキャリアの店頭での説明も、必要性を感じていない時に窓口で説明をうけても「検討するので大丈夫です」となりがちだと思う。</p>
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	<p>①スマートフォンのみを一部として切り取らないことが大切ではないか。親子でコミュニケーションが取れていることがベース。子どものライフスタイルや性格を理解したうえで設定しないと意味がない。 ②初心者が使えるようになるアシスト機能があるとよい。（初心者が判断するのが難しい場合に、フィルタリングという制限するという機能とは別の角度で）</p>
学習用端末状況	

学習用端末利用シーン	①オンライン授業。②Teams でのやりとり ※家と学校両方に持ち帰りする。現在は1週間に1回授業であるくらいとっていた。
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	ルール： ①Teams や zoom 等の決まったものにだけ接続する ②アプリをDLしない ③授業用途のみに使用する フィルタリング等： ④フィルタリングしているようだがどういうものかわからない
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	・特になし ・学校からの規定に準じている。

5. 7. 19. 【高校生／男児／「関心はない」かつ「実施していない」】

属性	
学齢／性別	高校生／男児
関心／実施	「関心はない」かつ「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	専用（中1～）
アプリ利用状況	
①LINE	○
②SNS	○
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	×
トラブル経験	×
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①Nintendo Switch のテレビ CM ②契約したキャリアでの説明、パンフレット ③学校からの夏休みの手紙 ④個人面談での注意喚起（一般論として） ⑤授業参観での「情報」の授業
学習用端末	×
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコント	

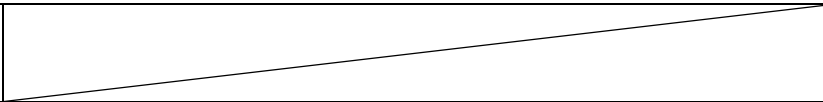
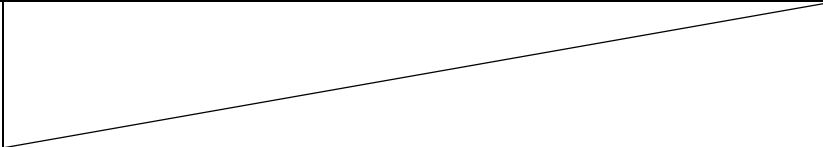
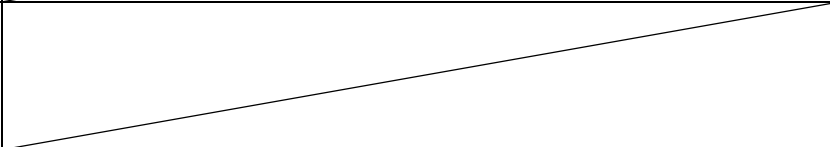
ロール 「実施している」理由	
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	<p>①夫と話したが必要性に至らなかった。子ども自身も、親に見られたりコントロールされたりするのは嫌ではないかと考えた。</p> <p>②トラブルに巻き込まれない限り、好きなように使っているのでは、という甘え考えがある。</p> <p>③Nintendo Switch で一度設定したことがありその時「普通のYouTube」もみれなくなってしまうのですごく制限されていると思った、面白みがなくなったと感じた。利便性をそがれていると思った。</p>
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	<p>①不安でもあるが強く言えない。</p> <p>②ニュースなどを一緒にみたときに念押しで一声かけるようにはしている。</p>
親として困っていること	①使いすぎによる身体への影響。・家の中でいつも持ち歩いている・時間が長い、漫画をいつでも読んでいる・寝落ちしたりしている
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	<p>①知らない人と実際あうなどになった場合。</p> <p>②金銭や物品の授受をするようになってしまった場合。</p>
ニーズ	
ニーズ①: コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	<p>【親子向け】</p> <p>①「睡眠はしっかりとろう」といったような生活習慣と一緒に伝えてくれる内容。</p> <p>※生活のリズムがスマートフォンで崩れがちなので、それを防ぎたい。</p>

<p>ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段 でそれが知りたいか、 またはあれば効果的 であると思うか</p>	<p>① テレビ CM・YouTubeCM：CM で YouTuber の人が投げかける。 (人気があって子供たちが認知のあるひとがわかりやすく投げ かける。) ※紙ベースでみても文字が羅列してあって読まない。映像の方が 印象に残る。 ※テレビや SNS で YouTuber がフォロワー数を競っているのを見 て、高校生もフォロワー数を気にしている状況。この状況と逆に なると思うので、親が「見るな」と規制するのは難しい。</p>
<p>ペアレンタルコント ロール 全体に対する意見・考 え</p>	<p>①親として「コントロールする」という意識は持っていない。 ②その代わりに、フェイクサイトや詐欺サイトなど有害なものを技 術的な方法で対策することはアリだと思う(サービスがあったら お金を払うのはあり)。 ③自分も疎いので、自分でも入れたいかなと思う。「情報のワク チン」接種のようなイメージ。</p>
<p>学習用端末状況</p>	
<p>学習用端末利用シー ン</p>	
<p>学習用端末ペアレン タルコントロール状 況 (学校)</p>	
<p>学習用端末ペアレン タルコントロール状 況 (家庭独自)</p>	

5. 7. 20. 【高校生／男児／「関心はない」かつ「実施していない」】

<p>属性</p>	
<p>学齢／性別</p>	<p>高校生／男児</p>
<p>関心／実施</p>	<p>「関心はない」かつ「実施していない」</p>
<p>利用状況</p>	
<p>スマホ利用状況</p>	<p>専用 (小5か小6～)</p>
<p>アプリ利用状況 ①LINE ②SNS ③YouTube</p>	<p>○ ○ ○</p>

ペアレンタルコントロール状況	×
トラブル経験	①小学生時に動画を作成しアップしたら批判コメントが殺到し本人が怖いと感じた。②SNS 上で知り合った人と会う機会があり不安を感じた。
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①スマホ購入時の店員の説明
学習用端末	○ (iPad)
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	①中学時は時間制限をしていたが、夜遅くに友人との連絡が出来なくなるため時間解除をした。 ②睡眠時に音楽を聴きたいという本人のニーズがあった。 ③年齢を考えると制限しすぎるのは良くない。 ④アプリを設定したことはあるが効果を感じなかった。 ⑤子どもがアプリを突破して解除してしまった。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	①高校生で制限を行うことの方が問題、親が口出しすべきではないと考えているため。
親として困っていること	①母親に知識や技術がない。本来であれば子どもに知られないように管理をしたかった。トラブルがあったときに母親が何も知らなかったという事態を避けたかった。 ②子どもとの信頼関係が崩れる心配はあるが、出来るのであれば子どもの利用管理は行いたかった。
どういう状況になったらペアレンタルコントロールの必要性を感じると思うか	①実際に危険な思いをしたとき。②経験から SNS 上で知り合った人と会って、親も子も恐怖を感じたとき。
ニーズ	

<p>ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか</p>	<p>【親向け】 ①子どもが親の知らない人(SNS上で知り合った人)と会う場合、親が気を付けるべきこと、子どもへの注意の仕方について教えるもの。 【子ども向け】 ②実際に怖い思いを体験した人の事例</p>
<p>ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか</p>	<p>【子ども向け】 ①スマホで閲覧できる。子どもが普段目にするコンテンツ、プラットフォーム上で。</p>
<p>ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え</p>	<p>①子どもが監視されていると気づかないように、子どもの行動履歴が分かる機能が欲しい。 ②年齢が上がるとコントロールしていることがおかしいと感じる。本人の使い方を信じるしかない。 ③子どもの技術が長けているので、コントロールを突破してしまう。 ④親子関係ができており信頼関係があればペアレンタルコントロールは不要だと考えていた。だが、使ううちに親が思ってもいない使い方をし、世界が広がるのでコントロールが効かなくなる。年齢で無条件にコントロールを行う、家族割を契約している間はコントロール必須にする対応も検討してほしい。</p>
<p>学習用端末状況</p>	
<p>学習用端末利用シーン</p>	
<p>学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）</p>	
<p>学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）</p>	

5. 7. 2 1. 【高校生／女兒／「関心はない」かつ「実施していない」】

<p>属性</p>	
<p>学齢／性別</p>	<p>高校生／女兒</p>

関心／実施	「関心はない」かつ「実施していない」
利用状況	
スマホ利用状況	専用（小6～）
アプリ利用状況	
①LINE	○
②SNS	○
③YouTube	○
ペアレンタルコントロール状況	×
トラブル経験	①きょうだいが写真集を買ったが商品が届かなかったトラブルを経験。
今まで見たことのある啓発コンテンツ	①検索して見つけたウェブ記事
学習用端末	
ペアレンタルコントロール実施有無／関心有無の背景	
ペアレンタルコントロール 「実施している」理由	
ペアレンタルコントロール 「実施していない」理由	①子どもの性格上、実施する必要性を感じなかったため。 ②初見で操作が難しいと感じたため。 ③年齢上、必要ないと感じたため。
ペアレンタルコントロール 「関心がある」理由	
ペアレンタルコントロール 「関心がない」理由	①子どもの性格や生活習慣から制限をかける必要を感じなかったため。
親として困っていること	①子どもが自分で設定を外せる。もっと複雑な設定にしてほしい。 ②年齢で一律に設定を外せる仕様ではなく、子どもの使い方に合わせてほしい。少なくとも中学生までは設定を義務化してほしい。
どういう状況になったらペアレンタルコ	①注意しても子どもが使い方を改めようとしないとき。

コントロールの必要性を感じると思うか	
ニーズ	
ニーズ①：コンテンツ どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか	<p>【親向け】</p> <p>①具体的な機能の操作方法。子どもの性格別に必要な機能や機能の操作方法。</p>
ニーズ②：伝達手段 どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか	<p>①手元のアプリを通じて、親に子どもの使い過ぎを警告する連絡が来ると良い。</p>
ペアレンタルコントロール 全体に対する意見・考え	<p>①スマホに一律に制限を掛けて欲しい。制限があることを基本仕様とする。</p> <p>②中学生までは子どもが設定を外そうとしても出来ないようにしてほしい。</p> <p>③スマホを使い立てのときは利用が読めないで、問題が発生した時に手元で分かる資料が欲しい。</p> <p>③アプリが最初から入っている、使い方が面倒でなければ良い。</p>
学習用端末状況	
学習用端末利用シーン	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（学校）	
学習用端末ペアレンタルコントロール状況（家庭独自）	

6. 示唆

6. 1. スマートフォンのペアレンタルコントロールに関する示唆

6. 1. 1. 未就学からペアレンタルコントロールの啓発を推進するとともに、特に中学1年生・高校1年生の保護者を対象に啓発を強化することが効果的

スマートフォンの利用率が高まる中、未就学児のスマートフォン利用率は既に約 25%に達している。また、中学校入学や高校入学など、特にライフステージが変わるタイミングでの利用率が大幅に増える傾向にあり、中学1年生の利用率は 75.4%、高校1年生での利用率は 96.4%である。その一方で、ペアレンタルコントロールについて教えてもらった経験のない保護者は平均して 40%程度おり、少なくない。特に未就学では 50%を超える。実際、保護者インタビュー調査でも、ペアレンタルコントロールや機種・ルールの設定等の経験がなく知識を持っていないという思いが強い保護者が多く存在した。

以上を踏まえ、未就学児の保護者を始めとして広範なペアレンタルコントロールに関する啓発の促進が急務であり、特に、ライフステージが変わるタイミングで実施することが大切である。

6. 1. 2. ペアレンタルコントロールの実施なし・関心なしの保護者の家庭では、青少年が高いリスクにさらされており、重点的な啓発が必要

ペアレンタルコントロールを実施していない・関心のない保護者は、ペアレンタルコントロールに関するリテラシーが低い傾向が顕著に見られた。ペアレンタルコントロールを実施していない理由としては、「子どもを信頼している」という回答が多かったが、実際にはそもそも子どもとのコミュニケーション量が少ない傾向が見られる。青少年のスマートフォン利用に関するトラブル遭遇経験についても不明割合が多く（ペアレンタルコントロールの実施なし・関心なしの保護者で 30.9%）、遭遇に気づいても特に対応しない割合が高い（ペアレンタルコントロールの実施なし・関心なしの保護者で 34.8%）。

青少年が極めて高いリスクにさらされているといえ、引き続きペアレンタルコントロールを実施していなかったり、関心のなかったりする保護者に対する啓発を検討・推進していくことが重要である。

6. 1. 3. スマートフォン利用のポジティブ・ネガティブ影響について調査を行い、エビデンスベースで啓発することが必要

保護者インタビュー調査では、スマートフォンのメリット・デメリットを教育面・IT面・心理面で、エビデンスベースで把握したいという意見が見られた。

啓発に当たっては青少年のトラブル事例やペアレンタルコントロールの方法だけでなく、スマートフォン利用のメリット・デメリットについて、教育・IT・心理・社会生活等様々な面から整理して啓発することが望ましいと考えられる。またそれにあたり、青少年のスマートフォン活用がもたらす様々なポジティブ・ネガティブ影響について調査を実施し、エビデンスを集めることも求められる。

6. 1. 4. 未就学児や年齢の高い青少年であってもスマートフォントラブルに巻き込まれるリスクがあることを啓発することが必要

未就学児の保護者はペアレンタルコントロールを実施していない傾向にあり、その理由として、親の見ていない前でのみスマートフォンを利用させていることがある。しかし実際には、未就学児でも「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった」(3.3%)、「歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり(させたり)物を壊してしまった」(3.2%)、「ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった」(2.6%)等のトラブルに遭遇している。

有識者会議では、目の届く範囲でやらせていたとしても画面を常に監視できるわけではなく、「目の届く範囲でやらせているからペアレンタルコントロールがいらぬ」というのは言い訳に過ぎないという意見が複数出た。また、未就学児に対して、フィルタリングサービスを導入していない保護者のスマートフォンを使わせるより、いっそのことペアレンタルコントロールをしっかりした専用スマートフォンを使わせて管理を徹底した方が良いのではないかという意見も見られた。

高校生の保護者もペアレンタルコントロールを実施していない傾向にあるが、高校生はトラブル遭遇確率が高く、トラブルに遭遇していない確率は最も低い。

以上を踏まえ、未就学児や高校生の保護者が自分事化できるような啓発が必要である。

6. 1. 5. ペアレンタルコントロールの啓発手段としては、インターネット、テレビ・本・パンフレットが有効であり、特に低年齢層には学校や保育園での説明も効果的

ペアレンタルコントロールについて知る手段として多くの人が期待しているのが、インターネットと、テレビ・本・パンフレットである。実際、現在実施している人は、それらの

手段で知った経験が多い。また、未就学児や小学低学年の保護者に向けた啓発には、それらに追加して学校や保育園での説明が強く求められている。

以上を踏まえ、ペアレンタルコントロールの啓発手段としては、インターネット、テレビ・本・パンフレットを引き続き活用することが望ましい。また、特に低年齢層の保護者向けには、積極的に学校や保育園で青少年のスマートフォン利用に関するセミナーを実施したり、コンテンツを配布したりすることが求められる。また、そのような場で活用するためのコンテンツや講座の制作も求められる。

6. 1. 6. トラブルごとに有効な対応方法を、エビデンスベースで啓発することが必要

実際に起こったトラブルに対しては、「スマートフォンを利用する時のルールを厳しくした」(40.0%)、「一定期間スマートフォンの利用を禁止した」(25.9%)、「フィルタリングサービスを利用するようになった」(17.1%)の3つが多く、かつ、成功する人が多かったため、適切なトラブル対応方法として啓発コンテンツに盛り込むことが推奨される。ただし、「スマートフォンを利用する時のルールを厳しくした」と「一定期間スマートフォンの利用を禁止した」は、実施率と成功率の乖離が大きかった。

以上を踏まえ、トラブルへの対応方法としては、ルールの厳格化、スマートフォン利用の一時禁止、フィルタリングサービスが有効であるということと共に、青少年に適切にルールを守らせる方法を啓発することが重要と考えられる。

6. 1. 7. ペアレンタルコントロールを現在実施していない保護者には、実際に起こる青少年のトラブルやその影響、具体的なペアレンタルコントロール手法と効果、コミュニケーションの重要性について、インターネット、テレビ・本・パンフレット、学校や保育園での説明で啓発することが効果的

現在ペアレンタルコントロールを全くしてない保護者の中でも、ペアレンタルコントロールに関心のある保護者の79%、関心のない保護者の48.4%は、きっかけがあればペアレンタルコントロールを実施したいと思っていることも分かっている。きっかけとして特に多かったのは「子どもの身体・健康への影響がどの程度あるのかを知ることができる」で、保護者が自分の子供のこととして自分事化して、危機感を抱けるようになることが重要といえる。また、「ルールを子どもが破ってしまった時の適切な対応の仕方を知ることができる」や「それぞれの取り組みをすることで抑えられるトラブルを知ることができる」など、具体的な手法やその効果に関するものも多かった。実際、保護者インタビュー調査でも、「具体的な身近な事例のほうが理解しやすく、関心・危機感を持ちやすい。」「家庭や子どもに合っ

た設定をするための基本的に設定すべき機能やルールのガイドラインが欲しい。」という意見が見られた。

さらに、ペアレンタルコントロールを実施していない理由としては、子どもを信頼しているからが多かった。その一方で、ペアレンタルコントロール実施あり・関心ありの保護者に比べて、そうでない保護者は顕著に子どもとのコミュニケーション量が少ない。また、青少年がネット上のトラブルに巻き込まれた時に親に相談しないことがあると思う人が少なく、理解が乏しい。

ペアレンタルコントロールについて実施なし・関心なしの保護者は、ペアレンタルコントロールについて知る手段として「学校や保育園・幼稚園等で知ることができる」へのニーズが相対的に高い。そのような場で強制的に教えられることが、実施も関心もないグループでは有効と考えられる。

以上を踏まえ、まず、ペアレンタルコントロールを現在実施していない保護者には、実際に起こる青少年のトラブルやその影響、具体的なペアレンタルコントロール手法、各ペアレンタルコントロールの効果を啓発することが効果的である。また、何となく子どもを信頼するのではなく、しっかりコミュニケーションをしていくことが、トラブルの早期発見や予防に重要だということも啓発する必要がある。手段としては、インターネット、テレビ・本・パンフレット、学校や保育園での説明と多角的に実施していく。

6. 2. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールに関する示唆

6. 2. 1. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールの啓発を推進することが必要

学習用端末についての家庭内でのペアレンタルコントロールを実施していない理由としては、学校が管理・指導すべきだという考えと、そもそも強く制限されておりペアレンタルコントロールをする必要性を感じていないというものがある。また、学習用端末のフィルタリングサービスについて教えてもらった経験のない保護者が49.4%と、家庭内ルールについて教えてもらった経験のない保護者が47.1%であり、これらの値はスマートフォンよりもかなり高い。

しかし実際には、学習用端末でのトラブルとして「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった」、「SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた」、「インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見てしまった」、「歩きながらの学習用端末利用でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった」が多く、全体的にスマートフォンよりは低いものの、トラブルは存在していた。また、特に小学低学年では「インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたし

てしまった」が3.7%で小学高学年と中学よりも高く、2番目に「歩きながらの学習用端末利用でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった」（2.4%）が来ているのも特徴的である。

以上を踏まえ、学習用端末でもトラブルが発生していて家庭内でのペアレンタルコントロールが必要であるということや、特にトラブルとしてはインターネットの使い過ぎ、いじめや誹謗中傷を受ける問題、不適切な内容を見ってしまう問題、歩きながらの利用、といった点が多いことを啓発することが求められる。また、小学低学年は特に学習用端末でのトラブルが多いこと、インターネットの使い過ぎと歩きながらの利用の危険性を啓発することも必要である。

6. 2. 2. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて、学校での説明をより拡充すると同時に、保護者の相談に応える機会もさらに設定することが必要

家庭内でのペアレンタルコントロールについて知りたい手段としては、「端末配布時に、学校からの直接説明・保護者宛のプリントなどで知ることができる」が約36%でトップであった。また、ペアレンタルコントロールに関心を持ったきっかけとして、「端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたから」が約24%でやはりトップで、現在家庭内でのペアレンタルコントロールに関心のない保護者が関心を持ちそうなきっかけとしても「端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたら」が約20%で最多であった。家庭内でのペアレンタルコントロールをしている理由のテキスト分析でも、学校からの呼びかけとの回答が多かった。さらに、現在家庭内でのペアレンタルコントロールを全くしてない保護者でも、関心のある保護者の81.6%と関心のない保護者の58.1%が、何かきっかけがあれば家庭内でのペアレンタルコントロールをしようと思うと回答している。

しかしその一方で、家庭内でのペアレンタルコントロールについて「端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで教えてもらった」はトップであるものの約25%しかおらず、「端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで教えてもらった」は約14%であった。また、トラブルがあった際に「学校に相談した」という人は27.7%と多かったが、それによってトラブル対応に成功した人は16.4%にとどまった。

有識者会議では、入学説明会、配布時、配布に伴う全体説明会などで学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールの啓発をすることが重要であるとの指摘があった。

以上を踏まえ、学校で端末を配布する際や、それ以外の講演会などで、学習用端末で起こりうるトラブルや家庭内でのペアレンタルコントロールについて、より啓発を広げていく必要がある。また、保護者の相談に応える機会もより増やし、学校に相談することでトラブルを解決するような場面を増やすことも大切である。

6. 2. 3. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールの啓発資料として、インターネットコンテンツを拡充することが必要

学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについて読んだり教わったりした経験として、インターネットが約 14%と、スマートフォンの約 25%に比べて低かった。また特に、家庭内でのペアレンタルコントロールについて実施なし・関心なしの保護者ではインターネットを通じてフィルタリングサービスに関する情報を得た経験が 1.3%、家庭内ルールに関する情報を得た経験が 1.5%と、著しく低かった。これらの背景には、学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールについてはインターネット上にコンテンツが少なく、よく調べないと学ぶことができないことがあると考えられる。

以上を踏まえ、学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールやトラブル事例についても啓発資料を作成し、インターネットのアクセスしやすい場所で公開することが求められる。

6. 2. 4. 学習用端末の家庭内でのペアレンタルコントロールの啓発に当たっては、適切な学校と保護者の指導の連携・分担の方法、学習用端末のトラブルの子どもへの影響、ルールを子どもが破った時の適切な対応の仕方などを盛り込むことが効果的

家庭内でのペアレンタルコントロールをしていない保護者が家庭内でのペアレンタルコントロールをしたいと思うこととしては、「適切な学校と保護者や家庭での指導の連携と分担の方法を知ることができる」、「子どもの学習・成績への影響がどの程度あるのかを知ることができる」「ルールを子どもが破ってしまった時の適切な対応の仕方を知ることができる」が多かった。

以上を踏まえ、適切な学校と保護者の指導の連携・分担の方法、学習用端末のトラブルの子どもへの影響、ルールを子どもが破った時の適切な対応の仕方などを含めると、現在家庭内でのペアレンタルコントロールをしていない保護者にも効果的と考えられる。

6. 3. スマートフォン・学習用端末のペアレンタルコントロールに関する啓発全般について

6. 3. 1. 啓発資料は手軽さ・分かりやすさを重視して作成することが効果的

スマートフォン利用のペアレンタルコントロールに関する啓発資料を作成し、青少年がスマートフォンや学習用端末を利用して、かつ、ペアレンタルコントロールを実施していない保護者に提示したところ、高い啓発効果が確認された。ペアレンタルコントロールに関心のない保護者に対しても、「さらに知りたくなった」「現在のやり方では不足していると

感じた」と回答した人の割合が、スマートフォンでも学習用端末でも5割を超えたり、少なくとも1つに該当した保護者が100%になるなど、大きな意識変化が見られた。

さらに、コンテンツへの総合評価は「やや良かった」以上がスマートフォンで86.3%、学習用端末で94.6%と非常に高く、ペアレンタルコントロールに関心のない人からの支持も高かった77.9%と89.2%となっていて極めて高かった。特に評価されたのは、内容が分かりやすかった、文章の量が適切で読みやすかったという点であり、今回のデザイン・仕様・内容は十分に啓発に適しているといえる。

以上を踏まえると、特にペアレンタルコントロールに関心のない層に対しては、内容を充実させることよりも、分かりやすく理解のしやすい文字数・文字の大きさ・イラスト・色合いを重視し、資料を作成することが望ましいといえる。

6. 3. 2. 青少年向けのスマートフォン・学習用端末利用に関する啓発資料を拡充させることが必要

作成した啓発資料への意見として、「この内容では青少年と一緒に読むことが難しいため、より分かりやすい青少年向けのコンテンツ（漫画・動画など）が欲しい」というものが複数見られた。

また、有識者会議では、青少年も親に守ってほしいと思っている子が多く、青少年と保護者が共に学べるコンテンツの作成は意義があるという意見があった。

以上を踏まえ、青少年も分かりやすく学ぶことができ、そこからコミュニケーションを取りながらペアレンタルコントロールを実施できるようなコンテンツを作成することが望ましいといえる。

6. 3. 3. ペアレンタルコントロールの実施なし・関心なしの保護者へは啓発コンテンツだけでなく、強制参加の説明会などで丁寧なコミュニケーションが必要

作成した啓発資料に対しては、一部「あまり良くなかった」「良くなかった」という評価も見られた（スマートフォンで13.7%、学習用端末で5.5%）。その理由としては、「知っている内容ばかりだった」「ほしい情報がなかった」というものが多かった。その一方で、調査対象となったペアレンタルコントロールを実施していない保護者は、ペアレンタルコントロールに関するリテラシーが低く知識が少ない傾向にあることが分かっている。

以上を踏まえると、「知っている」といってペアレンタルコントロールの必要性を取り合わない、やらない人に対しては、面で広めるコンテンツ以外の方法として、強制参加の説明会などで丁寧なコミュニケーション等の方法での啓発も必要と考えられる。

A 1. アンケート調査票²¹

F1

あなたの性別をお知らせください。

ひとつだけ **必須**

男性

女性

[改ページ](#)

F2

あなたの年齢をお知らせください。

必須

歳

²¹ 調査票中「表示条件ここまで」「表示条件ここから」「改ページ」など書かれているが、実際の調査においては回答者に表示されていない。

F3

あなたのお住まいをお知らせください。

ひとつだけ

必須

選択してください



F4

あなたは結婚していますか。

ひとつだけ

必須

結婚していない（未婚・離死別）

結婚している

F5

あなたの職業をお知らせください。

ひとつだけ

必須

会社員・役員

自営業

専門職（医師、弁護士、美容師、デザイナー等）

公務員

学生

専業主婦・専業主夫

パート・アルバイト・フリーター

無職・定年退職

その他

本アンケート調査は、国際大学グローバル・コミュニケーション・センターが研究の一環で執り
行うものです。
アンケート調査では、あなたやお子様のスマートフォン利用等についてお聞きします。お子様の
インターネットの利用について繊細なことを伺う質問が一部あります。
このアンケート調査は匿名で行われ、得られたデータは集計・分析されます。調査結果は研究以
外では使用しません。
この調査に参加するかどうかはあなた自身でお決めください。調査の協力有無によってあなたが
不利益を被ることはありません。
アンケートへの回答を以て、調査協力について同意したものとさせていただきます。

[改ページ](#)

PQ1

同居している **お子様の人数**を、男の子と女の子それぞれお答えください。

それぞれひとつだけ

必須

	男の子	女の子
	↓	↓
1人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3人	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4人以上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
その性別の子どもはいない	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[改ページ](#)

[表示条件ここから](#)

PQ2

同居しているなかで、一番大きいお子様の年齢（学齢）をお答えください。

ひとつだけ

必須

3歳より下

3歳

4歳

5歳

6歳で未就学

小学1年生

小学2年生

小学3年生

小学4年生

小学5年生

小学6年生

中学1年生

中学2年生

中学3年生

高校1年生

高校2年生

高校3年生

高校3年生より上

改ページ

PQ3

同居している一番大きいお子様の性別をお答えください。

ひとつだけ

必須

男の子

女の子

[改ページ](#)

PQ4

同居している一番大きいお子様は、インターネットに接続できる機器として何をお使いですか？

この中から、使っているものをすべてお選びください。

いくつでも

必須

スマートフォン

小・中学校で配られた学習用端末

この中にはない

PQ5

同居している一番大きいお子様のスマートフォンの利用状況を、お答えください。

ひとつだけ

必須

そのお子様専用のものを持っており、それを利用している

兄弟姉妹で共用のものを持っており、それを利用している

親（自分または配偶者）の機器を用いて、親が見ている前でのみ利用している

親（自分または配偶者）の機器を用いて、一人で利用することがある

その他の形態で利用している

わからない

PQ6

同居している一番大きいお子様がスマートフォンと小・中学校で配られた学習用端末
を利用し始めた時期をお答えください。

それぞれひとつだけ

必須

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

	スマートフォン	小・中学校で配られた学習用端末
	↓	↓
3歳より下	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3歳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4歳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5歳	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6歳で未就学	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
小学1年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
小学2年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
小学3年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
小学4年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
小学5年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
小学6年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
中学1年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
中学2年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
中学3年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高校1年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高校2年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高校3年生	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
高校3年生より上	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

PQ7

同居している一番大きいお子様は、平日に家でどのくらいの時間、それぞれの機器を使いますか。

それぞれ最も近いものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

	スマートフォン	小・中学校で配られた学習用端末
	↓	↓
0分（平日は使わない）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15分未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15分～30分未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30分～1時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1時間～2時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2時間～3時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3時間～4時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4時間～5時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5時間～	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

改ページ

PQ8

同居している一番大きいお子様は、**休日に家でどのくらいの時間**、それぞれの機器を
使いますか。

それぞれ最も近いものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

	スマートフォン	小・中学校で配られた学習用端末
	↓	↓
0分（休日は使わない）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15分未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15分～30分未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30分～1時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1時間～2時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2時間～3時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3時間～4時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4時間～5時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5時間～	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[改ページ](#)

表示条件ここまで

表示条件ここまで

PQ9

一番大きいお子様が使っているスマートフォンについて、**契約しているキャリア**をお答えください。

ただし、一番大きいお子様が複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

ひとつだけ

必須

au

docomo

Softbank

楽天モバイル

その他

契約は切れている

[改ページ](#)

本調査

Q1

あなたのパソコンについてのスキルや知識についてお伺いします。
最も近いものを一つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		よくできる	少しできる	できない・試したことがない
インターネットが自由に使える	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Wordなどで文章中心のレポートを作成できる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Wordなどで画像を入れたり、表を作成できる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
Excelなど表計算ソフトでの計算や図表の作成ができる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
PowerPointなどで発表用の資料を作成できる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
スマートフォンやデジタルカメラなどで撮った写真や画像の管理ができる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
マニュアル等を参照しながら、ソフトのインストールや周辺機器（プリンターなど）の接続・設定ができる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
使ったことのないソフトでもヘルプやマニュアルを見て、操作できる	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		よくできる	少しできる	できない・試したことがない

改ページ

Q2

一番大きいお子様とのご家庭でのコミュニケーションについて、お伺いします。
この中から、それぞれ当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		かなり当てはまる	すこし当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない
	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
食事をするときは、子どもと色々なことをよく話す	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子どもの言葉づかいのことで子どもとよく話す	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
将来や進路について子どもとよく話す	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
スマートフォンや学習用端末の使い方について子どもとよく話す	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
最近、学校や保育園・幼稚園であったことについて子どもとよく話す	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
学習・勉強について子どもとよく話す	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
友達やクラスメイトなど人付き合いについて子どもとよく話す	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供から悩みを相談される	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		かなり当てはまる	すこし当てはまる	あまり当てはまらない	ほとんど当てはまらない

改ページ

Q3

お子様のスマートフォンの利用について、正しい内容は次のうちどれでしょうか。
文章をよく読み、**正しいと思うものをこの中から全てお選びください。**

いくつでも

必須

- ネット上では、匿名で書き込めば特定されないので悪口を言うことができ、犯罪にもならない
- 無料と記載してあるゲームであれば、一切お金がかかることはないので、安心して子どもに利用させて良い
- ゲームサイトやコミュニティサイトのような「非出会い系サイト」でも、子どもの犯罪被害が起きている
- SNSで子どもが学校名や住所、写真などの個人情報を掲載しても、見ることができるのは友達だけだ
- 公式アプリマーケット上のアプリは信頼性・安全性が高いので、全て安心して使って良い
- SNSは出会い系サイトとは異なるので、子どもが性犯罪に巻き込まれることはない
- オンラインゲームでいじめが起こることはないので、子どもに安心して使わせて良い
- 出会い系サイトでの交際相手募集では、18歳未満の書き込みは禁止されている
- 非公開設定にしているSNSアカウントであれば、個人を特定できるような画像をアップロードしても問題ない
- フィルタリングを利用してれば、子どもがスマートフォンを使ってトラブルに遭うことは絶対にならない
- この中に正しいものはない

改ページ

Q4

お子様のスマートフォンの利用について、正しい内容は次のうちどれでしょうか。
文章をよく読み、**正しいと思うものをこの中から全てお選びください。**

いくつでも

必須

子どもがオンラインゲームを利用する際には、**ゲームをする時間を事前に決めておくことが重要である**

子どもがスマートフォンでネット接続する時は**フィルタリングを設定するべきである**

友人3人と撮った写真をSNSに上げる際には、写っている友人全員の許可を取るべきである

保護者は、**青少年にインターネットを適切に活用する能力を習得させるよう努めなければならないと、法律で定められている**

子どもが**SNSで友人ともめてしまった時は、子ども一人で解決させるべきだ**

ネットで商品を購入する際、**保護者名義のクレジットカードを子どもに使わせても良い**

保護者は、**子どもにスマートフォンを使わせてはならない**

子どもがスマートフォンを利用する場合、**家庭でルールをつくり、保護者が利用状況を十分に把握する必要がある。**

スマホ画面から発せられるブルーライトを浴び続けたり、狭い画面を長時間見続けると、**健康障害が発生する可能性がある**

スマートフォン利用時間のコントロールは、平日と休日で分けるなど、**子どもの生活に合った形にすることが大切だ**

この中に正しいものはない

改ページ

これから、あなたが一番大きいお子様のスマートフォンの利用についてお尋ねします。

Q5

あなたが一番大きいお子様は以下のことを、スマートフォンで日ごろ利用していますか。

日ごろ利用しているものとして、当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画など）

ゲームアプリ（Pokémon Go・モンスターストライクなど）

学習・勉強・知育アプリ（Studyplus・コソ勉・こどもちゃれんじ・単語帳メーカーなど）

メッセージアプリ（LINE・Messengerなど）

SNS（Facebook・Twitter・Instagram・TikTokなど）

インターネットブラウザ・検索サービス（Safari・Google Chrome・Yahoo!JAPANなど）

フリマアプリ、ショッピング・オークションサイト（メルカリ・Amazon・楽天など）

Eメールアプリ（メール・Gmailなど）

漫画アプリ（LINEマンガ、ジャンプ+、ピッコマ!など）

その他

改ページ

Q6

あなたは、あなたの一番大きいお子様のスマートフォンの利用について、以下のことを
知ることにどれくらい関心がありますか。

それぞれ当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		非常に 関心がある	まあ 関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
フィルタリングサービスを使って子どものスマートフォンの利用を管理する方法	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
適切なスマートフォン利用に関する家庭でのルールの作り方	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他の子どもがスマートフォンを利用して遭遇したトラブル事例	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

改ページ

Q7

Q6で「非常に関心がある」「まあ関心がある」を選んだものについてお聞きます。

あなたはなぜそれらに関心を持ちましたか。

それぞれ当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

	フィルタリングサービスを利用して子どものスマートフォン利用を管理する方法	適切なスマートフォン利用に関する家庭でのルールの作り方	他の子どもがスマートフォンを利用していて遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
あなた自身がスマートフォンでトラブルに遭ったことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたの子どもがスマートフォンでトラブルに遭ったことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
幼稚園・学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネットにのめり込むなど、子どもに <u>注意してもスマートフォンを止めない</u> ことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子どもの <u>学習・成績や健康への影響が心配</u> だから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
販売店で説明を受けたから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネット上で情報を見たことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビのニュースや新聞で情報を見たことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で聞いたことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリやゲームの利用中に見たことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CM・広告で見たことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人や保護者同士の会話の中で知ったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特に理由はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィルタリングサービスを利用して子どものスマートフォン利用を管理する方法	適切なスマートフォン利用に関する家庭でのルールの作り方	他の子どもがスマートフォンを利用していて遭遇したトラブル事例
	を管理する方法	する	事例

Q8

Q6で「あまり関心がない」「全く関心がない」を選んだものについてお聞きます。
あなたはなぜそれらに関心がないのでしょうか。
それぞれ当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

	フィルタリングサービスを使って 子どものスマートフォン利用を管理する方法	適切なスマートフォン利用に関する 家庭でのルールの作り方	他の子どもがスマートフォンを 利用していて遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
過去に <u>あなた自身</u> がスマートフォンで <u>トラブルに遭ったことがない</u> から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
過去に <u>あなたの子供</u> がスマートフォンで <u>トラブルに遭ったことがない</u> から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
過去に <u>あなたやあなたの子供と近い子ども</u> （学校の友人など）がスマートフォンで <u>トラブルに遭った話を聞いたことがない</u> から	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

子どもを信頼しているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども自身が考えて学ぶべきことだと思うから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
トラブルが起きたとしても、子ども自身が解決できる年齢だから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子どもがスマートフォンをあまり利用していないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
普段からよく言い聞かせているので必要ないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子供を管理するのが好きではないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
スマートフォンや通信事業者を信じているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特に理由はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィルタリングサービスを使って 子どものスマートフォン利用を管理する方法	適切なスマートフォン利用に関する 家庭でのルール作り方	他の子どもがスマートフォンを 利用していて遭遇したトラブル事例

改ページ

Q9

Q6で「あまり関心がない」「全く関心がない」を選んだものについてお聞きます。
あなたは**何があればそれらに関心を持つようになる**と思いますか。
それぞれ**当てはまるものを全て**お選びください。

それぞれいくつでも

必須

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

	フィルタリングサービスを使って 子どものスマートフォン利用を管理する方法	適切なスマートフォン利用に関する 家庭でのルール作り方	他の子どもがスマートフォンを 利用していて遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
今後、 あなた自身 がスマートフォンで トラブルに遭ったら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今後、 あなたの子ども がスマートフォンで トラブルに遭ったら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今後、あなたの子どもが 注意してもスマートフォンを止めない ようになったら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたの子どもの 学習・成績に影響が出ている と感じたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたの子どもの 身体・健康に影響が出ている と感じたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネット 上で情報に触れたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビのニュースや新聞 で情報に触れたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
幼稚園・学校の 保護者会・PTAの会合・講演会 などで説明を受けたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
販売店 で説明を受けたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィルタリングサービスを使って 子どものスマートフォン利用を管理する方法	適切なスマートフォン利用に関する 家庭でのルール作り方	他の子どもがスマートフォンを 利用していて遭遇したトラブル事例
国や地方公共団体や民間団体が行う講座 を受けたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリやゲームの利用中 に情報に触れたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

CM・広告で情報に触れたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人や保護者同士の会話の中で聞いたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今後、子どもが専用のスマートフォンを持つようになったら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今後、子どもが知らない人とやり取りしたり、課金したりし始めたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
何があっても関心を持つとは思わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィルタリングサービスを使って子どものスマートフォン利用を管理する方法	適切なスマートフォンの作り方	他の子どもがスマートフォンを遭遇したトラブル事例

Q10

あなたは、あなたの一番大きいお子様の**スマートフォンの利用**について、**以下のことを現在または過去にしていたでしょうか。**
それぞれ**当てはまるもの**をお選びください。

それぞれひとつずつ

必須

	現在して	過去にし	したこと
	いる	ていたが、現在はしていない	はない
「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」「合計〇〇時間まで利用していい」など、 利用時間に関する約束 をしている	→	○	○
「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など 情報の取扱いに関する約束 をしている	→	○	○
トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は 必ず相談する約束 をしている	→	○	○
SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は 知っている人だけに するよう約束をしている	→	○	○
「悪口や不快な内容を書き込まない」など、 投稿内容に関する約束 をしている	→	○	○
スマートフォンは親がいるところ で だけ 使うように約束している	→	○	○
「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「お金を使う時には必ず親に言う」など、 お金に関する約束 をしている	→	○	○
フィルタリングサービスを使って子どもの スマートフォン利用状況を確認 している	→	○	○
フィルタリングサービスを使って子どもが使える アプリ・サービスを制限 している	→	○	○
	現在している	過去にしていたが、現在はしていない	したことはない

Q11

Q10で「現在している」と回答した項目がある方にお伺いします。
子どものスマートフォン利用について、なぜQ10で挙げられてたことをし始めたので
しょうか。
きっかけを自由にお書きください。

必須

[改ページ](#)

表示条件ここから

Q12

Q10で「現在している」と回答した項目が無い方にお伺いします。
子どものスマートフォン利用について、なぜQ10で挙げられてたことをしていないので
しょうか。
理由を自由にお書きください。

必須

[改ページ](#)

Q13

Q10で「現在している」と回答した項目が無い方にお伺いします。

何があれば、子どものスマートフォン利用について、Q10で挙げられてたことをしたい
と思うでしょうか。

当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

子どもの**学習・成績への影響**がどの程度あるのかを知ることができる

子どもの**身体・健康への影響**がどの程度あるのかを知ることができる

同世代の子どもの持つ親が、**どの程度Q10で挙げられたことをしているのか**を知ることができる

それぞれの**取り組みの具体的なやり方**を知ることができる

具体的な**子どもとの話し合いの方法**を知ることができる

適切な**学校と保護者や家庭での指導の連携と分担**の方法を知ることができる

ルールを子どもが破ってしまった時の適切な対応の仕方を知ることができる

それぞれの**取り組みをすることで抑えられるトラブル**を知ることができる

その他

何があってもしたいと思わない

改ページ

表示条件ここまで

Q14

あなたは、一番大きい子どものスマートフォン利用について、以下のことを何で知りたいですか。

知りたい手段として当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

	フィルタリングサービスを使って子どものスマートフォン利用を管理する方法	適切なスマートフォン利用に関する家庭でのルール作り方	他の子どもがスマートフォンを 利用して 遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
販売店で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学校や保育園・幼稚園等で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビ番組や新聞、或いは、本、パンフレットで知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネット（ウェブページや動画）で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリやゲームの利用中に知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CM・広告で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人や保護者同士の会話の中で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特に知りたいと思わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Q15

あなたは、子どものスマートフォンに利用について、以下のことを読んだり教えてもらったりしたことはありますか。

経験したこととして当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

	フィルタリングサービスの利用を管理する方法 子どものスマートフォン	適切なスマートフォンの作り方 利用に関する	他の子どもがスマートフォンを 利用して遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
販売店で教えてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学校や保育園・幼稚園等で教えてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビ番組や新聞で見た、或いは、本、パンフレットで読んだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネット（ウェブページや動画）で見た	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリやゲームの利用中に知った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CM・広告で知った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
読んだり教えてもらったりしたことはない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィルタリングサービスの利用を管理する方法 子どものスマートフォン	適切なスマートフォンの作り方 利用に関する	他の子どもがスマートフォンを 利用して遭遇したトラブル事例
	グササービスの利用を管理する方法 子どものスマートフォン	適切なスマートフォンの作り方 利用に関する	他の子どもがスマートフォンを 利用して遭遇したトラブル事例

Q16

あなたの一番大きいお子様は、これまでにスマートフォンを利用して、以下のよ
うな**トラブルに実際に遭ったことがある**でしょうか。

この中から、実際に遭遇したトラブルとして、**当てはまるものを全て**お選びくださ
い。

いくつでも

必須

SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで**いじめや誹謗中傷**を受けた

友人・知り合いに**性的な自画像**を送ってしまった

友人・知り合いから**性的な自画像**を受け取った

インターネットを通じた知り合いと**実際に会って性的暴行を受けた**（受けそうになった）

インターネット上で**アダルトサイトや薬物・犯罪情報**など、不適切な内容を見しまった

インターネットの**使い過ぎ**により、**体調や学業に支障**をきたしてしまった

<input type="checkbox"/> フィッシング詐欺 などに遭い、自宅の連絡先や学校などの 個人情報 が漏洩してしまった
<input type="checkbox"/> フリマアプリやECサイトで 過剰に物を買って しまった
<input type="checkbox"/> オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で 過度な課金（支払い） をしてしまった
<input type="checkbox"/> 歩きスマホ・ながらスマホ でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった
<input type="checkbox"/> ワンクリック詐欺 に遭い、意図していない契約による 多額の請求 が来てしまった
<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> トラブルに遭ったことはない
<input type="checkbox"/> トラブルに遭っているかわからない

[改ページ](#)

表示条件ここから

Q17

q16でいずれかのトラブル遭遇経験があると回答した方にお伺いします。
そのトラブルの中で、**直近で遭遇したトラブル**は何ですか？
この中から、当てはまるものを1つお選びください。

なお、q16で1つしか選択していないときは、それを選択してください。

ひとつだけ

必須

〽

- SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた
- 友人・知り合いに性的な自画像を送ってしまった
- 友人・知り合いから性的な自画像を受け取った
- インターネットを通じた知り合いと実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）
- インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見しまった
- インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった
- フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった
- フリマアプリやECサイトで過剰に物を買ってしまった
- オンライン（ゲームアプリや漫画アプリなど）で過度な課金（支払い）をしてしまった
- 歩きスマホ・ながらスマホでけがをしたり（させたり）物を壊してしまった
- ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった
- その他

改ページ

Q18

前問でご回答頂いた、直近遭遇したトラブルについてお伺いします。
あなたはそのトラブルに対してどのように対応されましたか？
この中から、当てはまるものを全てお選びください

いくつでも

必須

無視をするように子どもに言った

学校に相談した

ネットトラブルの専門窓口¹に相談した

周囲の知人に相談した

スマートフォンを利用する時のルールを厳しくした

一定期間スマートフォンの利用を禁止した

問題の発生したアプリを削除した

フィルタリングサービス²を利用するようになった

その他

特に対応はしていない

[改ページ](#)

表示条件ここまで

Q19

前問でご回答頂いた、直近遭遇したトラブルへの対応についてお聞きします。
その対応は上手くいったと思うでしょうか。

最も近いものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

非常に上手くいった

まあ上手くいった

どちらともいえない

あまり上手くいかなかった

全く上手くいかなかった

改ページ

Q20

子どもがネット上のトラブルに巻き込まれた時に、親に相談しないことがあると思
いますか。

最も近いものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

そういうこともあると思う

まあそういうこともあると思う

どちらともいえない

あまりそういうことはないと思う

そういふことはないと思う

[改ページ](#)

[表示条件ここから](#)

これから、あなたの一番大きいお子様の小・中学校で配られた学習用端末の利用についてお尋ねします。

Q21

あなたの一番大きいお子様の小・中学校で配られた学習用端末はどのように利用していますか。

利用している形態として当てはまるものをすべてお選びください。

いくつでも

必須

通常の授業がある期間に日常的に、学校から家に持ち帰って利用している

長期休暇のときに、学校から家に持ち帰って利用している

欠席や学級閉鎖のときに、学校から家に持ち帰って利用している

フィルタリングサービス（有害サイトのアクセス防止、アプリのインストール制限など）が導入されている

フィルタリングサービス以外の見守りサービス（自殺関連サイトにアクセスすると学校に通知が行くなど）が導入されている

- 利用できる時間が定められていて、それ以外の時間では起動しない
- 端末の利用について、困ったときは教員や学校で紹介されたアドバイザーに相談できる
- インターネットには接続せず、オフラインでのみ利用している
- 学習目的でのみ利用が許可されている
- この中にはない

改ページ

Q22

q21で「フィルタリングサービスが導入されている」と回答された方にお伺いします。
フィルタリングサービスが導入されていることによって、**学習に何らかの支障があった経験**はありますか？

以下の中から、**当てはまるものを全て**お選びください。

いくつでも

必須

- 学習・調べもので使いたいWebページが見られなかった
- 学習・調べもので見たい動画が再生できなかった
- 学習用に使いたいアプリがインストールできなかった
- 端末を使って学習しようと思った時間に制限されて使えなかった
- 学校の先生・友達などから送られてきた、学習に必要な画像・ファイルが開けなかった

その他

支障があった経験はない

[改ページ](#)

Q23

あなたの一番大きいお子様は以下のことを、**小・中学校で配られた学習用端末**で日ごろ利用していますか。

日ごろ利用しているものとして、**当てはまるものを全て**お選びください。

いくつでも

必須

動画共有サービス（YouTube・ニコニコ動画など）

学習・勉強・知育アプリ（Studyplus・コソ勉・こどもちゃれんじ・単語帳メーカーなど）

メッセージアプリ（LINE・Messengerなど）

インターネットブラウザ・検索サービス（Safari・Google Chrome・Yahoo!JAPANなど）

Eメールアプリ（メール・Gmailなど）

プログラミング学習アプリ（MakeCode・Grasshopper・SwiftPlaygroundsなど）

ワードプロ・表計算ソフト（Word・Excelなど）

リモート授業

オンライン教科書

その他

[改ページ](#)

Q24

あなたは、あなたの一番大きいお子様の小・中学校で配られた学習用端末の利用について、以下のことを知ることによってどれくらい関心がありますか。
それぞれ当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		非常に 関心がある	まあ 関心がある	あまり 関心がない	全く 関心がない
フィルタリングサービスを使って子どもの学習用端末の利用を管理する方法	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
適切な学習用端末利用に関する家庭でのルールの作り方	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
他の子どもが学習用端末を利用して遭遇したトラブル事例	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

[改ページ](#)

表示条件ここまで

Q25

Q24で「非常に興味がある」「まあ興味がある」を選んだものについてお聞きします。
あなたはなぜそれらに関心を持ちましたか。
それぞれ当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

	フィルタリングサービスを使って 子どもの学習用端末の利用を管理する方法	適切な学習用端末利用に関するルールの作り方	子どもが学習用端末を利用して遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
あなたの子どもが学習用端末でトラブルに遭ったことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたやあなたの子どもに近い子ども（学校の友人など）が学習用端末でトラブルに遭ったことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなどで説明を受けたから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会などで説明を受けたから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネットにのめり込むなど、子どもに注意しても学習用端末を止めないことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子どもの学習・成績や健康への影響が心配だから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネット上で情報を見たことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビのニュースや新聞で情報を見たことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国や地方公共団体や民間団体が行う講座で聞いたことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリやゲームの利用中に見たことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CM・広告で見たことがあるから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人や保護者同士の会話の中で知ったから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特に理由はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィルタリングサービスを使って 子どもの学習用端末の利用を管理する方法	適切な学習用端末利用に関するルールの作り方	子どもが学習用端末を利用していて遭遇したトラブル事例

Q26

Q24で「あまり関心がない」「全く関心がない」を選んだものについてお聞きします。
あなたはなぜそれらに関心がないのでしょうか。
それぞれ当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

	フィルタリングサービスを使って 子どもの学習用端末の利用を管理する方法	適切な学習用端末利用に関するルールの作り方	子どもが学習用端末を利用していて遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓

過去にあなたの子供が学習用端末でトラブルに遭ったことがないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
過去にあなたやあなたの子供にも近い子ども（学校の友人など）が学習用端末でトラブルに遭った話を聞いたことがないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子どもを信頼しているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子ども自身が考えて学ぶべきことだと思うから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
トラブルが起きたとしても、子ども自身が解決できる年齢だから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子どもが学習用端末をあまり利用していないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
普段からよく言い聞かせているので必要ないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学習用端末の機能として学習以外の機能が制限されて使えないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
子供を管理するのが好きではないから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学習用端末や通信事業者を信じているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
学校を信じているから	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特に理由はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	子どもが学習用端末を利用している場合、適切な学習用端末利用にフィリタリングサービスを利用する方法	子どもが学習用端末を利用している場合、適切な学習用端末利用に関するルール作り方	子どもが学習用端末を利用している場合、適切な学習用端末利用に関するルール作り方

Q27

Q24で「あまり関心がない」「全く関心がない」を選んだものについてお聞きします。
あなたは何があればそれらに関心を持つようになると思いますか。
それぞれ当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

	フィルタリングサービスを使って 子どもの学習用端末の利用を管理する方法	適切な学習用端末利用に関するルールの作り方	子どもが学習用端末を利用して遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
今後、 <u>あなたの子ども</u> が学習用端末で <u>トラブルに遭ったら</u>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

今後、 あなたやあなたの子どもに近い子ども（学校の友人など） が学習用端末で トラブルに遭ったら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
今後、あなたの子どもが 注意しても学習用端末を止めない ようになったら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたの子どもの 学習・成績に影響が出ている と感じたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
あなたの子どもの 身体・健康に影響が出ている と感じたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
端末配布時に、学校から直接説明・保護者宛のプリントなど で説明を受けたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
端末配布時以外に、学校の保護者会・PTAの会合・講演会など で説明を受けたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
インターネット上で情報に触れたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビのニュースや新聞で情報に触れたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
国や地方公共団体や民間団体が行う講座 を受けたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリやゲームの利用中に情報に触れたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CM・広告で情報に触れたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人や保護者同士の会話の中で聞いたら	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
何があっても 関心を持つとは思わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィルタリングサービスを使って 子どもの学習用端末の利用を管理する方法	適切な学習用端末利用に関するルールの作り方	子どもが学習用端末を利用していて遭遇したトラブル事例

改ページ

表示条件ここまで

Q28

あなたの一番大きいお子様の小・中学校で配られた学習用端末の利用について、**あなたは以下のことを現在しているまたは過去していたでしょうか。**
それぞれ**当てはまるもの**をお選びください。

それぞれひとつずつ

必須

	現在している	過去にしていたが、現在はしていない	したことはない
「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」「合計〇〇時間まで利用していい」など、 利用時間に関する約束 をしている	→ ○	○	○
「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など 情報の取扱いに関する約束 をしている	→ ○	○	○
トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は 必ず相談する約束 をしている	→ ○	○	○
SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は 知っている人だけにしよう約束 をしている	→ ○	○	○
「悪口や不快な内容を書き込まない」など、 投稿内容に関する約束 をしている	→ ○	○	○
学習用端末は親がいるところだけで使う ように約束している	→ ○	○	○
フィルタリングサービスを使って子どもの 学習用端末の利用状況を確認 している	→ ○	○	○
フィルタリングサービスを使って子どもが 使えるアプリ・サービスを制限 している	→ ○	○	○
	現在している	過去にしていたが、現在はしていない	したことはない
			ていない

Q29

Q28で「現在している」と回答した項目がある方にお伺いします。
子どもの学習用端末利用について、なぜQ25で挙げられてたことをし始めたのでしょ
うか。
きっかけを自由にお書きください。

必須

[改ページ](#)

表示条件ここから

Q30

Q28で「現在している」と回答した項目が無い方にお伺いします。
子どもの学習用端末利用について、なぜQ25で挙げられてたことをしていないのでし
ょうか。
理由を自由にお書きください。

必須

Q31

Q28で「現在している」と回答した項目が無い方にお伺いします。
何があれば、子どもの学習用端末利用について、Q25で挙げられてたことをしたいと思
うでしょうか。

当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

子どもの**学習・成績への影響**がどの程度あるのかを知ることができる

子どもの**身体・健康への影響**がどの程度あるのかを知ることができる

同世代の子どもを持つ親が、**どの程度Q25で挙げられたことをしているのか**を知ることができる

それぞれの**取り組みの具体的なやり方**を知ることができる

具体的な**子どもとの話し合いの方法**を知ることができる

適切な**学校と保護者や家庭での指導の連携と分担**の方法を知ることができる

ルールを子どもが破ってしまった時の適切な対応の仕方を知ることができる

それぞれの**取り組みをすることで抑えられるトラブル**を知ることができる

その他

何があってもしたいと思わない

Q32

あなたは、一番大きい子どもの小・中学校で配られた学習用端末の利用について、以下のことを何で知りたいですか。

知る手段として当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

	フィルタリングサービスを使って子どもの学習用端末の利用を管理する方法	適切な学習用端末利用に関するルールの作り方	子どもが学習用端末を利用して遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
端末配布時に、 <u>学校から直接説明・保護者宛のプリント</u> などで知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
端末配布時以外に、学校の <u>保護者会・PTAの会合・講演会</u> などで知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
テレビや新聞、或いは、 <u>本、パンフレット</u> で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<u>インターネット（ウェブページや動画）</u> で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<u>国や地方公共団体や民間団体が行う講座</u> で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<u>アプリやゲームの利用中</u> に知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<u>CM・広告</u> で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<u>友人や保護者同士の会話</u> の中で知ることができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
特に知りたいと思わない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法
	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法	子どもが学習用端末を利用して遭遇した 適切な学習用端末利用に関するルールの作 成方法

Q33

あなたは、子どもの小・中学校で配られた学習用端末に利用について、以下のことを
読んだり教えてもらったりしたことはありますか。

当てはまるものを全てお選びください。

それぞれいくつでも

必須

	フィルタリングサービスを使って 子どもの学習用端末の利用を管理する方法	適切な学習用端末利用に関するルールの作り方	子どもが学習用端末を利用していて遭遇したトラブル事例
	↓	↓	↓
端末配布時に、 <u>学校から直接説明・保護者宛のプリント</u> などで教えてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
端末配布時以外に、 <u>学校の保護者会・PTAの会合・講演会</u> などで教えてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<u>テレビや新聞</u> で見た、或いは、 <u>本、パンフレット</u> で読んだ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
<u>インターネット（ウェブページや動画）</u> で見た	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

国や地方公共団体や民間団体が行う講座で教えてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
アプリやゲームの利用中に知った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
CM・広告で知った	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
友人や保護者同士の会話の中で教えてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
その他	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
読んだり教えてもらったりしたことはない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	フィルタリングサービスを使って 子どもの学習用端末の利用を管理する方法	適切な学習用端末利用に関するルールの作り方	子どもが学習用端末を利用して遭遇したトラブル事例

改ページ

Q34

あなたの一番大きいお子様は、これまでに小・中学校で配られた学習用端末を利用して、以下のような**トラブルに実際に遭ったことがあるでしょうか。**
この中から、実際に遭遇したトラブルとして、**当てはまるものを全て**お選びください。

いくつでも

必須

<input type="checkbox"/> SNS・メッセージアプリ・ゲームなどでいじめや誹謗中傷を受けた
<input type="checkbox"/> 友人・知り合いに性的な自画像を送ってしまった
<input type="checkbox"/> 友人・知り合いから性的な自画像を受け取った
<input type="checkbox"/> インターネットを通じた知り合いと実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）
<input type="checkbox"/> インターネット上でアダルトサイトや薬物・犯罪情報など、不適切な内容を見しまった
<input type="checkbox"/> インターネットの使い過ぎにより、体調や学業に支障をきたしてしまった
<input type="checkbox"/> フィッシング詐欺などに遭い、自宅の連絡先や学校などの個人情報が漏洩してしまった
<input type="checkbox"/> 歩きながらの学習用端末利用でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった
<input type="checkbox"/> ワンクリック詐欺に遭い、意図していない契約による多額の請求が来てしまった
<input type="checkbox"/> その他
<input type="checkbox"/> トラブルに遭ったことはない
<input type="checkbox"/> トラブルに遭っているかわからない

改ページ

表示条件ここまで

表示条件ここから

Q35

Q34でいずれかのトラブル遭遇経験があると回答した方にお伺いします。
そのトラブルの中で、**直近で遭遇したトラブル**は何ですか？
この中から、当てはまるものを1つお選びください。

なお、Q34で1つしか選択していないときは、それを選択してください。

ひとつだけ

必須

- SNS・メッセージアプリ・ゲームなどで**いじめや誹謗中傷**を受けた
- 友人・知り合いに**性的な自画像**を送ってしまった
- 友人・知り合いから**性的な自画像**を受け取った
- インターネットを通じた知り合いと**実際に会って性的暴行を受けた（受けそうになった）**
- インターネット上で**アダルトサイトや薬物・犯罪情報**など、不適切な内容を見てしまった
- インターネットの**使い過ぎ**により、**体調や学業に支障**をきたしてしまった
- フィッシング詐欺**などに遭い、自宅の連絡先や学校などの**個人情報**が漏洩してしまった
- 歩きながらの学習用端末利用**でけがをしたり（させたり）物を壊してしまった
- ワンクリック詐欺**に遭い、意図していない契約による**多額の請求**が来てしまった
- その他

改ページ

Q36

前問でご回答頂いた、**直近遭遇したトラブル**についてお伺いします。
あなたはそのトラブルに対して**どのように対応**されましたか？
この中から、**当てはまるものを全て**お選びください

いくつでも

必須

無視をするように子どもに言った

学校に相談した

ネットトラブルの専門窓口[※]に相談した

周囲の知人に相談した

学習用端末を利用する時のルールを厳しくした

一定期間学習用端末の利用を禁止した

問題の発生したアプリを削除した

フィルタリングサービスを利用するようになった

その他

特に対応はしていない

改ページ

表示条件ここまで

Q37

前問でご回答頂いた、直近遭遇したトラブルへの対応についてお聞きします。
その対応は上手くいったと思うでしょうか。
最も近いものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

非常に上手くいった

まあ上手くいった

どちらともいえない

あまり上手くいかなかった

全く上手くいかなかった

[改ページ](#)

Q38

あなたの家の世帯年収はおおよそいくらですか。額面での世帯年収をお答えください。

ひとつだけ

必須

0円 (なし)

<input type="radio"/> 100万円未満
<input type="radio"/> 100万円～200万円未満
<input type="radio"/> 200万円～300万円未満
<input type="radio"/> 300万円～500万円未満
<input type="radio"/> 500万円～700万円未満
<input type="radio"/> 700万円～1000万円未満
<input type="radio"/> 1000万円～1500万円未満
<input type="radio"/> 1500万円～2000万円未満
<input type="radio"/> 2000万円以上

改ページ

Q39

あなたはパートナー（夫・妻）と現在同居していますか。
当てはまるものをお選びください。

ただし、現在単身赴任などで同居していない場合も「同居していない・パートナーは
いない」をお選びください。

ひとつだけ

必須

- 同居している
- 同居していない・パートナーはいない

改ページ

Q40

あなたが**最後に卒業した学校**について、もっとも近いものを1つお選びください。
ただし、現在学生の場合は、現在所属している学校をお選びください。

ひとつだけ

必須

- 大学院
- 大学
- 短大・高専
- 専門学校
- 高校（旧制中学）
- 中学（旧制小学）

改ページ

Q41

あなたは以下のものを日頃どのくらいの時間利用していますか。
平日と休日を合わせて、平均して1日に使用している時間をお答えください。

それぞれひとつだけ

必須

	スマートフォン	パソコン
	↓	↓
0分	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15分未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
15分～30分未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
30分～1時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
1時間～2時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2時間～3時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3時間～4時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4時間～5時間未満	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5時間～	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

改ページ

Q42

子どもがスマホなどのIT機器を使用することで、新たな知識を身につけたり、将来に備えて使用スキルを身につけたりできます。

他方、様々なネットトラブルに巻き込まれるリスクもあります。

あなたの一番大きいお子様がスマホなどのIT機器を使用することについて、あなたは総合的にどう思っていますか。

当てはまるものを1つお選びください。

ひとつだけ

必須

非常に賛成である

賛成である

まあ賛成である

どちらともいえない

あまり賛成ではない

賛成ではない

全く賛成ではない

[改ページ](#)

Q43

一番大きいお子様が使っているスマートフォンについて、利用している機種をお答えください。

ただし、複数のスマートフォンを利用している場合は、最も使っているものについてお答えください。

ひとつだけ

必須

iPhoneシリーズ

その他

A 2. 実験的調査における提供資料・追跡調査票

A 2. 1. 提供資料（啓発フライヤー資料）

提供資料はスマートフォンで閲覧するのに最適化されている。以下の URL を参照。

<https://www.glocom.ac.jp/netrisk/>

A 2. 2. 追跡調査票

SQ1

このアンケートは、スマートフォンでの回答をお願いしております。
あなたが現在、このアンケートに回答している機器をお答えください。

※スマートフォン以外でお答えの方は、スマートフォンでの回答をお願いいたします。
スマートフォン以外の機器をお答えになった方は、この設問で調査が終了となります。

ひとつだけ

必須

スマートフォン

タブレット

パソコン

その他（ガラケー、ゲーム機器など）

本調査

これからお子様のスマホ利用とギガ端末（学習用端末）利用に関するコンテンツを見ていただきます。

よくお読みになってから、次の問いにお進みください。

<https://www.glocom.ac.jp/netrisk/> 

<https://www.glocom.ac.jp/netrisk/> をご覧いただく際は下記の環境でアクセスをお願いします。

- ・推奨ブラウザ：Google Chrome / Safari / Microsoft Edge / Firefox
 - ・ご利用中のフィルタリングサービスをオフにしてください
-

Q1

今お読みいただいたコンテンツでは、主に何について書かれていたでしょうか。
当てはまるものを6つお選びください。

いくつでも

必須

- 子供がパソコンを適切に使う方法について書かれていた
- 子供のスマートフォン利用に関連するトラブルについて書かれていた
- 子供のスマートフォントラブルを予防する方法が書かれていた
- 子供がスマートフォンで高額購入してしまったり、長時間使用してしまったりといったトラブルが書かれていた
- 子供が買うべきスマートフォンの機種について書かれていた
- 子供のギガ端末利用に関連するトラブルについて書かれていた
- 子供のギガ端末を使う際のトラブルを予防する方法が書かれていた
- ギガ端末を使ったなりすましトラブルや、架空請求トラブルについて書かれていた
- 学習用端末はセキュリティレベルが高く、トラブルはないということが書かれていた

ここから、コンテンツを読んで、あなたのお子様のスマホ利用についてどう思ったかをお聞きします。

Q2

コンテンツをお読みいただき、どう感じたでしょうか。
この中から、それぞれ当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまる	当てはまらない
フィルタリングサービスを使って子どもが使えるアプリ・サービスを制限しようと思った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
フィルタリングサービスを使って子供のスマートフォン利用状況を確認しようと思った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールについてさらに知りたくなった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のスマートフォントラブルの適切な解決方法が理解できた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のスマートフォントラブルを予防する方法が理解できた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまる	当てはまらない
子供のスマートフォン利用を適切に管理する自信がついた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のスマートフォン利用管理について、現在の自分のやり方では不足していると感じた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
今後は子供がスマートフォンでトラブルに遭っても適切に対処できそうだったと思った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のスマートフォン利用でトラブルがあるということを知った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
この内容を誰かに伝えたいと思った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまる	当てはまらない

Q3

前問で「子供のスマートフォン利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った」について
「当てはまる」「やや当てはまる」をお選びいただいた方にお伺いします。

どのルールを新たに作ろうと思いましたが、

当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」「合計〇〇時間まで利用していい」など、利用時間に関する約束をする

「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取扱いに関する約束をする

トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をする

SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は知っている人だけにしよう約束をする

「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をする

スマートフォンは親がいるところだけで使うようにする

「ゲームでは〇〇円まで利用しても良い」「お金を使う時には必ず親に言う」など、お金に関する約束をする

この中にはない

Q4

お読みいただいたコンテンツの、子供のスマホ利用に関する部分について、総合的にどのように感じましたか。

ひとつだけ

必須

良かった

やや良かった

あまり良くなかった

良くなかった

Q5

前問で「良かった」「やや良かった」を選んだ方にお聞きします。
なぜそのように思いましたか。当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

文字が適切な量で読みやすかった

見映えが良く、見やすかった

内容が分かりやすかった

詳細が書かれていてよかった

知らない内容が多かった

よく理解できた

ほしい情報があった

縦スクロールで読めるのが読みやすかった

その他

Q6

Q4で「あまり良くなかった」「良くなかった」を選んだ方にお聞きします。
なぜそのように思いましたか。当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

文字が多くて読みづらかった

見映えが悪く、見づらかった

内容が難しいと感じた

もっと詳細を知りたかった

知っている内容ばかりだった

よく理解できなかった

ほしい情報がなかった

縦スクロールで読むのが読みにくかった

その他

ここから、コンテンツを読んで、あなたのお子様のギガ端末（学習用端末）利用についてどう思ったかをお聞きます。

Q7



コンテンツをお読みいただき、どう感じたでしょうか。
この中から、それぞれ当てはまるものを1つお選びください。

それぞれひとつだけ

必須

		当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまる	当てはまる
フィルタリングサービスを使って子どもが使えるアプリ・サービスを制限しようと思った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
フィルタリングサービスを使って子供のギガ端末利用状況を確認しようと思った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のギガ端末利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のギガ端末利用に関する家庭内ルールについてさらに知りたくなった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のギガ端末関連のトラブルの適切な解決方法が理解できた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のギガ端末関連のトラブルを予防する方法が理解できた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまる	当てはまる
子供のギガ端末の利用を適切に管理する自信がついた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
子供のギガ端末の利用管理について、現在の自分のやり方では不足していると感じた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
今後は子供がギガ端末でトラブルに遭っても適切に対処できそうだった	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
ギガ端末でもトラブルがあるということを知った	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
この内容を誰かに伝えたいと感じた	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
		当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまる	当てはまる

Q8

前問で「子供のギガ端末利用に関する家庭内ルールを新たに作ろうと思った」について「当てはまる」「やや当てはまる」をお選びいただいた方にお伺いします。

どのルールを新たに作ろうと思いましたか。

当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

「平日は夜〇〇時まで利用しても良い」「合計〇〇時間まで利用していい」など、利用時間に関する約束をする

「自身や友人などが特定されるような情報は投稿しない」など情報の取扱いに関する約束をする

トラブルに巻き込まれたとき、もしくはその可能性がある時は必ず相談する約束をする

SNSやメッセージアプリを使うとき、友達の登録は知っている人だけにしよう約束をする

「悪口や不快な内容を書き込まない」など、投稿内容に関する約束をする

ギガ端末は親がいるところでだけ使うように約束をする

この中にはない

Q9

お読みいただいたコンテンツの、子供のギガ端末利用に関する部分について、総合的にどのよう
に感じましたか。

ひとつだけ

必須

良かった

やや良かった

あまり良くなかった

良くなかった

Q10

前問で「良かった」「やや良かった」を選んだ方にお聞きします。
なぜそのように思いましたか。当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

文字が適切な量で読みやすかった

見映えが良く、見やすかった

内容が分かりやすかった

詳細が書かれていてよかった

知らない内容が多かった

よく理解できた

ほしい情報があった

縦スクロールで読めるのが読みやすかった

その他

Q11

Q9で「あまり良くなかった」「良くなかった」を選んだ方にお聞きします。
なぜそのように思いましたか。当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

文字が多くて読みづらかった

見映えが悪く、見づらかった

内容が難しいと感じた

もっと詳細を知りたかった

知っている内容ばかりだった

よく理解できなかった

ほしい情報がなかった

縦スクロールで読むのが読みにくかった

その他

ここから、コンテンツ全体についてお聞きします。

Q12

お読みいただいたような、子供のスマホ利用やギガ端末利用に関するコンテンツについて、どのような媒体だと学びやすいと思うでしょうか。
当てはまるものを全てお選びください。

いくつでも

必須

<input type="checkbox"/> 今回のような形態
<input type="checkbox"/> 横にスワイプしたり、クリックしたりしてページをめくって読む漫画
<input type="checkbox"/> 縦にスワイプして読む縦長の漫画
<input type="checkbox"/> ポスター
<input type="checkbox"/> チラシ
<input type="checkbox"/> 小冊子
<input type="checkbox"/> 5分を超える長めの動画
<input type="checkbox"/> 30秒以上5分未満の動画
<input type="checkbox"/> 30秒未満の短めの動画
<input type="checkbox"/> ゲームアプリ
<input type="checkbox"/> この中にはない

Q13

お読みいただいた子供のギガ端末利用に関するコンテンツについて、感想・意見・要望などがあればご自由にお書きください。

特にない場合は「特に感想・意見・要望はない」をお選びください。

ひとつだけ

必須

入力してください

特に感想・意見・要望はない

A 3. 保護者インタビュー調査票の概要

以下の調査票に沿ってインタビューをしている。

項目	インタビュー内容
インタビュイー（保護者ご本人） 概況	
・ 年齢	・ ご自身の年齢。
・ 性別	・ ご自身の性別。
・ ご家族構成	・ 同居のご家族構成。
・ 子供の人数、性別	・ 子供の人数と性別構成。
A お子様の利用状況（プライベートスマートフォン／学習用端末）	
A1 属性	・ 子供の年齢 ・ 子供の性別
A2 ICT 環境	プライベート ※専用か共用かも併せて聞く ・ スマートフォン 学習用端末 ・ タブレット
A3 利用開始時期	・ いつから利用しているか
A4 利用機種	・ 現在利用している端末はどのようなものか
A5 配布元	（特に学習用端末について） ・ 現在利用している端末はどこから配布されているか
A6 利用の遷移	（スマートフォンについて） ・ 共用の場合はいつからしているか。専用になったのはいつからか。 （学習用端末について） ・ 利用形態や機種に変更があるか。
A7 利用場所	・ それぞれどこで利用しているか（学校、家、外出先）
A8 利用時間	・ それぞれどれくらい利用しているか（時間）。
A9 主な用途	・ それぞれ用いてどのようなことをしているか（家族との連絡目的、勉強目的、娯楽目的、それぞれの割合など）。 ・ 主な利用アプリ。
B ペアレンタルコントロール状況（プライベートスマートフォン）	
B1 設定状況（ソフト）	・ どのようなことをしているか。 ・ 例：家庭内ルールメイキング、場所の指定、等
B2 設定状況（ハード）	・ 端末への設定などはしているか。 ・ 例：フィルタリング、YouTube-kids の利用、検索サイトでの

	「セーフサーチ機能」、YouTube の「制限付きモード」、等
以下「実施している」場合	
B3 設定背景	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜそのような設定にしようと思ったのか。理由や背景。 ・情報収集経手段、参考にした情報
B4 設定プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・その設定するにあたりお子様との対話やプロセスはどのようなものだったか。 ・その設定にするにあたりご家族との対話やプロセスはどのようなものだったか。
B5 設定担保	<ul style="list-style-type: none"> ・特にソフト面（管理が難しいもの）についてどのような工夫で継続しているか。
B6 変化	<ul style="list-style-type: none"> ・初期から現在にかけて変化はあったか。（利用期間が長くなったり利用目的が増えたりするにつれて、約束や管理のあり方について変更）
B7 設定状況（重みづけ）	<ul style="list-style-type: none"> ・特に何が重要と考えているか。 ・効果があったもの、あったが続かなかったものはあるか。
B8 設定状況（評価・感想）	<ul style="list-style-type: none"> ・子供の ICT 環境について適切に管理できていると思うか。自己評価。 ・親として大変だと思う点。困っている点。
C ペアレンタルコントロール状況（学習用端末）	
C1 設定状況（ソフト）	<ul style="list-style-type: none"> ・どのようなことをしているか。 <p>例：学校からのルールの指定、家庭での独自設定、等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営管理方法
C2 設定状況（ハード）	<ul style="list-style-type: none"> ・端末への設定などはしているか ・例：フィルタリング、YouTube-kids の利用、検索サイトでの「セーフサーチ機能」、YouTube の「制限付きモード」、等
C3 設定背景	<ul style="list-style-type: none"> ・設定は学校・自治体の方針だったか、家庭の任意だったか ・情報収集経手段、参考にした情報
C4 設定プロセス	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような手続きを踏んだか
C5 設定状況（感想）	<ul style="list-style-type: none"> ・親として大変だと思う点。困っている点。
D 関心状況の背景（プライベートスマートフォン／学習用端末）	
D1 関心の有無	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜペアレンタルコントロールに関心がないのか（または関心があるのか）
D2 理由・きっかけ	<p>（関心がない場合）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どうしたら関心を持てると思うか <p>（関心がある場合）</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜペアレンタルコントロールに関心を持ったか ・なぜペアレンタルコントロールに関心があるのにやっていないのか
D3 情報取得（資料・コンテンツ）	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレンタルコントロールについて参考となる資料はどのようなものをみたことがあるか。 ・ペアレンタルコントロールに関するどのような内容の啓発を受けてきたか
D4 情報取得（経緯・デリバリー）	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレンタルコントロールについてどのような場所やルートで見聞きしたことがあるか ・ペアレンタルコントロールについて手段の参考となる資料をみたことがある場合、その資料をどのような経緯で手に取ったことがあるのか
D5 情報取得（知人）	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレンタルコントロールについて詳しい知人友人がまわりにいるか
E ニーズ（求める情報と伝達手段）（プライベートスマートフォン／学習用端末）	
E1 ニーズ（全般）	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレンタルコントロールで特に困っていること ・そこからどのようなものがあるといいと考えるか
E2 関心の創発	<ul style="list-style-type: none"> ・何があればペアレンタルコントロールに関心を持つと思うか
E3 ニーズ（情報内容）	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような内容のペアレンタルコントロールについて知りたいか、またはあれば効果的だと思うか
E4 ニーズ（伝達手段）	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような場や手段でそれが知りたいか、またはあれば効果的であると思うか
F リスク・トラブル経験	
F1 トラブル経験	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的に危機感を覚えたことや、不安になったエピソードはあるか？（実体験） ・お子様自身ではなくても、身近な人の話や報道などを通じて危機感を覚えたことはあるか？（他者）
F2 エピソード（背景）	<ul style="list-style-type: none"> ・上記で「有る」場合、どのような形で起きたか。何がきっかけだったか。
F3 エピソード（時期）	<ul style="list-style-type: none"> ・それはいつごろか。
F4 エピソード（対処）	<ul style="list-style-type: none"> ・どのように対応したか。
F5 エピソード（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・対応によってどうなったか（その効果の有無）。
F6 エピソード（ニーズ）	<ul style="list-style-type: none"> ・一連の経験によって「こういうことがあったらよかった」と思うことはあるか。

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 具体の体験がない場合でも、何かリスクやトラブルに対して「こんなことがあったらいい」というニーズはあるか。
G 家庭環境	
G1 ICT に関する家庭の態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自身の ICT に関する知識の主観的評価（よく知っている、普通、知らない）。 ・ デジタル機器利用に関してポジティブかネガティブか
G2 ICT に関する子どもの態度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供自身の ICT への興味関心、危機意識はどうか。 ・ 子供の現在の環境についての要望など（もっと使えるようにしてほしい、コントロールがある方が安心、など）。
G3 コミュニケーション時間・信頼関係	<p>（ICTにかかわらず）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 日常の子供との対話の時間（1日あたり）。 ・ 主観的信頼関係度合い。
G4 子育ての方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ （ICTにかかわらず）認知している子育ての方針（放任主義、管理主義、等）。 ・ ICTに関する積極性（学習で積極的に取り入れている、普通に使っている、仕方なく使っている、等）。

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

調査研究報告書執筆メンバー

- 山口 真一 国際大学 GLOCOM 准教授・主幹研究員
- 青木 志保子 国際大学 GLOCOM 主任研究員
- 井上 絵理 国際大学 GLOCOM 客員研究員
- 大島英隆 国際大学 GLOCOM 客員研究員
- 田邊 新之助 国際大学 GLOCOM リサーチアシスタント

調査研究プロジェクトメンバー

- 山口 真一 国際大学 GLOCOM 准教授・主幹研究員
- 青木 志保子 国際大学 GLOCOM 主任研究員
- 井上 絵理 国際大学 GLOCOM 客員研究員
- 大島 英隆 国際大学 GLOCOM 客員研究員
- 田邊 新之助 国際大学 GLOCOM リサーチアシスタント
- 三根 ももこ 国際大学 GLOCOM リサーチアシスタント
- 小木曾 健 国際大学 GLOCOM 客員研究員

有識者会議メンバー

<委員>

- 小木曾 健 情報リテラシー専門家 / 国際大学 GLOCOM 客員研究員
- 尾花 紀子 ネット教育アナリスト
- 鈴木 朋子 ITライター・スマホ安全アドバイザー
- 曾我部 真裕 京都大学大学院法学研究科教授
- 田中 辰雄 慶應義塾大学経済学部教授 / 国際大学 GLOCOM 主幹研究員
- 松岡 英治 一般社団法人 安心ネットづくり促進協議会部長
- 米田 謙三 関西学院千里国際中等部・高等部教諭

<オブザーバー>

- 総務省 総合通信基盤局 電気通信事業部 消費者行政第一課

<国際大学グローバル・コミュニケーション・センター>

- 山口 真一 国際大学 GLOCOM 准教授・主任研究員
- 青木 志保子 国際大学 GLOCOM 主任研究員
- 井上 絵理 国際大学 GLOCOM 客員研究員

啓発資料制作監修

- 小木曾 健 国際大学 GLOCOM 客員研究員

啓発資料制作

－ 伏見 まどか Fushimi Design

※メンバーの所属・肩書は2023年3月時点のものを記載。

我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査 報告書

「我が国における青少年のインターネット利用に係るペアレンタルコントロールの
効果的な啓発に関する調査」

発行：2023年7月

総務省

〒100-8926 東京都千代田区霞が関 2-1-2 中央合同庁舎第2号館

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター（委託先）

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル 2F

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター

Center for Global Communications, International University of Japan

〒106-0032 東京都港区六本木 6-15-21 ハークス六本木ビル2階

TEL:03-5411-6677 FAX:03-5412-7111

<https://www.glocom.ac.jp/>



国際大学
INTERNATIONAL
UNIVERSITY OF JAPAN

GLOCOM

国際大学グローバル・コミュニケーション・センター